

# 【 医 学 部 】

## 第 6 学 年

### <臨床医学系>

#### BSLアドバンストコース

循環器内科	6- 1
血液内科	6- 3
消化器内科	6- 5
リウマチ・膠原病内科	6- 7
腎臓高血圧内科	6- 9
糖尿病・内分泌代謝内科	6-11
神経内科	6-13
呼吸器内科	6-16
腫瘍内科	6-18
総合内科	6- *
外科Ⅰ	6-19
外科Ⅱ	6-22
脳神経外科	6-25
整形外科	6-27
心臓血管外科	6-29
形成外科	6-31
産科婦人科	6-32
小児科	6-34
眼 科	6-37
皮膚科	6-39
泌尿器科	6-41
耳鼻咽喉科学	6-42
心身医療科	6-44
放射線科	6-45
放射線治療科	6-47
麻酔科	6-48

救急科	6-50
歯科口腔外科	6-51
感染制御部	6-53
検査部	6-54
病理診断科	6-55
輸血・移植免疫部	6-56
リハビリテーション科	6-58
地域医療コース	
ほし横塚クリニック	6-59
只見町朝日診療所	6-60
かしま病院	6-61
保原中央クリニック	6-62
喜多方地域・家庭医療センター	6-63
南相馬市立総合病院	6-64
大原総合病院	6-66
会津医療センター	
内科総合	6-67
血液内科	6-69
漢方内科	6-71
上部消化管・胆膵内視鏡	6-73
外科	6-75
小腸大腸肛門科	6-77
整形外科・脊椎外科	6-79
感染症・呼吸器内科	6-81
協力病院	6-82～

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスドコース (循環器内科)【医学6】						
(英語名称)	BSL Advanced Course (Cardiovascular Medicine)						
担当責任者	竹石 恭知						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

#### 概要／方針等

基本的な医療面接、身体診察・バイタルサイン測定の習熟度を高め、循環器内科はもとより内科全般の理解を深める。アドバンスドコースはクリニカルクラークシップと位置づけ、主治医グループの一員として病棟患者の診療を行い、グループミーティングや検査、診断、治療に積極的に参加する姿勢を身につける。また、関連病院研修では当直も経験し内科のcommon diseaseの診療について経験する。

#### 学習目標

##### 【一般目標(GIO)】

循環器内科の診療における基本的な医療面接、身体診察法、検査法、診断法、治療法についての習熟度を高め、数多くの症例を通して主要な疾患についての理解を深める。

##### 【行動目標(SBO)】

- 1 担当患者を毎日診察し良好なコミュニケーションの下に必要な情報を得て上級医と討論できる。
- 2 基本的身体診察、バイタルサインの測定を正確に行い評価できる。
- 3 病的心音・心雑音を正しく鑑別できる。
- 4 12誘導心電図を正しく記録し読影できる。
- 5 基本的な心エコー・核医学・心臓カテーテル検査所見を評価できる。
- 6 主要な循環器疾患の病態生理、診断法、治療計画を説明できる。
- 7 最新の診療に関するエビデンス(EBM)を検索し担当患者に適応できる。

テキスト	Year note 内科・外科等編(MEDIC MEDIA 発行)
参考書	・ Braunwald's Heart Disease (9th Edition, Saunders) ・ Harrison's Principles of Internal Medicine (17th Edition, McGraw Hill)
評価方法	担当入院グループによる診療の様子の評価、患者カルテ記載の様子などによる。クリニカルクラークシップを念頭においており総合的に判定される。
その他(メッセージ等)	実習上の留意事項 1. 指導医の下に患者さんの状態に応じて真摯に診療にあたること。 2. 担当患者の治療方針、病名の告知に関して主治医に予め状況をきいてから対応すること。 3. 時間厳守で行動すること。 4. 病棟用上履きを用意し、手洗いに努めるなど院内感染防止を意識すること。 5. 協力病院での1週間の実習を希望により行う。

#### 授業計画／担当教員等

##### <臨床実習計画>

##### 【第1週】

[月曜日] 午前 8:45 オリエンテーション:医局集合(鈴木均) ※月曜日が祝日の際には火曜日朝8:00に10階東病棟に集合すること  
午後 13:00 病棟実習、18:00 心カンファランス

[火曜日] 午前 8:00 クリニカルカンファランス、総回診(竹石、斎藤、鈴木均) / 午後 13:00 病棟実習

[水曜日] 終日 8:30 病棟実習

[木曜日] 終日 8:30 病棟実習

[金曜日] 終日 8:30 病棟実習

##### 【第2・3週】

[月曜日] 午前 8:30 病棟実習 / 午後 13:00 病棟実習、18:00 心カンファランス

[火曜日] 午前 8:00 クリニカルカンファランス、総回診(竹石、斎藤、鈴木均) / 午後 13:00 病棟実習

[水曜日] 終日 8:30 病棟実習

[木曜日] 終日 8:30 病棟実習

[金曜日] 終日 8:30 病棟実習

##### 【第4週】

[月曜日] 午前 8:30 病棟実習 / 午後 13:00 病棟実習、18:00 心カテカンファランス

[火曜日] 午前 8:00 クリニカルカンファランス、総回診(竹石、斎藤、鈴木均) / 午後 13:00 病棟実習

[水曜日] 終日 8:30 病棟実習  
[木曜日] 終日 8:30 病棟実習  
[金曜日] 午前 8:30 病棟実習 / 午後 12:00 まとめの反省会(竹石、斎藤、鈴木均)

<担当教員>

竹石恭知 / 主任教授  
石田隆史 / 教授  
斎藤修一 / 准教授  
鈴木 均 / 兼任准教授 / 不整脈病態制御医学講座  
杉本浩一 / 兼任准教授 / 肺高血圧先進医療学講座  
義久精臣 / 兼任准教授 / 心臓病先進治療学講座  
中里和彦 / 講師  
國井浩行 / 講師  
八巻尚洋 / 学内講師  
小林 淳 / 助教  
及川雅啓 / 助教  
金城貴士 / 助教  
鈴木 聡 / 兼任助教 / 心臓病先進治療学講座  
上岡正志 / 助教  
佐藤崇匡 / 助教 / リハビリテーションセンター  
木島 幹博 / 客員講師 / 星総合病院  
武田寛人 / 太田西ノ内病院  
大和田尊之 / 客員講師 / 福島赤十字病院  
斎藤 富義 / 客員講師 / 白河厚生総合病院  
佐藤 雅彦 / 客員講師 / 公立相馬総合病院  
石橋 敏幸 / 客員講師 / 大原医療センター

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスドコース(血液内科)【医学6】						
(英語名称)	BSL Advanced Course (Hematology)						
担当責任者	池添 隆之						
開講年次		開講学期		必修／選択	選択	授業形態	実習

概要／方針等

基本的な医療面接、身体診察・バイタルサイン測定の習熟度を高め、血液内科はもとより内科全般の理解を深める。アドバンスドコースはクリニカルクラークシップと位置づけ、主治医グループの一員として診療を行い、グループミーティングや検査、診断治療について積極的に参加する姿勢を身につける。また、関連病院研修では地域医療や医療連携のあり方についても学習する。

学習目標

【一般目標(GIO)】

血液内科の診療における基本的な医療面接、身体診察法、検査法、診断法、治療法、についての習熟度を高め、数多くの症例を通して主要な疾患についての理解を深める。

【行動目標(SBO)】

- (1) 担当患者を毎日診察し良好なコミュニケーションの下に必要な情報を得て、上級医と討論できる。
- (2) 基本的な身体診察とバイタルサインの測定が正確に行い、評価できる。
- (3) 血液学的検査所見の解釈が正しくできる。
- (4) 病態や治療による骨髄像の変化を正しく解釈できる。
- (5) 主要な血液疾患の病態生理、診断法、治療計画を説明できる。
- (6) 患者の抱える全身的な問題についても系統的にリストアップできる。
- (7) 最新の診療に関するエビデンスを検索し、担当患者に適応できる。
- (8) 造血器腫瘍に対する化学療法を選択できる。
- (9) 造血幹細胞移植の原理と適応について説明できる。
- (10) 血液内科診療におけるコメディカルスタッフの役割について説明できる。

テキスト

参考書

評価方法

実習の評価は平常点、レポート、口頭試問のほか、出席、実習態度も含めて総合的に判定される。

その他(メッセージ等)

実習上の留意事項

1. 指導医の下に患者さんの状態に応じて真摯に診療に当たります。
2. 担当患者の治療方針や病名告知の状況に関しては、予め主治医に確認してから対応して下さい。
3. 時間厳守で行動し、体調不良のときや、止むを得ず遅刻・早退をするときは必ず担当教官、もしくは医局や病棟に必ず連絡をいれて下さい。
4. 上履きを用意し、手指消毒やマスク着用など感染防止対策について、指示に従って行動して下さい。
5. 第2週目は、白河厚生病院での実習となります。

授業計画／担当教員等

<臨床実習計画>

- 1週目: 月(午前): 9:00～オリエンテーション(池添)  
9:30～病棟患者紹介(各チーム)  
10:00～病棟回診(各チーム)  
(午後): 14:00～症例検討①: 多発性骨髄腫  
14:30～症例検討②: 悪性リンパ腫
- 火(午前): 9:00～症例検討③: 急性リンパ性白血病  
10:00～症例検討④: 急性骨髄性白血病  
(午後): 13:00～教授回診  
14:00～症例検討会
- 水(午前): 9:00～新患外来見学(池添)  
(午後): 14:00～病棟手技見学・説明

木 (午前):9:00～病棟回診(各チーム)  
(午後) :14:00～症例検討⑤:移植  
14:30～症例検討⑥:凝固・線溶

金 (午前) :9:00～病棟回診  
(午後):14:00～抄読会  
15:00～総括(各チーム)

2週目:月曜日～金曜日:白河厚生病院 血液内科 実習

<担当教官>

池添隆之 / 主任教授  
小川一英 / 教授  
大河原浩 / 講師  
木村 哲 / 助教  
七島晶子 / 助教  
高橋裕志 / 助教  
植田航希 / 助教  
原田佳代 / 助教  
助川真純 / 助教  
佐野隆浩 / 助手

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (消化器内科)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	大平弘正						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

アドバンスコースでは、主に県内の関連施設において病棟医グループの一員としてクリニカルクラークシップの実習、診療の介助および一部分担などの実習を行うこととする。病棟では、指導医の担当するすべての患者について、検査および治療計画の立案について参加し、指導医のもとで診療録の作成をする。内科外来では指導医のもとで患者の問診、診察をしてもらい今後の検査、治療方針の作成についてディスカッションする。当科で行われている検査についてはその介助に参加してもらい、非侵襲的な検査であれば実際に体験してもらう。アドバンスコースでは実際の患者さんをより多く診てもらうことで自分のもっている知識との整合性をはかることとする。

学習目標

一般目標(GIO)

文献検索などで得られる最新の知見をもとに、消化器病領域の多様な疾患・病態に対する理解し、検査・診断・治療計画を立案する方法を修得する。

行動目標(SBO)

- 1 腹部超音波検査において、スキルラボアドバンスのファントムを用いて、肝・胆・膵の異常所見を指摘し、鑑別疾患を列挙できる。
- 2 上部消化管内視鏡検査において、胃炎・胃潰瘍・胃癌の所見を説明できる。
- 3 消化管出血および総胆管結石症例における緊急治療内視鏡について、方法および介助者の役割について説明でき、スキルラボアドバンスのGI Mentor(シミュレーター)で体験する。
- 4 肝疾患の診断(画像診断を含む)および治療の基本を説明でき、腹部血管造影、RFA、PEIT等の検査・治療に立ち会い理解を深める。
- 5 下痢の患者で鑑別すべき疾患を列挙し、必要な検査および治療計画を立てることができる。
- 6 文献検索を行い、受け持ち患者の疾患について最新の知見を説明できる。
- 7 症例を要領よくまとめプレゼンテーションし、鑑別診断、問題点などについてディスカッションすることができる。

テキスト

特に指定しない

参考書

Harrison's Principles of Internal Medicine

評価方法

出席日数、レポート等により総合的に判定される。

学習上の留意事項

1. アドバンスコース学生は病棟医の一員に準じて扱われる。
2. 患者は常に病気に対する不安があることを認識し、患者の立場で思いやりをもって接すること。患者の心のケアをいつも忘れないこと。
3. カンファランスではディスカッションに積極的に参加すること。
4. 患者さんに不快感を与えないような清潔で端整な服装を望む。また言動や態度にも十分注意すること。
5. 医療チームにおけるチームワークの重要性を学ぶこと。医療に関することや受け持ち患者について不明なことはそのままにしないで、教官や受け持ち医に積極的に質問し、理解しておくこと。
6. 病状に関する患者からの質問に対しては、受け持ち医から解答してもらうこと。
7. 受け持ち患者の疾患について、自主的に文献を調べること。

授業計画／担当教員等

1週目の水曜日から4週目の火曜日までの3週間、以下の関連病院で実習し、4週目の木曜日に実習の報告をもらう。  
大原総合病院、福島赤十字病院、公立藤田総合病院、太田西ノ内病院、福島労災病院、公立相馬総合病院、塙厚生病院

担当教官

大平弘正	主任教授	消化器内科学講座
高木忠之	講師	消化器内科学講座
高橋敦史	講師	消化器内科学講座
阿部和道	学内講師	消化器内科学講座
鈴木 玲	助教	消化器内科学講座
引地拓人	准教授	内視鏡診療部

近藤祐一郎	客員講師	公立藤田総合病院
黒田聖仁	客員講師	福島赤十字病院
石幡良一	客員講師	大原総合病院
迎 慎二	客員講師	太田西ノ内病院
江尻 豊	客員講師	福島労災病院

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (リウマチ膠原病内科学)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	右田 清志						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

概要／方針等

アドバンスコースでは、病棟医グループの一員としてクリニカルクラークシップの実習、診療の介助および一部分担などの実習を行うこととする。病棟では、グループの担当するすべての患者について、検査および治療計画の立案について参加し、指導医のもとで診療録の作成をする。内科外来では指導医のもと患者の問診、診察をし今後の検査、治療方針の作成についてディスカッションする。当科で行われている検査についてはその介助に参加し、非侵襲的な検査であれば実際に体験してもらう。アドバンスコースでは実際の患者さんをより多く診てもらうことで自分のもっている知識との整合性をはかることとする。

学習目標

学習目標

一般目標(GIO)

文献検索などで得られる最新の知見をもとに、リウマチ・膠原病領域の多様な疾患・病態に対する理解し、検査・診断・治療計画を立案する方法を修得する。

行動目標(SBO)

- 1 リウマチ・膠原病の診断、特徴的所見、および治療の基本を説明できる。
- 2 関節痛患者において鑑別すべき疾患を列挙し、必要な検査および治療計画を立てることができる。
- 3 不明熱の鑑別すべき疾患を列挙し、必要な検査および治療計画を立てることができる。
- 4 文献検索を行い、受け持ち患者の疾患について最新の知見を説明できる。
- 5 症例を要領よくまとめプレゼンテーションし、鑑別診断、問題点などについてディスカッションすることができる。

テキスト

特に指定しない

参考書

Harrison 's Principles of Internal Medicine  
Textbook of Rheumatology  
リウマチ基本テスト

評価方法

出席日数、レポート等により総合的に判定される。

その他(メッセージ等)

学習上の留意事項

1. アドバンスコース学生は病棟医の一員に準じて扱われる。
2. 患者は常に病気に対する不安があることを認識し、患者の立場で思いやりをもって接すること。患者の心のケアをいつも忘れないこと。
3. カンファランスではディスカッションに積極的に参加すること。
4. 患者さんに不快感を与えないような清潔で端整な服装を望む。また言動や態度にも十分注意すること。
5. 医療チームにおけるチームワークの重要性を学ぶこと。医療に関することや受け持ち患者について不明なことはそのままにしないで、指導医に積極的に質問し、理解しておくこと。
6. 病状に関する患者からの質問に対しては、指導医から解答してもらうこと。
7. 受け持ち患者の疾患について、自主的に文献を調べること。

授業計画／担当教員等

月曜日

午前

8:30 入退院報告

9:00 外来

午後

13:30 病棟実習

17:00 膠原病カンファランス

火曜日

午前

8:30 入退院報告

9:00 外来

午後

病棟実習

水曜日

午前

8:30 入退院報告

9:00 外来

午後

病棟実習

木曜日

午前

8:30 入退院報告

9:00 教授回診

午後

14:00 関節エコー

金曜日

午前

8:30 入退院報告

9:00 外来

午後

病棟実習

・以下の関連病院での学外実習が可能です。

福島赤十字病院、公立藤田総合病院、太田西ノ内病院、福島労災病院

担当教官

右田清志 主任教授 リウマチ膠原病内科学講座

渡辺浩志 教授 リウマチ膠原病内科学講座

小林浩子 准教授 リウマチ膠原病内科学講座

佐藤秀三 助教 リウマチ膠原病内科学講座

浅野智之 助教 リウマチ膠原病内科学講座

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (腎臓高血圧内科)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	風間順一郎 林 義満 / 島袋充生 工藤明宏						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

#### 概要／方針等

5年次のプライマリーコースの基礎のうえに、以下の点を追加、発展させる。

- 1 入院新患を初診から受け持つことで、診療の実践的対応能力を高める。
- 2 一般医療現場での実践面の知識、論理、技術の修得(関連病院実習)
- 3 各領域における最新、最良の医学知識、論理の修得(疾患のレビュー)
- 4 文献の検索法と科学的批判力の養成(ジャーナルクラブ)
- 5 医療チームリーダーとしての組織力(5年生の指導)

#### 学習目標

##### 一般目標(GIO)

症例に対する実践によって、患者・医師関係の組み立て方、情報収集(問診、身体診察、検査)及び情報の解釈、論理的思考に基づく臨床的問題解決の方法及び治療の原則を学び、症例の問題に対する文献的考察を介して臨床研究能力を養う。

##### 行動目標(SBO)

- 1 患者と人間関係を構築し、コミュニケーションできる。
- 2 基本的診療技能(問診、身体診察)を実施できる。
- 3 POS 方式に基づく問題点の把握と問題解決計画作成と結果の評価ができる。
- 4 患者の疾患の背景にある病因と病態を把握できる。
- 5 腎疾患の診断・治療の基本を説明できる。
- 6 代謝・栄養学(糖尿病含む)・内分泌学の診断・治療の基本を説明できる。
- 7 高血圧の診断、治療の基本を理解する。
- 8 チーム医療の理解と他の医療スタッフとの関係を構築できる。
- 9 科学的情報収集法と情報(文献等)の評価ができる。
- 10 第一線医療現場の体験を通して、医師の役割を述べられる。
- 11 文献の批判的解釈に基づき、その結果を症例に適用できる。
- 12 臨床研究の意義、方法、解釈について具体的に述べられる。

#### テキスト

特に指定しない

#### 参考書

「Harrison ' s Principles of Internal Medicine」

#### 評価方法

実習の評価:出席日数+試問+レポートにより総合的に判定

#### その他(メッセージ等)

##### 学習上の留意事項

- 1 患者への対応:患者は「病める弱者」との認識を持ち、思いやりを持って接すること。  
服装、態度、言葉遣いに気をつけること。  
病状に関する患者からの質問には原則として回答しないこと。
- 2 クリニカルクラークシップの概念に基づき、教官、受け持ち医、他の医療スタッフとチームワークを形成すること。
- 3 テュートリアルを考え方に基づき、グループ討論、学生同士教官と自由かつ自主的な議論を実施すること。
- 4 科学的思考、証拠(EBM)と倫理性を基本とした問題解決による問題解決型医療を実践すること。
- 5 自主的勉学態度によって未知なこと、理解できないことは自主的に質問、検索をしてその場で修得すること。
- 6 IT 時代の情報収集に必須な英語による医学用語を用いた訓練を、日常的に行うよう心掛ける。
- 7 時間厳守。
- 8 関連病院実習では各病院の責任者の指導に従うこと。往復の交通安全については気をつけてほしい。

#### 授業計画／担当教員等

##### <<臨床実習計画>>

集合 午前8時30分 8F東病棟カンファランス室

##### 【第1週】

月 午前 入退院報告 オリエンテーション 1例目症例選定 問診 診察  
火 午前 入退院報告 外来新患診察実習

午後 チャートカンファランス 総回診 抄読会 医局症例カンファランス(不定期)  
 水 午前 入退院報告 セミナー 病棟実習  
 午後 病棟実習 糖尿病内分泌代謝カンファランス  
 木 午前 入退院報告 セミナー 病棟実習  
 午後 プライマリーコース中間試問参加  
 金 午前・午後 関連病院実習

【第2週】

月 午前 入退院報告 Journal Club演題選定 セミナー  
 火 午前 入退院報告 外来新患診察実習  
 午後 チャートカンファランス 総回診 抄読会 医局症例カンファランス(不定期)  
 水 午前 入退院報告 セミナー  
 午後 糖尿病患者教育実習 病棟実習 糖尿病内分泌代謝カンファランス  
 木 午前 入退院報告 セミナー 病棟実習  
 午後 プライマリーコース試問(症例提示と議論)の指導  
 金 午前 入退院報告 病棟実習 プライマリーコースの指導(症例総括)  
 午後 プライマリーコースの指導(症例総括) 腎臓組織カンファランス 腎症例カンファランス

【第3週】

月 午前 入退院報告 病棟実習 2例目症例選定  
 火 午前 入退院報告 外来新患診察実習  
 午後 チャートカンファランス 総回診 抄読会 医局症例カンファランス(不定期)  
 水 午前 入退院報告 セミナー  
 午後 糖尿病内分泌代謝カンファランス  
 木 午前 入退院報告 病棟実習  
 午後 プライマリーコース中間試問参加  
 金 午前・午後 関連病院実習

【第4週】

月 午前 入退院報告 病棟実習 セミナー  
 火 午前 入退院報告 外来新患診察実習  
 午後 チャートカンファランス 総回診 抄読会 医局症例カンファランス(不定期)  
 水 午前 入退院報告 セミナー  
 午後 糖尿病患者教育実習 病棟実習 糖尿病内分泌代謝カンファランス  
 木 午前 入退院報告 セミナー 病棟実習  
 午後 プライマリーコース試問(症例提示と議論)の指導  
 金 午前 入退院報告 病棟実習 症例総括(1例目) Journal Club発表  
 午後 症例総括(1例目) Journal Club発表 腎臓組織カンファランス 腎症例カンファランス

<<担当教員一覧>>

風間順一郎 主任教授 腎臓高血圧内科学講座  
 林義満 講師 腎臓高血圧内科学講座  
 田中健一 学内講師 腎臓高血圧内科学講座  
 旭浩一 教授 生活習慣病・慢性腎臓病(CKD)病態治療学講座

島袋充生 主任教授 糖尿病内分泌代謝内科学講座  
 工藤明宏 講師 糖尿病内分泌代謝内科学講座  
 待井典剛 学内講師 糖尿病内分泌代謝内科学講座

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(糖尿病・内分泌代謝内科)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	島袋充生 工藤明宏 / 風間順一郎 林 義満						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

- 5年次のプライマリーコースの基礎のうえに、以下の点を追加、発展させる。
- 1 入院新患を初診から受け持つことで、診療の実践的対応能力を高める。
  - 2 一般医療現場での実践面の知識、論理、技術の修得(関連病院実習)
  - 3 各領域における最新、最良の医学知識、論理の修得(疾患のレビュー)
  - 4 文献の検索法と科学的批判力の養成(ジャーナルクラブ)
  - 5 医療チームリーダーとしての組織力(5年生の指導)

学習目標

一般目標(GIO)

症例に対する実践によって、患者・医師関係の組み立て方、情報収集(問診、身体診察、検査)及び情報の解釈、論理的思考に基づく臨床的問題解決の方法及び治療の原則を学び、症例の問題に対する文献的考察を介して臨床研究能力を養う。

行動目標(SBO)

- 1 患者と人間関係を構築し、コミュニケーションできる。
- 2 基本的診療技能(問診、身体診察)を実施できる。
- 3 POS 方式に基づく問題点の把握と問題解決計画作成と結果の評価ができる。
- 4 患者の疾患の背景にある病因と病態を把握できる。
- 5 腎疾患の診断・治療の基本を説明できる。
- 6 代謝・栄養学(糖尿病含む)・内分泌学の診断・治療の基本を説明できる。
- 7 高血圧の診断、治療の基本を理解する。
- 8 チーム医療の理解と他の医療スタッフとの関係を構築できる。
- 9 科学的情報収集法と情報(文献等)の評価ができる。
- 10 第一線医療現場の体験を通して、医師の役割を述べられる。
- 11 文献の批判的解釈に基づき、その結果を症例に適用できる。
- 12 臨床研究の意義、方法、解釈について具体的に述べられる。

テキスト

特に指定しない

参考書

「Harrison ' s Principles of Internal Medicine」

評価方法

実習の評価:出席日数+試問+レポートにより総合的に判定

その他(メッセージ等)

学習上の留意事項

- 1 患者への対応:患者は「病める弱者」との認識を持ち、思いやりを持って接すること。  
服装、態度、言葉遣いに気をつけること。  
病状に関する患者からの質問には原則として回答しないこと。
- 2 クリニカルクラークシップの概念に基づき、教官、受け持ち医、他の医療スタッフとチームワークを形成すること。
- 3 テュートリアルを考え方に基づき、グループ討論、学生同士教官と自由かつ自主的な議論を実施すること。
- 4 科学的思考、証拠(EBM)と倫理性を基本とした問題解決による問題解決型医療を実践すること。
- 5 自主的勉学態度によって未知なこと、理解できないことは自主的に質問、検索をしてその場で修得すること。
- 6 IT 時代の情報収集に必須な英語による医学用語を用いた訓練を、日常的に行うよう心掛ける。
- 7 時間厳守。
- 8 関連病院実習では各病院の責任者の指導に従うこと。往復の交通安全については気をつけてほしい。

授業計画／担当教員等

<<臨床実習計画>>

集合 午前8時30分 8F東病棟カンファランス室

【第1週】

月 午前 入退院報告 オリエンテーション 1例目症例選定 問診 診察

火 午前 入退院報告 外来新患診察実習  
 午後 チャートカンファランス 総回診 抄読会 医局症例カンファランス(不定期)  
 水 午前 入退院報告 セミナー 病棟実習  
 午後 病棟実習 糖尿病内分泌代謝カンファランス  
 木 午前 入退院報告 セミナー 病棟実習  
 午後 プライマリーコース中間試問参加  
 金 午前・午後 関連病院実習

【第2週】

月 午前 入退院報告 Journal Club演題選定 セミナー  
 火 午前 入退院報告 外来新患診察実習  
 午後 チャートカンファランス 総回診 抄読会 医局症例カンファランス(不定期)  
 水 午前 入退院報告 セミナー  
 午後 糖尿病患者教育実習 病棟実習 糖尿病内分泌代謝カンファランス  
 木 午前 入退院報告 セミナー 病棟実習  
 午後 プライマリーコース試問(症例提示と議論)の指導  
 金 午前 入退院報告 病棟実習 プライマリーコースの指導(症例総括)  
 午後 プライマリーコースの指導(症例総括) 腎臓組織カンファランス 腎症例カンファランス

【第3週】

月 午前 入退院報告 病棟実習 2例目症例選定  
 火 午前 入退院報告 外来新患診察実習  
 午後 チャートカンファランス 総回診 抄読会 医局症例カンファランス(不定期)  
 水 午前 入退院報告 セミナー  
 午後 糖尿病内分泌代謝カンファランス  
 木 午前 入退院報告 病棟実習  
 午後 プライマリーコース中間試問参加  
 金 午前・午後 関連病院実習

【第4週】

月 午前 入退院報告 病棟実習 セミナー  
 火 午前 入退院報告 外来新患診察実習  
 午後 チャートカンファランス 総回診 抄読会 医局症例カンファランス(不定期)  
 水 午前 入退院報告 セミナー  
 午後 糖尿病患者教育実習 病棟実習 糖尿病内分泌代謝カンファランス  
 木 午前 入退院報告 セミナー 病棟実習  
 午後 プライマリーコース試問(症例提示と議論)の指導  
 金 午前 入退院報告 病棟実習 症例総括(1例目) Journal Club発表  
 午後 症例総括(1例目) Journal Club発表 腎臓組織カンファランス 腎症例カンファランス

<<担当教員一覧>>

島袋充生 主任教授 糖尿病内分泌代謝内科学講座  
 工藤明宏 講師 糖尿病内分泌代謝内科学講座  
 待井典剛 学内講師 糖尿病内分泌代謝内科学講座

風間順一郎 主任教授 腎臓高血圧内科学講座  
 林義満 講師 腎臓高血圧内科学講座  
 田中健一 学内講師 腎臓高血圧内科学講座  
 旭浩一 教授 生活習慣病・慢性腎臓病(CKD)病態治療学講座

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (神経内科)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	宇川義一						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

#### 概要／方針等

内科学における神経系疾患は非常に広範である。我々、神経内科医の関心領域は内科のみにとどまらず、救急医学、脳神経外科、整形外科、神経精神科、心療内科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科などと接点を有する領域である。そして、大脳皮質疾患、間脳、脳幹、小脳、脊髄、末梢神経系、筋肉疾患が神経内科のカバーする領域である。

神経疾患を理解するためには、その基礎となるニューロサイエンス、特に神経解剖学、神経生理学的知識が必須である。このような基礎的知識を基盤として、神経疾患を学ぶことにより、神経疾患をより身近に感じられるようになると思われる。

神経内科学の教育内容は以下に列記する。

神経症候学・神経局在診断学:これらは、神経疾患の部位診断を神経解剖学、生理学的理解を基に演繹するものである。神経疾患には場所的に局所的病変、びまん性病変、散在性病変、非対称病変があり、持続的病変、進行性病変、一過性病変などがある。解剖局所診断学を活用して、これらの病態を理解することが重要である。第4学年、第5学年次に学んだ事項を臨床の現場でより深めていくことが重要である。

#### 学習目標

##### 一般目標(GIO)

神経所見および検査所見から診断を考える過程を理解する。

##### 行動目標(SBO)

- 1 適切な医療面接を行い、カルテ記載ができる。
- 2 神経学的所見を含めた身体所見を系統立てることができる。
- 3 神経所見に基づいた局在診断ができる。
- 4 直像鏡を用いて眼底所見をとることができる。
- 5 髄液所見を説明できる。
- 6 神経画像検査(頭部単純写真、脊椎単純写真、頭部CT、頭部ヘリカルCT、頭部MRI、頭頸部MRアングイオグラフィー、脊椎MRI、脳血流シンチグラフィー等)の異常所見を指摘できる。
- 7 神経生理学的検査法(脳波、末梢神経伝導検査、筋電図、聴覚誘発電位検査、体性感覚誘発電位、視覚誘発電位、磁気刺激検査等)の原理と所見を説明できる。
- 8 筋生検、神経生検の病理学的所見を解釈できる。
- 9 意識障害を鑑別し治療方針を立てることができる。
- 10 めまいを鑑別できる。
- 11 脳脊髄血管障害を鑑別できる。
- 12 髄膜炎、脳炎を鑑別できる。
- 13 中枢神経系脱髄性疾患を鑑別できる。
- 14 末梢神経疾患を鑑別できる。
- 15 痴呆性疾患を鑑別できる。
- 16 神経変性疾患を鑑別できる。
- 17 筋疾患を鑑別できる。
- 18 神経筋接合部疾患を鑑別できる。
- 19 内科疾患に伴う神経系障害を診断できる。
- 20 脊髄障害の高位診断を正しく行うことができる。  
脳死判定法を理解し、必要な検査を列記できる。  
治療可能な神経疾患を適切に鑑別し、治療方針をたてることができる。

- The Chapters of Neurological Disorders, Cecil ' s Textbook of Internal Medicine, 23rd ed. 2007, WB Saunders Co.
  - The Chapters of Neurological Symptoms, Harrison ' s Principles of Internal Medicine, 16th ed. McGraw-Hill.
- これらは内科書として過去数十年間世界中で読まれてきているものであり、数年毎に改版されている。神経系の  
内容は健全であり、up-to-date である。Cecil は各論が優れており、Harrison はむしろ総論的記述が良い。  
○ Adams and Victor ' s Principles of Neurology, RD Adams & M victor, 8th ed. 2005, McGraw-Hill.

テキスト	<p>本書はHarrisonの著書による神経系疾患の章をより深めたものであり、神経学の教科書として程度は高く、優れたものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水澤英洋、宇川義一 神経診察: 実際とその意義 2011年 中外医学社</li> <li>○ 平山恵造編 臨床神経内科学第5版 2006年 南山堂 最も新しい内容に改版された、詳しい教科書である。</li> <li>○ 水野美邦、栗原照幸編 標準神経病学 新しく再編された教科書 2000年 医学書院</li> <li>○ Correlative Neuroanatomy, Waxman, Stephen G, 23rd. 1996, Appleton-Lange 神経解剖からの機能、局在診断の方法を豊富な図によって解説したもので、研修医にいたる迄有用な参考書である。</li> <li>○ ベットサイドの神経の診かた 南山堂</li> </ul>
参考書	
評価方法	評価方法: 実習への出席、入院患者受け持ち症例のレポート発表及びそのまとめの提出により総合的に判定される。
その他(メッセージ等)	<p>学習・実習上の参考事項</p> <p>優秀な臨床医となるには、十分な医学的知識と総合的判断力が要求される。それにもまして、病めるものへの思いやりをもって診療する心を身につけることが必要である。</p>

授業計画/担当教員等																				
<p>実習内容</p> <p>【月曜日】</p> <p>午前 8:30 病棟回診 9:00 ガイダンス(教授室・第1週のみ) 病棟実習(神経所見の取り方の講義、入院患者紹介)</p> <p>午後 病棟実習</p> <p>【火曜日】</p> <p>午前 8:30 病棟回診 9:30 新患外来</p> <p>午後 病棟実習</p> <p>【水曜日】</p> <p>午前 8:30 病棟回診 病棟実習</p> <p>午後 病棟実習 18:00 内科合同カンファランス(月1回)</p> <p>【木曜日】</p> <p>午前 8:30 病棟回診 10:00 症例検討会(神経内科病棟)</p> <p>午後 13:00 総回診 17:00 抄読会参加(第4ゼミナール)</p> <p>【金曜日】</p> <p>午前 8:30 病棟回診 10:00 神経内科検査実習(頸動脈エコー、神経生理学検査など)</p> <p>午後 病棟実習</p> <p>隔週 希望によって、月、火、水、金曜日は、各教官の出張病院で外来実習も可能である。</p> <p>概要・方針: 5年次のBSL プライマリーコースの知識を基に、さらに積極的にかつ深く症例の理解につとめる。外来では、教官と共に外来患者を診察し、各患者の罹患している疾患の病態、経過、診断へのプロセス、エビデンスに基づいた治療法選択の意志決定過程を学ぶ。入院患者を主治医とともに1週間受け持ち、患者の罹患している疾患の病態、経過、診断へのプロセス、エビデンスに基づいた治療法選択の意志決定過程を学ぶ。</p> <p>担当教員一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教員氏名</th> <th>職</th> <th>所 属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇 川 義 一</td> <td>教授</td> <td>神経内科学講座</td> </tr> <tr> <td>杉 浦 嘉 泰</td> <td>准教授</td> <td>神経内科学講座</td> </tr> <tr> <td>榎 本 博 之</td> <td>講師</td> <td>神経内科学講座</td> </tr> <tr> <td>星 明 彦</td> <td>講師</td> <td>神経内科学講座</td> </tr> <tr> <td>小 林 俊 輔</td> <td>助教</td> <td>神経内科学講座</td> </tr> </tbody> </table>			教員氏名	職	所 属	宇 川 義 一	教授	神経内科学講座	杉 浦 嘉 泰	准教授	神経内科学講座	榎 本 博 之	講師	神経内科学講座	星 明 彦	講師	神経内科学講座	小 林 俊 輔	助教	神経内科学講座
教員氏名	職	所 属																		
宇 川 義 一	教授	神経内科学講座																		
杉 浦 嘉 泰	准教授	神経内科学講座																		
榎 本 博 之	講師	神経内科学講座																		
星 明 彦	講師	神経内科学講座																		
小 林 俊 輔	助教	神経内科学講座																		

榎本 雪	助教	神経内科学講座
松田 希	助教	神経内科学講座
村上 丈伸	助教	神経内科学講座
門脇 傑	助教	神経内科学講座
伊藤 英一	助手	神経内科学講座
井口 正寛	助手	神経内科学講座
熊谷 智広	講師	衛生学・予防医学講座
本間 真理	客員講師	枳記念病院神経内科部長客員講師
斎藤 直史	客員講師	大原総合病院神経内科主任部長客員講師

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(呼吸器内科)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	棟方 充、谷野功典、金沢賢也、横内 浩、斎藤純平、佐藤 俊						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修/選択	選択必修	授業形態	Clinical Clarkship

概要/方針等

<p>このコースでは、実際の呼吸器内科臨床の現場に必要な基本的技術を習得します。具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 患者さんとの医療面接、身体診察、基本的検査(胸部レントゲン写真など)から、的確に情報を収集し、</li> <li>② それらの情報を基に鑑別すべき疾患を考え、</li> <li>③ さらに確定診断に至るプロセスを理解し、</li> <li>④ 適切な治療方針を考えます。</li> </ol> <p>このために、実習で、呼吸機能検査、胸部CT読影、喀痰グラム染色、呼吸器関連血液検査などについてのSmall Group Teaching (SGT)により、プライマリー・コースから一歩進んだ技術の習得を行います。これらの技術を応用して、入院患者さん、外来患者さんを直接担当し、診断のプロセスを勉強します。また、確定診断に必要な特殊検査(気管支鏡検査、呼気NO 検査など)の実際について学びます。</p> <p>基本的には卒後研修医と同様、各診療グループの一員として日常呼吸器臨床に参加してもらおうClinical Clarkship形式での実習となります。また、希望に応じて県内関連病院での実習を組み込むことも可能です。</p>
--

学習目標

<p>一般目標(GIO)</p> <p>呼吸器疾患診断に必要な技能を体得し、呼吸器病学の知識を個別の症例にあわせて総合的に応用し、正しい鑑別診断及び治療計画を組み立てられる。</p> <p>行動目標(SBO)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 患者の悩みと問題点を的確に把握し、疾患の診断に結びつけることができる。</li> <li>② 胸部打聴診・腹部触診・神経学的診察・その他の身体診察を系統立てて行うことができる。</li> <li>③ 胸部X線、CTの読影ができる。</li> <li>④ 心電図の読影ができる。</li> <li>⑤ 呼吸機能検査法を理解するとともに、その結果を解釈できる。</li> <li>⑥ 呼吸器関連の血液検査を理解し、病態に応じたオーダーができる。</li> <li>⑦ 問診・身体所見・基本的検査所見から問題点を抽出し、鑑別診断のための検査計画ができる。</li> <li>⑧ 診断のプロセスを含めた病歴を正しく記載し、系統立てて発表することができる。</li> <li>⑨ 診療グループに一員として、コメディカルスタッフとも協力して深慮にあたることができる。</li> </ol>
--

テキスト	
参考書	<p>内科学:黒川 清、松沢裕次編集(文光堂)</p> <p>内科学:上田英雄、武内重五郎編集(朝倉書店)</p> <p>新臨床内科学:高久史磨他編(医学書院)</p> <p>Harrison's Principles of Internal Medicine. Mc-Graw Hill.</p> <p>Diagnosis of Diseases of the Chest. Fraser and Pare, WB Saunders.</p>
評価方法	
その他(メッセージ等)	

授業計画/担当教員等

<p>【担当教員】</p> <p>棟方 充 / 教授 / 呼吸器内科学講座</p> <p>谷野 功典 / 准教授 / 呼吸器内科学講座</p> <p>金沢 賢也 / 講師 / 呼吸器内科学講座</p>
--

横内 浩	／ 講師	／ 呼吸器内科学講座
斎藤 純平	／ 講師	／ 呼吸器内科学講座
佐藤 俊	／ 学内講師	／ 呼吸器内科学講座
二階堂雄史	／ 助教	／ 呼吸器内科学講座
齐藤 香恵	／ 助教	／ 呼吸器内科学講座
福原 敦朗	／ 助教	／ 呼吸器内科学講座
峯村 浩之	／ 助手	／ 呼吸器内科学講座
美佐 健一	／ 助手	／ 呼吸器内科学講座
植松 学	／ 助手	／ 呼吸器内科学講座
平井健一郎	／ 助手	／ 呼吸器内科学講座

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(腫瘍内科)【医学6】						
(英語名称)	BSL Advanced Course (Medical Oncology)						
担当責任者	佐治 重衡						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修/選択	選択必修	授業形態	実習

**概要/方針等**

がん薬物療法を中心とした腫瘍内科学全般の理解を深める。実際の外来に同席して、基本的な問診・身体診察法を行い、検査法・診断法・治療法について指導医と討議する。また、各種Cancer boardやミーティングに出席し、他科や多職種との連携に積極的に参加する姿勢を身につける。Up to Dateなどを用いたエビデンスの利用法を学ぶ。

**学習目標**

**【一般目標】**

がん治療、特に薬物療法についての知識と経験を得る。

**【行動目標】**

- 1) がん薬物療法の適応となる患者を判断できる。
- 2) 病理、臨床検査、分子生物学、病期診断法などを理解する。
- 3) 主要ながんに対する標準的薬物療法を理解し、経験する。
- 4) オンコロジーエマーゼンシーへの対応方法を理解する。
- 5) がん告知、薬物療法を行う際のインフォームドコンセントなどがん診療に関連する生命倫理的配慮ができる。
- 6) 看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどとのカンファレンスで問題点を議論できる。

**テキスト**

特に指定しない。

**参考書**

「新臨床腫瘍学」(南江堂)  
「がん診療レジデントマニュアル」(医学書院)

**評価方法**

出席日数、レポート等により総合的に判定される。

**その他(メッセージ等)**

**学習上の留意事項**

1. 患者への思いやりを忘れず、服装や態度、言葉使いに気を付けること。
2. 個人情報の取り扱いに注意すること。

**授業計画/担当教員等**

**【授業計画】**

**【月曜日】**

午前:(第1週目)オリエンテーション (2週目)化学療法センター・臨床腫瘍センターミーティング  
午後:各種Cancer board

**【火曜日】**

午前:外来実習  
午後:各種Cancer board

**【水曜日】**

午前:講義・自習  
午後:外来実習

**【木曜日】**

午前:外来実習  
午後:腫瘍内科カンファレンス

**【金曜日】**

午前:講義・自習  
午後:外来化学療法センターミーティング

**【実習担当指導医】**

佐治 重衡 主任教授 腫瘍内科学講座  
野地 秀義 准教授 腫瘍内科学講座  
木村 礼子 助教 腫瘍内科学講座  
佐々木 栄作 助手 腫瘍内科学講座

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (外科1)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	木村 隆						
開講年次	2017	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習3

#### 概要／方針等

消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科および関連病院から選択して各自のカリキュラムを策定する。

1. 5年次のプライマリーコースで身につけた基礎的スキルを更に発展させるため、本学附属病院および関連施設において、スチューデントドクターとして指導医の指導のもとに基本的医療行為を学び、実践する。
2. 皮膚縫合や動脈血採血など5年生時より一歩進んだ水準の医療行為を経験する。
3. 地域の関連施設と連携し、大学病院では経験できないような症例に接することで外科診療をより深く理解する。
4. 経験した症例を学会や研究会で発表する機会を設け、発表を行う学生に対しては学会参加のサポートを行う。
5. 一緒に実習を行う5年生の指導にあたり、チームリーダーとしての自覚を身につける。

#### 学習目標

##### 一般目標(GIO)

1. チーム医療の重要性を認識しスタッフ、患者さんとの関係を構築する。
2. 周術期の外科治療に継続して関わることにより、現場の実際とダイナミズムを理解する。

##### 行動目標(SBO)

1. チームの一員として担当患者に接し、情報収集・情報の解釈・問題解決を行うことができる。
2. 手術症例カンファランスにて担当症例について説明できる。
3. 患者に対して適切に接することができる。
4. 消化器外科、肝胆膵・移植外科、小児外科の手術を見学し、基本的な手順を説明できる。
5. シミュレーション実習で、縫合・結紮、中心静脈穿刺等の手技を行うことができる。
6. 手術に参加し、皮膚切開、皮膚縫合、結紮法などの手技を行うことができる。
7. 関連病院実習で地域医療連携、幅広い疾患・手術を経験する。

#### テキスト

特に指定なし

#### 参考書

標準外科学 第14版 (医学書院) 2016.  
外科研修チェックノート (羊土社) 2008.  
レジデントノート増刊 Vol.14 No.17 外科の基本—手術前後の患者さんを診る～手術の流れや手技、周術期管理が身につく、外科がわかる、好きになる (羊土社) 2013.

#### 評価方法

出席日数、平常点、実習レポート、抄読会、プレゼンテーション等から総合的に判定

#### その他(メッセージ等)

消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科および関連病院から選択して希望に沿う形で各自のカリキュラムを作成します。(関連施設の受け入れ状況によっては希望通りにならないことがあります。また、状況に応じて呼吸器外科、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科を選択することも可能です。)  
外科診療に興味のある学生さんの参加を待っています。

##### 実習中の注意事項

1. 患者には思いやりを持って接し、服装、態度、言葉使いに気をつけること。
2. 個人情報の取り扱いには十分配慮すること。
3. 病状に関する患者からの質問には原則として回答しないこと。
4. 時間厳守すること。
5. 関連病院実習では福島県立医科大学医学部の学生であることを自覚すること。
6. 関連病院実習では各病院の医師の指示に従って行動すること。
7. 関連病院実習中でも大学と連絡が取れるようにすること。
6. 関連病院実習の際の交通手段は、事故防止のため公共交通機関を利用することが望ましい。

#### 授業計画／担当教員等

- ・実習スケジュールは、各人の希望と関連病院の状況により、個別に対応する。
- ・アドバンスコースの選択が決まり次第、外科研修支援担当教授 木村隆(担当代理:外科学講座 教員室2. 内線2332)へ連絡を取り、実習計画を立てる。
- ・病気等の都合により欠席する場合は必ず電話連絡をすること。

1) 大学病院実習

各人希望の診療講座・課へ所属し、指導責任者の指導を受けて発表等の準備をする。  
講座・診療科の枠にこだわらず他科の手術、処置等も自由に参加する。

2) 基礎研究・動物実験

各講座のスケジュールにより適宜参加する。

3) 関連病院実習

○大原総合病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科）

所在地：福島県福島市大町6-11.

電話番号：024-526-0350

朝8時45分までに4F医局へ行き、秘書さんに声をかけて外科医師と連絡を取る。

担当：小山善久、菅野浩樹、阿美弘文、齋藤勝、小野澤 寿志、ほか

○公立藤田総合病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科、呼吸器外科）

所在地：伊達郡国見町大字塚野目字三本木14

電話番号：024-585-2121

月曜日朝8時45分に医局へ行き、寺島信也先生に連絡してもらう。

担当：寺島信也、木暮道彦、渡辺智

○済生会福島総合病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科、呼吸器外科）

所在地：福島市大森字下原田25番地

電話番号：024-544-5171

朝9時までに受付へ行き、医局へ案内してもらう。

担当：井上仁、岡野誠、三瓶光夫、星野豊、櫻村省吾

○福島赤十字病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科、呼吸器外科）

所在地：福島市入江町11-31

電話番号：024-534-6101

月曜日朝8時に受付へ行き、医局へ案内してもらう。

担当：芳賀甚市、今野修、大石明雄、菅野隆三、郡司崇志、ほか

○太田西ノ内病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科）

所在地：郡山市西ノ内2-5-20

電話番号：024-925-1188

朝9時までに2F医局へ行き、秘書さんに声をかけて外科医師と連絡を取る。宿舎の準備あり。

担当：石井芳正、山田睦夫、伊藤泰輔、松本拓朗、阿部貞彦

○寿泉堂総合病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科）

所在地：郡山市駅前1丁目1-17

電話番号：024-932-6363

朝9時までに5F医局へ行き、秘書さんに声をかけて外科医師と連絡を取る。宿舎の準備あり。

担当：浦住幸治郎、中山浩一、菅野秀和、今泉英子

○総合南東北病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科、呼吸器外科）

所在地：郡山市八山田7-115

電話番号：024-934-5322

月曜日朝8時に受付へ行く。

1週間宿泊実習で宿舎あり、各人自分の名札、上履きを持参する。実習中にレポートを提出する。

担当：寺西寧、阿部幹、高野祥直、藤生浩一、佐藤直、鈴木伸康ほか

○星総合病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科）

所在地：郡山市向河原町159-1

電話番号：024-923-3711

朝9時までに3F医局へ行き、秘書さんに声をかけて外科医師と連絡を取る。宿舎の準備あり。

担当：野水整、渡辺文明、片方直人、八島玲、千田俊、加瀬晃志ほか

○公立岩瀬病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科、呼吸器外科）

所在地：須賀川市北町20

電話番号：0248-75-3111

朝9時まで医局へ行く。宿舎の準備あり。

担 当:三浦純一、伊東藤男、土屋貴男、大谷聡、齋藤敬弘

○福島労災病院 (消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科、呼吸器外科)

所在地:いわき市内郷綴町沼尻3

電話番号:0246-26-1111

実習開始前日・日曜日の夕方に病院窓口へ、宿舎の準備あり

担 当:武藤 淳、又吉一仁、宮澤正紹、塩 豊、石井恒ほか

○竹田総合病院(呼吸器外科)

所在地:会津若松市山鹿町3-27

電話番号:0242-27-5511

朝9時まで医局へ行く。宿舎の準備あり。

担 当:岡部直行

○米沢市立病院 (消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科、呼吸器外科)

所在地:米沢市相生町6-36

電話番号:0238-22-2450

実習開始前日・日曜日の夕方にまたは月曜日朝8時に病院窓口へ、宿舎の準備あり。

担 当:北村正敏、菅野博隆、橋本敏夫、佐藤佳宏、芳賀淳一郎

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (外科2)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	木村 隆						
開講年次	2017	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

#### 概要／方針等

呼吸器外科、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科および関連病院から選択して各自のカリキュラムを策定する。

1. 5年次のプライマリーコースで身につけた基礎的スキルを更に発展させるため、本学附属病院および関連施設において、スチューデントドクターとして指導医の指導のもとに基本的医療行為を学び、実践する。
2. 皮膚縫合や動脈血採血など5年生時より一歩進んだ水準の医療行為を経験する。
3. 地域の関連施設と連携し、大学病院では経験できないような症例に接することで外科診療をより深く理解する。
4. 経験した症例を学会や研究会で発表する機会を設け、発表を行う学生に対しては学会参加のサポートを行う。
5. 一緒に実習を行う5年生の指導にあたり、チームリーダーとしての自覚を身につける。

#### 学習目標

##### 一般目標(GIO)

1. チーム医療の重要性を認識しスタッフ、患者さんとの関係を構築する。
2. 周術期の外科治療に継続して関わることにより、現場の実際とダイナミズムを理解する。

##### 行動目標(SBO)

1. チームの一員として担当患者に接し、情報収集・情報の解釈・問題解決を行うことができる。
2. 手術症例カンファランスにて担当症例について説明できる。
3. 患者に対して適切に接することができる。
4. 呼吸器外科、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科の手術を見学し、基本的な手順を説明できる。
5. シミュレーション実習で、縫合・結紮、中心静脈穿刺等の手技を行うことができる。
6. 手術に参加し、皮膚切開、皮膚縫合、結紮法などの手技を行うことができる。
7. 関連病院実習で地域医療連携、幅広い疾患・手術を経験する。

#### テキスト

特に指定なし

#### 参考書

標準外科学 第14版 (医学書院) 2016.  
外科研修チェックノート (羊土社) 2008.  
レジデントノート増刊 Vol.14 No.17 外科の基本—手術前後の患者さんを診る～手術の流れや手技、周術期管理が身につく、外科がわかる、好きになる (羊土社) 2013.

#### 評価方法

出席日数、平常点、実習レポート、抄読会、プレゼンテーション等から総合的に判定

#### その他(メッセージ等)

呼吸器外科、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科および関連病院から選択して希望に沿う形で各自のカリキュラムを作成します。(関連施設の受け入れ状況によっては希望通りにならないことがあります。また、状況に応じて消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科を選択することも可能です。)  
外科診療に興味のある学生さんの参加を待っています。

##### 実習中の注意事項

1. 患者には思いやりを持って接し、服装、態度、言葉使いに気をつけること。
2. 個人情報の取り扱いには十分配慮すること。
3. 病状に関する患者からの質問には原則として回答しないこと。
4. 時間厳守すること。
5. 関連病院実習では福島県立医科大学医学部の学生であることを自覚すること。
6. 関連病院実習では各病院の医師の指示に従って行動すること。
7. 関連病院実習中でも大学と連絡が取れるようにすること。
6. 関連病院実習の際の交通手段は、事故防止のため公共交通機関を利用することが望ましい。

#### 授業計画／担当教員等

- ・実習スケジュールは、各人の希望と関連病院の状況により、個別に対応する。
- ・アドバンスコースの選択が決まり次第、外科研修支援担当教授 木村隆(担当代理:外科学講座 教員室2. 内線2332)へ連絡を取り、実習計画を立てる。
- ・病気等の都合により欠席する場合は必ず電話連絡をすること。

1) 大学病院実習

各人希望の診療講座・課へ所属し、指導責任者の指導を受けて発表等の準備をする。  
講座・診療科の枠にこだわらず他科の手術、処置等も自由に参加する。

2) 基礎研究・動物実験

各講座のスケジュールにより適宜参加する。

3) 関連病院実習

○大原総合病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科）

所在地：福島県福島市大町6-11.

電話番号：024-526-0350

朝8時45分までに4F医局へ行き、秘書さんに声をかけて外科医師と連絡を取る。

担当：小山善久、菅野浩樹、阿美弘文、齋藤勝、小野澤 寿志、ほか

○公立藤田総合病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科、呼吸器外科）

所在地：伊達郡国見町大字塚野目字三本木14

電話番号：024-585-2121

月曜日朝8時45分に医局へ行き、寺島信也先生に連絡してもらう。

担当：寺島信也、木暮道彦、渡辺智

○済生会福島総合病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科、呼吸器外科）

所在地：福島市大森字下原田25番地

電話番号：024-544-5171

朝9時までに受付へ行き、医局へ案内してもらう。

担当：井上仁、岡野誠、三瓶光夫、星野豊、櫻村省吾

○福島赤十字病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科、呼吸器外科）

所在地：福島市入江町11-31

電話番号：024-534-6101

月曜日朝8時に受付へ行き、医局へ案内してもらう。

担当：芳賀甚市、今野修、大石明雄、菅野隆三、郡司崇志、ほか

○太田西ノ内病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科）

所在地：郡山市西ノ内2-5-20

電話番号：024-925-1188

朝9時までに2F医局へ行き、秘書さんに声をかけて外科医師と連絡を取る。宿舎の準備あり。

担当：石井芳正、山田睦夫、伊藤泰輔、松本拓朗、阿部貞彦

○寿泉堂総合病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科）

所在地：郡山市駅前1丁目1-17

電話番号：024-932-6363

朝9時までに5F医局へ行き、秘書さんに声をかけて外科医師と連絡を取る。宿舎の準備あり。

担当：浦住幸治郎、中山浩一、菅野秀和、今泉英子

○総合南東北病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科、呼吸器外科）

所在地：郡山市八山田7-115

電話番号：024-934-5322

月曜日朝8時に受付へ行く。

1週間宿泊実習で宿舎あり、各人自分の名札、上履きを持参する。実習中にレポートを提出する。

担当：寺西寧、阿部幹、高野祥直、藤生浩一、佐藤直、鈴木伸康ほか

○星総合病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科）

所在地：郡山市向河原町159-1

電話番号：024-923-3711

朝9時までに3F医局へ行き、秘書さんに声をかけて外科医師と連絡を取る。宿舎の準備あり。

担当：野水整、渡辺文明、片方直人、八島玲、千田俊、加瀬晃志ほか

○公立岩瀬病院（消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科、呼吸器外科）

所在地：須賀川市北町20

電話番号：0248-75-3111

朝9時まで医局へ行く。宿舎の準備あり。

担 当:三浦純一、伊東藤男、土屋貴男、大谷聡、齋藤敬弘

○福島労災病院 (消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科、呼吸器外科)

所在地:いわき市内郷綴町沼尻3

電話番号:0246-26-1111

実習開始前日・日曜日の夕方に病院窓口へ、宿舎の準備あり

担 当:武藤 淳、又吉一仁、宮澤正紹、塩 豊、石井恒ほか

○竹田総合病院(呼吸器外科)

所在地:会津若松市山鹿町3-27

電話番号:0242-27-5511

朝9時まで医局へ行く。宿舎の準備あり。

担 当:岡部直行

○米沢市立病院 (消化管外科、肝胆膵・移植外科、小児外科、呼吸器外科)

所在地:米沢市相生町6-36

電話番号:0238-22-2450

実習開始前日・日曜日の夕方にまたは月曜日朝8時に病院窓口へ、宿舎の準備あり。

担 当:北村正敏、菅野博隆、橋本敏夫、佐藤佳宏、芳賀淳一郎

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (脳神経外科)【医学6】						
(英語名称)	BSL Advanced Course (Neurosurgery)						
担当責任者	齋藤 清						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

#### 概要／方針等

クリニカルクラークシップに基づき、主治医の一人として脳神経外科臨床を実習する。  
 第1～2週目は臨床研修協力病院(福島赤十字病院、南東北福島病院、栴記念病院)にて第一線病院の脳神経外科臨床を実習する。入院患者の診察や手術、特に救急患者の診察、処置、治療には積極的に参加する。  
 第3～4週目は大学病院において主治医の一人として入院患者を担当し、病歴聴取、神経所見チェック、画像診断を行い、治療計画作成に参加し、手術では助手として手術を手伝い、術後管理や検討会でのプレゼンテーションにも参加する。  
 (人数によっては、第1～2週目と第3～4週目を逆にしたカリキュラムと2パターンにすることがある。)  
 全体を通して、救急患者があれば搬入時から担当医とともに診断や初期治療にあたるなど、より患者に密着した積極的な臨床実習を行う。また、受け持ち患者以外でも、病棟処置や手術助手などできるだけ参加する。空き時間があれば、手術顕微鏡による血管吻合実習を行い、顕微鏡手術の基本手技を習得する。  
 受け持ち患者の問題点など与えられた課題について学習し、カンファレンスで発表する。  
 脳神経外科医局には学生用図書が常備されているので、自ら学習するとともに、不明な点は指導医に相談すること。

#### 学習目標

##### 【一般目標(GIO)】

系統講義とBSL プライマリーコースの基礎の上に、脳神経外科で扱う疾患の診断・治療の基本を理解し、より実践的な知識と手技の習得を目指す。また、医師として大切な人を思いやる気持ちや協調性を身につける。

##### 【行動目標(SBO)】

1. 脳神経疾患を有する患者とコミュニケーションをとれる。
2. 意識障害、神経脱落症状、高次脳機能障害を的確に診断できる。
3. 画像所見の異常を的確に指摘し、基本的な診断と治療方針を述べることができる。
4. 術野にみえる神経や血管の名前を述べるができる。
5. 代表的な脳神経外科手術手技について説明することができる。
6. 受け持ち患者の手術手技について重要なポイントを説明できる。
7. 手術の助手をすることができる。
8. チーム医療を理解し、他の医療スタッフと協調できる。

#### テキスト

特に指定しない。

#### 参考書

標準脳神経外科:佐々木富男、峯浦一喜、新井 一、富永悌二 編集(医学書院)  
 ベッドサイドの神経の診かた: 田崎義昭、齋藤佳雄 著、坂井文彦 改訂(南山堂)  
 EBMに基づく脳神経疾患の基本治療指針: 田村 晃、松谷雅生、清水輝夫 編集(メジカルビュー社)  
 脳神経外科学: 太田富男、松谷雅生 編集(金芳堂)  
 グリンバーグ脳神経外科学ハンドブック: 太田富男 監訳、黒岩敏彦ら 訳(金芳堂)

#### 評価方法

4週間の積極性や遅刻・欠席の有無など実習に対する姿勢を重視し、知識(神経所見、画像所見、解剖、診断など)と技能(病棟および手術室での手技)も加味して総合的に判定する。

#### その他(メッセージ等)

1. 臨床は人間学であり、医学の内容もさることながら人間に対する真の思いやりとは何かを学んでほしい。
2. クリニカルクラークシップを實踐し、主治医の一人としてBedside での実習を心掛けること。救急患者の診療にも参加すること。
3. 教科書に書かれている一行を実際に行うために、どれだけの知識と労力が払われているかということを理解してほしい。
4. 実習中の疑問や質問はそのままにしないこと。担当医に積極的に質問したり、図書、インターネットなどを駆使して解決するように努めること。
5. 時間を守ることは、社会人としてのマナーである。遅れる場合は連絡すること(内線2352)。また実習中の所在をはっきりさせ、常に連絡が取れるようにしておくこと。
6. 関連実習病院では、各病院の指導責任者に従うこと。往復の交通安全については十分に注意すること。

#### 授業計画／担当教員等

##### 【実習計画】

第1週月曜日の朝に大学で朝会に出席してから、実習先の関連病院(福島赤十字病院、南東北福島病院、栴記念病院)に向かう。第2週の日曜日には午後5時までに大学に戻り、回診に参加して、次週からの実習内容を担当医と打ち合わせする。

「第1～2週目」

月:07:45～ 第1週:朝会(7階東病棟カンファランス室)、朝会終了後、関連病院にて臨床実習  
08:30～ 関連病院にて臨床実習  
火:08:30～ 関連病院にて臨床実習  
水:08:30～ 関連病院にて臨床実習  
木:08:30～ 関連病院にて臨床実習  
金:08:30～ 関連病院にて臨床実習  
17:00～ 第2週:大学病棟回診と打ち合わせ(7階東病棟カンファランス室)

「第3～4週」

月:07:45～ 朝会(7階東病棟カンファランス室)  
09:00～ 手術助手(手術室)  
18:00～ 術前術後症例検討会(医局カンファランス室)  
火:08:00～ 朝会(7階東病棟カンファランス室)  
09:00～ 病棟処置、患者診察(7階東病棟)、時間があれば顕微鏡手術実習(医局実習室)  
17:00～ 病棟回診(7階東病棟)  
18:00～ 術前術後症例検討会(医局カンファランス室)  
水:07:30～ 術前症例検討会、受け持ち患者プレゼンテーション(医局カンファランス室)  
09:00～ 手術助手(手術室)、または  
病棟処置、患者診察(7階東病棟)、時間があれば顕微鏡手術実習(医局実習室)  
17:30～ 術前術後症例検討会など(医局カンファランス室)  
木:07:45～ 抄読会・朝会(7階東病棟カンファランス室)  
09:00～ 手術助手(手術室)、または  
病棟処置、患者診察(7階東病棟)、時間があれば顕微鏡手術実習(医局実習室)  
金:09:00～ 病棟処置、患者診察(7階東病棟)、時間があれば顕微鏡手術実習(医局実習室)  
17:00～ 病棟回診(7階東病棟)

【担当教員】

大学:

齋藤 清(教授)、佐久間潤(准教授)、藤井正純(准教授)、佐藤 拓(講師)、市川優寛(講師)、岸田悠吾(講師)、  
神宮字伸哉(助教)、織田恵子(助手)、岩楯兼尚(助手)

福島赤十字病院:

渡部洋一(院長、臨床教授)  
鈴木恭一(脳神経外科部長)  
市川 剛(脳神経外科部長)

南東北福島病院:

浅利 潤(理事長特別補佐監兼執行本部長・脳卒中センター長、臨床教授)  
仲野雅幸(院長代行)  
佐藤光夫(在宅医療センター長)

栞記念病院:

太田 守(院長、臨床教授)  
佐藤直樹(脳神経外科部長)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(整形外科)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	紺野慎一						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

5年次のプライマリーコースを基礎として、整形外科医療の実践的な知識と技術を習得する。その方策として、クリニカルクラークシップの概念に基づき、病棟の各診療グループに所属して、その中で実践的な整形外科の知識のみならず、科学的思考、証拠に基づく論理的な医療(EBM)を基本とした、問題解決型医療についての基礎的知識を修得する。さらに、医療倫理、チーム医療の重要性について学ぶ。

学習目標

一般目標

外来診療と入院診療における整形外科的保存療法と手術療法を体験し、運動器疾患の診断を行い、治療計画を立てることができる

行動目標

1. 腰痛・四肢関節痛を訴える患者の病状、病態、および疾患について説明できる
2. 腰痛・四肢関節痛を訴える患者の基本的な診察ができる
3. 腰痛・四肢関節痛を訴える患者の画像検査法とその異常所見を具体的に述べられる
4. 運動器疾患に対する治療計画の立て方を述べられる
5. 無菌的操作による関節穿刺・注射を行える
6. 骨折に対する外固定を介助できる
7. 清潔手術野を適切に準備できる
8. 整形外科的手術手技の基本(止血、骨接合、腱縫合、神経縫合等)を述べられる
9. 創処置(創のドレッシング)を適切に行える
10. 術後合併症の種類とその対応策について述べられる

テキスト

特に指定しない

参考書

書名／著者・編者／出版社／出版年

-----

標準整形外科学 第12版／松野丈夫他総編／医学書院／2014

図解四肢と脊椎の診かた／Hoppenfeld S(著)・首藤 貴(訳)／医歯薬出版／1984

整形外科医のための神経学図説-脊髄・神経根障害レベルのみかた, おぼえかた／Hoppenfeld S(著)・津山直一(訳)／南江堂／2005

整形外科プライマリハンドブック 改訂第2版／片田重彦・石黒 隆著／南江堂／2004

NEW MOOK 整形外科シリーズ 1-17／越智隆弘・菊地臣一編集／金原出版／1997-2005

整形外科外来シリーズ／越智隆弘・菊地臣一・龍 順之助編集／メジカルビュー社／1997-2000

運動器の痛みプライマリケアシリーズ／菊地臣一編集／南江堂／2009-2012

評価方法

担当教官による採点と口頭試問等により総合的に評価する。

学習上の留意事項

1. 病棟の診療グループの一員として日々の診療に参加することによって、臨床医に必要とされる知識や態度について深く考えてもらいたい。
2. 第1週目に実際に入院患者さんを受け持ってもらい、担当教官とともにその患者さんを診察して、臨床所見をまとめて、第2週目火曜日の朝行われる入院患者プレゼンテーションの場で受け持った患者さんの診断・鑑別診断・治療方針について発表する。
3. 受け持った患者さんの手術治療に参加して、その所見をまとめる。
4. 受け持った患者さんの術後管理、術後治療計画、リハビリテーションを策定し、担当教官と一緒に評価する。さらに、第3/4週目の入院患者プレゼンテーションの場で術後経過について発表する。
5. 第3/4週のうち、どちらか1週間は関連病院(公立藤田総合病院、大原総合病院、総合南東北病院、星総合病院)の整形外科で実習(外来・手術)を行う。各地域の基幹病院において、地域医療や急性期医療あるいは政策医療について、大学附属病院の整形外科医療との相違を学んでもらう。

その他(メッセージ等)

授業計画／担当教員等

臨床実習計画

<http://www.fmu-orthop.org/教育-研修/医学部学生に対する教育/bsiアドバンスコース予定表/>

担当教員

教員名/職名/所属/備考(専門)

(附属病院内実習)

紺野慎一/主任(教授)/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/脊椎・脊髄

矢吹省司/教授/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/脊椎・脊髄

青田恵郎/教授/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/股関節

大谷晃司/教授/福島県立医科大学医療人育成・支援センター/脊椎・脊髄

大内一夫/講師/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/肩関節

大内一夫/講師/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/足の外科

沼崎広法/教授/福島県立医科大学スポーツ医学講座/膝関節・下肢スポーツ

山田 仁/准教授/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/骨・軟部腫瘍

二階堂琢也/講師/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/脊椎・脊髄

川上亮一/講師/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/手外科・外傷

大橋寛憲/学内講師/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/股関節

箱崎道之/准教授/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/骨・軟部腫瘍

渡邊和之/学内講師/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/脊椎・脊髄

加藤欽志/助教/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/脊椎・脊髄

小林 洋/助教/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/脊椎・脊髄

佐々木信幸/助教/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/手外科・外傷

吉田勝浩/助教/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/膝関節・下肢スポーツ

富永亮司/助教/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/脊椎・脊髄

利木成広/助教/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/手外科・外傷

猪狩貴弘/助教/福島県立医科大学医学部整形外科学講座/肩関節・上肢スポーツ

(関連病院実習)

佐藤 勝彦/非常勤講師/一般財団法人大原綜合病院院長/脊椎・脊髄

堀川 哲男/客員講師/公立藤田綜合病院院長/脊椎・脊髄

鹿山 悟/客員講師/一般財団法人脳疾患研究所附属総合南東北病院整形外科部長・南東北医療クリニック副院長/脊椎・脊髄

遠藤 康二郎/客員講師/公益財団法人星綜合病院整形外科部長/リウマチ

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(心臓血管外科)【医学6】						
(英語名称)	BSL Advanced Course (Cardiovascular Surgery)						
担当責任者	横山 斉						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修/選択	選択必修	授業形態	実習

概要/方針等

5年次のBSLプライマリーコースを基礎として、さらに心臓血管外科の診療、検査、外科治療を掘り下げて学習する。心臓外科チームのスタッフの一員として、受け持ち患者を選定し、患者記録を作成し、創処置などの外科的手技、エコー検査、手術助手などの実施体験を行う。

学習目標

- 一般目標(GIO)  
問診、症候の把握、検査結果等の情報から、文献的考察を介して、適切な心臓血管外科治療について理解する。
- 行動目標(SBO)
1. 患者とのコミュニケーション、基本的診療技能(問診、身体診察)を修得する。
  2. 患者の病因と病態から外科治療法の選択ができる。
  3. 心臓脈管疾患の診断、外科治療の基本を述べるができる。
  4. 心臓脈管手術における補助手段法の仕組みについて説明できる。
  5. 心臓手術におけるチーム医療に参加する。
  6. 心臓脈管疾患の外科治療の実際の方法、術後の患者管理の基本を理解する。
  7. 基本的外科手技を行い、外科手術の介助ができる。
  8. 心臓脈管疾患のベッドサイド検査を行う。

テキスト 特に指定しない

参考書 心臓血管外科テキスト(中外医学社)、心臓外科(医学書院)

評価方法 授業の評価は出席日数、試問、レポートその他の方法により総合的に判定される。

その他(メッセージ等)

県内優良卒後研修指定病院と連携した研修病院体験型心臓血管外科アドバンスコース実習を行なう。

対象: 将来は外科を目指す可能性があり、マッチングでは県内研修病院も候補にする予定である学生。

特徴:

1. 大学病院、太田西ノ内病院、磐城共立病院、会津中央病院、星総合病院が連携
2. 手術参加型実習で、多くの手術に参加できる
3. 複数の研修指定病院で複数の専門医から実習
4. 各病院に学生用宿舎完備
5. 各病院で卒後研修責任者から説明会(希望者のみ)

選択方式と実習要項:

1. 1グループ3名まで
2. 市中病院は各期間1名となるよう学生間で調整
3. 2~4病院を選択して実習
4. 一週間前までにグループ内で研修病院を調整し、心臓血管外科学講座に連絡
5. 実習初日は大学でオリエンテーション、その後各病院へ移動
6. 実習最終日は「教授総括」

コース選択例:

あるグループの例	第1週	第2週	第3週	第4週
学生A(大学+1病院)	大学	大学	西ノ内	西ノ内
学生B(大学+2病院)	西ノ内	大学	大学	磐城
学生C(大学+3病院)	会津	磐城	星総合	大学

授業計画/担当教員等

【臨床実習計画(大学病院)】

「月曜日」

8:30~ オリエンテーション・実習病院確認連絡: 医局長

9:00～ 病棟回診(大学実習者):担当助手  
各市中病院へ移動(市中病院実習者)  
9:30～ 手術見学  
15:00～ 病棟実習(ICU):担当助手

「火曜日」

8:00～ 病棟回診:担当助手  
9:30～ 手術見学・体外循環講義:佐戸川、高瀬  
15:00～ 病棟実習:担当助手

「水曜日」

7:45～ 朝会、抄読会  
9:45～ 病棟回診:横山  
13:00～ 手術症例カンファランス(全員)

「木曜日」

8:00～ 病棟回診:担当助手  
9:30～ 手術見学(小児心臓手術)  
15:00～ 病棟実習:担当助手

「金曜日」

8:00～ 朝会、抄読会  
9:00～ 病棟回診:担当助手  
9:30～ 手術見学

【担当教員】

横山 斉	／ 教授	／ 心臓血管外科学講座
佐戸川弘之	／ 准教授	／ 心臓血管外科学講座
高瀬 信弥	／ 講師	／ 心臓血管外科学講座
若松 大樹	／ 講師	／ 心臓血管外科学講座
瀬戸 夕輝	／ 助教	／ 心臓血管外科学講座
黒澤 博之	／ 助教	／ 心臓血管外科学講座
丹治 雅博	／ 臨床教授	／ 太田西ノ内病院
渡辺 正明	／ 臨床教授	／ 会津中央病院
高橋 昌一	／ 臨床教授	／ 星総合病院
近藤 俊一	／ 臨床教授	／ 総合磐城共立病院

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(形成外科)【医学6】						
(英語名称)	BSL Advanced Course (plastic surgery)						
担当責任者	上田和毅						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修/選択	選択必修	授業形態	実習

概要/方針等	
プライマリーコースの研修項目に含まれていない分野(外来診療、マイクロサージャリーなど)を経験する。	
学習目標	
<p>一般目標(GIO)</p> <p>外来診療で形成外科の代表的な疾患を経験し、手術用顕微鏡を用いた血管吻合手技や形成外科的皮膚縫合法を修得する。</p> <p>行動目標(SBO)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 外来診療の代表的疾患の診断及び治療の手順を説明できる。</li> <li>2 形成外科的な縫合法について説明できる。</li> <li>3 外傷処置の手順を説明できる。</li> <li>4 組織移植(皮弁・植皮など)の違いを説明できる。</li> <li>5 代表的な皮弁を列挙することができる。</li> <li>6 手術用顕微鏡下に直径1mmのシリコンチューブやニワトリの血管を吻合できる。</li> </ol>	
テキスト	標準形成外科(医学書院)
参考書	<p>図説形成外科学講座(1~8巻、メジカルビュー社)</p> <p>形成外科手術書(鬼塚卓也著、南江堂)</p> <p>Plastic Surgery (Vol. 1~8、Mathes 編、Saunders)</p>
評価方法	出席日数、実習態度、実地試験により総合的に評価。
その他(メッセージ等)	終了後は顕微鏡視野下に血管吻合や神経縫合をすることができるようになるはずです。

授業計画/担当教員等		
日	項目	担当者
月曜日	皮膚縫合実習	大河内真之
	マイクロサージャリー実習	大河内真之
火曜日	外来実習	望月靖史
	マイクロサージャリー実習	望月靖史
水曜日	手術参加	斎藤昌美
	マイクロサージャリー実習	斎藤昌美
木曜日	外来実習	上田和毅
	術前術後カンファランス	上田和毅
	マイクロサージャリー実習	大河内、望月、斎藤
金曜日	手術参加	上田和毅
	マイクロサージャリー技術評価	上田和毅

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (産科婦人科)【医学6】						
(英語名称)	BSL Advanced Course (Obstetrics and Gynecology)						
担当責任者	藤森敬也						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習・講義

#### 概要／方針等

4週間(産科病棟(周産期センター)あるいは婦人科病棟)の臨床実習を通して患者と直接接触し、講義では得られなかった実技および患者との人間関係についても習得する。ただし、プライマリーコースと異なり期間中の症例は診断から治療まで担当教官の指導のもと研修医並の実践が伴う。産科学婦人科学においては、ヒトの生存・死亡に関係する診療や、生殖ならびに生命の誕生に関する重要且つ尊厳な課題を取り扱うので、プライマリーコース同様たとえ学生であっても患者の精神的ならびに身体的な影響を十分に考慮し、医の倫理に基づいた言語、服装、態度、行動が望まれる。

#### 学習目標

##### 《産科学》

###### 一般目標(GIO)

担当入院患者症例を通して、指導医の下、正常及び異常妊婦の診察、検査、治療に立ち会い、知識をより深め、実践を身につける。

###### 行動目標(SBO)

- 1 異常妊娠、異常分娩の診断と治療の基本を説明できる。
- 2 帝王切開術に第2助手として参加する。
- 3 帝王切開について説明できる。
- 4 担当患者の疾患について文献検索し、担当医の指導をうけ、症例報告(スライドプレゼンテーション)という形式で説明・討議することができる。
- 5 関連学会へ積極的に参加し、より深い知識を習得する。

##### 《婦人科学》

###### 一般目標(GIO)

担当入院患者を通して婦人科疾患の診察、検査、治療(手術)に立ち会い、系統講義で得た知識をより深める。

###### 行動目標(SBO)

- 1 開腹手術及び腹腔鏡下手術に第2助手として参加する。
- 2 代表的婦人科疾患の診断と治療の基本を説明できる。
- 3 術前・術後管理の基本を述べることができる。
- 4 担当患者のかかえる疾患について文献検索を行い、症例の問題点を述べられる。
- 5 症例報告(スライドプレゼンテーション)を行い討議することができる。

#### テキスト

参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病気がみえる vol. 9 婦人科・乳腺外科 第3版 MEDIC MEDIA 3,200円</li> <li>2. 病気がみえる vol. 10 産科 第3版 MEDIC MEDIA 3,500円</li> <li>3. Cunningham, MacDonard, Gant et al: Williams Obstetrics, 24 Edition. McGraw Hill 2014</li> <li>4. Berek &amp; Novak's Gynecology, 14th Edition, Lippincott Williams &amp; Wilkins</li> <li>5. Creasy and Resnik: Maternal-Fetal Medicine, 7th Edition W. B. Saunders.2014</li> <li>6. 日本産婦人科学会編:産婦人科研修の必修知識、2016-2018 日本産婦人科学会 10,000円</li> </ol>
-----	---

評価方法	実習への参加態度、ならびに症例報告(スライドプレゼンテーション)により総合的に評価する
------	---

その他(メッセージ等)	<p>a. オリエンテーションについて 第6学年</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1週の月曜日、午前8時10分に3階西産科病棟内にある保健指導室に集合する。</li> <li>2. 月・水・金曜日午前8時15分より保健指導室で朝会がある。遅刻厳禁、服装をあらため本などの持ち物は常識の範囲内に留める。</li> <li>3. 第1週の月曜日、3階西産科病棟内にある保健指導室にて朝会終了後当方のBSL 担当係から習得すべき内容と所属する病棟グループ、実習方法について概略を説明する。</li> <li>4. 第2週は、大学病院外実習(福島赤十字病院、寿泉堂総合病院、太田西ノ内病院、竹田総合病院、白河厚生総合病院、いわき共立総合病院)を行う。</li> </ol> <p>b. 病棟実習について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指導教官によるman to man 方式である。</li> <li>2. 実習した症例の病歴などを病棟外に持ち出すことは禁止されている。</li> <li>3. 止むを得ず欠席するときは予め必ず指導教官に連絡する。</li> <li>4. 患者の前で診断、病状、予後について不用意な発言をすることは慎み、また教官の許可なく単独で診療行為や病状説明を行ってはならない。</li> <li>5. 行ってよい手技は制限があるので、すべて指導教官が指示する。</li> </ol>
-------------	---

授業計画／担当教員等

<第1・3・4週>

【月曜日】

8:00～ 8:40／朝会  
 9:00～13:30／外来・病棟・手術  
 13:30～16:00／病棟・手術

【火曜日】

7:30～ 8:40／医局会  
 9:00～16:30／外来・病棟

【水曜日】

8:00～ 8:40／朝会  
 9:00～13:30／外来・病棟・手術  
 13:30～16:30／病棟・手術

【木曜日】

8:50～13:30／外来・病棟  
 13:30～14:30／教授回診  
 15:00～16:30／外来・病棟

【金曜日】

8:15～ 8:40／朝会  
 9:00～13:30／外来・病棟・手術  
 13:30～16:30／病棟・手術

<第2週>

希望により、下記病院にて院外実習を実施する

福島赤十字病院  
 太田西ノ内総合病院  
 寿泉堂総合病院  
 白河厚生総合病院  
 磐城共立病院  
 竹田総合病院

<症例発表会>

第4週水曜日午後3時から、パワーポイントを用いて行う

当教員一覧

教員氏名	職	所属	備考
藤森敬也	教授	福島県立医科大学医学部産科婦人科	
水沼英樹		福島県立医科大学医学部産科婦人科	ふくしま子ども女性医療支援センター長
高橋俊文	教授	福島県立医科大学医学部産科婦人科	ふくしま子ども女性医療支援センター
小宮ひろみ	准教授	福島県立医科大学医学部産科婦人科	性差医療センター
渡辺尚文	准教授	福島県立医科大学医学部産科婦人科	
菅沼亮太	講師	福島県立医科大学医学部産科婦人科	
添田 周	講師	福島県立医科大学医学部産科婦人科	
山口明子	講師	福島県立医科大学附属病院総合周産期母子医療センター	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (小児科)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	細矢光亮						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

5年次のプライマリーコースの基礎の上に、以下の点を追加する。

1. 関連施設の実習により、第一線の診療を見学し、地域医療の実際を学ぶ。
2. 指導医のもとに準主治医として患児を受け持ち、診断、管理、治療方針を立てる。
3. 指導医と共に当直し、プライマリーケアと小児救急への対応を学ぶ。
4. 文献検索法を学び、受け持ち疾患に関する最新の知見を抄読し、発表する。

学習目標

一般目標(GIO)

小児科診療を通じて成人と小児の相違点を理解し、各患者の問題点を文献的に考察し、臨床能力を修得する。

行動目標(SBOs)

- ①小児の成長・発達の特徴や養育・栄養に関する基本的な知識を説明できる。
- ②小児の病歴を適切に聴取し養育状況を正しく評価できる。
- ③個々の小児の訴えや症状について問題点を指摘し、診断や治療の計画を立てることができる。
- ④代表的な小児疾患の病態、診断、治療、予防を説明できる。
- ⑤新生児、乳児、幼児、学童の系統的な身体診察を行うことができる。
- ⑥患児およびその養育者、特に母親との間に医師としての好ましい人間関係を築くことができる。
- ⑦小児に対する基本的な診療手技を経験する。
- ⑧関連病院、医院などでの実習を通して、一般小児医療の特徴を説明することができる。
- ⑨致死性あるいは永続的障害や慢性疾患を有する患児や家族とコミュニケーションすることができる。
- ⑩症例に関して文献的考察を行い発表することができる。

テキスト	特に指定しない
参考書	
評価方法	出席日数、受け持ち患児に関する症例呈示を参考にし、実習態度を総合的に評価する。
その他(メッセージ等)	(学習上の留意事項) ・大学附属病院以外の施設での実習が多くなる。従って、集合時間を厳守する、身だしなみを整える、挨拶するといった社会人としての常識を守る。

授業計画／担当教員等

【臨床実習計画】

第1週目

<学生全員>

月曜日／8:15～オリエンテーション、カンファランス／13:30～病棟実習／16:00～夕回診

<大学病院実習>

火曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:00～病棟総回診(教授)／13:30～病棟実習／16:00～夕回診／17:00～医局抄読会

水曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:30～病棟実習／13:00～関連病院実習

木曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:30～病棟実習／13:30～病棟実習／16:00～夕回診

金曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:30～外来新患診療実習／13:30～病棟総回診(准教授)／16:00～夕回診

<関連病院実習>

火曜日～金曜日／関連病院担当教官の指示に従う。

第2週目

<大学病院実習者>

月曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:30～病棟実習／13:00～病棟実習／16:00～夕回診

火曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:00～病棟総回診(教授)／13:30～病棟実習／16:00～夕回診／17:00～医局抄読会

水曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:00～病棟外来実習／13:00～関連病院実習又は、13:30～病棟実習／16:00～夕回診

木曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:00～病棟外来実習／13:30～関連病院実習又は、13:30～病棟実習／16:00～夕回診

金曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:30～外来新患診療実習／13:30～病棟総回診(准教授)／16:00～夕回診

<関連病院実習>

月曜日～金曜日／関連病院担当教官の指示に従う。

### 第3週目

#### <大学病院実習者>

月曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:30～病棟実習／13:00～病棟実習／16:00～夕回診

火曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:00～病棟総回診(教授)／13:30～病棟実習／16:00～夕回診／17:00～医局抄読会

水曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:00～病棟外来実習／13:00～関連病院実習又は、13:30～病棟実習／16:00～夕回診

木曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:00～病棟外来実習／13:30～関連病院実習又は、13:30～病棟実習／16:00～夕回診

金曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:30～外来新患診療実習／13:30～病棟総回診(准教授)／16:00～夕回診

#### <関連病院実習>

月曜日～金曜日／関連病院担当教官の指示に従う。

### 第4週目

#### <大学病院実習者>

月曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:30～病棟実習／13:00～病棟実習／16:00～夕回診

火曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:00～病棟総回診(教授)／13:30～病棟実習／16:00～夕回診／17:00～医局抄読会

水曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:00～病棟外来実習／13:00～関連病院実習又は、13:30～病棟実習／16:00～夕回診

木曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:00～病棟外来実習／13:30～関連病院実習又は、13:30～病棟実習／16:00～夕回診

#### <関連病院実習>

月曜日～木曜日／関連病院担当教官の指示に従う。

#### <学生全員>

金曜日／8:00～朝回診、カンファランス／9:30～外来新患診療実習／13:30～病棟総回診(准教授)／16:00～夕回診

### 【担当教員一覧】

細矢 光亮・教授・小児科学講座  
川崎 幸彦・准教授・小児科学講座  
橋本 浩一・准教授・小児科学講座  
佐藤 晶論・講師・小児科学講座  
陶山 和秀・講師・小児科学講座  
加藤 朝子・助教・小児科学講座  
大原信一郎・助教・小児科学講座  
渡部 真裕・助教・小児科学講座  
青柳 良倫・助手・小児科学講座  
遠藤 起生・助手・小児科学講座  
鈴木 雄一・助手・小児科学講座  
大原 喜裕・助手・小児科学講座  
林 真理子・助手・小児科学講座  
前田 創・助手・小児科学講座  
前田 亮・助手・小児科学講座  
野寺 真樹・助手・小児科学講座  
齋藤 康・助手・小児科学講座  
浅野裕一郎・助手・小児科学講座  
佐野 秀樹・准教授・小児腫瘍内科  
望月 一弘・助教・小児腫瘍内科  
小林 正悟・助教・小児腫瘍内科  
高橋 信久・助手・小児腫瘍内科  
桃井 伸緒・教授・周産期・小児地域医療支援講座  
佐藤 真紀・講師・総合周産期母子医療センター  
郷 勇人・助教・総合周産期母子医療センター  
清水 裕美・助手・総合周産期母子医療センター  
知識 美奈・助手・総合周産期母子医療センター  
羽田謙太郎・助手・総合周産期母子医療センター  
柏原 祥曜・助手・総合周産期母子医療センター  
佐藤 賢一・助手・総合周産期母子医療センター  
鈴木 重雄・客員講師・大原総合病院  
佐久間弘子・客員講師・星総合病院  
長澤 克俊・客員講師・竹田総合病院  
村井 弘通・客員講師・白河厚生総合病院  
三友 正紀・客員講師・福島赤十字病院  
大西 周子・客員講師・公立藤田総合病院

市川 陽子・客員講師・いちかわクリニック  
磯目 正人・客員講師・いそめこどもクリニック

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスドコース (眼科)【医学6】						
(英語名称)	BSL ADVANCED COURSE - VISUAL SCIENCE						
担当責任者	石龍鉄樹						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	臨床実習

概要／方針等

プライマリーコースで習得した基礎知識の実践の場であり、クリニカルクラークシップに則った参加型実習を行う。  
また、視覚障害者の生活上のハンディキャップを知るとともに、眼科的医療の重要性を理解する。

学習目標

一般目標(GIO) :

診断から治療までの一連の眼科診療に参加し、実習を通して基本的な眼科手技を理解する。

行動目標(SBOs):

- ① 患者の訴えから、眼疾患の診断に結びつく適切な問診ができる。
- ② 初歩的な視力検査を行い、視力所見を記載できる。
- ③ 細隙灯顕微鏡を用いて角膜、前房、水晶体の異常の有無を指摘できる。
- ④ 倒像鏡を用いた眼底検査で、視神経乳頭の位置と眼底の色調が確認できる。
- ⑤ 眼底カメラで、眼底写真を撮影することができる。
- ⑥ 光干渉断層計(OCT)で黄斑浮腫、黄斑円孔、黄斑前膜の有無を指摘できる。
- ⑦ 眼科レーザー治療装置の種類と用途を学び、模擬眼で実際の照射ができる。
- ⑧ 白内障手術に必要な術前検査を列挙できる。
- ⑨ 白内障手術の基本手技を学び、豚眼を用いて手術実習を行う。
- ⑩ 指導医とともに手術に参加し、顕微鏡下手術の術野の状態を体感する。
- ⑪ 総回診の際に、簡潔で分かりやすい症例提示を行うことができる。
- ⑫ 症例検討会で、担当症例を報告(デジタルプレゼンテーション)し、質疑応答ができる。

テキスト	現代の眼科学(金原出版) 第12版
参考書	現代の眼科学(金原出版) 第12版 Clinical Ophthalmology 5th ed. Jack J. Kanski; Butterworth Heinemann
評価方法	出席日数、実習態度、症例報告、レポートにより総合的に評価する。
その他(メッセージ等)	学習上の留意事項 内科・外科学に準ずるが、患者の視機能障害の程度を十分に把握し、それに応じた対応を心がける。 4週間で代表疾患2症例の受け持ちになり、病歴聴取、カルテ閲覧、術前検査、手術の見学または助手、術後の診療を行い、患者から直接学ぶ。動物眼を用いた顕微鏡手術実習、学外施設での実習を組み入れている。細隙灯顕微鏡、検眼鏡の操作に習熟するために、担当教官と常に密接なコミュニケーションをとり、わからない所見はどんどん質問してほしい。

授業計画／担当教員等

授業計画

第1・3週	時間	実習内容(担当者)[集合場所]
月	午前 9:00	オリエンテーション(担当教官決定)[医局]・外来患者検査診察実習[外来]
	午後 16:00	細隙灯顕微鏡・眼底検査実習[外来]
火	17:00	病棟回診(担当教官)[病棟]
	午前 9:00	手術実習(担当教官)[手術室]
水	午後 13:00	手術実習(担当教官)[手術室]
	午前 9:00	総回診・患者プレゼン[病棟]・外来患者検査診察実習(担当教官)[外来]
木	午後 13:00	外来患者検査診察実習(担当教官)[外来]
	17:00	レポート作成(担当教官)[医局]
	18:00	クリニカル・カンファランス[病棟カンファランス]
金	午前 9:00	外来患者検査診察実習(担当教官)[外来]
	午後 13:00	外来患者検査診察実習(担当教官)[外来]
金	16:30	wet-lab 白内障手術実習(担当教官)[医局]
	午前 9:00	手術実習(担当教官)[手術室]

午後 13:00 手術実習(担当教官)[手術室]

第2・4週 時間 実習内容(担当者)[集合場所]

月 午前 9:00 外来患者検査診察実習(担当教官)[外来]  
午後 15:00 外来患者検査診察実習(担当教官)[外来]  
17:00 病棟回診(担当教官)[病棟]  
火 午前 9:00 手術実習(担当教官)[手術室]  
午後 13:00 手術実習(担当教官)[手術室]  
水 午前 8:00 総回診・患者プレゼン[病棟]・外来患者検査診察実習(担当教官)[外来]  
午後 13:00 外来患者検査診察実習(担当教官)[外来]  
17:00 レポート作成(担当教官)[医局]  
18:00 クリニカル・カンファランス・症例レポート発表[病棟カンファランス]  
木 午前 9:00 外来患者検査診察実習(担当教官)[外来]  
午後 13:00 外来患者検査診察実習(担当教官)[外来]  
金 午前 9:00 手術実習(担当教官)[手術室]  
午後 13:00 手術実習(担当教官)[手術室] 実習のまとめ[医局]

※4週のうち1～2日の関連病院[大原総合病院・寿泉堂総合病院・白河厚生総合病院・竹田総合病院]での実習を行うことがある。

担当教員一覧

教員氏名 職 所属

石龍鉄樹 教授 福島県立医科大学医学部眼科  
古田 実 准教授 福島県立医科大学医学部眼科  
森 隆史 講師 福島県立医科大学医学部眼科  
板垣可奈子 助手 福島県立医科大学医学部眼科  
小島 彰 学内講師 福島県立医科大学医学部眼科  
大口泰治 助教 福島県立医科大学医学部眼科  
菅野幸紀 助教 福島県立医科大学医学部眼科  
小笠原雅 助手 福島県立医科大学医学部眼科  
今泉公宏 助手 福島県立医科大学医学部眼科  
堀切紘子 助手 福島県立医科大学医学部眼科  
石橋誠一 助手 福島県立医科大学医学部眼科  
笠井暁仁 助手 福島県立医科大学医学部眼科

鈴木勝浩 臨床教授 大原総合病院  
神田尚孝 臨床教授 寿泉堂総合病院  
塩谷 浩 非常勤講師 しおや眼科  
藤原聡之 非常勤講師 いたう眼科  
佐柄英人 非常勤講師 マルイ眼科  
金子久俊 非常勤講師 ほばら眼科  
古田 歩 非常勤講師 前田眼科  
丸子一朗 非常勤講師 東京女子医科大学  
横倉俊二 非常勤講師 東北大学大学院医学系研究科眼科学分野  
伊勢重之 非常勤講師 白河厚生総合病院眼科  
菊池重幸 客員講師 保原中央クリニック  
荒木 聡 客員講師 塙厚生総合病院  
平井香織 客員講師 星総合病院  
山田文子 客員講師 保原中央クリニック  
齋藤国治 客員講師 太田西ノ内病院  
近藤剛史 客員講師 竹田総合病院

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (皮膚科)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	山本俊幸						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

皮膚科学は年々細分化されてはきているものの、皮膚に表現される症状の全てを取り扱う。そのため、皮膚病変を理解するためには、皮膚の解剖学、生理学、生化学、免疫・アレルギー学、分子生物学などの基礎医学のみならず、内科学的知識や外科学的手技を駆使した多方面からのアプローチが要求される。

BSLでは、実際の皮膚病変に直接接して考えることを目的としている。当然のことながら、患者様に接する場合は、学生気分ではなく、一社会人としての自覚を持って言葉使いや身だしなみに気をつけること。外来実習では、初診患者の病歴を聴取し、同時に皮膚病変の観察を注意深く行う。できるだけ多くの患者様から積極的に問診を取り、何時からどこにどのような病変が出現し、それがどういう経過をたどって今日まで来たか、という必要かつ確かな情報を短時間に取得する訓練をして欲しい。医療面接は、どの科においても共通して必ず役に立つ。このような訓練の場として、皮膚科でのアナムネ取りを活用して欲しい。さらに、発疹の見方や表現の仕方についても繰り返しトレーニングを行い、必要な検査法についても学習する。自分が担当した症例については、その日のうちに、教科書やカラーアトラスで復習しておくこと。病棟入院患者については、患者の受け持ちチームの一員として診療に参加し、種々の皮膚検査、軟膏処置、皮膚生検などを具体的に学び、診断に至る過程についても考察する。

以上の過程を通じて、何故この患者さんにこの皮膚症状が出てきたのかを常に考えながら診察する姿勢を身に付けて欲しい。実習を通じて皮膚科学の面白さを是非実感してもらいたい。

学習目標

一般目標(GIO)

皮膚所見から皮膚疾患の病因、病態を考え、必要な検査および治療計画を作成できる。

行動目標(SBO)

- 1 ステロイド外用療法の適応、注意点を説明できる。
- 2 創傷治癒の機序を説明できる。
- 3 炎症性皮膚疾患、アレルギー性皮膚疾患の病態を説明し、治療方法を列挙できる。
- 4 自己免疫性皮膚疾患の病態を説明し、治療方法を列挙できる。
- 5 腫瘍性皮膚疾患の発症機序を説明し、適切な治療計画を作成できる。
- 6 植皮術の方法、適応、生着機序を説明できる。
- 7 細菌性、ウイルス性皮膚疾患の病態、検査方法を説明できる。
- 8 薬疹の病態を説明できる。
- 9 膠原病の皮膚症状を説明できる。
- 10 皮膚病理の所見を解釈できる。

テキスト

参考書	池田重雄他「標準皮膚科学」医学書院 上野賢一他「小皮膚科学」金芳堂 山田瑞穂「皮膚科学考え方学び方」金原出版 Lever's Histopathology of the Skin, Lippincott-Raven 飯塚一他「New 皮膚科学」南江堂 小山秀興他「TEXT 皮膚科学」南山堂 清水 宏「あたらしい皮膚科学」中山書店
-----	---

評価方法	出席、臨床実習に入るに際しての準備の程度、実習への意欲、皮膚科学の知識で評価する。 適切な症例があれば、症例検討会での症例提示を行い、症例をまとめる能力も評価の対象とする。
------	---

その他(メッセージ等)	皮膚の構造、発疹学、発疹の記載方法について必ず復習してくること。 下記の臨床実習計画の時間は目安である。各臨床実習の開始時間は確認すること。
-------------	---

授業計画／担当教員等

〈臨床実習計画〉

月	火	水	木	金
8:00			組織デモ	
8:50	医局集合			
9:00	外来又は病棟実習	外来又は病棟実習	手術	外来又は病棟実習
13:30	病棟実習	病棟実習	手術	外来手術又はレーザー
15:00	外来実習	講義		教授総回診

17:30

外来カンファランス 病棟カンファランス

木曜日は第4学年の系統講義があれば講義に出席。  
金曜日は1週目:外来手術、2週目:総括  
クルスズあり。医局内勉強会にも積極的に参加のこと。

〈担当教員〉

教授 山本俊幸  
准教授 大塚幹夫  
講師 佐藤正隆  
助教 加藤保信  
助教 花見由華  
助手 菊池信之  
助手 平岩朋子

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(泌尿器科)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	小島祥敬						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修/選択	選択必修	授業形態	実習

#### 概要/方針等

5年次のBSLプライマリーコースで学習した基礎を発展させ、数名の受持ち症例の泌尿器疾患について、主治医とともに最新の診断・治療情報を収集し、医療の実践を学ぶ。

#### 学習目標

##### 一般目標(GIO)

受け持ち入院患者との良好な関係を構築しつつ、基本的臨床手技を修得し、診断・治療に至る臨床経過を理解する。

##### 行動目標(SBO)

- 1 病歴と身体所見から、必要な検査をあげることができる。
- 2 泌尿器科レントゲン検査の介助ができる。
- 3 泌尿器科レントゲン検査の結果を説明できる。
- 4 静脈採血、血管確保ができる。
- 5 尿道カテーテルの挿入と抜去ができる。
- 6 縫合、抜糸、創の消毒やガーゼ交換ができる。
- 7 担当患者に関する文献をPubMed及び医中誌で検索できる。
- 8 担当医と診断、治療について討議する。
- 9 泌尿器科手術を経験する。

##### テキスト

特に指定しない

##### 参考書

標準泌尿器科学(医学書院)  
ベッドサイド泌尿器科学(南江堂)  
Campbell's Urology(Saunders)

##### 評価方法

実習の評価:出席日数等により総合的に判定

##### その他(メッセージ等)

#### 授業計画/担当教員等

病棟はグループ診療体制を敷いており、学生は各グループへ1~2名配属される。朝8時30分の病棟カンファレンスルームでの朝会から始まり、各グループ主治医と行動をともにし学習する。また、担当教官が関連病院で手術がある場合、同伴し手術見学を行う。動物を使つてのロボット手術、腹腔鏡手術実習や関連病院での短期間の実習を行う(選択性)。

##### 【担当教員一覧】

小島 祥敬 教授 福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座  
相川 健 准 教授 福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座  
石橋 啓 准 教授 福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座  
羽賀 宣博 講師 福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座  
小川総一郎 助教 福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座  
片岡 政雄 助教 福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座  
赤井畑秀則 助手 福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座  
佐藤 雄一 助手 福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座  
秦 淳也 助手 福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座  
村上 房夫 臨床教授 太田西ノ内病院泌尿器科  
深谷 保男 臨床教授 総合南東北病院泌尿器科  
嘉村 康邦 臨床教授 四谷メディカルキューブ  
村木 修 客員講師 公立藤田総合病院泌尿器科

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (耳鼻咽喉科)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	室野 重之						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択	授業形態	実習

概要／方針等

病棟グループに属し、入院患者の診察を学習するとともに外来における新患、再来患者の診療見学、さらに関連病院において一般病院での耳鼻咽喉科診療を経験し、幅広い耳鼻咽喉科疾患診療の理解をめざす。  
4週コースを基本としますが、2週コースの選択も可能です。

学習目標

- 一般目標(GIO)  
耳鼻咽喉・頭頸部外科学領域の疾患の診断と治療を理解するとともに基本的臨床手技を修得する。
- 行動目標(SBO)
- 1 患者の訴えから疾患の鑑別に結びつく問診ができる。
  - 2 拡大耳鏡を正しく使用することができる。
  - 3 内視鏡(ファイバースコープ)を正しく使用することができる。
  - 4 額帯鏡を正しく使用することができる。
  - 5 聴力検査・音声機能検査の結果を説明できる。
  - 6 頭頸部の画像診断で主要な臓器を識別できる。
  - 7 指導医とともに手術に参加し、手術の基本手技を体験する。
  - 8 シミュレーターを用いた気管切開を経験する。
  - 9 症例報告のプレゼンテーションを行うことができる。

テキスト

下記参考書など

- 参考書
- 新耳鼻咽喉科学 切替一郎原著 野村恭也編著 南山堂 税別 ¥ 16,000
  - イラスト耳鼻咽喉科 森満 保著 光文堂 税別 ¥ 4,900
  - MINOR TEXTBOOK 耳鼻咽喉科学 久保 武他著 金芳堂 税別 ¥ 4,000
  - NEW 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 喜多村 健、森山 寛編集 南江堂 税別 ¥ 6,500

- 評価方法
1. 6年次後期: 卒業試験として客観的試験
  2. 評価は出席日数、実習態度、レポート、試験その他の方法により総合的に判定される。

- その他(メッセージ等)
- \* モーニングカンファレンスは8時20分から附属病院5階東病棟カンファレンス室で開始します。初日はモーニングカンファレンスへ集合してください。
  - \* 学生1名に対し担当医を1名決定し、man to man の指導を行います。担当医は第1週月曜日のモーニングカンファレンス時に紹介します。
  - \* 学外関連病院実習も可能です。
  - \* 先端的医学研究(がん・再生医療など)の見学・参加を受付けています。

授業計画／担当教員等

【週間スケジュール】

- 月曜日 午前 手術実習・病棟実習・外来実習(腫瘍外来)  
午後 手術実習・病棟実習
- 火曜日 午前 外来実習(腫瘍外来、鼻・副鼻腔外来)  
午後 病棟実習・抄読会
- 水曜日 午前 手術実習・外来実習(中耳外来)  
午後 手術実習
- 木曜日 午前 総回診・外来診察(難聴外来、音声外来、嚥下外来)  
午後 病棟実習  
ケースカンファレンス  
病棟カンファレンス
- 金曜日 午前 手術実習・病棟実習  
午後 手術実習・外来実習(無呼吸外来)

**【学外実習】**

4週コースでは、実習の第2週もしくは第3週に大原総合病院や太田西ノ内病院の実習を1週間行うこともできます。寿泉堂総合病院も対応可能です。また、実習中に1日は開業医(むつみクリニック、まるべりー耳鼻科、西條医院)での見学も可能です。

2週コースでは、他病院での実習は1～2日程度を予定しています。

他施設での実習は、学生の希望も考慮し、流動的に対処します。

**【主な担当教員】**

室野 重之 教授 耳鼻咽喉科学講座  
小川 洋 教授 会津医療センター耳鼻咽喉科学講座  
松塚 崇 准教授 耳鼻咽喉科学講座  
多田 靖宏 准教授 耳鼻咽喉科学講座  
横山 秀二 准教授 会津医療センター耳鼻咽喉科学講座  
鈴木 政博 講師 耳鼻咽喉科学講座  
野本 美香 講師 耳鼻咽喉科学講座  
今泉 光雅 講師 耳鼻咽喉科学講座

鹿野 真人 非常勤講師 大原総合病院耳鼻咽喉科  
高取 隆 客員講師 大原総合病院耳鼻咽喉科  
佐藤 和則 客員講師 太田西ノ内病院耳鼻咽喉科  
山辺 習 客員講師 寿泉堂総合病院耳鼻咽喉科  
渡邊 睦 客員講師 むつみ脳神経耳鼻科クリニック  
桑畑 直史 客員講師 まるべりー耳鼻科  
西條 博之 客員講師 西條耳鼻咽喉科医院

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (心身医療科)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	矢部 博興						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

精神医学はことに精神面を対象とする医学の一部門である。したがって、他の医学の諸領域のように身体面を直接の対象にはしないが、ヒトの精神現象は身体の一部としての脳の機能の産物であり、精神医学には精神現象の基盤となる脳的・身体的な側面も取り扱うので、特に神経学の面を強調して神経精神医学と標榜している。この点が理解されるように授業を行う。また同時に、身体面を主に扱う医学の他の領域においても患者の精神面を重要視し、効果的に治療をすすめることができるようにする必要のあることを強調し、精神医学と医学の他の領域のかけ橋であるリエゾン精神医学を身につけた医師を養成することを方針の一つとする。さらに精神現象はヒトが社会生活をする中で現れる現象であるから、精神現象の精神力動的・社会学的な理解を学ぶことも重視する。それには精神保健・社会精神医学が含まれる。以上の方針から、神経精神医学で具体的には次のような専門分野の講義と実習を行う。すなわち、異常心理学、臨床精神医学、生物学的精神医学(遺伝学、精神薬理学、臨床神経生理学などを含む)、神経学(神経心理学、神経病理学などを含む)、児童青年期精神医学、老年期精神医学、心身医学などである。精神保健・社会精神医学を学ぶために、ケアセンター「なごみ」、あさかホスピタル、東北病院の見学実習も行う。

学習目標

- 一般目標(GIO)
- 心身医療科(精神科)領域の疾患の診断と治療に必要なスキルを身につけ、多様な治療場面におけるスキル活用の実感を体験的に学ぶ。
- 行動目標(SBO)
- (1) 入院患者1名を受け持ち、医療面接を行い精神症状を把握できる。
  - (2) 外来初診患者のインテーク面接を行って、カルテを作成できる。
  - (3) 聴取した患者の診療情報を適切に本診医にプレゼンテーションできる。
  - (4) 心身医療科のデイケア治療場面に参加しレポートを作成できる。
  - (5) 相馬市心のケアセンター「なごみ」のケアの実際に参加しレポートを作成できる。
  - (6) あさかホスピタルの治療場面に参加しレポートを作成できる。
  - (7) 東北病院の就労継続支援事業に実際に参加しレポートを作成できる。

テキスト	上島国利、丹羽真一 大熊輝雄著 西丸四方ら カブラン デビソン、ニール	NEW 精神医学 現代臨床精神医学 改訂第9版 精神医学入門 臨床精神医学テキスト(井上、四宮監訳) 異常心理学(村瀬監訳)	南江堂 金原出版 南山堂 医学書院MYW 誠信書房
------	---	--	---------------------------------------

参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 村上 仁、満田久敏、大橋博司監修、精神医学 医学書院</li> <li>2. 新福尚武、島藺安雄編、精神医学書上・下 金原出版 1984</li> <li>3. Mayer-Gross, Clinical Psychiatry, Cassell and Company Ltd, London. 1960</li> <li>4. American Psychiatric Association, Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders (Fourth Edition-Revised), Washington, D. C., 1994</li> <li>5. 大熊輝雄、臨床脳波学 改訂第5版 医学書院 1999</li> <li>6. 平山恵造、臨床神経内科学 南山堂 1991</li> <li>7. J. Laidlaw and A. Richens(畠中 坦、中川泰杉訳)、てんかん 西村書店 1992</li> </ol>
-----	---

評価方法 卒業試験、スモールグループ実習、実習レポートおよび出欠状況を総合し評価する

その他(メッセージ等)

学習上の参考事項

スモールグループ実習では、特に毎朝9:00病棟での朝礼に遅刻しないように出席すること。この朝礼では病棟の患者の病態の申しおくり、前日の外来新患の紹介、病棟の回診が行われるので大切である。

月曜の総回診は正当な理由なく欠席すると、卒業資格が得られない。また、月曜日午後5時からの抄読会・症例検討会にも全員出席することを原則としている。

授業計画／担当教員等

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (放射線科)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	伊藤 浩						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

BSLアドバンスコースの実習は、放射線科の一員として、患者に対する接し方を含めた診療全般についての知識、態度、習慣、技能を習得して欲しい。また、画像診断に関する論文を精読し、まとめで発表する機会を設けているので、経験を積んで欲しい。更に、関連病院での実習も組み込んでおり、県内の放射線科診療の実情を学習する機会を設けている。

学習目標

学習目標

一般目標

医療スタッフとともに、CT、MRI、核医学などの画像診断、インターベンショナルラジオロジー(IVR)、核医学治療などの診療行為に参加し、診療のために必要な、知識、態度、習慣、技能を習得する。

行動目標

- 1 診療グループに参加して、主治医とともに医療面接、身体診察を行い、必要な検査計画を立案する能力を身につける。
- 2 画像診断をはじめとする検査結果をまとめて、治療方針を考え、その結果を発表することができるような能力を習得する。
- 3 疾患に関する論文を読み、疾患に関する理解を深める能力を習得する。
- 4 放射線医学に関する診療を理解し、説明できる。

テキスト	標準放射線医学(第7版) 医学書院 画像診断コンパクトナビ(第4版) 医学教育出版社 画像解剖コンパクトナビ 医学教育出版社
参考書	
評価方法	実習の最終週に、15分程度の時間で画像診断に関する論文についてのレポートの報告をしていただく。その内容を含めて総合的に評価する。  放射線医学の最終評価について (1)第4学年講義終了時の試験 (2)第6学年の卒業試験 (3)BSLプライマリコース時の成績 (4)授業出席数、BSLプライマリコース出席数 以上の結果をもとに総合的に評価する。
その他(メッセージ等)	医療スタッフの一員として実習を行うことになるので知識面のみでなく、患者に接する態度、技能などの習得も重要であることを認識して実習に臨んで欲しい。

授業計画／担当教員等

実習計画

- 第1週: CT、MRI、核医学等の画像診断実習。画像診断に関する論文の精読。  
第2週: 関連病院における画像診断実習。画像診断に関する論文の精読。  
第3週: CT、MRI、核医学等の画像診断実習。画像診断に関する論文についてのレポートの作成。  
第4週: CT、MRI、核医学等の画像診断実習。レポートの発表。

担当教員一覧(6年生:BSLアドバンスコース)

教員氏名	職	所属	備考
伊藤 浩	教授	放射線科	先端臨床研究センター兼務
織内 昇	教授	核医学科	先端臨床研究センター兼務
久保 均	教授	放射線科	先端臨床研究センター兼務
石井 士朗	准教授	放射線科	
橋本 直人	講師	放射線科	
長谷川 靖	助手	放射線科	

宮嶋 正之	助手	放射線科
関野 啓史	助手	放射線科
黒岩 大地	助手	放射線科
森谷 浩史	臨床教授	大原総合病院 放射線科
今井 茂樹	臨床教授	総合南東北病院 放射線科
浦部 真平	臨床教授	白河厚生総合病院 放射線科

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (放射線治療科)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	鈴木 義行						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

BSLアドバンスコースの実習は、放射線治療科の教官とともにがん患者さんの診療に参加し、がん患者さんに対する接し方から、がん病態の理解と治療法の選択、放射線治療の実際まで、医師としての度・言動から放射線腫瘍学全般に関する知識について習得していただきます。また、世界でも最先端の治療施設を併設する群馬大学(重粒子線治療、など)や総合南東北病院(ホウ素中性子捕捉療法、陽子線治療、など)での実習も組み込んでおり、未来の放射線治療についても経験できるようにしています。

学習目標

<一般目標>

教官とともに放射線治療の診療行為に参加し、診療のために必要な知識や態度・等について習得する。

<行動目標>

- 1 がん患者・家族の心情を理解するように努める
- 2 放射線治療担当医とともに診療に参加し、必要な検査計画・治療計画を立案する
- 3 担当した疾患について、その病態を理解し、治療方針とその理由について説明する

テキスト

参考書	がん・放射線療法 2017 (学研メディカル秀潤社) 放射線治療計画ガイドライン 2016年版 (金原出版)
評価方法	実習の最終週に、症例報告をしていただく。その内容と、コース期間中の活動を総合的に検討し評価する。
その他(メッセージ等)	対象が“がん患者”なので、言動には注意してください。また、スタッフの一員として医療に参加していただきますので、社会人として恥ずかしくない身だしなみ・行動を心がけてください。

授業計画／担当教員等

<実習計画>

毎週1～2人の患者を受け持ち、放射線治療担当医とともに診察を行う。  
初診の患者であれば、必要な検査計画および放射線治療計画を立案し、治療開始までの一連の準備を行う。  
治療中の患者であれば、適宜、放射線治療による腫瘍・正常組織の反応について診察する。  
最終週には、担当した患者のうち1～2名について、症例の治療経過とその疾患に対する治療法についてまとめ、発表する。  
なお、希望により、4週間のうち数日間、群馬大学／群馬大学重粒子線医学センター、総合南東北病院／南東北がん陽子線治療センターで実習を行う。

<担当教員>

鈴木 義行 教授 放射線治療科  
田巻 倫明 准教授 放射線治療科  
佐藤 久志 助教 放射線治療科  
湯川 亜美 助手 放射線治療科  
海老 潤子 助教 放射線治療科  
中島 大 助手 放射線治療科

菊池 泰裕 臨床教授 総合南東北病院／南東北がん陽子線治療センター 科長／センター長  
中村 達也 臨床教授 総合南東北病院／南東北がん陽子線治療センター 科長／副センター長  
斎藤 淳一 非常勤講師 群馬大学大学院医学系研究科 腫瘍放射線学／重粒子線医学研究センター 准教授  
若月 優 非常勤講師 自治医科大学放射線治療科 教授  
吉田 大作 客員講師 佐久総合病院 佐久医療センター 放射線治療科 部長

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (麻酔科)【医学6】						
(英語名称)	BSL Advanced Course (Anesthesiology)						
担当責任者	村川 雅洋						
開講年次	第6学年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

5年次におけるプライマリーコースの基礎の上に、麻酔、集中治療、ペインクリニック、緩和医療のそれぞれの分野に特色のある下記の施設で実習を行い、実践的な知識、技能、態度を身につける。

実習施設(7施設の中から、1と希望によって2～7の2施設までを選択する。1以外の施設は1週ずつとする。)

1. 本学附属病院／麻酔、集中治療、ペインクリニック、緩和医療
2. 大原総合病院／麻酔
3. 福島赤十字病院／麻酔、緩和医療
4. 太田西ノ内病院／麻酔、集中治療
5. 総合南東北病院／麻酔、集中治療
6. 磐城共立病院／麻酔
7. 星総合病院／麻酔、集中治療

学習目標

一般目標

手術侵襲や各種痛み疾患ならびに急性臓器機能不全に対応できる知識・技能を身につけるため、麻酔科診療・集中治療・緩和医療の現場を経験し、理解する。

行動目標

1. 吸入麻酔薬、静脈麻酔薬、筋弛緩薬の基本的な投与法を説明できる。
2. 気管挿管を経験する。
3. 硬膜外・脊髄くも膜下麻酔法の利点・欠点を説明できる。
4. 麻酔におけるチーム医療に参加する。
5. 術後鎮痛における硬膜外持続注入とオピオイドの持続静注法について説明できる。
6. 帯状疱疹、三叉神経痛の鑑別診断を列挙できる。
7. がん性痛に対する適切な鎮痛薬を選択できる。
8. 人工呼吸器の基本的な使用法を説明できる。
9. 患者の状態に合わせた輸液を選択できる。
10. 症例検討会に参加する。

テキスト

特に指定しない。

参考書

1. 「Basics of Anesthesia, 6th ed」(2011) eds. Miller RD & Pardo M. Saunders.
2. 「麻酔ポケットマニュアル」(2016) 中尾慎一編、中山書店
3. 「わかりやすい麻酔科学 基礎と実践」(2014) 中尾慎一編、中山書店
4. 「麻酔への知的アプローチ 第9版」(2015) 稲田英一著、日本医事新報社
5. 「新たな全人的ケア 医療と教育のパラダイムシフト」(2016) Hutchinson TA著、恒藤暁訳 青海社

評価方法

症例レポートの発表を行い、ポートフォリオ、出席・実習態度等を含め、総合的に評価する。

その他(メッセージ等)

1. 医療スタッフとともに積極的にチーム医療に加わる。
2. 主体的な思考に基づき知識・技術を取得することを目指す。
3. 麻酔・集中治療中の患者は常に生命の危機に瀕しているといっても過言ではない。また、術前・術後の診療及びペインクリニックにおいては、患者の精神的なケアも重要である。したがって、患者・家族に接する場合は、必ず担当教官の許可を得て、教官の指導のもとに実習を行う。
4. 患者および付き添い者への態度や言葉遣いには細心の注意をはらう。
5. 限られた期間内で経験できなかった病態、疾患については、自主的勉学を行い習得を目指す。
6. 通常、全集の金曜日に各自のローテーション予定を配布し、オリエンテーションを行う。

授業計画／担当教員等

本学附属病院

- 毎朝 7時55分～ 術後、集中治療症例報告、術前症例検討  
 8時45分～ 麻酔実習／黒澤 伸、五十洲 剛、小原伸樹、他  
 集中治療実習／箱崎貴大、他  
 ペインクリニック実習／小幡英章、他

緩和医療実習／佐藤 薫、橋本孝太郎(ふくしま在宅緩和ケアクリニック)

大原総合病院／田中 洋一

福島赤十字病院／出羽 明子

太田西ノ内病院／熊田 芳文

総合南東北病院／管 桂一

磐城共立病院／赤津 賢彦

星総合病院／武藤ひろみ

実習予定は各施設によって異なる

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(救急科)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	島田 二郎						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

BSLアドバンスコースでは実際の初期救急処置の習得を目的とする。AHAの推奨するAdvanced Cardiac Life Support(ACLS)コースを導入し、緊急的循環管理、心停止患者に対する治療法をACLSコースのシミュレーションに基づき実習する。また、外傷患者に対して迅速かつ適切に対応できるようにJapan Advanced Trauma Evaluation and Care(JATEC)に準じたコースを導入し、終日の実習を行い習得する。さらに救命救急センターにおいて救急患者と直接接しながら、臨床実習を行う。また、地域における救急医療体制やMedical Controlを理解する。さらに、講義および訓練等に参加し、我が国の災害医療体制(災害拠点病院、DMAT)について理解を深める。

学習目標

『救急概論・重症救急疾患』

一般目標(GIO)

救急患者への対応を理解し、緊急度の高い疾患の病態、診断および治療に習熟する。

行動目標(SBO)

- 1 救急患者の初期病態を判断できる。
- 2 救急患者の初期治療を介助できる。
- 3 救急患者の緊急度および重症度を説明できる。
- 4 外傷の処置を介助できる。
- 5 心停止患者に対し、リーダーとしてACLSを実施できる。
- 6 外傷患者に対し、リーダーとしてJATECを実施できる。
- 7 救急疾患に対し、超音波検査による緊急性の高い疾患の初期診断ができる。
- 8 救急医療体制(ドクターヘリを含む)Medical Controlを説明できる。
- 9 災害医療体制(災害拠点病院 DMAT)を理解し説明できる

テキスト

特に指定しない。

参考書

日本救急医学会監修:標準救急医学 医学書院  
改定外傷初期診療ガイドライン へるす出版  
AHA心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン2010  
DMAT標準テキスト 日本集団災害医学会

評価方法

実習の評価:出席日数、口頭試問含め、総合的に評価する。

その他(メッセージ等)

学習上の留意事項

1. 学習者が主体的な思考に基づき知識・技術を習得することを原則とする。
2. ACLS、JATEC については自習により基礎知識を得、実習を通して迅速かつ適切な判断・治療能力を習得する。
3. 医療スタッフとともに積極的に治療チームに加わり、学習者として最大限現場体験を積むこと。
4. 夕方・夜間でも積極的に実習に参加し、臨床実習の成果をあげる。

授業計画／担当教員等

【担当教員】

塚田 泰彦  
大野 雄康  
鈴木 剛  
反町光太郎  
伊関 憲(地域救急医療支援講座)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (歯科口腔外科)【医学6】						
(英語名称)	BSL Advanced Course(Dentistry and oral surgery)						
担当責任者	長谷川博,菅野寿,金子哲治,佐久間知子						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	講義・実習

概要／方針等

5年次のプライマリーコースを基礎にして追加、発展させる。歯科口腔外科の外来患者、入院患者の診療の見学・介助により実践面の知識、技術を経験・修得し、口腔疾患に興味を持って対応できるようにする。

学習目標

一般目標(GIO)

顎口腔ならびに隣接組織における疾患の診断と治療法について理解する。

行動目標(SBO)

- ① 学生同士で実習を行い、顎口腔の診察法、頸部の触診を習得する。
- ② 頭頸部領域の画像読影ができる。
- ③ 外来診察の見学や、小手術の介助を体験する。
- ④ 歯科的な治療法を説明できる。
- ⑤ 手術見学により口腔外科を経験し、手術内容を説明できる。
- ⑥ 口腔ケアを実施できる。
- ⑦ 顎模型実習により、顎骨骨折の整復法、顎間固定法を習得できる。

テキスト

参考書

評価方法

授業の評価は平常点、レポート、試験その他の方法により総合的に判定される。

その他(メッセージ等)

学習上の留意事項

1. 歯科口腔外科は、1週間コースで履修する。
2. 9時歯科口腔外科医局集合(時間厳守)。

授業計画／担当教員等

月曜日	オリエンテーション 講義 1、口腔、頭頸部解剖 2、画像診断 3、口腔粘膜疾患、腫瘍 4、口腔ケア理論 など 実習 外来手術見学
火曜日	講義 1、歯牙解剖 2、口腔、歯牙の診察法 3、歯科一般、歯性感染症など 実習 外来手術見学
水曜日	講義 1、咀嚼嚥下の生理 2、画像診断 など 実習 外来手術見学
木曜日	大原総合病院 口腔外科手術見学
金曜日	手術見学 講義 1、先天疾患 口唇口蓋裂 2、顎変形症 3、口腔疾患の全身への影響 など 学生実習 歯科用レントゲンの撮影法と読影

印象採得と石膏模型製作  
歯周検査 口腔ケア実際、スケーリング

長谷川博准教授 歯科口腔外科部長  
菅野寿 助手 歯科口腔外科  
佐久間知子助教 歯科口腔外科

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(感染制御部)【医学6】						
(英語名称)	Infection Control						
担当責任者	教授 金光敬二						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修/選択	選択必修	授業形態	実習・講義

概要/方針等

学習目標

- 一般目標(GIO)
- ・ 感染制御学と臨床検査医学の実用的な知識を習得する。
- 行動目標(SBOs)
- ・ 尿検査(尿定性、尿渣)の実際について説明できる。
  - ・ 血液検査の実際について説明できる。
  - ・ 微生物検査(グラム染色)の実際について説明できる。
  - ・ 生理検査の実際について説明できる。
  - ・ 種々の感染症の予防について説明できる。
  - ・ 抗菌薬適正使用の概念について説明できる。

テキスト	特に指定しない
参考書	要望があれば紹介する
評価方法	出席日数、学習態度等により総合的に評価する。
その他(メッセージ等)	

授業計画/担当教員等

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(検査部)【医学6】						
(英語名称)	BSL Advanced course (Clinical Laboratory Medicine)						
担当責任者	志村 浩己						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

**概要／方針等**

臨床検査医学プライマリーコースおよび5年次一年間の他診療科・部の実習を踏まえ、医療における臨床検査の位置づけを再確認する。アドバンスコースでは実際の患者検体をより多く観察することに重点を置き、結果を判定する知識を深め、さらに単一の検査のみならず複数の検査結果を統合して病態を判断する能力を養うことを目標とする。また、学生自身が生理検査の被検者への検査を体験することや、静脈採血の注意点を理解することにより、日常的な検査について患者に配慮した説明・実施へ生かす。

**学習目標**

**【一般目標】**

臨床検査における生体検査や検体採取を安全に行う方法を理解するとともに、得られた異常所見をもとに他の臨床検査結果も参照して疾患の診断、病態を判断する能力を修得する。

**【行動目標】**

- 1 静脈採血時に注意すべき合併症を列挙できる
- 2 採血に適切な血管を選択し静脈採血を実施できる
- 3 採血管の種類とその特徴を説明できる
- 4 尿検査の異常所見から疾患や病態を推測できる
- 5 血液塗抹標本の異常所見から疾患や病態を推測できる
- 6 各微生物学検査を利用して検出菌を同定し、病因菌に対する治療薬選択に関係づけることができる
- 7 実際の患者に対して心電図検査を実施できる
- 8 生理検査を利用して動脈硬化を評価できる

**テキスト**

特に指定しない

**参考書**

標準臨床検査医学 医学書院  
 臨床検査法提要 金原出版株式会社  
 臨床検査ガイド 文光堂  
 異常値の出るメカニズム 医学書院  
 Reversed C.P.C.による臨床検査データ読み方トレーニング 日本医事新報社  
 臨床検査学講座 微生物学/臨床微生物学 医歯薬出版株式会社

**評価方法**

出席日数、学習態度、レポートなどにより総合的に評価する。

**その他(メッセージ等)**

**授業計画／担当教員等**

**【実習計画】** 実際の実施計画はこれと異なる場合があり、BSL開始時にスケジュール表を配布する。

- (月) 午前 臨床検査総論、採血講義  
 午後 採血実技、生理機能検査実習(呼吸機能検査・心電図・CAVI)
- (火) 午前 ホルター心電図装着実習、心電図検査実技(患者様への検査実施)  
 午後 尿定性:尿沈渣・異常所見検体の検鏡とデータ解説、ウイルス性肝炎・アレルギー検査講義
- (水) 午前 自習(レポート作成)  
 午後 末梢血・骨髓標本作製、血液疾患患者の血液像および骨髓像鏡顕、グラム陰性桿菌微生物検査
- (木) 午前 微生物検査結果判定  
 午後 レポート提出、課題発表、ディスカッション

**【担当教員】**

志村 浩己、伊藤 祐子

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(病理診断科)【医学6】						
(英語名称)	BSL Advanced course						
担当責任者	橋本 優子、田崎 和洋						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

BSL プライマリーコースでは、病理検査業務の実習を通して病理診断学の重要性および診断のプロセスについて学ぶが、アドバンスコースでは、剖検例による臨床病理検討会(CPC)ならびに実地に即した数多くの症例検討を行うことにより、病理診断学の方法論についての理解を深めることを目的とする。

学習目標

一般目標(GIO)

剖検例を含む数多くの症例の病理学的検討を行い、最終的な病理診断や剖検の実際を理解する。

行動目標(SBO)

- 1 特殊染色法、免疫組織化学法、電子顕微鏡学的検索法の原理および意義を説明できる。
- 2 癌取り扱い規約に基づいた手術標本の所見の把握、簡単な切り出しを行うことができる。
- 3 生検ならびに手術標本の組織学的所見を列記し、病理診断書を作成することができる。
- 4 手術材料の肉眼所見、組織学的所見をもとに、癌取り扱い規約に即した記載ができる。
- 5 病理解剖に介助者として参加する。
- 6 剖検所見の把握ならびに病態や死因についての考察ができる。
- 7 学外実習に積極的に参加する。
- 8 基幹病院の現場における病理診断の実際とその役割を説明できる。
- 9 臨床病理学的事項をまとめ、文献的資料をもとに患者の病態を総合的に考察・説明することができる。

テキスト

参考書

評価方法

出席日数、学習態度および発表等を含め総合的に評価する。

その他(メッセージ等)

1. 電子カルテ、生検および剖検から知り得た患者の情報は守秘する義務がある。
2. 問題解決型学習を目標としているので、主体的な思考と積極的な学習態度が必要である。

授業計画／担当教員等

--

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(輸血・移植免疫部)【医学6】						
(英語名称)	BSL Advanced Blood Transfusion and Transplantation Immunology						
担当責任者	大戸 斉						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

#### 概要／方針等

臨床医学としての輸血医学、移植免疫学の役割を理解して、深い洞察に基づく科学的医療理論を養う。

#### 学習目標

##### 一般目標 (GIO)

Understand technical and clinical decision-making aspects of blood transfusion and transplantation immunology.

輸血や移植治療の適応やこれに伴う免疫学のおよび臨床工学的側面を理解する。

##### 行動目標 (SBO)

- (1) Emulate medical staff caring for autologous blood donors.  
自己血ドナーの血液採取の介助ができる。
- (2) Properly use equipment and supplies related to blood collection and testing.  
採血と検査に必要な器材を正しく扱うことができる。
- (3) Explain the cause, detection, and consideration given to unexpected antibodies.  
不規則抗体の産生要因、検出法や輸血・妊娠において考慮すべき事項を説明できる。
- (4) Describe serologic and genetic testing in regard to organ transplantation.  
臓器移植に関する血清学的、遺伝子学的組織適合性検査を説明できる。
- (5) Explain the technology of apheresis blood component collection.  
成分採血法 (アフエレーシス) について説明できる。
- (6) Describe how to collect and handle hematopoietic progenitor cells.  
造血幹細胞の採取法とその取扱いについて説明できる。
- (7) Specify why, if, and how blood transfusion alternatives can be used.  
輸血代替療法の適応と方法を述べるができる。
- (8) Read and understand an English-language journal article, and present it to department members in their journal club meeting.  
英文の専門雑誌を読み、秒読会で発表できる。

##### テキスト

特に指定しない。

##### 参考書

輸血学 (改訂第3版) (中外医学社) 遠山博、大戸斉編著  
よくわかる輸血学 (改訂版) (羊土社) 大久保光夫、前田平生

##### 評価方法

受講の態度、レポートなどにより総合的に判定される。

##### その他(メッセージ等)

- 学習上の留意事項
1. 科学的思考、証拠と論理性を基本とした学習法を身につける。
  2. 自主的な学習態度により、未知なこと、理解できないことは放置せず、質問や文献検索で解決する。

#### 授業計画／担当教員等

##### 授業計画

第1週 月・火曜日

〔自己血採血と説明・見学〕

水・木・金曜日

〔患者とドナーからの検査採血の実際・アフエレーシス操作見学・造血細胞処理見学〕

第2週 月・火・水曜日

〔患者とドナーからの検査採血の実際・アフエレーシスキット装着、操作・造血細胞処理見学、造血幹細胞アッセイ・自己血採血の実際〕

木・金曜日

〔HLAタイピング、ゲノタイピング・HPAタイピング〕

##### 担当教員

大戸、Nollet、池田、鈴木

キーワード

自己血、検査、アフエレーシス、採血

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (リハビリテーション科)【医学6】					
(英語名称)						
担当責任者	大井直往					
開講年次		開講学期		必修／選択		授業形態

#### 概要／方針等

この実習は、リハビリテーション科の一番の特徴である、疾患よりも障害を評価し、患者が障害を持ちながらも、もともと暮らしていた場所で生活し活動していくことに、医師を含めたリハビリテーションチームが関わることを具体的に知ってもらう目的で行う。

#### 学習目標

##### 一般目標

どの専門科に行っても臨床医としてリハビリテーション医療を視野に入れた診療ができるために、リハビリテーションが必要となる疾患の知識を修得し、障害を診るための検査や運動のリスク管理を施行し、リハビリテーションチームの一員としての医師の役割を理解することができる。

##### 行動目標

1. 国際障害分類(ICF)を理解し、障害を持った人の生き方を把握することができる。
2. 基本的ADL、手段的ADLについて理解し、それぞれの患者が生活する上で必要な活動を考えることができる。
3. 脳卒中中の患者の病歴や環境因子や個人因子の情報を収集することができる。
4. 脳卒中中の患者を診察し、障害を評価することができる。
5. 脳卒中中の患者の生活情報と残存する障害から必要なリハビリテーションを組み立てることができる。
6. 運動器疾患患者の医療面接、診察、治療内容の組み立てができる。
7. 運動器疾患に対するリハビリテーションを考えることができる。
8. 心臓リハビリテーションを行う上で必要なリスク管理が理解できる。
9. 呼吸器リハビリテーションを行う上で必要なリスク管理が理解できる。
10. がん患者リハビリテーションの効果が理解できる。
11. 発達障害の小児の診察ができる。
12. 障害者スポーツを知り、ボランティアとして参加できる。
13. リハビリテーションチームの一員としての医師の役割を知ることができる。

#### テキスト

福島県立医大リハビリテーション科実習マニュアル

#### 参考書

入門リハビリテーション医学 第3版 中村隆一監修 医歯薬出版  
 障害と活動の測定・評価ハンドブック 改訂第2版 岩谷力・飛松好子監修 南光堂  
 運動障害のリハビリテーション 岩谷力・佐直信彦・飛松好子監修 南光堂

#### 評価方法

担当教官による採点と口頭試問により総合的に評価する。

#### その他(メッセージ等)

#### 授業計画／担当教員等

##### 授業計画

- 1週目 福島医大リハビリテーション科にて、リハビリテーション医療に必要な基本的な診察法、障害の評価法を学ぶ。
- 2,3週目 県北における回復期リハビリテーション病棟を有する病院で、リハビリテーションが最もダイナミックに行われる回復期の医療を学ぶ。特に脳卒中中の症例に触れ、回復期にどのように対応するかを学ぶ。
- 4週目 福島医大リハビリテーション科にて、心臓・呼吸器・ガン・小児リハビリテーションに触れる。また障害者スポーツの活動に参加する。

##### 担当教員

大井直往／主任(教授)／福島県立医科大学リハビリテーション医学  
 赤居正美／客員教授／国際医療福祉大学大学院副学長  
 大内一夫／講師／福島県立医科大学附属病院リハビリテーションセンター  
 佐藤崇匡／助教／福島県立医科大学附属病院リハビリテーションセンター  
 大槻剛智／臨床教授／北福島医療センターリハビリテーション科  
 佐藤武／臨床教授／わたり病院リハビリテーション科

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (地域医療:ほし横塚クリニック)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	星 吾朗、葛西 龍樹						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

ほし横塚クリニックは、H25年4月から、公益財団法人 星総合病院が管理運営するクリニックです。都市部である郡山駅近くに位置し、市内の急性期病院と連携してかかりつけ医としての役割を果たしています。また、訪問看護ステーションと地域包括支援センターが併設されており、在宅医療を中心に地域の介護福祉関連ネットワークも充実しています。

\* 地域・家庭医療学講座で養成する専門医(世界では general practitioner, family physicians, family doctor と呼ばれます)は、新専門医制度では「総合診療専門医」と呼ばれます。

学習目標

一般目標

「家庭医療」の地域における役割と、地域における医療・福祉の問題点について理解する。

行動目標

- 1 患者のillness(病気)の体験を探ることができる。
- 2 鑑別診断を考えて適切な病歴と身体診察ができる。
- 3 病気の体験、病歴、身体診察から適切な診断と治療方針を述べることができる。
- 4 診断と治療方針について患者に説明することができる。
- 5 疑問解決のために情報収集と批判的吟味ができる。
- 6 訪問診療に同行し、患者・家族の背景と問題点を述べるができる。
- 7 実習地域にある、介護保険制度におけるサービスについて述べるができる。
- 8 地域の医療・福祉の問題点を指摘できる。
- 9 振り返りシートを用いて実習を振り返ることができる。

テキスト	マクウィニー家庭医療学 上巻・下巻(ばーそん書房)
参考書	スタンダード家庭医療マニュアルー理論から実践までー(葛西龍樹編 永井書店)
評価方法	振り返りシートによる評価
その他(メッセージ等)	移動時の事故に注意してください。 自身の健康管理に留意してください。 当院の規則を遵守してください。

授業計画／担当教員等

【授業内容】

オリエンテーション、外来実習、地域・家庭医療学講座のTVカンファ、訪問看護見学、介護福祉施設見学、訪問診療実習

【担当教員一覧】

星 吾朗／ほし横塚クリニック医師／福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座  
高澤 奈緒美／ほし横塚クリニック医師／福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座  
川名 瞳／ほし横塚クリニック医師／福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座  
葛西 龍樹／教授／福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(地域医療:只見町朝日診療所)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	若山 隆、葛西 龍樹						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修/選択	選択必修	授業形態	実習

#### 概要/方針等

只見町国保朝日診療所は、人口約4,500人の只見町において唯一の医療機関である。地域住民に最も近い医療機関であり、分野を問わず幅広い健康問題が朝日診療所へ持ち込まれる。また、地域住民の生活を支えるため、医療機関内にとどまらず保健・福祉・介護・行政と連携した活動を実践している。

只見町国保朝日診療所での実習を通して、幅広い健康問題に対応するための医療面接・診察技術はもちろんのこと、地域社会から見た医療機関の役割、医師に求められる役割を学ぶ機会を提供する。

\* 地域・家庭医療学講座で養成する専門医(世界では general practitioner, family physicians, family doctor と呼ばれます)は、新専門医制度では「総合診療専門医」と呼ばれます。

#### 学習目標

##### 一般目標

地域社会で役割を果たせる医師となるために、小規模医療機関で医師に求められる役割を理解し、基本的診療技術、地域住民と接する医師としての態度を習得する。

##### 行動目標

- 1 地域住民が医療機関に求める役割を説明できる。
- 2 初診患者の診療において、心理社会的背景にも配慮した医療面接を実施できる。
- 3 医療面接内容から、複数の鑑別診断を列挙できる。
- 4 列挙した鑑別診断から、必要な身体診察項目を選択して実施できる。
- 5 医師が医療機関外で果たす役割を、例を挙げて説明できる。
- 6 高齢者介護における医師の役割、介護支援専門員(ケアマネージャー)の役割について説明できる。

テキスト	マクウィニー家庭医療学 上巻・下巻(ばーそん書房)
参考書	医療大転換ー日本のプライマリ・ケア革命ー(ちくま新書)
評価方法	実習担当医師の観察評価、実習終了時のプレゼンテーションで評価する
その他(メッセージ等)	公共交通機関が少ないため、自家用車以外での移動の場合は、地域・家庭医療学講座へ事前に連絡してください。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業内容】

外来実習/初診患者の医療面接を中心とし、担当医師とともに診療を行う

訪問診療同行/担当医師とともに訪問診療に同行する

老人保健施設見学/併設する老人保健施設 こぶし苑の見学を行う

特別養護老人ホーム見学/近隣の特別養護老人ホームの見学を行う

訪問看護同行/訪問看護に同行し、サービスの特性を学ぶ

介護支援専門員(ケアマネージャー)同行/介護保険サービスで重要な役割を果たすケアマネージャーの業務に同行する

ホームステイ/地域の住民宅にホームステイし、地域住民から見た医療機関の役割、医師への期待を学ぶ

##### 【実習担当医師】

若山 隆/只見町国保朝日診療所所長/福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座

森 冬人/只見町国保朝日診療所医師/福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座

葛西 龍樹/教授/福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (地域医療:かしま病院)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	石井 敦、葛西 龍樹						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

**概要／方針等**

かしま病院は、1983年「地域医療の中核となる医療機関を」との声から、地域開業医十数名が結束して立ち上げた、まさに地域のための医療機関です。

法人理念である「地域医療と全人的医療の実践」及びキャッチフレーズの「やさしさと安心の医療」を目指し、地域のための医療機関として予防・診断・治療・リハビリ・在宅医療・福祉の質の向上に職員一丸となって努力しています。

本コースの臨床実習を通して地域医療・福祉の現場を体験し、その役割と重要性・問題点を学び、今後の臨床に役立てていただきたいと思えます。

\* 地域・家庭医療学講座で養成する専門医(世界では general practitioner, family physicians, family doctor と呼ばれます)は、新専門医制度では「総合診療専門医」と呼ばれます。

**学習目標**

**一般目標**  
ホームステイ型研修を体験することにより、地域医療と地域生活に関する知識と理解を深め、将来の医師活動に役立てる。

- 行動目標**
- 1 いわき市の地域風土について述べる事が出来る。
  - 2 いわき市の地域医療の現状について述べる事が出来る。
  - 3 地域医療の役割と重要性及び問題点を述べる事が出来る。
  - 4 医療面接を通し、患者の主訴だけでなく、心理・社会的な問題点を抽出する事が出来る。
  - 5 訪問診療・訪問看護・特別養護老人ホーム実習を通し、家族・介護者の問題点を考える。

テキスト	マクウィニー家庭医療学 上巻・下巻(ばーそん書房)
参考書	家庭医療 (葛西龍樹著 ライフメディコム)
評価方法	平常点、レポート、試験、その他の方法で評価される。
その他(メッセージ等)	ようこそ「フラガール」発祥の地へ！

**授業計画／担当教員等**

**【授業内容】**  
 外来実習／医療面接を中心とした外来診療  
 病棟実習／一般病棟・回復期リハビリ病棟管理  
 訪問診療／地域に出かける診療  
 訪問看護／地域に出かける看護  
 特別養護老人ホーム実習／「かしま荘」で働く  
 観光／いわき市を観光する

**【担当教員一覧】**  
 石井 敦／総合診療科 副部長／かしま病院 医師  
 中山 大／理事長／かしま病院 医師  
 石井 俊一／外科部長／かしま病院 医師  
 佐野 久美子／院長／クリニックかしま  
 葛西 龍樹／教授／福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (地域医療:保原中央クリニック【医学6】)						
(英語名称)							
担当責任者	北村 俊晴、葛西 龍樹						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等	
<p>地域・家庭医療学講座の最初の拠点として、2008年に当クリニックに家庭医療科が設立された。地域と連携した医療を展開し、外来診療・訪問診療を中心に医療を提供している。</p> <p>実習は外来診療・訪問診療ともに地域の第一線で患者に接してもらうことを念頭に置いている。地域包括支援センターや訪問看護ステーションの見学も可能である。</p> <p>* 地域・家庭医療学講座で養成する専門医(世界では general practitioner, family physicians, family doctor と呼ばれます)は、新専門医制度では「総合診療専門医」と呼ばれます。</p>	
学習目標	
<p>一般目標</p> <p>「家庭医療」の専門性がどのように地域で活用され、医療を提供しているのかを理解し、実際に患者・地域に応用することができる。</p> <p>行動目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 プライマリ・ケアの現場で、「頻度の高い疾患」「見逃してはいけない疾患」を考えて問診・身体診察を行うことができる。</li> <li>2 患者の「か・き・か・え」を意識して問診することができる。</li> <li>3 訪問診療に同行し、その患者について簡単にプレゼンテーションができる。</li> <li>4 指導・実習内容について、振り返りながら学びを深め、指導医にも改善点をフィードバックすることができる。</li> </ol>	
テキスト	マクウィニー家庭医療学 上巻・下巻(ぱーそん書房)
参考書	「スタンダード家庭医療マニュアルー理論から実践まで」葛西龍樹編 永井書店
評価方法	実習に対する姿勢・態度から指導医が評価する
その他(メッセージ等)	移動時の事故には最大限注意する。 地域の第一線の医療を提供していることから、これまでの実習生でも上気道炎などの罹患が多く、体調管理に留意する。

授業計画／担当教員等	
<p>【授業内容】</p> <p>オリエンテーション、外来での問診・身体診察、訪問診療、地域包括支援センターでの実習、訪問看護ステーションでの実習</p> <p>【実習担当医師】</p> <p>北村 俊晴／助手／福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座      塚越 麗奈／助手／福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座      中村 光輝／助手／福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座      本多 由李恵／家庭医療科医師／保原中央クリニック      吉田 一隆／家庭医療科医師／保原中央クリニック      菅藤 佳奈子／家庭医療科医師／保原中央クリニック      葛西 龍樹／教授／福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座</p>	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (地域医療:喜多方地域・家庭)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	武田 仁、葛西 龍樹						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等	
<p>喜多方市 地域・家庭医療センターは人口50953人(平成25年1月1日現在)の中心部にある無床診療所であり、平成21年度の福島県地域医療再生計画に基づいて、福島県立喜多方病院閉院後の外来患者の受け皿として機能するとともに、地域のニーズに合わせた医療サービスを展開するべく整備された医療機関である。また、地域医療の実践と同時に家庭医の育成及び臨床教育の拠点として位置づけられており、開設された初年度(平成23年度)から医学部生の実習を受け入れている実績があります。</p> <p>喜多方市内の住民宅でホームステイを行い、地域の風土を感じながら実習を行っていく方針である。</p> <p>* 地域・家庭医療学講座で養成する専門医(世界では general practitioner, family physicians, family doctor と呼ばれます)は、新専門医制度では「総合診療専門医」と呼ばれます。</p>	
学習目標	
<p>一般目標</p> <p>この実習における一般目標は2つあげられる。1つ目は、地域の無床診療所で学生自身が主体的に職場の中で役割を持つことで地域医療の実際を知ることである。2つ目は、家庭医の地域医療における役割や家庭医のコアコンピテンシーについて学ぶことである。</p> <p>行動目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 毎日の記録(ポートフォリオ)をつけ、評価とフィードバックを受ける</li> <li>2 家庭医の外来診療を積極的に見学する</li> <li>3 小児から高齢者まで全ての世代の外来患者と良好なコミュニケーションをとれるようになる</li> <li>4 外来実習で鑑別診断や患者中心の医療の方法を意識した問診を行えるようになる</li> <li>5 訪問診療に同行し、見学したケースについて主治医とディスカッションを行う</li> <li>6 2週間の最後に学習したことをスライドで発表する (テーマや方法などについては指導教官と相談し決定する)</li> </ol>	
テキスト	マクウィニー家庭医療学 上巻・下巻(ばーそん書房)
参考書	「スタンダード家庭医療マニュアル-理論から実践まで」葛西龍樹編 永井書店
評価方法	実習状況の評価、発表内容の評価
その他(メッセージ等)	希望に合わせて実習内容や個別に目標設定を行います 事故などに注意してください

授業計画／担当教員等
<p><b>【授業内容】</b> ある実習生の一週間のスケジュール</p> <p>(月) 午前－外来見学、午後－訪問診療・外来見学・TV会議(16時頃)  (火) 午前－外来実習、午後－乳幼児健診見学・外来実習  (水) 午前－外来実習、午後－自由学習  (木) 午前－外来実習、午後－訪問診療・外来実習  (金) 午前－外来実習、午後－乳幼児健診見学・訪問診療・TV会議(16時頃)  ※希望により、実習内容や日程などフレキシブルに対応します。</p> <p>朝開始時刻 朝礼 8:20分までにはセンターで待機  終了時刻 指導教官との振り返りが終了し次第 おおよそ(6時30分～7時頃)</p> <p><b>【実習担当医師】</b>  武田 仁／喜多方市 地域・家庭医療センター センター長  菅家 智史／講師／福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座  豊田 喜弘／喜多方市 地域・家庭医療センター 医師  葛西 龍樹／教授／福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座</p>

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (地域医療:南相馬市立総合病院【医学6】)						
(英語名称)							
担当責任者	根本 剛、長島 克弘、小鷹昌明、神戸敏行、金澤幸夫						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

#### 概要／方針等

##### 1.慢性化した被災医療を考える

南相馬市立総合病院は昭和6年に原町実費診療所として始まり、福島県の相双地域の地域医療を支えてきた。平成23年3月11日の東日本大震災、それに続く東京電力福島第一原子力発電所の事故のため、同院は多大な負担を強いられ、多くの南相馬市民は避難を余儀なくされた。7万1千人の南相馬市の人口は一時期1万人弱に減少したが、平成28年1月現在は5万2千人まで回復している。震災による変化として震災前は65歳以上が人口全体の25%であったが、震災後は33%と急速に高齢化が進んでいる。また、震災前は屋外で活動していた住民が仮設住宅、借り上げ住宅へ移動後室外活動をしなくなり糖尿病・高血圧・高脂血症の悪化がみられている。また避難者、避難しなかった人たちにも震災後の慢性的ストレスのため、うつ・アルコール依存が多くみられている。

相双地域で実習することで、慢性期を迎えた被災医療が実際どのように行われているか体験し、自分たちなりに改善していく方法を考える機会を提供したい。

##### 2. 将来迎える超高齢化社会の医療を考える

震災・原発事故が契機となり、南相馬地域では医師含め医療関係者が流出している。とりわけ看護師の流失は多く、看護師が定数に満たないため南相馬のすべての病院が震災前と同数の入院患者を受け入れることができなくなっている。人的不足が顕著になっている状況で、地域に根ざした医療機関として南相馬市立総合病院の果たすべき役割は大きい。現状では十分に担うことは難しい。南相馬にみられる超高齢化と医療資源の不足は、見方を変えれば将来の日本社会そのものである。南相馬の状況を改善する方策は、日本が将来迎える超高齢化社会を解決する糸口になりうる。南相馬での実習で、将来の日本が迎える超高齢化社会の医療を考える契機として欲しい。

##### 3.被ばく医療を考える

福島第一原発事故による被ばくに対し、当院では平成23年7月から市民に対し内部被ばく検査をしている。また、ガラスバジによる外部被ばく量を合わせても健康に影響を及ぼすほどの被ばく量になっていないことが最近になって分かってきた。しかし、それでも健康被害を心配している住民も多い。住民にデータを提示しながら、住民の放射線に対する考え、対応を尊重し、生活への助言も行っている。慢性被ばくへの対応は科学的根拠を示すことも必要だが、傾聴など全人格的な対応も重要なことを知ってほしい。

#### 学習目標

地域を理解するため原町区内にホームステイし、当院を含め他の医療福祉施設で地域医療の実習を行う。

##### 一般目標

- 慢性期を迎える被災医療が実際どのように行われているか体験し、改善していく方法を考える。
- 南相馬の病院医療・在宅・高齢者福祉がいかなる状況か把握する。可能であれば、日本が将来迎える超高齢化社会に起こる問題を考え、解決するための方法を考える。
- 福島第一原発事故後の被ばくによって引き起こされた社会不安を持つ福島県民に寄り添う心を持つ。

##### 行動目標

- 在宅医療に関わる人たちの仕事を理解する。
- 大学病院と地方病院の入院患者の違いを述べることができる。
- 低線量被曝に関連した知識を身につける。
- 地域の人々と積極的に関わり合い、できる範囲で彼らを理解する。
- あいさつ、時間厳守など社会人としての規範を守る。

テキスト	特になし
参考書	特になし
評価方法	実習の中で行動や知識取得をみて、評価する。
その他(メッセージ等)	移動時の事故には十分注意してください。 健康管理に注意してください。 分からないこと、実習で悩んでいることがあったら何でも相談してください。 社会常識、社会規範を守ってください。

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業内容】

往診、仮設での住民との会合、WBCによる内部被ばく検査、訪問看護師に同行、ケアマネジャーに同行、“こころのケアセンターなごみ”に同行、救急車同乗し救命救急士に同行、地域・家庭医療学講座のテレビカンファレンス、指定された講義の参加、その他のオプション

**【実習担当医師】**

根本 剛／在宅診療科長・内科医／南相馬市立総合病院

小鷹 昌明／神経内科長／南相馬市立総合病院

神戸 敏行／呼吸器科長／南相馬市立総合病院

金澤 幸夫／院長／南相馬市立総合病院

その他

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (地域医療:大原総合病院)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	川井 巧、葛西 龍樹						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

大原総合病院は福島市の中心街に位置する、福島市の中核病院の一つです。  
 本実習では学生は指導医・後期研修医・初期研修医とともに総合診療科の一員として医療に参画し、内科・外科・小児科全ての救急初期対応及び成人の病棟診療を中心に実習してもらいます。実習を通じて、大学病院とは違う総合病院の役割及び総合診療科の特性を実感し、将来どの科を専門としても共通に必要な救急対応や感染症診療について主に学んでもらいます。  
 \* 地域・家庭医療学講座で養成する専門医(世界では general practitioner, family physicians, family doctor と呼ばれます)は、新専門医制度では「総合診療専門医」と呼ばれます。

学習目標

一般目標

市中病院での総合診療の役割と重要性を説明できる。

行動目標

1. 総合診療科チームの一員として適切に行動できる。
2. 大原総合病院での総合診療科の役割を説明できる。
3. 入院担当患者さんについて1分間で的確にプレゼンできる。
4. 入院担当患者さんは病歴だけでなく心理・社会面も含め誰よりも詳しく説明することができる。

テキスト	マクウィニー家庭医療学 上巻・下巻(ばーそん書房)
参考書	総合診療・感染症科マニュアル(医学書院) 診察エッセンシャルズ 新訂版(日経メディカル開発) ジェネラリストのための内科診断リファレンス(医学書院)
評価方法	実習での態度、レポートなどから総合的に評価する
その他(メッセージ等)	見学するだけでなく積極的に自分で考えて発言し、実際の診療に参加することを強く期待します。いい意味で間違いが許される期間は残り少ないです。間違えた発言でも絶対に怒りませんので、どんどん発言して食らいついてきてください。

授業計画／担当教員等

授業内容

救急診療実習／内科・外科・小児科全ての救急車対応  
 病棟診療実習／総合診療科の入院患者診療

担当教員一覧

川井 巧／総合診療科 部長／大原総合病院 医師  
 葛西龍樹／教授／福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスドコース (会津医療センター 内科総合)【医学6】						
(英語名称)	BSL Advanced Course (Aizu Medical Center)						
担当責任者	鈴木 啓二						
開講年次	6年	開講学期	通年	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

- ・ 5年生までの講義で学んだ知識を生かし、臨床実習(BSLプライマリーコース)での経験をさらに発展させ、実臨床で役立つスキルの習得を目指します。
- ・ 入院患者を常に1～3症例担当し、診療チームの一員として診療に携わり、プライマリ・ケアに必要な基本的な医療面接・身体診察・診断推論・プレゼンテーション能力を習得します。
- ・ プライマリ・ケアに必須のクルズスを通じ、実臨床に重要な知識の整理と定着を図ります。
- ・ 総合内科・循環器内科・糖尿病内分泌代謝腎臓内科から選択(複数選択可)して、外来診療を経験し、プライマリ・ケアに必要な初期対応・外来でのマネージメントについて学習します。
- ・ 入院・外来患者を通じて問題点を抽出し、指導医とともに問題点を解決する方法を学ぶとともに、自身でも解決するスキルの習得を目指します。
- ・ 漢方内科アドバンスド・コースを同時に選択することも可能です(その場合は必ず4週間コースになります)。

学習目標

[一般目標]:

- ・ プライマリ・ケアに必要な基本的な医療面接・身体診察・診断推論・プレゼンテーション能力について学習する。
- ・ 採血(静脈、毛細血管)などの基本手技を指導医の指導の下に行い、基本手技習得に努める。
- ・ 実施可能な医行為(超音波検査や穿刺、血管造影検査の介助など)の手技を経験する。
- ・ 希望する専門外来(複数選択可)を見学し、実際の外来診療について学ぶ。
- ・ 計画されたクルズスに出席し、より実践的な知識を習得する。

[行動目標]:

- (1) 担当患者を毎日診察し、良好な人間関係を築き、必要な情報を聴取できる。
- (2) 基本的なバイタルサインの測定とその解釈ができる。
- (3) 基本的な身体診察とその解釈ができる。
- (4) 基本的な実技を指導医の指導の下でできる。
- (5) 患者指導・啓発を行えるようになる。
- (6) 医療面接と身体診察の情報をSOAP形式で正しく診療録に記載することができる。
- (7) 医師だけでなく、他職種のスタッフとコミュニケーションをとることができる。
- (8) 担当症例の問題点を抽出し、エビデンスに基づいて指導医とともにその問題点を解決できる。
- (9) 担当症例についての病態生理・診断法・治療法を理解し説明できる。
- (10) 担当症例について適切なプレゼンテーション・レポート作成ができる。
- (11) 実習を通じてより深く知りたいと考えたテーマについて詳細な学習を行い、レポートを作成する。

テキスト

特に指定しない。

参考書

- ・「わかりやすい内科学」(文光堂)
- ・「内科学」(朝倉書店)
- ・「カラー版 内科学」(西村書店)
- ・「ベッドサイドの神経の診かた」(南山堂)
- ・「診察と手技が見える」(MEDIC MEDIA)
- ・「ワシントンマニュアル」(MEDSI)
- ・「UpToDate」

評価方法

実習に取り組む態度、症例についてのプレゼンテーション・レポート提出等により総合的に評価を行います。また学生側から指導医の評価も行います。

その他(メッセージ等)

2～4週間、会津医療センターでのBSLを楽しんでください。  
積極的にチーム医療の一員として、診療にかかわってください。

授業計画／担当教員等

<臨床実習計画>

- ・ 第一週月曜日午前中にオリエンテーションを行います。

- ・ 実習は病棟での実習を基本とします。
- ・ 希望する専門外来見学(複数選択可)を随時午前中に行います。
- ・ クルズスを午後3時頃より1時間程度(随時)予定します。  
 予定のクルズス(例)  
 「神経学的診察法」、「輸液の基礎」、「血液ガスの読み方」  
 「急性冠症候群への初期対応」、「心電図セミナー」、「インスリンの使い方」など
- ・ 以下の検査介助・見学・手技が可能です。  
 循環器内科血管造影検査:月曜日終日
- ・ 第2・4週木曜日、患者プレゼンテーションおよびレポート報告を行います。

\* 4. 勉強会の開催について(参加は自由)

- ① 心電図セミナー(毎朝8:00~8:30)
- ② ER勉強会(月曜日18:00~)
- ③ 総合内科勉強会(木曜日17:30~)
- ④ 週末カンファレンス(金曜日18:00~)
- ⑤ 糖尿病・代謝・腎臓内科カンファレンス(木曜日 14:30~)
- ⑥ NSTラウンド(水曜日 13:30~)
- ⑦ お宝画像カンファレンス(木曜日 16:30~17:30)
- ⑧ 病理カンファレンス(金曜日 15:00~17:00)
- ⑨ 心エコー読影会(水曜日 18:00~)

担当教員等:

- 鈴木 啓二 / 教授(総合内科)  
 鶴谷 善夫 / 教授(循環器内科)  
 橋本 重厚 / 教授(糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科)  
 宗像 源之 / 講師(総合内科)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(会津医療センター(会津医療センター 血液内科))【医学6】						
(英語名称)	BSL Advanced Course (Hematology/Aizu Medical Center)						
担当責任者	大田 雅嗣						
開講年次	6年	開講学期	通年	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

#### 概要／方針等

会津医療センター血液内科／血液疾患治療センターは会津地域全体の血液疾患の診療拠点としての役割を果たしています。地域医療、チーム医療、緩和医療を念頭に血液疾患全般について学びます。血液内科診療には今まで学んできた内科全般の知識が必要とされます。入院患者を担当し診療チームの一員として、基本的な医療面接・診察手技・診断プロセス・プレゼンテーション能力を習得します。入院・外来患者診療を通じて血液疾患の理解を深めます。4週間のコースですが、2週間でも対応します。疾患の発症・診断・治療・転帰までの一連の経過を体験し、理解し、よりよき医師をめざすための礎のひとつとなるよう応援します。

#### 学習目標

##### 【一般目標(GIO)】

血液内科診療における基本的な医療面接・身体診察・検査診断・治療法・プレゼンテーション能力について学習し、多くの症例を経験することで主要血液疾患についての理解を深める。

##### 【行動目標(SBO)】

1. 担当患者を毎日診療し、良好なコミュニケーションによる信頼関係を築き、必要な情報を得て指導医と日々の問題点についてディスカッションできる。
2. 基本的身体所見を観察し、バイタルサインの測定を行い正しく評価できる。
3. 採血などの基本的実技を指導医の監督のもと実施できる。
4. 血液学的検査所見の解釈が正しくできる。
5. 病態把握のため、また治療効果判定のための末梢血所見、骨髓像を正しく読み取る事ができる。
6. 主要血液疾患の病態生理、診断プロセスを説明できる。
7. 担当症例の問題点をあげ、診療に関するエビデンス(EBM)に基づき治療計画を説明できる。
8. 造血器腫瘍疾患に対する化学療法・分子標的治療について理解を深める事ができる。
9. 担当症例についてプレゼンテーション、レポート作成ができる(最低2症例)。
10. がん患者への接し方、緩和医療の実際について理解を深める事ができる。

#### テキスト

特に指定しない

#### 参考書

内科学書(中山書店), 新臨床内科学(医学書院)  
血液病学(文光堂)  
病気がみえる「血液」(MEDIC MEDIA)  
Wintrobe's Clinical Hematology (LWW)  
造血器腫瘍診療ガイドライン2013年版(金原出版)  
UpToDate (Wolters Kluwer)

#### 評価方法

診療の様子、診療記録の記載内容、指導医とのディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどにより総合的に評価をする。将来医師となる者として患者、コメディカルスタッフとのコミュニケーション能力を重視する。

#### その他(メッセージ等)

1. 指導医のもとに患者さんの状態に応じて真摯に診療にあたってください。
2. 担当患者の治療方針、病名告知に関しては主治医に状況を確認の上対応してください。
3. 免疫力の低下した患者さんが多いので、診察前後での手洗い、マスク着用にご協力ください。
4. 和気あいあいとした雰囲気です。
5. 血液疾患診療に興味を持ってもらえれば幸いです。
6. 実習期間中、共に夕食をとる機会を持ち将来のことなど語り合ひましょう。

#### 授業計画／担当教員等

##### <臨床実習計画>

最初の月曜日午前8時30分に血液内科病棟(4階北病棟)の医師室でオリエンテーションを実施。月曜日が祝日の場合には火曜日となります。

##### 【週間予定】

・月曜日から金曜日まで毎日朝7時15分から電子カルテでのカルテ回診に引き続き病棟回診を実施しています。病院に到着したら合流してください。終日病棟実習となります。

- ・夕方は午後5時30分頃から毎日病棟回診を行います。
- ・毎週火曜日午後5時から血液検査室で骨髄像の検討会を実施します。担当患者の骨髄像のレポート作成をしてもらいます(検査室技師の指導あり)。
- ・適宜クルズス, 骨髄標本カンファレンスを実施します。
- ・外来診療, 外来化学療法を見学することもできます。
- ・以下の手技を実際に経験してもらいます。  
採血、点滴ラインの確保(末梢)、骨髄穿刺検査、骨髄標本の染色など。ただし腰椎穿刺検査については見学。
- ・毎週木曜日午後5時30分から内科系全体のカンファレンスがあります。参加自由。
- ・第2、第4週の金曜日夕方に作成レポートを基にプレゼンテーションしてもらい、まとめをします。

担当教員等:

大田雅嗣／血液内科教授

角田三郎／血液内科准教授

野地秀義／本学循環器・血液内科講師(非常勤外来医師)

竹重俊幸／臨床医学部門緩和ケア科 准教授

芳賀 徹／医療技師

鈴木 学／薬剤技師

富田佳加／外来化学療法認定専門看護師(看護学臨床准教授)

後期研修医(不定期)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (会津医療センター 漢方内科)【医学6】						
(英語名称)	BSL Advanced Course (Kampo medicine)						
担当責任者	三瀨 忠道						
開講年次	6年	開講学期	通年	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

漢方(湯液あるいは鍼灸)の診療を希望する患者と診療の実際に接し、受診患者の医学的・社会的背景、漢方医学の効能と医療における必要性を認識し、具体的な診察手技や治療手段(生薬、方剤、鍼灸施術)を経験する。

入院患者を主治医(指導医)とともに担当し、漢方医学的な診察、診断(証)、治療の方法を体験的に学び、漢方医学理論の理解を深める。個々の患者や変化する病態に対応した、湯液(漢方薬)あるいは鍼灸による漢方臨床の実際を経験し、漢方治療の運用方法を知る。現代医学的な診断や病態把握を並行して行い、現代医学的視点からも漢方の臨床効果を評価する。入院患者カンファレンスや病棟回診時における受け持ち患者のプレゼンテーション、内科カンファレンスへの参加を通じ、病態を東西両面から把握するトレーニングを行う。

多数の症例を経験するために外来診療にも陪席し、診察実技を習得すると共に種々の疾患や漢方医学的診断(証)を経験し、治療の速効性なども確認する。湯液診療の基本となる生薬の調剤、院内製剤の調整などにも参加する。

学習目標

[一般目標]:漢方医学的な診察手技の修得、診断(証)決定の方法、治療の実際(湯液と鍼灸)と効果を体験するとともに、漢方医学的な思想や医学理論を体得し、初歩的な技能を身に付ける。

[行動目標]:

- (1) 担当患者には朝夕接し、信頼関係の構築が出来る。
- (2) 基本的な四診(望診、聞診、問診、切診)を実施できる。
- (3) 脈診、舌診、腹診を実施でき、代表的な所見とその経時的变化を観察できる。
- (4) 担当患者に処方された方剤や実施された鍼灸手技について、漢方医学的な適応や使用目標、臨床的意義を説明できる
- (5) 証の陰陽、虚実、寒熱、表裏、六病位、気血水の病態について説明できる。
- (6) 漢方方剤の基本的な運用方法を理解できる。
- (7) 基礎的な鍼灸手技を実施できる。
- (8) 主要な複数の漢方方剤について、漢方医学的な適応を述べられる。
- (9) 担当患者について担当期間の病態変化を漢方医学と西洋医学の両面から説明できる。

テキスト	はじめての漢方診療ノート(医学書院)
参考書	はじめての漢方診療十五話(医学書院) 学生のための漢方医学テキスト(日本東洋医学会) 経絡・ツボの教科書(新星出版社) 図解 鍼灸臨床手技マニュアル(医歯薬出版社) 『漢方210処方 生薬解説』じほう
評価方法	担当患者主治医(指導医)による診療の様子の評価、回診及び症例カンファレンスにおける発表、診療技能の習熟度、提出レポートなどを総合して評価する。
その他(メッセージ等)	実習上の留意事項 (1) 患者が自分の身内であったならどう対応してほしいかを常に念頭に置き、服装や態度に留意すること。 (2) 始業前と後には受け持ち患者に面接し、体調変化の有無を確認すること。 (3) 脈診、舌診、腹診を含めて毎日診察(四診)すること。 (4) 主訴や主診断の経過はもちろん、すべての愁訴についてその経過や現状を確認し、患者の全身状態の把握に努めること。特に初回には健康調査票も用いて詳細に患者の全体を把握すること。 (5) 患者のプライバシー保護については十分に留意し、ベッドサイドでの問診には注意を払い、廊下など公共の場所における患者に関する会話などは慎むこと。

授業計画／担当教員等

<臨床実習計画>

原則として、病棟実習を優先する。

時間があれば、午前中は外来診療に陪席、午後は指導医に随行。

(1日の予定)

7:45-8:15 古典輪読会

8:15-8:45 病棟回診

8:45- 病棟実習

時間に応じて外来診療に陪席(2週間ごとにおけるおよその予定回数)

午前 湯液外来実習(2回+病棟実習の空き時間1-2回)

鍼灸診療実習(2回+病棟実習の空き時間1-2回)

生薬調剤実習(1回 佐橋)

午後 院内製剤(丸薬)実習(1回 佐橋)

鍼灸病棟診療(2回)

(週間予定)

月曜日 (第一週8:30 オリエンテーション 指導医紹介)

14:30 総回診

15:15 5年次BSL湯液セミナー参加(第一週のみ)

16:30 病棟カンファレンス

火曜日 16:00 5年次BSL鍼灸セミナー参加(第一週のみ)

(奇数月第2火曜日19:00 会津漢方診療談話会=自由参加)

水曜日

木曜日 (奇数月第4木曜日19:00 郡山漢方勉強会=自由参加)

金曜日 第一週15:00 一週間の振り返り(指導医)

第二週14:00 担当症例報告(レポート) 終了後担当患者にあいさつ

担当教員等:

三猪 忠道 / 教授

鈴木 朋子 / 准教授

鈴木 雅雄 / 准教授

秋葉秀一郎 / 助教

佐橋 佳郎 / 助手

古田 大河 / 助手

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(会津医療センター 上部消化管・胆膵内視鏡)【医学6						
(英語名称)	BSL Advanced Course (Endoscopy for Upper GI and Pancreatobiliary)						
担当責任者	入澤 篤志						
開講年次	6年	開講学期	通年	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

#### 概要／方針等

本コースは、上部消化管および胆膵内視鏡診療に特化したコースです。消化器内視鏡診療に実際に携わる経験を通して、実践に則した消化器病学／消化器内視鏡学を学ぶことを目的としています。

現在の消化器病診療において、消化器内視鏡による診断と治療は非常に大きなウエートを占めています。しかし、教科書でいくら勉強しても、実際の手技に深く関わらなければ疾患の理解に難渋することも多いと思います。このコースでは、上部消化管疾患および胆膵疾患に関する様々な内視鏡診療に直接的に関わり、実臨床における多くの内視鏡診療を体験することから、対象疾患の病態と治療の理解をより確実なものにして頂きたいと考えます。また、本コースでは消化器診療の基本的検査である腹部超音波検査についても、実臨床においてしっかりと学べるカリキュラムも組み入れていますので、内視鏡による体内からのアプローチ、および超音波による体外からのアプローチを組み合わせることで、より幅広い消化器診療・消化器内視鏡診療を学ぶことができます。

本コースの履修は、学生時代のみならず初期研修医になってからも大きなアドバンテージになるものと確信しています。

#### 学習目標

[一般目標]:

- (1) 上部消化管疾患と胆膵疾患に関する内視鏡診療を学ぶ。
- (2) 超音波検査を通して消化器病診療の基本を学ぶ。

[行動目標]:

- (1) モデルを用いて上部消化管内視鏡検査の基本を習得する。
- (2) 実臨床における上部消化管内視鏡検査の現場に携わりながら、上部消化管内視鏡読影の基本を習得する。
- (3) 実臨床における上部消化管疾患に対する内視鏡治療の介助を体験する。
- (4) 実臨床における胆膵内視鏡関連手技の介助を体験しながら、胆膵内視鏡関連画像(内視鏡像、超音波内視鏡像、透視像)読影の基本を習得する。また、診断治療の流れを理解する。
- (5) 実臨床における腹部超音波検査を体験し、消化器画像診断の基本を学ぶ。
- (6) 緊急内視鏡治療にも立ち会い、救急医療に於ける内視鏡診療を学ぶ。

テキスト	「消化器内視鏡プロフェッショナルの技」(日本メディカルセンター) →実際には、履修期間中は貸し出しをしますので、用意をする必要はありません。
参考書	同上
評価方法	
その他(メッセージ等)	<p>本コースにおける実習・学習のポイント・到達目標は以下の通りです</p> <p>(1)実際に消化器内視鏡および腹部超音波機器を操作し、実臨床現場での診療に携わっていただくことで、消化器疾患の理解を深めます。</p> <p>(2)実際の検査(内視鏡・超音波)で得られた画像について、その読み方をしっかりと学び、確実な診断ができるようになります。</p> <p>(3)内視鏡診断および治療の介助に携わることで、上部消化管・胆膵疾患の診断から治療に至るまでの基本的な診療体系を学びます。</p> <p>(4)上部消化管・胆膵疾患の新患外来実習(問診・診察等)を行うことで、消化器診療における内視鏡・超音波検査の役割を学びます。</p> <p>* なお、本コース履修にあたって、基本的には予習は必要ありません。実臨床の場で直接的に内視鏡診療や超音波診療に携わることで、「絶対に忘れない知識」をリアルタイムに得られることが本コースの特徴と言えます。</p> <p>* 履修期間中に開催される、消化器内視鏡関連学会・研究会には出席できるようサポートいたします。</p>

#### 授業計画／担当教員等

下記は大体の予定内容・時間となりますが、状況に応じて変更があります。

[月曜日]

8:00 胆膵疾患画像勉強会  
8:30 入院症例カンファランス  
9:00 消化器内視鏡実習(実臨床)  
18:00 入院症例カンファランス

[火曜日]

8:00 消化器内科・外科合同カンファランス  
8:30 入院症例カンファランス  
9:00 消化器内視鏡実習(実臨床、モデル)  
18:00 入院症例カンファランス

[水曜日]

8:30 入院症例カンファランス  
9:00 腹部超音波実習(実臨床)  
18:00 入院症例カンファランス  
19:00 消化器内科勉強会

[木曜日]

8:00 上部消化管内視鏡読影会  
8:30 入院症例カンファランス  
9:00 消化器内視鏡実習(実臨床、モデル)  
17:30 内科合同カンファランス  
18:00 入院症例カンファランス

[金曜日]

8:30 入院症例カンファランス  
9:00 消化器新患外来実習、消化器内視鏡実習(実臨床)

担当教員等

入澤 篤志 / 教授  
渋川 悟朗 / 准教授

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (会津医療センター 外科)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	斎藤 拓朗						
開講年次	6年	開講学期	通年	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

会津医療センターの外科では地域医療、チーム医療、緩和医療、漢方医療の外科領域への導入など最前線の外科医療について学び、さらに将来self learningによる自己研鑽をするための具体的な方法を身につける。このような目的を達成するために、入院および外来患者を主治医とともに担当することにより、手術、処置、診断などの基本的な手技、および術前術後管理に参加するとともに、緩和医療に触れる機会を設ける。期間中には地域医療、チーム医療についての理解を深め、また臨床上の疑問を明らかにして最新の医療情報にアクセスする方法を習得するため、モーニング・カンファランス、手術症例検討会、NSTラウンド、緩和ケアチームラウンド、漢方勉強会および多職種ミーティングなどへ積極的に参加し、また各種セミナーを受講、抄読会での発表を行う。日々のカンファランスでは、症例のプレゼンテーション能力を身につける。ここでは、担当患者の臨床経過や診断・治療の要点を理解しているかどうかを評価する。さらに、診療スタッフあるいは患者さんとのコミュニケーション能力を身につけることも重視している。

学習目標

[一般目標]:

地域医療、チーム医療、緩和医療など最前線の外科医療について学び、さらに将来self learningによる自己研鑽をするための具体的な方法について学ぶ。

[行動目標]:

- (1) 担当患者を毎日診察し良好なコミュニケーションの下に必要な情報を聴取できる。
- (2) 診療スタッフとコミュニケーションをとりつつ、担当患者の身体診察および家族・地域における役割などの情報を記録としてまとめ、発表することができる。
- (3) 各種カンファランスに参加し、臨床上の疑問を明らかにし、それに対する最新の診療に関するエビデンス(EBM)を検索し、担当患者に適応できる。
- (4) 診療に関するエビデンスを検索する方法を習得する。
- (5) 手術に第二助手として参加する
- (6) 手術における外科生理・解剖について説明できる。
- (7) ベッドサイドあるいは外来における小外科あるいは処置について理解し説明できる。
- (8) 縫合、結紮など基本的な外科手技についてドライラボあるいはウエットラボで実習する(皮膚、消化管の縫合と吻合)
- (9) チーム医療について理解するために、他職種の診療スタッフとのミーティングに参加し、コミュニケーションをとる。
- (10) 緩和医療について理解するために実際に患者さんと接する。
- (11) 2週目の抄読会で文献あるいは症例の発表を行う。

テキスト	イヤーノート 内科・外科編
参考書	Digestive surgery now メディカルビュー社 標準外科学 医学書院 各種診療ガイドライン
評価方法	診療の様子の評価、担当患者レポート発表会でのプレゼンテーション、および2週目の抄読会における文献あるいは症例の発表等により総合的に判定される。
その他(メッセージ等)	1.外科と小腸大腸肛門科は共同で教育・診療体制を構築しており、カンファランス、抄読会等を合同で行い、またセミナーも分担している。 2.指導医の下に患者さんの状態に応じて真摯に診療にあたること。 3.担当患者の治療方針、病名の告知に関しては主治医に予め状況をきいてから対応すること。 4.月曜日が祝日の際には火曜日朝8:30に集合すること。 5.時間厳守で行動すること。 6.病棟用上履きを用意し、手洗いに努めるなど院内感染防止を意識すること。 7.ドライラボ、ウエットラボでの楽しい実習を準備しています。

授業計画／担当教員等

<臨床実習計画>

【第1週】

[月曜日] 7:45 回診／ 8:30 オリエンテーション、症例のまとめ方(斎藤、添田) / 9:30 外来・病棟・手術 (斎藤・添田・押部) /

16:00 病棟回診・カルテ記載(斎藤・添田・押部)

[火曜日] 7:45 回診 8:00 消化器合同カンファランス / 8:30 モーニング・カンファランス(全員) / 9:30 外来・病棟・手術 (斎藤・添田・押部) / 16:00 病棟回診・カルテ記載

[水曜日] 7:45 回診 8:30 モーニング・カンファランス(全員) / 9:30 外来・病棟・手術 / 13:30 NSTラウンド / 15:00 緩和ケアラウンド / 16:00 病棟回診・カルテ記載 18:00 合同抄読会

[木曜日] 7:45 回診 8:30 モーニング・カンファランス(全員) / 9:30 外来(斎藤) / 13:30 多職種カンファランス / 16:00 病棟回診 / 17:00 1日の振り返り 18:00 術前症例検討会

[金曜日] 7:45 回診 8:00 漢方勉強会 / 8:30 モーニング・カンファランス(全員) / 9:30 外来・病棟・手術 / 13:30 NSTラウンド / 15:00 緩和ケアラウンド / 16:00 病棟回診・カルテ記載

【第2週】

[月曜日] 7:45 回診 / 8:00 消化器合同カンファランス / 8:30 モーニング・カンファランス(全員) / 9:30 外来・病棟・手術 (斎藤・添田・押部) / 16:00 病棟回診・カルテ記載(斎藤・添田・押部)

[火曜日] 7:45 回診 8:00 漢方勉強会 / 8:30 モーニング・カンファランス(全員) / 9:30 外来・病棟・手術 (斎藤・竹重・添田) / 16:00 病棟回診・カルテ記載

[水曜日] 7:45 回診 8:00 大腸内視鏡カンファランス / 8:30 モーニング・カンファランス(全員) / 9:30 外来・病棟・手術 / 13:30 NSTラウンド / 15:00 緩和ケアラウンド / 16:00 病棟回診・カルテ記載 / 17:00 1日の振り返り / 18:00 合同抄読会(学生発表)

[木曜日] 7:45 回診 8:30 モーニング・カンファランス(全員) / 9:30 緩和ケア往診 / 13:30 多職種カンファランス / 14:00 手術症例検討会 / 16:00 病棟回診・カルテ記載 18:00 術前症例検討会

[金曜日] 7:45 回診 8:30 モーニング・カンファランス(全員) / 9:30 外来・病棟・手術 / 13:30 NSTラウンド / 16:00 病棟回診・カルテ記載

担当教員等:

斎藤拓朗 / 教授

竹重俊幸 / 准教授

添田暢俊 / 講師

押部郁朗 / 助教

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスドコース(会津医療センター 小腸大腸肛門科)【医学6】						
(英語名称)	BSL Advanced Course (Coloproctology)						
担当責任者	富樫 一智						
開講年次	6年	開講学期	通年	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

#### 概要／方針等

主に入院患者を指導医とともに、いわゆるstudent doctorとして担当する。この際、主治医の一人として患者と接することにより、特に、医師としての態度を習得する。本コースでは、小腸・大腸・肛門疾患に対する内科的診断・治療法及び外科的治療法を総合的に学ぶ。このためには、通常のBSL実習に加えて、重要なテーマに関するセミナー・内視鏡所見読影実習を行う。学生を対象とした抄読会を行い、最新の知見にも触れるようにする。終了時には担当患者についてのレポート発表会を行い、主要な小腸・大腸・肛門疾患の診断・治療の要点を理解しているかどうかを評価する。

#### 学習目標

##### [一般目標]:

小腸・大腸・肛門疾患の診断法・治療法を、内科的アプローチ法だけでなく、外科的アプローチ法も含めて包括的に学ぶ。

##### [行動目標]:

- (1) 担当患者に対して責任を持って診察し、良好な人間関係を構築できる。
- (2) 基本的な身体診察に加えて、直腸視診・直腸指診ができる。
- (3) 肛門鏡の構造を理解し、正しく使用できる。
- (4) 基本的な大腸内視鏡所見を読影できる。
- (5) 大腸EMR/ESDの基本について説明できる。
- (6) 早期大腸癌に対する内科的治療法・外科的治療法について理解し、適切な治療法を選択できる。
- (7) 主要な小腸・大腸・肛門疾患の病態生理を説明できる。
- (8) 腹腔鏡下大腸切除の利点を説明できる。
- (9) 基本的な腹部CT所見を読影できる。
- (10) 大腸3DCT検査の基本を説明できる。
- (11) 大腸疾患に対する内科的治療・外科的治療法の功罪を説明できる。
- (12) 最新の診療に関するエビデンス(EBM)をup-to-dateにより検索できる。

テキスト	特に指定しない。
参考書	内科学(第10版、朝倉書店) 標準外科学(第12版、医学書院) 大腸肛門病ハンドブック(第1版、医学書院)・ Colonoscopy Principles and Practice (First Edition, JD Waye, DK Rex, CB Williams)
評価方法	担当患者に対する診療態度、担当患者のプレゼンテーション、および提出レポート等により総合的に判定する。
その他(メッセージ等)	1. 2週コースが基本であるが、4週コース選択も可能。 2. コース初日は、朝8:30に3Fの教授室(富樫)に集合すること。

#### 授業計画／担当教員等

##### <臨床実習計画>

##### 【第1週】

月	8:30	オリエンテーション(富樫)
	9:30	病棟実習および手術見学
火	8:30	病棟カンファランス(外科と合同)
	9:30	病棟実習および手術見学
	18:00	大腸内視鏡所見読影セミナー(富樫)
水	7:30	大腸内視鏡カンファランス(全員)
	8:30	病棟カンファランス(外科と合同)
	9:30	大腸内視鏡・小腸鏡の見学
	18:00	抄読会(全員)
木	8:00	病理カンファランス(全員)
	8:30	病棟カンファランス(外科と合同)
	9:30	病棟実習

	18:00	外科との合同POC
金	8:30	病棟カンファランス（外科と合同）
	9:30	病棟実習及び手術見学

【第2週】

月	8:30	病棟カンファランス（外科と合同）
	9:30	病棟実習
	18:00	消化管CT検査セミナー（歌野）
火	8:30	病棟カンファランス（外科と合同）
	9:30	病棟実習
水	7:30	大腸内視鏡カンファランス（全員）
	8:30	病棟カンファランス（外科と合同）
	9:30	大腸内視鏡・小腸鏡の見学
	18:00	抄読会（全員）
木	8:00	病理カンファランス（全員）
	8:30	病棟カンファランス（外科と合同）
	9:30	病棟実習
	16:00	腹腔鏡手術セミナー（遠藤）
	18:00	外科との合同POC
金	8:30	病棟カンファランス（外科と合同）
	9:30	病棟実習
	16:00	レポート発表会（富樫）

担当教員等：

富樫一智 / 教授  
遠藤俊吾 / 教授  
歌野健一 / 准教授  
五十畑則之 / 講師

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(会津医療センター 整形外科・脊椎外科学)【医学6】						
(英語名称)	BSL Advance Course (Orthopaedic and Spinal Surgery)						
担当責任者	岩淵 真澄						
開講年次	6年	開講学期	通年	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

概要／方針等

当講座は運動器疾患/外傷、ならびに脊椎脊髄疾患/外傷に対する診断・治療・リハビリテーションに重点をおいた教育を行う。最初に運動器疾患/外傷・脊椎脊髄疾患/外傷診断学として、外来と病棟で問診や、身体所見の取り方、神経学的診察法、画像の読影法、臨床検査値の読み方、およびそれら診察結果から病態や疾患名を導き出すための論理的思考法と、診断に基づくプライマリーケアの実際を習得してもらう。次に治療に関しては、EBMに基づいた、薬物療法、ブロック療法、手術療法のそれぞれについての知識を習得してもらう。併せて、リハビリテーション的治療法である、装具療法や運動療法についても学習する。期間中に入院患者1名を受け持ち、主治医と共に担当することによって担当患者の疾患と病態、治療(保存および手術療法)、およびリハビリテーションについて詳しく学ぶと共に、リハビリテーション科や神経内科と協力し合う、チーム医療の重要性と医療倫理についても習得してもらう。学習すべき疾患は、運動器疾患/外傷全般、脊椎退行性変性疾患(椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、脊髄症等)、脊椎・脊髄腫瘍、脊椎・脊髄外傷、骨粗鬆症、変形性関節症、リウマチ性疾患等である。

学習目標

[一般目標]:

運動器疾患/外傷・脊椎脊髄疾患/外傷患者の診断法とプライマリーケアの方法を習得する。また、診断結果に基づいた治療計画とリハビリテーション計画を策定することができる。

[行動目標]:

1. 運動器疾患/外傷・脊椎脊髄疾患/外傷患者の病歴聴取、問診、理学的、および神経学的診察ができる。
2. 運動器疾患/外傷・脊椎脊髄疾患/外傷患者の画像所見の意義を理解する。
3. 運動器疾患/外傷・脊椎脊髄疾患/外傷患者の臨床検査所見の意義を理解する。
4. 運動器疾患/外傷・脊椎脊髄疾患/外傷患者の疾患と病態を理解する。
5. 運動器疾患/外傷・脊椎脊髄疾患/外傷患者の治療計画を策定することができる。
6. 運動療法や術前後リハビリテーションの意義を理解し、計画を策定することができる。
7. 清潔手術野を適切に準備・維持できる。
8. 運動器外科・脊椎脊髄外科基本手術手技を理解する。
9. 術後創傷処置を適切に行える。
10. 術後合併症とその対応策について述べるができる。

テキスト

標準整形外科学 第11版 / 中村利孝編 / 医学書院 / 2011

参考書

- ・図解四肢と脊椎の診かた / Hoppenfeld著・首藤 貴訳 / 医歯薬出版 / 1984
- ・臨床脊椎脊髄医学 / 伊藤達雄編 / 三輪書店 / 1996
- ・腰痛 / 菊地臣一著 / 医学書院 / 2003
- ・整形外科運動療法マニュアル / 白土 修・宗田 大編 / 全日本病院出版会
- ・入門リハビリテーション医学 / 岩谷 力編 / 医歯薬出版 / 2007

評価方法

担当教官による採点と口頭試問等により総合的に評価する。

その他(メッセージ等)

1. 常に医療チームの一員としての自覚を持ち、実習にあたること。
2. 脊椎脊髄疾患/外傷診断学を重点的に学び、それに基づくプライマリーケアの習得に心がけること。
3. 担当した入院患者の疾患と病態、治療法、およびリハビリテーションについて深く学ぶと共に、医療チームの一員として主治医や指導教官、病棟スタッフ、およびリハビリストスタッフとの連絡を密にしながら患者の治療方針とリハビリテーション計画を策定すること。
4. カンファランス時に、担当した患者の病歴、所見、治療方針、およびリハビリテーション計画についてプレゼンテーションが出来るようにすること。
5. 検査・ブロック療法や手術には積極的に参加すること。
6. 些細なことでも疑問点があれば主治医や担当教官に遠慮なく質問すること。

授業計画／担当教員等

<臨床実習計画>

【第1週】

[月曜日] 7:45 朝回診 8:15 オリエンテーション / 9:00 病棟実習 主治医立ち会いのもとでの担当患者への挨拶と診察 終了後 外来実習または手術実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診

[火曜日] 6:45 術前カンファランス / 7:45 総回診 / 9:00 外来実習または手術実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習

[水曜日] 7:45 朝回診 / 9:00 外来実習または病棟実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診

[木曜日] 7:45 朝回診 / 9:00 外来実習または手術実習 / 17:00 夕回診 / 18:00 整形・リハビリ合同カンファランス、抄読会、予演会

[金曜日] 7:45 朝回診 / 9:00 外来実習または手術実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診

#### 【第2週】

[月曜日] 7:45 朝回診 / 9:00 外来実習または手術実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診

[火曜日] 6:45 術前カンファランス / 7:45 総回診 / 9:00 外来実習または手術実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診

[水曜日] 7:45 朝回診 / 9:00 外来実習または病棟実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診

[木曜日] 7:45 朝回診 / 9:00 外来実習または手術実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診 / 18:00 整形・リハビリ合同カンファランス、抄読会、予演会

[金曜日] 7:45 朝回診 / 9:00 外来実習または手術実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診

#### 【第3週】

[月曜日] 7:45 朝回診 / 9:00 外来実習または手術実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診

[火曜日] 6:45 術前カンファランス / 7:45 総回診 / 9:00 外来実習または手術実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診

[水曜日] 7:45 朝回診 / 9:00 外来実習または病棟実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診

[木曜日] 7:45 朝回診 / 9:00 外来実習または手術実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診 / 18:00 整形・リハビリ合同カンファランス、抄読会、予演会

[金曜日] 7:45 朝回診 / 9:00 外来実習または手術実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診

#### 【第4週】

[月曜日] 7:45 朝回診 / 9:00 外来実習または手術実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診

[火曜日] 6:45 術前カンファランス / 7:45 総回診 / 9:00 外来実習または手術実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診

[水曜日] 7:45 朝回診 / 9:00 外来実習または病棟実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診

[木曜日] 7:45 朝回診 / 9:00 外来実習または手術実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診 / 18:00 整形・リハビリ合同カンファランス、抄読会、予演会

[金曜日] 7:45 朝回診 / 9:00 外来実習または手術実習 / 随時 検査・神経根ブロック実習 / 17:00 夕回診 / 18:00 担当患者報告会、BSL総括

#### 担当教員等:

白土 修 / 教授

岩淵 真澄 / 准教授

小松 淳 / 講師

福田 宏成 / 助手

草野 敬悟 / 助手

井上 聖啓 / 神経内科特任教授

伊藤 俊一 / リハビリテーション科特任教授

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(会津医療センター 感染症・呼吸器内科)【医学6】						
(英語名称)							
担当責任者	新妻 一直						
開講年次	6年	開講学期	通年	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

**概要／方針等**

このコースでは、実際の感染症(特に呼吸器関連と全身感染症)と呼吸器内科臨床の現場で必要な基本的技術を習得します。具体的には

- ①患者さんとの医療面接、身体診察、基本的検査(胸部レントゲン写真など)から、適確に情報収集し、
- ②それらの情報を基に鑑別すべき疾患を考え、
- ③さらに確定診断に至るプロセスを理解し、
- ④適切な治療方針を考えます。

このために、実習で、呼吸器関連血液検査、胸部レントゲン写真・胸部CT読影、血液培養、喀痰グラム染色、呼吸機能検査、などについて症例を基にしながらいちからプライマリー・コースから一歩進んだ技術の習得を行います。これらの技術を応用して、入院患者さん、外来患者さんを直接担当し、診断のプロセスを勉強します。また、確定診断に必要な特殊検査(気管支鏡検査、CT肺生検など)の実際について学びます。

基本的には卒後研修医と同様、日常呼吸器臨床に参加してもらう形式での実習となります。

**学習目標**

- 【一般目標(GIO)】**  
呼吸器疾患診断に必要な技能を体得し、呼吸器病学の知識を個別の症例にあわせて総合的に応用し、正しい鑑別診断及び治療計画に組み立てられる。
- 【行動目標(SBO)】**
- ①患者の悩みと問題点を的確に把握し、疾患の診断に結びつけることができる。
  - ②胸部打聴診・腹部触診・神経学的診察・その他の身体診察を系統立てて行うことができる。
  - ③胸部レントゲン写真、CTの読影ができる。
  - ④グラム染色ができる。読める。
  - ⑤感染源の推定と抗菌薬の選択ができる。抗酸菌感染症、特に結核感染症と非結核性抗酸菌感染症の鑑別ができる。
  - ⑥呼吸機能検査法を理解するとともに、その結果を解釈できる。
  - ⑦呼吸器関連の血液検査を理解し、病態に応じたオーダーができる。
  - ⑧問診・身体所見・基本的検査所見から問題点を抽出し、鑑別診断のための検査計画ができる。
  - ⑨診断のプロセスを含めた病歴を正しく記載し、系統立てて発表することができる。
  - ⑩診療グループに一員として、コメディカルスタッフとも協力して診療にあたることができる。

テキスト	
参考書	内科学: 上田英雄、武内重五郎編集(朝倉書店) やさしい呼吸器教室: 長尾大志(日本医事新報社)
評価方法	
その他(メッセージ等)	

**授業計画／担当教員等**

**【担当教員】**  
新妻一直/教授/感染症・呼吸器内科学講座  
斎藤美和子/講師/感染症・呼吸器内科学講座  
鈴木朋子/感染症・呼吸器内科/漢方内科准教授兼務

科目・コース(ユニット)	BSLアドバンスコース(福島赤十字病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Fukushima Red Cross Hospital)		
担当責任者	鈴木恭一		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<p>福島赤十字病院は、福島県北医療機関の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。救急患者数・救急車取扱件数はいずれも県北地区最多であり、多種多様な疾患に対応しています。こうしたプライマリ・ケアの研修に恵まれた環境を持つ当院において、臨床研修教育は果たすべき重要な責務と考えています。平成28年は13名(1年次6名、2年次7名)の初期臨床研修医が学んでおり、学生の臨床実習や病院見学も数多く受け入れております。</p> <p>当院の実習では、多種多様な症例を実際に担当・見学し、これまで学び習得した知識を確認し深めてください。また、医学士の臨床実習において許容される基本的医療行為は、指導医が安全と判断し得る範囲で積極的に経験して頂きます。幸い当院には多くの初期研修医もいますので、彼ら彼女らの後ろに張り付いて、少しでも有意義な実習になるよう努力してください。</p>	
学習目標	
【一般目標】	
プライマリ・ケアの基本的な能力(医療面接、診察技能、診断・推論知識等)の獲得を目指す。 他職種とのかかわりを通してチーム医療の必要性を体感し、医療人として必要な人格形成を目指す。	
【行動目標】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当院初期研修医または指導医とともに行動し、日常診療を見学し吸収する。</li> <li>2. 救急症例を積極的に見学する。</li> <li>3. 他科医師のみならず、看護師・検査技師等他の職種とのコミュニケーションを通してチーム医療を学ぶ。</li> <li>4. 許容される基本医療行為を安全に遂行する。</li> <li>5. 経験した症例について、研修医・指導医とディスカッションを行う。</li> </ol>	
テキスト	特に指定はありません。
参考書	特に指定はありません。
評価方法	実習に取り組む態度や、症例についてのディスカッションや検査・治療を通しての疾患に対する理解度などにより総合的に評価いたします。
その他(メッセージ等)	研修する診療科は希望に配慮しますが、事情により希望と異なる診療科での研修となる可能性があります。 実習の目標は指導医が個別に立てますが、希望する研修目標があれば考慮します。 積極的に柔軟性のある研修姿勢を期待しています。

授業計画/担当教員等	
【授業計画】	
回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]	
実習前に、希望する診療科の有無などを確認します。	
* 以下の診療科が実習可能です	
内科・消化器内科、糖尿病代謝内科、循環器内科、神経内科、麻酔科、産婦人科、	
外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、精神科	
* 基本的には1診療科1週間で2診療科を予定していますが、希望があれば可能な範囲で対応します。	
* 1診療科に学生1名を基本としますが、福島医大診療科からの学生派遣依頼を受ける場合があります。	
第一週月曜の午前中にオリエンテーションを行います。	
病棟実習・急患室実習が主体ですが、各科の検査・手術等には見学で入ります。	
以下のカンファランスや研修会は研修時間外ですが、希望があれば参加が可能です(義務ではありません)。	
* 内科カンファランス(毎週月曜17時~)	
* 神経内科・脳外科カンファランス(第2・4月曜18時~)	
* 研修医系統講義研修会(第1・3土曜日8時~9時30分)	
【実習担当指導医】	
【内科・消化器内科 主担当指導医:黒田聖仁】	
* (am)内視鏡検査・腹部エコー検査の見学 (pm)治療内視鏡、腹部アンギオ検査見学、ベッドサイド研修	
【糖尿病代謝内科 担当指導医:佐藤義憲】	
* 病棟回診研修、病歴聴取	
【循環器内科 主担当指導医:大和田尊之】	
* (am)入院患者・救急患者診察・見学、心エコー検査の見学 (pm)心臓カテーテル検査・治療の見学・参加	
* 心臓外科手術のある時は、心臓外科医師の協力のもと手術見学も可	
【神経内科 主担当指導医:中村耕一郎】	
* 外来・病棟実習、電気生理検査等	
【麻酔科 主担当指導医:安達守】	
* 麻酔の見学等	
【産婦人科 主担当指導医:矢澤浩之】	
* 手術見学・手術参加(第2助手)、分娩見学、外来見学、腹腔鏡ドラクボックストレーニング体験	
【外科 主担当指導医:遠藤豪一】	
* 外科一般・消化器外科手術見学、基本の縫合処置・切開の指導	
【呼吸器外科 主担当指導医:菅野隆三】	
* 呼吸器外科手術への参加、種々の呼吸器疾患の学習と臨床経験(画像診断、検査、処置等)	
【脳神経外科 主担当指導医:鈴木恭一】	
* 検査・治療・手術の見学と知識の確認	
初期臨床研修医とペアで研修し、初期臨床研修につながるよう指導します	
【整形外科 主担当指導医:村上和也】	
* 整形外科病棟の回診に帯同し、基本的な処置を見学、手術見学(手洗い)	
【耳鼻咽喉科 主担当指導医:大河内幸男】	
* 外来新患問診、検査結果の解釈、手術見学等	
【皮膚科 主担当指導医:元木良和】	
* 外来診療・外来小手術見学	
【精神科 主担当指導医:後藤大介】	
* 精神科一般臨床見学	
臨床研修プログラム責任者:鈴木恭一 副責任者:渡部研一	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(公立藤田総合病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Fujita General Hospital)		
担当責任者			
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

福島県北地域の中核病院として311床を有し、地域医療・救急医療の充実に貢献しています。国保直診の公立病院として「患者さん中心の医療」を病院の理念とし、初期診療から救急医療、訪問診療や介護・福祉施設での診療、住民検診など地域の医療を担っています。

さらには「地域包括医療・ケア認定病院」として地域住民の生活に視点を置いた医療を提供していますので、地域での医療の実態を肌で感じることができる実習環境を提供いたします。

また、初期臨床研修病院として若手医療人への教育に力を注いでいますので、電子カルテやオーダーリング、画像電子ファイリングなどIT環境の整った良い環境の中で、チーム医療の一員として臨床の現場で実践的な能力(知識・技能・態度)やプライマリ・ケアを学ぶことができます。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

1. 地域の病院での外来・入院・救急・地域医療の診療において、現場での実践をとおして「実践的診断能力」(知識・技能・態度)を身につける。
2. チーム医療の実践を経験して病院における医師の役割を十分に理解し、医師として求められる基本的な資質と能力を身につける。

##### 【行動目標】

1. 外来患者の診療にあたり、病歴聴取、身体診察、診断推論ができる。
2. 入院患者の診療にあたり、病歴、身体診察、検査所見、病態の変化などをアセスメントできる。
3. 救急搬送症例を経験し、診断へのアプローチができる。
4. 院内カンファランスに参加し、他職種とのチーム医療を経験し、EBMを実践する。
5. 訪問診療や介護・福祉施設診療を経験し、地域医療の実態を知る。
6. 多職種の業務を知る。(薬剤師、放射線技師、検査技師、リハビリテーション等)
7. 医師として患者さんに対する正しい診療態度を身につける。

テキスト 特にありません。

参考書 図書室に準備してあります。

評価方法 形成的評価と実習態度、指導医とのディスカッションなどによる総合的評価

その他(メッセージ等) 希望に合わせて実習内容や目標設定を行います。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

- (月) 午前-外来実習・救急実習、午後-入院実習、介護・福祉施設診療  
(火) 午前-外来実習・救急実習、午後-内視鏡治療・検査、入院実習、消化器・外科合同カンファランス  
(水) 午前-外来実習・救急実習、午後-入院実習、訪問診療  
(木) 午前-外来実習・救急実習、午後-入院実習、介護・福祉施設診療  
(金) 午前-外来実習・救急実習、午後-入院実習、放射線画像カンファランス

※各曜日の実習の中に、多職種の業務を知るための見学・参加型の実習が加わります。

※見学希望等があれば、フレキシブルに対応します。

##### 【主な内容】

内科の基本的な診療(一般内科、消化器内科、腎臓内科)、予診～指導医と議論～診察～フィードバック  
腎臓病や糖尿病の診察、検査、身体所見の取り方  
common疾患で入院中の患者の病歴聴取、身体診察、検査所見等でアセスメントし診療計画を立てる  
救急医療(一次～二次救急を中心に現場で診療。指導医とディスカッションしながら、診断・治療計画を立案)  
内視鏡治療や検査の手技に関する実習  
訪問診療、介護・福祉施設診療をとおして地域医療(特に地域包括ケア)の現場を経験する

※朝開始時刻 8時30分(8時20分までには医局で待機)

※終了時刻 17時15分～18時頃

##### 【実習担当指導医】

近藤 祐一郎/公立藤田総合病院 副院長  
鈴木 修三/公立藤田総合病院 教育研修センター長兼内科部長  
各科指導医

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	井上 実			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択
				選択必修 授業形態 実習

### 概要／方針等

太田西ノ内病院は、郡山市にあり37診療科をもち、県中・県南の中核病院としてプライマリーケアから三次救急まで対応している病院です。各診療科の連携もスムーズで、熱心な指導医のもと、多くの研修医がコメディカルスタッフと協力し合いさまざまな病態の患者さんの診療にあたっています。  
 当院のBSLアドバンスコースでは、できるだけ学生さんの希望に沿った診療科での実習を通して、実際の医療を学んでいただきたいと思います。

### 学習目標

#### 【一般目標】

多職種との協力のもと、患者さんとのかかわりを通して医師として必要な心構え、知識、技術を習得する

#### 【行動目標】

- ① 病院内の多職種と円滑なコミュニケーションをとる
- ② 的確な診断に至るための医療面接、身体診察、各種検査の選択について学ぶ
- ③ 患者さんに関し得られた情報をもとに、指導医と鑑別診断、治療方針等に関しディスカッションを行う
- ④ 患者さんの精神面への配慮について学ぶ

テキスト 診療科により指定あり

参考書 診療科により指定あり

評価方法 実習態度、カンファレンス、指導医とのディスカッション、レポート等

その他(メッセージ等) ご希望にあわせて、実習内容を設定いたしますが、事情により異なる診療科でも実習となる場合があります。

### 授業計画／担当教員等

#### 【授業計画】

学生さんの希望を取り入れ、実習内容を決定します。

#### ◎ 主な内容

- 外来・病棟診療
- 検査・手術見学
- 救急医療

#### 【実習担当指導医】

各診療科指導医



科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 外科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	石井芳正			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択
			選択必修	授業形態
				実習

概要／方針等

関連病院における外科医療を、チームの一員として体験して、大学病院で学んだ知識や技術を再確認することを目標とする。また、地域に密着した医療の必要性を理解する。

学習目標

【一般目標】

外科チームの一員として外科医療に積極的に参加する。

テキスト

参考書

評価方法

その他(メッセージ等)

授業計画／担当教員等

【授業計画】

月～木	8:00 病棟回診
	終日 全麻手術、概ね2件、(手術助手)
	17:00 病棟回診
	※ 随時、DDL・GTF等検査
金	8:00 病棟回診
	AM 腰麻手術、局麻手術、(手術助手)
	PM 全麻手術、(手術助手)
	17:00 病棟回診
土	DDL・GTF等検査、局麻手術
	※ 火 18:30 勉強会(軽食あり)

【実習担当指導医】

石井芳正      山田睦夫      伊藤泰輔

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 眼科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	齋藤 国治			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

概要／方針等

プライマリーコースで学んだ基礎知識をもって、眼科的臨床医学の基本を学習することを目的とする。

学習目標

【一般目標】

実習を通して基本的眼科手技を理解する。

【行動目標】

細隙灯顕微鏡を用いて角膜、前房、水晶体の異常の有無を指摘できる。

倒像鏡を用いた眼底検査で、視神経乳頭と位置と眼底の色調が確認できる。

光干渉断層計(OCT)で黄斑浮腫、黄斑円孔、黄斑前膜の有無を指摘できる。

指導医とともに手術に参加し、顕微鏡下手術の術野の状態を確認できる。

テキスト 現代の眼科学(金原出版) 第12版

参考書 現代の眼科学(金原出版) 第12版

評価方法 実習態度により評価する。

その他(メッセージ等) どのような疾患の患者が一般臨床で多く存在しているかを学んで欲しい。

授業計画／担当教員等

【授業計画】

第1日目

午前 9:00 オリエンテーション(医局)・外来患者診察実習(外来)

午後14:00 手術実習(手術室)

第2日目

午前 9:00 外来患者診察実習(外来)

午後14:00 手術実習(手術室)

【実習担当指導医】

齋藤 国治

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 救急麻酔科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ootanishinouchi Hospital)			
担当責任者	篠原一彰、熊田芳文			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

### 概要／方針等

5年次におけるプライマリーコースの基礎を元にして、当院の特色である救急、麻酔、集中治療を一連の流れとして救急外来から手術室、集中治療室の現場に接し臨床実習を行う。救急外来では、救急患者への対応、緊急度の高い疾患の診断および治療を学び、手術室では定時手術における適切な鎮静、鎮痛コントロールを理解する。集中治療室では術後、外傷、内科系など多岐にわたる重症患者の集中治療管理を学ぶ。当院での臨床実習を通して、救急、麻酔、集中治療が個々の異なる分野ではなく同一の全身管理であることを理解する。

### 学習目標

#### 【一般目標】

全身管理という一つの分野における救急、麻酔、集中治療の現場を経験し理解する。

#### 【行動目標】

1. 患者の初期病態を判断できる。
2. 患者の初期治療を介助できる。
3. 患者の緊急度および重症度を説明できる。
4. 緊急手術の必要性を判断できる。
5. 集中治療の必要性を理解できる。
6. 心肺停止患者に対し、リーダーとしてACLSを実施できる。
7. 外傷患者に対し、リーダーとしてJATECを実施できる。

テキスト 特に指定しない。

#### 参考書

BLS、ACLSプロバイダーマニュアル  
外傷初期診療ガイドライン  
麻酔科研修チェックシート

#### 評価方法

出席、実習態度。

#### その他(メッセージ等)

- 学習上の留意事項
1. 常にABCDに立ち返る。
  2. 迅速、適切な判断ができるように。

### 授業計画／担当教員等

#### 【授業計画】

休日明け 8時～  
平日 8時15分～

#### 【実習担当指導医】

篠原一彰、熊田芳文、横山秀之、石田時也

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 形成・美容外科)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital :plastic esthetic surgery)		
担当責任者	福屋安彦		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要／方針等

- ・形成外科の診療対象は頭部から足先までの全体表部であり、また先天異常から後天的疾患や美容にいたるまで広く深い診療知識の習得が必要ではあるが、実際の診療を体験することが最良の知識獲得になる。
- ・大学病院の特殊な環境とは違う市中総合病院での形成外科診療内容の見学や実習を体験し、形成外科、再建外科、美容外科の治療概念を理解する。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

(救急外来を通して)熱傷を含む外傷に対する形成外科的対応、(外来診療を通して)形成外科の治療方法や計画設定の流れ、(入院診療を通して)手術前、手術中、手術後の各時期での管理上の重要な点、(熱傷、褥瘡、下腿足潰瘍の治療を通して)創傷管理の概念を理解する。

##### 【行動目標】

- 1 熱傷を含む体表外傷の治療の流れを説明できる。
- 2 手術デザインの重要性を理解し、顔面皮膚腫瘍切除術の切開デザインができる。
- 3 皮膚潰瘍の状態に応じた治療薬の選択ができる。
- 4 他診療科とは異なる形成外科独特の診療ポイントを10項目以上説明できる。

テキスト 標準形成外科(医学書院)

参考書 形成外科手術書(鬼塚卓也著 南江堂)

評価方法 実習態度、適時の口頭試問による総合的に評価する。

その他(メッセージ等) 県内最多の形成外科患者数および手術件数を有する当科での診療の体験により、形成外科の概念が理解でき、将来の専門分野の選択基準にも役立ちます。

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

月曜日～金曜日

8時30分～

入院患者カンファレンス※、  
手術(入院全身麻酔手術、入院局所麻酔手術、外来手術の3班に分かれる)。

9時～

病棟患者診療。

13時30分～

手術(入院全身麻酔手術、入院局所麻酔手術の2班に分かれる)。  
外来診療(予約外来2診、予約外外来1診の3班に分かれる)。

月曜日

18時～

手術患者カンファレンス※。

火曜日

8時40分～

病棟カンファレンス※。

11時～

褥瘡回診※。

・上記が当科の診療予定である。

・※のついた入院患者カンファレンス、手術患者カンファレンス、病棟カンファレンス、褥瘡カンファレンスは必修である。

・その日の診療内容と今までの実習内容を考慮して、その日の最良の実習予定を8時30分からのカンファレンス内で提案する。

・救急外来診療依頼があった場合には、その実習を優先とする。

##### 【実習担当指導医】

福屋安彦

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 血液内科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	神林裕行			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択
				選択必修 授業形態 実習

概要／方針等

第一線の血液内科病棟における診療に触れる

学習目標

【一般目標】

内科医の心得を知る

【行動目標】

自ら課題を考える

テキスト 指定なし

参考書 指定なし

評価方法 実習態度

その他(メッセージ等) 清潔、感染予防に気を付ける

授業計画／担当教員等

【授業計画】

主治医の1日の業務に従う

【実習担当指導医】

松田 信      神林裕行      齋藤由理恵      高橋裕志      木村 悟



科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 呼吸器内科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	松浦圭文 (呼吸器センター内科センター長)			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修/選択 選択必修 授業形態 実習

#### 概要/方針等

呼吸器患者との人間味のある医者患者関係の構築、臨床診断の組み立て方、鑑別診断、治療の実際を経験習得して頂きたい。時間があれば現在の呼吸器内科のトピックを交え国家試験対策のショートレクチャー、試験問題演習なども組み込みたい。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

患者医師間相互関係の人間愛にあふれた構築、医師としての責任感を持ち、大学での教えをもとに実際の臨床修練を経験させる。

##### 【行動目標】

呼吸器疾患の診断、治療の実際を学ぶ。患者、患者家族に対する医師の対応の観察、呼吸器領域に必要な検査、基本手技の観察。

テキスト 大学の臨床講義で使用したものでよい、特に指定はなし

参考書

評価方法

その他(メッセージ等) スマートフォン、アイパッド、インターネット利用でも内容は十分 見るだけでなく自分だけの便利ノートも作成してほしい

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

2週間受け入れ 月曜から金曜日まで 希望有れば週2回ほど当直実習も可能 その際宿泊に関しては病院施設利用も可能(無料) 土曜午前中も可能

週1回水曜日午前カンファレンス 気管支鏡 火曜、木曜午後 勉強会 週2回 (レントゲンの読影法、肺がん治療

感染症、COPD/ぜんそく治療、肺線維症などのコモン疾患の診断治療) 金曜日1週間のまとめ、口頭試問、悩み相談

##### 【実習担当指導医】

呼吸器内科 松浦圭文 原 靖果 呼吸器外科 箕輪宗生



科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 小児科)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)		
担当責任者	今村 孝		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
福島県立医科大学小児科学概要に準ずる。 (ただし、当直帯の実習受け入れは、多忙のため不可である)	
学習目標	
福島県立医科大学小児科学概要に準ずる。ただし、本コースは、周産期医学(特に新生児学)により重点を置いた内容である。	
テキスト	新生児学入門 第4版 医学書院
参考書	当院NICU医局書庫の本
評価方法	福島県立医科大学小児科学概要に準ずる
その他(メッセージ等)	NICU 9床、GCU 12床 NICU入院;5-6名/週、転院搬送;0-2名/週、帝王切開;4-6件/週、健常新生児出生;約10名/週

授業計画/担当教員等	
<b>【授業計画】</b>	
・月曜日	
7:45 - 8:15	小児科朝カンファランス
8:20 - 8:40	NICU朝カンファランス
8:40 - 10:00	NICU回診・処置(診察、血液検査、超音波検査、MRI・脳波等) 臨時帝王切開等
10:00 - 11:00	新生児室回診 NICU病棟業務(診療録記載、保護者への病状説明等)
11:30 -	部長回診
13:30 - 16:30	新生児フォロー外来・早期フォローアップ外来 臨時帝王切開 NICU病棟業務(診療録記載、検査、保護者への病状説明等)
16:30 -	夕回診
※ 入院受入れ、転院搬送(その都度)	
・火曜日	
7:45 - 8:15	小児科朝カンファランス
8:20 - 8:40	NICU朝カンファランス
8:40 - 10:00	NICU回診・処置(診察、血液検査、超音波検査、MRI・脳波等) 臨時帝王切開等
10:00 - 11:00	新生児室回診
11:00 -	NICU病棟業務(診療録記載、保護者への病状説明等)
13:30 - 15:30	NICU病棟業務(診療録記載、検査、保護者への病状説明等) 病棟多職種カンファランス 定時帝王切開
15:30 - 16:30	退院カンファランス
16:30 -	夕回診
※ 入院受入れ、転院搬送(その都度)	
・水曜日	
7:45 - 8:15	小児科朝カンファランス
8:20 - 8:40	NICU朝カンファランス
8:40 - 10:00	NICU回診・処置(診察、血液検査、超音波検査、MRI・脳波等) 臨時帝王切開等 エコチル調査
10:00 - 11:00	新生児室回診
11:00 -	NICU病棟業務(診療録記載、保護者への病状説明等)
13:30 - 17:00	臨時帝王切開、新生児・発達外来 NICU病棟業務(診療録記載、検査、保護者への病状説明等)
17:00 - 17:30	周産期カンファランス
17:30 -	夕回診
※ 入院受入れ、転院搬送(その都度)	
・木曜日	
7:45 - 8:15	小児科朝カンファランス
8:20 - 8:40	NICU朝カンファランス
8:40 - 10:00	NICU回診・処置(診察、血液検査、超音波検査、MRI・脳波等) 定時帝王切開等
10:00 - 11:00	新生児室回診
11:00 -	NICU病棟業務(診療録記載、保護者への病状説明等)
13:30 - 17:00	1か月健診、乳児健診、新生児早期フォローアップ外来 新生児・発達外来 臨時帝王切開 NICU病棟業務等(診療録記載、検査、保護者への病状説明等)
17:00 -	夕回診
※ 入院受入れ、転院搬送(その都度)	
・金曜日	
7:45 - 8:15	小児科朝カンファランス
8:20 - 8:40	NICU朝カンファランス
8:40 - 10:00	NICU回診・処置(診察、血液検査、超音波検査、MRI・脳波等) 臨時帝王切開等
10:00 - 11:00	新生児室回診
11:00 -	NICU病棟業務(診療録記載、保護者への病状説明等)
13:30 - 16:30	NICU病棟業務(診療録記載、検査、保護者への病状説明等) 病棟多職種カンファランス、臨時帝王切開
16:30 -	夕回診
※ 入院受入れ、転院搬送(その都度)	
<b>【実習担当指導医】</b>	
今村 孝	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 消化器内科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	迎 慎二			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

### 概要／方針等

消化器内科では、病棟医グループの一員として、グループの担当するすべての患者について、検査および治療計画の立案について参加し、指導医のもとで診療録の作成をする。消化器内科外来新患の問診、診察をしてもらい、今後の検査、治療方針の作成についてディスカッションする。  
当科で行われている検査、治療に参加してもらい、実診療を体験する。

### 学習目標

#### 【一般目標】

文献検索、専門書などで得られる最新の知見をもとに、消化器病領域の疾患病態を理解し、検査・診断・治療計画を立案する方法を修得する。

【行動目標】①検査技師の行う腹部エコー検査を見学。指導医と一緒に診断する。

②消化器内視鏡検査に指導医とともに立ち会い、消化管疾患の診断を経験する。

③治療内視鏡を見学し、方法・介助者の役割を理解する。

④肝・胆・膵疾患入院患者さんの画像診断(CT,MRIなど)や治療(TACE,RFA,ERCP etc)に立ち会い理解を深める。

テキスト 特に指定しない

参考書 ハリソン内科学など

評価方法 カンファレンスや指導医とのディスカッション、レポートなどにより総合評価

その他(メッセージ等) 初期研修医や後期研修医などの先輩を、うまく利用してください。(当院の特徴の屋根瓦方式)

### 授業計画／担当教員等

#### 【授業計画】

月曜日	8時30分～9時	入院患者のお変わり報告、グループ内	小ディスカッション
	9時～12時	内視鏡検査	
	13時30分～17時	治療内視鏡	
	18時～	外科との合同カンファレンス	
火曜日	8時30分～9時	入院患者のお変わり報告	
	9時～12時	内視鏡検査、病棟回診、RFA.肝生検見学など	
	14時～17時	下部内視鏡検査、治療	
水曜日	9時～12時	外来新患診察	
	13時30分～17時	入院患者回診、治療内視鏡、TACE見学など	
木曜日	9時～12時	腹部エコー実習	
	14時～17時	治療内視鏡見学、介助	
金曜日	9時～12時	内視鏡検査、病棟回診など	
	14時～17時	治療内視鏡、TACE見学など	

※ERから救急患者要請があれば当番医に同行

#### 【実習担当指導医】

迎 慎二      今村秀道      橋本健明

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 心臓血管外科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	高橋皇基			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修/選択
			選択必修	授業形態
				実習

#### 概要/方針等

心臓血管外科医師(スタッフ)とともに患者を担当し、周術期管理を行う。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

診察、手術助手を経験し、教科書から学んだ知識を深め、今後役立つものとする。

##### 【行動目標】

- ①手術前の検査結果を確認し考察する
- ②手術助手として手術に参加する
- ③手術後の経過、各種検査結果を確認し考察する

テキスト なし

参考書 心臓血管外科 テキスト(中外医学社)

評価方法 出席日数、口頭試問

その他(メッセージ等) 実際の現場を体験することが重要と考え、指導します。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

月曜日	8:00 ~	病棟回診
	15:00 ~	手術症例検討
火曜日	8:00 ~	病棟回診
	9:00 ~	手術見学(助手)
水曜日	8:00 ~	病棟回診
	15:00 ~	手術症例検討
木曜日	8:00 ~	病棟回診
	9:00 ~	手術見学(助手)
金曜日	8:00 ~	病棟回診
	15:00 ~	手術見学(助手)

##### 【実習担当指導医】

丹治雅博(副院長) 高橋皇基(部長)



科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 内科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	井上 実			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

**概要／方針等**

内科は、多くの疾患を併せ持つ患者さん、診療科の特定できない患者さんなど、幅広い領域をカバーしています。さまざまな症状の患者さんについて、病歴、身体所見、検査結果から、必要な場合は他科にもコンサルトしながら鑑別診断を進めていきます  
 外来、病棟での診療を体験していただき、内科の醍醐味を味わっていただきたいと思います

**【一般目標】**

患者さんとの接触を通して、総合的な診療能力を身に付ける

**【行動目標】**

患者さんの立場に立った医療面接を行う  
 的確な検査の進め方を考える  
 指導医と鑑別診断についてディスカッションする

テキスト 特に指定しない

参考書 特に指定しない

評価方法 実習態度、カンファレンス、指導医とのディスカッション、レポート等

その他(メッセージ等)

**授業計画／担当教員等**

**【授業計画】**

朝のカンファレンスに参加  
 外来、病棟での診療を経験する

**【実習担当指導医】**

新保卓郎／病院長      井上 実／副院長

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 脳神経外科)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)		
担当責任者	川上雅久		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県立医科大学脳神経外科学講座のBSLアドバンスコース概要に準じた実習を行う。</li> <li>・当院でもクリニカルクラークシップに基づき主治医の一人として脳神経外科臨床を実習する。</li> <li>・当院は救命救急センター設置施設であり二次・三次救急が非常に多い為、主として救急患者の初期治療から退院までを担当する。</li> <li>・病歴聴取、神経所見チェック、画像診断、治療計画作成を行い、助手として手術に参加する。また術後管理や検討会でのプレゼンテーションにも参加する。</li> <li>・当院の関連施設である太田熱海病院での回復期リハビリテーションも見学する。</li> <li>・実習指導医には積極的に疑問を投げかけること。</li> </ul>	
学習目標	
【一般目標】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳神経外科で扱う診断・治療の基本を理解し、より実践的な知識と手技の習得を目指す。</li> <li>・医師として大切な人を思いやる気持ちやチームとしての協調性を身につける。</li> </ul>	
【行動目標】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脳神経疾患を有する患者とコミュニケーションを取れる。</li> <li>2. 意識障害、神経脱落症状、高次脳機能障害を的確に診断できる。</li> <li>3. 画像所見を正確に読み取ることができ、基本的な診断と治療方針を立てることができる。</li> <li>4. 代表的な脳神経外科手術手技について説明することができる。</li> <li>5. 手術の助手をすることができる。</li> <li>6. 終末期医療について理解できる。</li> <li>7. チーム医療(特にTeam STEPPS)を理解し、他の医療スタッフと強調できる。</li> </ol>	
テキスト	特に指定しない
参考書	標準脳神経外科(医学書院)
	ベッドサイドの神経の診かた(南山堂)
	脳神経外科学(金芳堂)
	脳卒中治療ガイドライン2015(協和企画)
	外傷初期診療ガイドライン(へるす出版)
	重症頭部外傷ガイドライン(医学書院)
評価方法	2週間の実習に対する姿勢(特に積極性・協調性)を重視して総合的に評価する。
その他(メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命センターでは大学では診られないようなcommon diseaseから三次救急まで実に様々な症例を経験する可能性が高いため、積極的に診療に参加してほしい。</li> <li>・診療が夜になることも多いので体調管理に気を付け、交通事故には十分気を付けてほしい。</li> </ul>

授業計画/担当教員等	
【授業計画】	
回数・月日(曜日)時限	--- 項目[内容(キーワード等)]
月曜日:08:30~09:00	症例検討会(6A病棟カンファランスルーム2)
	09:00~臨床実習
火曜日:08:30~09:00	症例検討会(6A病棟カンファランスルーム2)
	09:00~臨床実習
	14:00~脳血管撮影
水曜日:08:30~09:00	症例検討会(6A病棟カンファランスルーム2)
	09:00~手術助手
	※希望者は水曜日の救急指定日当直
木曜日:08:30~09:00	症例検討会(6A病棟カンファランスルーム2)
	09:00~臨床実習
	15:00~術前・術後症例検討会
金曜日:08:30~09:00	症例検討会(6A病棟カンファランスルーム2)
	09:00~臨床実習
土曜日:08:30~09:00	症例検討会(6A病棟カンファランスルーム2)
	09:00~臨床実習(午前中で終了)
【実習担当指導医】	
川上雅久(副院長、脳神経センター長)	
藤田隆史(脳神経外科部長)	
前田卓哉(脳神経外科副医長)	
松本由香(脳神経外科副医長)	



科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 病理診断科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	小田島 肇			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択
				選択必修 授業形態 実習

概要／方針等

通常の診療で提出される生検、手術材料の診断過程の体験、迅速診断、剖検等に関わり一般病院における病理の業務を理解する

学習目標

【一般目標】

剖検例を含む多くの症例の病理学的検討を行い、最終的な病理診断や剖検の実際を理解する

【行動目標】

- ①手術材料等の簡単な切り出し、肉眼所見、組織学的所見をもとに、癌取り扱い規約に即した記載ができる
- ②剖検所見の把握ならびに病態や死因についての考察ができる

テキスト

参考書

評価方法

出席日数、学習態度等で総合評価する

その他(メッセージ等)

- ①患者個人情報を守秘する義務がある
- ②問題解決型学習を目標としているので、主体的な思考と積極的な学習態度が求められる

授業計画／担当教員等

【授業計画】

月～金 午前 切り出しの見学・参加

月～金 午後 日替わりで、手術材料、剖検材料等の観察、所見をまとめ病理医の検閲を受ける

※ 迅速・剖検があるときには、随時見学・参加する

【実習担当指導医】

小田島 肇

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(公益財団法人 星総合病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Hoshi General Hospital)		
担当責任者	野水 整		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要／方針等

星総合病院は「おらが病院」(私の病院)を合言葉に、「醫霊」を理念に掲げ、各施設において保健・医療・福祉サービスの提供を行っております。病床数430床の地域中核となる急性期疾病を対象とした総合病院で、地域のクリニックの先生方との連携を密に、紹介・逆紹介が活発に行われ、また郡山市の二次救急病院輪番制に参加し、救急医療の提供も行っております。

また星ヶ丘病院は、精神科急性期治療・認知症治療病棟を有し精神科急性期治療を行うほか、心療内科領域のメンタルヘルスケアも実施しております。

急性期病院として、地域に根ざした医療機関であるため、コモディージェズから専門的な症例まで幅広いことが特徴です。専門知識や技術の修得は勿論ですが、患者さんの「全身」を診る実習ができるよう体制を整えています。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

1. 「地域の中核である総合病院」の役割を学ぶ。
2. 地域医療・チーム医療の現場を体験し、出来るだけ多くの経験を積む。
3. 多くの症例と関わる事で、知識・技術の習熟度を高める。

##### 【行動目標】

1. 患者さんを中心としたチーム医療を学ぶため、医師のみならず多職種とコミュニケーションを図る。
2. 許容される基本的医療行為を安全に遂行する。
3. 自ら積極的に行動し、主体性・協力性など社会人として必要なスキルを身に付ける。

テキスト 特にありません。

参考書 特にありません。

評価方法 実習態度や指導医とのディスカッションなどにより、総合的に評価します。

##### その他(メッセージ等)

1. 研修する診療科は希望に配慮します。諸事情により実習をお受けできない診療科もございますのでご了承ください。
2. 実習の目標・スケジュールは指導医が判断して個別に立案しますが、希望する目標や経験したい内容がある場合はご相談下さい。
3. 昼食は当院の食堂をご利用ください。
4. 院内用上履きを持参して下さい。

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

実習する診療科や実習内容は、本人の希望により可能な範囲で対応します。

##### 1. 主な内容

基本的な診察見学

手術見学

検査見学 等

##### 2. 実習時間

8時45分から17時15分(木曜日は12:30まで)

ただし、診療科によっては時間外にカンファレンス等がある為、開始時間・終了時間は上記の限りではありません。

##### 【実習担当指導医】

実習する診療科・内容に応じて、当院の臨床研修指導医が担当します。

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(総合南東北病院(消化器内科・外科コース))		
(英語名称)	Southern TOHOKU General Hospital(Gastroenterology and Surgery)		
担当責任者	佐久間 秀夫		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<p>総合南東北病院は「すべては患者さんのために」の理念のもと、福島県中地区の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。最新機器・設備を駆使した高度先進医療を提供しており、外来患者・救急患者・検査・手術症例数は県内トップクラスの実績を誇っています。さらに、熱心な指導医が多数在籍し、各科の垣根が低く相談しやすい雰囲気があるのも当院の特徴のひとつです。</p> <p>当院の消化器内科では、消化器癌の診断・治療という専門的な分野はもちろん、内科全般を総合診療として両立させることを目標として診療にあたっています。また外科では、悪性腫瘍など多数の症例を経験することができます。さまざまな現場での経験を通し、臨床力のつく実習を提供します。</p>	
学習目標	
【一般目標】	
市中病院で行われている地域医療・チーム医療の現場を、各科の指導医や研修医、コ・メディカルとともに体験する。	
【行動目標】	
＜消化器内科＞	
1. 医療全般の中で消化器内科が果たすべき役割を理解する。	
2. 消化器疾患の診断・治療体系を理解する。	
3. 内科治療の基本を理解する。	
4. 入院患者さんとのコミュニケーションのとり方を理解する。	
＜外科＞	
1. 腹部症状の診察・診断ができるようにする。	
2. 緊急手術が必要な急性腹症の患者を診療し、その病態を理解する。	
3. 手術患者の術前・術後管理に参加し、患者の病状把握ができるようにする。	
4. 手術(消化管・肝胆膵の悪性腫瘍)に参加し、その手順を理解する。	
5. 病棟他職種カンファレンスに実際に参加し、チーム医療について学ぶ。	
6. 末期癌患者にかかわり、疼痛コントロールや心のケアなどの終末期医療について学ぶ。	
テキスト	特にありません。
参考書	特にありません。
評価方法	実習態度・レポート提出・指導医や研修医とのディスカッション等により総合的に評価する。
その他(メッセージ等)	原則、各科1週ずつの実習となります。 無料宿舎・実習期間中の食事の無料提供あり。実習前に希望されるか確認します。

授業計画/担当教員等	
【授業計画】	
朝開始時刻 8:30(希望があれば、下記にある早朝からの病棟回診・カンファレンス等から参加可能)	
※月-8:30~全体朝礼、水・金-7:55~全体カンファレンスに参加していただきます。	
終了時刻 おおよそ17:30~18:00	
＜消化器内科＞	
(月)・(水)・(金)午前一回診・外来、午後一検査	
(火)・(木)午前一回診・内視鏡、午後一検査	
* 夕方に、人体モデルを用いた内視鏡のトレーニングを行います。	
＜外科＞	
(月)7:30~回診、外来・手術・病棟処置回診・救急外来対応、ター回診	
(火)7:30~回診、8:00~カンファレンス、外来・手術・病棟処置回診・救急外来対応、ター回診	
(水)7:30~回診、外来・手術・病棟処置回診・救急外来対応、ター回診、17:30~外科内科症例カンファレンス	
(木)7:30~回診、7:55~病棟多職種カンファレンス、外来・手術・病棟処置回診・救急外来対応、ター回診	
(金)7:30~回診、外来・手術・病棟処置回診・救急外来対応、ター回診	
* 消化器疾患(主に悪性腫瘍)患者の術前・術後の管理を含めて、病棟回診・手術が主な実習となりますが、外来や救急外来対応にも積極的に参加していただくことができます。	
* 自身で患者を診ることで外科的救急疾患の具体的な流れがわかり、臨床力がつきます。	
【実習担当指導医】	
西野 徳之/消化器センター センター長	
高野 祥直/外科 科長	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(総合南東北病院(循環器科・心臓血管外科コース))		
(英語名称)	Southern TOHOKU General Hospital(Circulatory medicine and Cardiovascular Surgery)		
担当責任者	佐久間 秀夫		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

総合南東北病院は「すべては患者さんのために」の理念のもと、福島県中地区の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。最新機器・設備を駆使した高度先進医療を提供しており、外来患者・救急患者・検査・手術症例数は県内トップクラスの実績を誇っています。さらに、熱心な指導医が多数在籍し、各科の垣根が低く相談しやすい雰囲気があるのも当院の特徴のひとつです。

当院の循環器科では、循環器全般、特に不整脈関連に力を入れています。また、心臓血管外科については手術症例数が毎年350例以上あり、東北トップクラスといえます。先天性心疾患を含むほぼ全ての心臓血管疾患をカバーし、大動脈瘤ステントグラフト治療では東北初の植え込みを行いました。さまざまな現場での経験を通し、臨床力のつく実習を提供します。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

市中病院で行われている地域医療・チーム医療の現場を、各科の指導医や研修医、コ・メディカルとともに体験する。

##### 【行動目標】

###### <循環器科>

1. 循環器診察の技術を身につけることができる。
2. 循環器疾患の診断と治療ができる。
3. 内科一般の診断と治療ができる。
4. 患者の社会的背景を把握し、適した社会福祉サービスを提供することができる。

###### <心臓血管外科>

1. 病棟回診・手術などすべての業務を体験する。
2. カンファレンスに参加し、疾患や治療の考え方を学ぶ。
3. 意欲があれば症例報告も実施する。

テキスト 特になし。

参考書 特になし。

評価方法 実習態度・レポート提出・指導医や研修医とのディスカッション等により総合的に評価する。

その他(メッセージ等) 原則、各科1週ずつの実習となります。  
無料宿舎・実習期間中の食事の無料提供あり。実習前に希望されるか確認します。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

朝開始時刻 8:30(希望があれば、下記にある早朝からの病棟回診・カンファレンス等から参加可能)

※月-8:30~全体朝礼、水・金-7:55~全体カンファレンスに参加していただきます。

終了時刻 おおよそ17:30~18:00

###### <循環器科>

(月)午前-病棟、午後-心臓カテーテル検査・治療

(火)8:00~合同カンファレンス、カンファ終了後~心臓カテーテル検査・治療

(水)病棟(心エコー)

(木)午前-病棟、午後-心臓カテーテル検査・治療

(金)病棟(心臓リハビリテーション)

###### <心臓血管外科>

(月)午前-病棟回診、午後-関連病院の手術見学

(火)8:30~循環器合同カンファレンス、9:00~手術

(水)午前-病棟回診、11:30~手術

(木)9:00~手術

(金)9:00~手術、16:00~翌週の手術カンファレンス・抄読会

\* 希望があれば、7:30~の病棟回診から参加を歓迎します。

##### 【実習担当指導医】

小野 正博/心臓・循環器センター 副センター長

緑川 博文/心臓血管外科 成人部門 科長

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(総合南東北病院(神経内科・脳神経外科コース))		
(英語名称)	Southern TOHOKU General Hospital(Neurology and Neurosurgery)		
担当責任者	佐久間 秀夫		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<p>総合南東北病院は「すべては患者さんのために」の理念のもと、福島県中地区の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。最新機器・設備を駆使した高度先進医療を提供しており、外来患者・救急患者・検査・手術症例数は県内トップクラスの実績を誇っています。さらに、熱心な指導医が多数在籍し、各科の垣根が低く相談しやすい雰囲気があるのも当院の特徴のひとつです。</p> <p>当院の神経内科では、脳血管障害・髄膜炎の重症例・神経難病の急性増悪など神経救急疾患をすべて経験できます。脳神経外科については、地域の脳神経疾患の70%を当院で治療しています。日本全国でも有数の脳神経外科手術症例がありますので、脳神経系に興味のある学生には貴重な実習になることを確約します。さまざまな現場での経験を通し、臨床力のつく実習を提供します。</p>	
学習目標	
【一般目標】	
市中病院で行われている地域医療・チーム医療の現場を、各科の指導医や研修医、コ・メディカルとともに体験する。	
【行動目標】	
＜神経内科＞	
1. 神経診察の技術を身につけることができる。	
2. 神経疾患の診断と治療ができる。	
3. 内科一般の診断と治療ができる。	
4. 患者の社会的背景を把握し、適した社会福祉サービスを提供することができる。	
5. 神経難病以外の疾患にも対応でき、終末期医療を体得することができる。	
＜脳神経外科＞	
1. 脳卒中鑑別診断・治療選択ができるようになる。	
2. 神経学的所見・画像所見から病態が把握できるようになる。	
3. どのような場合に脳神経外科的治療が必要になるのかを考えられるようになる。	
テキスト	特にありません。
参考書	特にありません。
評価方法	実習態度・レポート提出・指導医や研修医とのディスカッション等により総合的に評価する。
その他(メッセージ等)	原則、各科1週ずつの実習となります。 無料宿舎・実習期間中の食事の無料提供あり。実習前に希望されるか確認します。

授業計画/担当教員等	
【授業計画】	
朝開始時刻 8:30(希望があれば、下記にある早朝からの病棟回診・カンファレンス等から参加可能)	
※月-8:30~全体朝礼、水・金-7:55~全体カンファレンスに参加していただきます。	
終了時刻 おおよそ17:30~18:00	
＜神経内科＞	
(月)8:00~抄読会、外来(午前)・病棟・救急対応	
(火)8:00~リハビリテーション回診、外来(午前)・病棟・救急対応、16:30~回診	
(水)外来(午前)・病棟・救急対応、16:00~脳卒中画像カンファレンス(脳神経外科・神経内科・放射線科合同)	
(木)外来(午前)・病棟・救急対応	
(金)外来(午前)・病棟・救急対応、16:30~週末ミーティング	
* 自分の興味のある分野について、特化した勉強をすることを認めています。	
例:てんかん、認知症、脳血管内治療	
* 必要時は他病院や大学で、週1回程度の外部研修を行っています。	
＜脳神経外科＞	
(月)脳神経救急…救急外来・病棟での脳卒中患者診察、脳動脈瘤手術の実際	
(火)脳腫瘍手術…脳腫瘍の多様性、治療目的と手術手技	
(水)脳血管内治療…救急外来・病棟での患者診察、脳血管撮影の実際	
(木)脳神経疾患リハビリテーション…脳神経疾患リハビリの実際、健康保険診療・介護保険の仕組みと社会保障制度	
(金)脳神経外科実習レポート発表・評価指導	
【実習担当指導医】	
金子 知香子/神経内科 科長	
後藤 博美/総合南東北病院 副院長	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(総合南東北病院(放射線診断科・放射線治療科コース))		
(英語名称)	Southern TOHOKU General Hospital(Radiology)		
担当責任者	佐久間 秀夫		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要／方針等

総合南東北病院は「すべては患者さんのために」の理念のもと、福島県中地区の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。最新機器・設備を駆使した高度先進医療を提供しており、外来患者・救急患者・検査・手術症例数は県内トップクラスの実績を誇っています。さらに、熱心な指導医が多数在籍し、各科の垣根が低く相談しやすい雰囲気があるのも当院の特徴のひとつです。  
当院の放射線科は、東北地方で唯一の後期研修基幹病院です。PET-CT4台・MRI6台・CT4台・血管造影3台など、日本有数の充実した画像診断機器を備えています。さまざまな現場での経験を通し、臨床力のつく実習を提供します。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

市中病院で行われている地域医療・チーム医療の現場を、各科の指導医や研修医、コ・メディカルとともに体験する。

##### 【行動目標】

###### <放射線診断科>

1. 放射線被ばくの基礎的事項が習得できる。
2. 胸腹部単純エックス線写真で典型的疾患の診断ができる。
3. CTとMRIの特長が理解できる(希望があれば実際に超音波検査やMRI検査を体験する)。
4. PET-CTの特長を理解し、典型的疾患の供覧を受ける。
5. 低侵襲性治療を理解し、模型を用いてカテーテル操作を経験する。

###### <放射線治療科>

がん患者を診察・治療するにあたり、どのような治療法が適しているか多方面から考えることができる。

テキスト 特にありません。

参考書 特にありません。

##### 評価方法

実習態度・レポート提出・指導医や研修医とのディスカッション等により総合的に評価する。

##### その他(メッセージ等)

原則、各科1週ずつの実習となります。  
無料宿舎・実習期間中の食事の無料提供あり。実習前に希望されるか確認します。

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

朝開始時刻 8:30(希望があれば、下記にある早朝からの病棟回診・カンファレンス等から参加可能)

※月-8:30~全体朝礼、水・金-7:55~全体カンファレンスに参加していただきます。

終了時刻 おおよそ17:30~18:00

###### <放射線診断科>

(月)オリエンテーション、神経放射線診断(CT・MRI)

(火)低侵襲性治療実習(IVR)、カテーテル実習

(水)外来実習、画像カンファレンス

(木)紹介画像診断実習(地域画像連携)

(金)実習生によるMRI・超音波画像実習

\* 放射線被ばくの実習は、オリエンテーション時に行います。

###### <放射線治療科>

(月)~(木)外来・病棟実習

(金)手術(血管内治療など)

##### 【実習担当指導医】

今井 茂樹／血管内治療研究所 所長

菊池 泰裕／南東北がん陽子線治療センター センター長

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(総合南東北病院(整形外科・外傷センターコース))		
(英語名称)	Southern TOHOKU General Hospital(Orthopaedics and Trauma Center)		
担当責任者	佐久間 秀夫		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

**概要/方針等**

総合南東北病院は「すべては患者さんのために」の理念のもと、福島県中地区の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。最新機器・設備を駆使した高度先進医療を提供しており、外来患者・救急患者・検査・手術症例数は県内トップクラスの実績を誇っています。さらに、熱心な指導医が多数在籍し、各科の垣根が低く相談しやすい雰囲気があるのも当院の特徴のひとつです。

当院の整形外科では、主に脊椎と四肢関節の変性疾患、スポーツによる障害や疾患、四肢の炎症性疾患などの治療と診断を行っています。外傷センターは平成27年4月に福島県内初として開設され、骨折の診断・手術から術後のリハビリまで一貫した骨折治療を行っています。当センターならではの技術・手法を駆使し、世界にその情報を発信しています。さまざまな現場での経験を通し、臨床力のつく実習を提供します。

**学習目標**

**【一般目標】**

市中病院で行われている地域医療・チーム医療の現場を、各科の指導医や研修医、コ・メディカルとともに体験する。

**【行動目標】**

**<整形外科>**

1. 患者さんから病歴を聴取し、身体診察を行う。
2. 鑑別診断を考え、補助検査の必要性を理解し、実際に検査をオーダーする。
3. 臨床症状・理学所見・画像診断を含む補助診断をもとに疾患を診断する。
4. 入院患者さんの治療法の適応を検討し、治療法を理解する。
5. 手術などの治療に参加する。
6. 周術期を含めた全身管理の方法を理解する。
7. リハビリテーションを含め、入院患者さんの社会復帰への過程を学ぶ。

**<外傷センター>**

1. 骨折の診断・治療の流れを把握できるようにする。
2. 骨折の正常な治癒過程を知る。
3. 骨折の合併症に対する理解を深める。
4. 難治骨折の病態・治療について知る。

テキスト 特にありません。

参考書 特にありません。

評価方法 実習態度・レポート提出・指導医や研修医とのディスカッション等により総合的に評価する。

その他(メッセージ等) 原則、各科1週ずつの実習となります。  
無料宿舎・実習期間中の食事の無料提供あり。実習前に希望されるか確認します。

**授業計画/担当教員等**

**【授業計画】**

朝開始時刻 8:30(希望があれば、下記にある早朝からの病棟回診・カンファレンス等から参加可能)

※月-8:30~全体朝礼、水・金-7:55~全体カンファレンスに参加していただきます。

終了時刻 おおよそ17:30~18:00

**<整形外科>**

(月)~(金)病棟・手術・外来

\* スケジュールは、参加したい手術の希望により調整します。

\* 7:30~の病棟回診(水曜日はリハビリ・看護師・ソーシャルワーカーとの合同カンファレンスあり)からの参加も歓迎します。

**<外傷センター>**

(月)午前-レントゲンカンファレンス・病棟回診、午後-クルズ

(火)午前-外来、午後-クルズ

(水)~(木)手術

(金)午前-手術、午後-総括

**【実習担当指導医】**

鹿山 悟/南東北医療クリニック 副院長

竹中 信之/外傷センター 科長

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:寿泉堂総合病院 外科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Jusendo Hospital)		
担当責任者	浦住 幸治郎		
開講年次	6年	開講学期	前期 必修/選択 選択必修 授業形態 実習

#### 概要/方針等

5年次のプライマリーコースに準じ、また医大コア・カリキュラムに従い、外科医療の実際を学び今後の自己研鑽の基礎となりうるように、多種多様な外科的疾患に継続的に関わり、その理解を深めていただくとともに外科手技の基本を身につける。また、週2回の救急指定があり、その実際を見学し、救急医療の知識を学ぶ。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

外科患者を継続的に関わり、外科手技の基本および実践し、さらにはチーム医療、周術期管理の重要性を理解する。

##### 【行動目標】

1. チームの一員として担当患者に接し、情報収集・情報の解釈・問題の解決を行うことができる。
2. 手術症例カンファレンスにおいて、担当症例について説明ができる。
3. 手術に参加し皮膚切開、縫合、結紮法などの基本手技を行うことができる。
4. 自動縫合器など外科的医療機器の操作ができる。
5. シミュレーターにて気管内挿管、心臓マッサージ、中心静脈穿刺など行う。さらには鏡視下手術で結紮、縫合の練習をする。
6. エコー検査の理解(解剖)と実践する。

テキスト 図書室に常備しており特にはありません。

参考書 図書室に常備しており特にはありません。

評価方法 上記行動目標等により総合的に判定します。

- その他(メッセージ等)
1. 患者には思いやりを持って接し、服装、態度、言葉遣いに気をつけること。
  2. 病状等に関する患者からの質問には原則として回答しないこと。
  3. 個人情報の取扱いには十分配慮すること。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

(月)午前-オリエンテーション、病棟回診、手術/午後-病棟回診、検査など
(火)午前-病棟回診、手術 / 午後-手術、病棟回診、検査など
(水)午前-病棟回診、手術 / 午後-手術、病棟回診
(木)午前-病棟回診、手術 / 午後-手術、病棟回診、手術症例カンファレンス、救急医療の見学
(金)午前-病棟回診、手術 / 午後-手術、病棟回診、救急医療の見学

なお、病棟回診には、担当患者の電子カルテ記載を含みます。救急医療の見学は、夜間となるため希望者のみです。

##### 【実習担当指導医】

中山浩一、菅野英和、星信大、今泉英子、研修医

※ 行は自由に追加していただいて結構です。

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:寿泉堂総合病院 循環器内科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Jusendo Hospital)		
担当責任者	鈴木 智人		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

当院は郡山市の中心部に位置するベッド数305床の中規模病院です。地域の二次救急を担っており、心不全・虚血性心疾患などの循環器系疾患を含む内科系の症例数は豊富です。大学病院とは違った背景を持つ症例が多数経験できます。循環器疾患の急性期治療からリハビリを含む慢性期までの、基本的な考え方や知識、手技について理解を深めていただきます。医学生の実習では、大学から提示されている範囲内の医行為を積極的に経験していただきます。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

指導医さらにローテート中の研修医とともに患者を受け持ち、急性期から退院時まで継続的に診療する。

##### 【行動目標】

- ・担当患者からの病歴聴取や理学所見の取り方を体験する。
- ・症例を通じて循環器疾患への理解を深め、必要な文献などを収集することができる。
- ・心臓カテーテル検査を見学し、所見を評価できる。
- ・心臓リハビリテーションの重要性を理解し、患者へ指導できる。
- ・コメディカルとのコミュニケーションをとり、チーム医療を体験する。

テキスト 特にありません。

参考書 特にありません。

評価方法 実習態度、上記行動目標などから総合的に評価します。

その他(メッセージ等)  
 ・積極的に関わり、疑問に思うことはいくらでも質問してください。  
 ・社会人としての基本的な挨拶・服装・言動を心がけてください。  
 ・個人情報の取扱いに気を付けてください。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

(月)午前	病棟回診		/午後	指導医とカンファ	病棟回診	リハビリカンファランス
(火)午前	病棟回診	心臓カテーテル検査・治療	/午後	指導医とカンファ	病棟回診	循環器カンファランス
(水)午前	病棟回診	心臓カテーテル検査・治療	/午後	指導医とカンファ	病棟回診	
(木)午前	病棟回診	心臓カテーテル検査・治療	/午後	指導医とカンファ	病棟回診	* 救急外来見学
(金)午前	病棟回診		/午後	指導医とカンファ	病棟回診	* 救急外来見学

\* 救急外来見学は夜間のため希望者のみ。ただし、日中は随時救急搬送患者を診察します。

実習内容は希望に応じて可能な範囲で対応します。

##### 【実習担当指導医】

鈴木 智人  
 谷川 俊了  
 水上 浩行

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:寿泉堂総合病院 小児科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Jusendo Hospital)		
担当責任者	金子真利		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

- ・関連病院実習により、一般的な小児疾患への理解を深めるとともに地域医療の実際を学ぶ。
- ・健全な母子関係に努めるための小児科医としての役割とチーム医療の必要性を理解する。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

- ・小児診療の基本的な病歴聴取や理学所見の取得を経験し学ぶ。
- ・小児疾患の病態や治療方針等における最新の知見を文献検索により求め、プレゼンテーションできるようにする。

##### 【行動目標】

- ・指導医の下で、日常的な小児疾患の患児を受け持ち、診療に参加する。
- ・予防接種外来を実習し、小児の予防医学への理解を深める。
- ・乳幼児健診を実習し、小児の発達における理解を深める。
- ・産科と協働して周産期医学の実際を体験し、新生児の生理と病態を学ぶ。

テキスト 特に指定しません。

参考書 小児医学および周産期医学の成書(和文で可)。

評価方法 受け持ち患者のプレゼンテーション、実習態度、遅刻欠席の有無等を総合的に評価しま

その他(メッセージ等)

- ・主な実習場所は、病棟・NICU(10階)、新生児室(6階)、小児科外来(3階)です。
- ・実習初日は白衣着用の上、8:30までに10階病棟にお越しください。
- ・社会人としての基本的な挨拶、服装、言動を心がけること望みます。
- ・遅刻や欠席の際は必ず事前に連絡してください。
- ・実習中不明な点や、疑問がありましたら、どんどん質問してください。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

##### 第1週目

午前

月～金 8:30～ 病棟回診、カンファランス、病棟処置 / 9:00～12:00 新患外来

午後

月曜日 14:00～予防接種、専門外来 / 16:00～病棟回診、カンファランス

火曜日 13:30～乳幼児健診、専門外来 / 16:00～病棟回診、カンファランス

水曜日 14:00～予防接種、専門外来 / 16:00～病棟回診、カンファランス

木曜日 14:00～予防接種 / 16:00～夕回診、カンファランス

金曜日 13:30～乳幼児健診、専門外来 / 16:00～ 1週目総括(担当患児プレゼンテーションと講評)

##### 第2週目

午前

月～金 8:30～病棟回診、カンファランス、病棟処置 / 9:00～12:00 新患外来

午後

月曜日 14:00～予防接種、専門外来 / 16:00～病棟回診、カンファランス

火曜日 13:30～乳幼児健診、専門外来 / 16:00～病棟回診、カンファランス

水曜日 14:00～予防接種、専門外来 / 16:00～病棟回診、カンファランス

木曜日 14:00～予防接種 / 16:00～夕回診、カンファランス

金曜日 13:30～乳幼児健診、専門外来 / 16:00～ 2週目総括(担当患児プレゼンテーションと講評)

##### 備考

- ・産科からの分娩立ち合い要請、他科からの診察依頼等があった場合は適宜随行する。
- ・各週、金曜日は救急輪番当直であり、希望があれば見学に応じます。

##### 【実習担当指導医】

小児科部長 金子 真利

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:寿泉堂総合病院 形成外科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Jusendo Hospital)		
担当責任者	阪野一世		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等

一般的な外科処置において、形成外科的観点での留意点を学習し、実技を経験する。  
 形成外科領域の代表的な疾患を経験する。  
 手術において、プライマリーコースと比してより積極的に関与する。

学習目標

【一般目標】

練習用の機材を用いて形成外科的手技を習得する。  
 外来における診療に参加し、治療の流れを理解する。  
 手術での手技を観察し、要点を理解する。

【行動目標】

形成外科的な創の洗浄、止血、縫合等の基本処置ができる。  
 疾患の診断、手術適応、手術方法を説明できる。  
 手術開始から終了までの大まかな手順を説明できる。  
 手術で使う器具について、基本的なものの名称と使い方を説明できる。

テキスト 標準形成外科(医学書院)

参考書 図説形成外科学講座(メディカルビュー)  
 形成外科手術書(南江堂)

評価方法 出席日数、実習態度、実技試験により総合的に評価。

その他(メッセージ等)

授業計画/担当教員等

【授業計画】

月曜日	午前:外来実習	午後:手術参加
火曜日	午前:外来実習	午後:関連病院への往診
水曜日	午前・午後:手術参加	
木曜日	午前:外来実習	午後:レーザー専門外来実習
金曜日	午前:外来実習	午後:手術参加

適宜時間を調整し、手技練習、講義をおこなう。

【実習担当指導医】

阪野一世

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:寿泉堂総合病院 血液内科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Jusendo Hospital)		
担当責任者	岡本正俊		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

福島県における血液診療は福島県立医科大学血液内科を中心として北福島医療センター、太田西ノ内病院、白河厚生総合病院、磐城共立病院、会津医療センターで急性期診療を行う事で県内全体をカバーしている。寿泉堂総合病院は福島県の交通の要所である郡山市に130年前から開設し地域医療に貢献している。当院は福島医大病院血液内科と連携し主にリンパ腫や骨髄腫、高齢者の造血不全という骨髄移植を中心とした血液学的高度診療が行えない症例の診療を行っている。現在は高齢化社会を迎え、高齢者のがん診療という医療のみでは解決できない分野が広がっている。当院での研修では、症例ごとに長期的な観点から他職種連携の下で診療を組み立てるといふ事に参加するとともに、緩和ケアおよび終末期医療への医療者としての取り組みや振る舞いなどを学ぶ機会を提供したい。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

地域中核病院としての血液学的初期診断および症例ごとの臨床経過をエビデンスに基づいた推測を行い、適切な診療を展開できるようになる。

##### 【行動目標】

- (1) 紹介や二次健診での血液異常を適切に診断できるようになる。
- (2) 症例の全身状態を評価し最適な治療方針を決定できるようになる。
- (3) 適切な緩和ケアを立案できるようになる。

テキスト 特にありません。

参考書 特にありません。

評価方法 カンファレンスでの発言や立案、実習態度などから総合的に評価します。

その他(メッセージ等) 夜間の内科系救急当直参加も希望があれば対応します。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

病棟実習:担当患者の回診とカルテへの記録を行います。

検査科実習:担当症例の血液像確認や輸血適合試験を検査技師とともに行います。

外来実習:新患を中心に病歴聴取、カルテ作成を指導医とともに行います。

医局症例検討会、抄読会への参加をお願いします。

##### 【実習担当指導医】

岡本正俊/血液内科部長

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:寿泉堂総合病院 産婦人科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Jusendo Hospital)		
担当責任者	鈴木 博志		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要／方針等

当院は郡山駅より歩いて5分の立地条件にある地域医療支援病院です。県中地区医療圏での女性生殖系シェアは高く、患者さんを愛し、患者さんから愛される病院です。患者さんの視点に立った医療を提供しています。

周産期医療協力施設として、ハイリスク妊婦、母体搬送を受ける一方で、診療所の先生方とのセミオープンシステムのもと、ローリスク妊婦の受け入れにも対応し、幅広い周産期管理を行っています。

婦人科内視鏡学会認定研修施設として、子宮筋腫や子宮内膜症、卵巣嚢腫といった良性疾患から骨盤臓器脱手術においても低侵襲的で整容性に優れた内視鏡手術を主として施行しています。

『温(オン)・デマンド』(個々の患者さんの要求に合わせ心のこもった最適な相互対応)な診療を心がけています。

地域で求められる産婦人科医療を通して、幅広い女性診療の側面を体現、心のベクトルを変えてみてください。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

【産科】正常分娩を体験するとともに異常妊娠・分娩、内科合併症妊娠管理(診察、検査、治療)の知識と実践

【婦人科】診察 手術を通して履修した知識の確認と内視鏡拡大視野での女性骨盤手術・解剖の知識を深め

##### 【行動目標】

【産科】①正常分娩(助産システムのもと、自然経過での経膈分娩)を通して、分娩メカニズムを履修する

②妊娠高血圧症や妊娠糖尿病などの診断、治療を通して、病態、治療を学ぶ

③帝王切開術の第1または第2助手

【婦人科】①開腹手術、内視鏡(腹腔鏡・子宮鏡)下手術の第2助手、第1助手(カメラ持ち)

②過多月経治療などにおけるホルモン治療、手術治療選択の多様性を学ぶ

③腹腔鏡下手術における縫合手技トレーニング(ドライボックス使用)

テキスト 大学病院に準ずる

参考書 解剖学的視点で解き明かす 女性骨盤手術 (金尾祐之著 南江堂)8,000円

評価方法 患者さんへの姿勢、実習態度などにて総合的に評価

その他(メッセージ等)

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

毎日 8時30分より、朝会ミーティング

基本、分娩(お産)を優先的に実習します。入院患者を通して、胎児モニタリング、胎児超音波診断検査履修。手術内容予定は以下の通りです。

【月曜日】 午前 予定帝王切開術 午後 開腹手術、子宮鏡下手術

【火曜日】 午前 腹腔鏡下手術(卵巣、子宮) 午後 腹腔鏡下手術(卵巣、子宮)

【水曜日】 午前 腹腔鏡下手術(卵巣、子宮) 午後 腹腔鏡下手術(骨盤臓器脱)

【木曜日】 午前 腹腔鏡下手術(卵巣、子宮) 午後 腹腔鏡下手術(卵巣、子宮)

【金曜日】 午前 予定帝王切開術 午後 開腹手術、子宮鏡下手術

##### 【実習担当指導医】

鈴木 博志(産婦人科臨床教授)、大和田 真人、鈴木 和夫、田中 昌代(産婦人科専門医)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(竹田総合病院)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Takeda General Hospital)			
担当責任者	神本 昌宗			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

#### 概要／方針等

当院は医科・歯科合わせて30の標榜科を有し、1年間に延べ318,664件の外来診療、13,829件の入院(延べ234,658人の入院診療:平成27年度実績)を行っています。当院は、地域医療支援病院として会津地方の医療機関と連携しており、地域の医療機関より紹介された患者を診療、当院で急性期の治療が終了した患者さんは地域の医療機関へ紹介することを基本としています。一方、救急室は年間45,000名を超える初期診療を扱っており、救急車の搬送台数も6,126件(平成27年度実績)あり、2年間の初期臨床研修においては軽症から重症例まで幅広い疾患・症例を経験できます。BSLアドバンスコース(竹田総合病院)では、2週間の間に臨床の現場を見学し病棟で患者に対する介助を実地に経験します。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

診療における基本的な医療面接、基本的検査、診断、治療について実際の現場を見学し、介助の手技を体験することで、診療に際してはどのような態度・知識・技術が必要かを学ぶ。

##### 【行動目標】

日常の診療を見学し診療の現場を体験する。  
多職種(外来及び病棟の看護・介護、薬剤、検査、画像診断、リハビリ、栄養科)の現場を体験する。  
毎日の記録により振り返りを行う。

テキスト 特に指定はありません。

参考書 特に指定はありません。

評価方法 研修態度、記録の内容、指導担当者との話し合いなどにより総合的に判定する。

その他(メッセージ等) 移動中の事故、実習中の健康管理に注意してください。  
個人情報保護・時間厳守など社会規範を守って実習を行ってください。

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

##### 第1週

実習初日 実習オリエンテーション、院内感染(標準予防策)・医療安全について

実習2～5日 病棟実習、病棟回診見学、各種検査の見学、外来見学、救急医療、手術見学

##### 第2週

実習6～9日 学生の希望に応じて診療科を選択しての実習・見学が可能です  
(希望が無ければ、標準パターンでの実習になります)

実習最終日 午前:病棟実習、午後:実習のまとめ、振り返り

診療科カンファランス、臨床研修勉強会、朝礼、医局会、講演会等には随時参加  
回復期リハビリ病棟、緩和ケア病棟、老健施設での実習が可能です。

##### 【実習担当指導医】

福島県立医科大学 臨床教授・臨床助教授の医師及び臨床研修指導医が担当します。

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(会津外傷再建外科センター 会津中央病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (aiTRSC)		
担当責任者	伊藤雅之		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択
		授業形態	実習

### 概要/方針等

外傷再建センターは日本に2カ所しか設置してません。そのうち、軟部組織再建、関節機能再建ともに加療をしているのは当科のみとなります。外傷という疾患は、医療が発展してもなくなることはありませんし、多発外傷の多くは若者に発生し、その方々が社会復帰することは国にとっても非常に大切です。一方、高齢化が進み、転倒などの軽微な外傷も増えています。なるべく廃用性萎縮などを起こさないように、早期に適切な治療が必要となります。現在、データを積み重ね、この分野の日本での発展に貢献するべく治療をしています。

### 学習目標

#### 【一般目標】

外傷に特有な診断と治療を経験し、患者の退院までの経過を経験することと、外傷後遺症に対する治療方針の検討、手術に参加し理解を深めることを柱にします。

#### 【行動目標】

- 1 多くの医療関係者とともに治療する疾患であり、挨拶から始まるコミュニケーションをとる
- 2 救急科と共に多発外傷診断と治療に初期から参加し、理解する。外傷カンファレンスでの症例検討に参加する
- 3 一般外傷の診断と治療に参加し、理解をする。病棟・リハビリテーションカンファレンスに参加する。

テキスト 標準 整形外科 希望者のみ購入でよいです

参考書 勧められる本として 整形外科 研修ノート 診断と治療社 希望者のみ購入でよいです

評価方法 実習態度、指導医とのディスカッションなどにより、総合的に評価する。

その他(メッセージ等) 当院は外科系に興味のある学生一般に参考になる病院です。メスを握って治療をしたいと思っている方から麻酔、集中治療に興味のある方まで、対応可能と思います。

### 授業計画/担当教員等

#### 【授業計画】

月曜日から金曜日

・モーニングカンファレンス 毎日の新入院患者の治療方針検討、および手術患者の術前検討

・外来助手 あるいは 手術助手

・病棟患者の回診 術後管理

月曜日 病棟患者カンファレンス、リハビリテーションカンファレンスで術後治療方針の検討

水曜日 外傷カンファレンス 救急科、整形外科とともに救急患者の症例検討

時間外

希望により、緊急手術のマネージメントから手術まで見学・実習

実際の主治医と共に行動し、治療方針など検討、実践しましょう

#### 【実習担当指導医】

福島県立医科大学 外傷再建学講座 伊藤雅之 畑下智 水野洋佑 高橋洋二郎 新田夢鷹 他非常勤医師

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(会津外傷再建外科センター 会津中央病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (aiTRSC)		
担当責任者	伊藤雅之		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択
		授業形態	実習

### 概要/方針等

外傷再建センターは日本に2カ所しか設置してません。そのうち、軟部組織再建、関節機能再建ともに加療をしているのは当科のみとなります。外傷という疾患は、医療が発展してもなくなることはありませんし、多発外傷の多くは若者に発生し、その方々が社会復帰することは国にとっても非常に大切です。一方、高齢化が進み、転倒などの軽微な外傷も増えています。なるべく廃用性萎縮などを起こさないように、早期に適切な治療が必要となります。現在、データを積み重ね、この分野の日本での発展に貢献するべく治療をしています。

### 学習目標

#### 【一般目標】

外傷に特有な診断と治療を経験し、患者の退院までの経過を経験することと、外傷後遺症に対する治療方針の検討、手術に参加し理解を深めることを柱にします。

#### 【行動目標】

- 1 多くの医療関係者とともに治療する疾患であり、挨拶から始まるコミュニケーションをとる
- 2 救急科と共に多発外傷診断と治療に初期から参加し、理解する。外傷カンファレンスでの症例検討に参加する
- 3 一般外傷の診断と治療に参加し、理解をする。病棟・リハビリテーションカンファレンスに参加する。

テキスト 標準 整形外科 希望者のみ購入でよいです

参考書 勧められる本として 整形外科 研修ノート 診断と治療社 希望者のみ購入でよいです

評価方法 実習態度、指導医とのディスカッションなどにより、総合的に評価する。

その他(メッセージ等) 当院は外科系に興味のある学生一般に参考になる病院です。メスを握って治療をしたいと思っている方から麻酔、集中治療に興味のある方まで、対応可能と思います。

### 授業計画/担当教員等

#### 【授業計画】

月曜日から金曜日

- ・モーニングカンファレンス 毎日の新入院患者の治療方針検討、および手術患者の術前検討
- ・外来助手 あるいは 手術助手
- ・病棟患者の回診 術後管理

月曜日 病棟患者カンファレンス、リハビリテーションカンファレンスで術後治療方針の検討

水曜日 外傷カンファレンス 救急科、整形外科とともに救急患者の症例検討

時間外

希望により、緊急手術のマネージメントから手術まで見学・実習

実際の主治医と共に行動し、治療方針など検討、実践しましょう

#### 【実習担当指導医】

福島県立医科大学 外傷再建学講座 伊藤雅之 畑下智 水野洋佑 高橋洋二郎 新田夢鷹 他非常勤医師

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース会津救命救急科合宿研修プログラム(会津中央病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course ER・ICU training camp (Aizu central Hospital)		
担当責任者	島貴公義(県立医大臨床教授・外科)		
開講年次	6年	開講学期	必修／選択 選択 授業形態 実習

### 概要／方針等

当院の救急医は、「救急外来(ER)」と「集中治療(ICU)」を診療の主な柱としている。本プログラムはERとICUにおける診療を体験し、対応できる基礎的能力の修得をめざす。救急医療の現場では多種多様な患者が訪れ、一人の患者が様々な問題点を抱えていることも決して稀ではない。そうした状況で、限られた時間の中で適切な診断と治療を行わなければならない。医療が専門分化するなかで、救急医には様々な診療領域・臓器にまたがる幅広い知識が求められる。また、急性臓器不全、多発外傷、急性中毒、プレホスピタルケアとの連携、災害医療などは、救急医が特に精通すべき事項であることを認識する。

### 学習目標

#### 【一般目標】

重症患者さんの初期診療がどのように行われ、その患者さんを集中治療室がどのように引き継いでいるかを実感し、重症患者さんの診療が病院前から救急外来、集中治療室まで、急性期専門治療後から慢性期、そして在宅まで、シームレスにつながっていることを医学生の時から意識づける。スタッフと共に学生としてできることを考え、救急医療のできる医師になるために何を学習しなければならないかを学ぶ。

#### 【行動目標】

指導医および上級、初期救命科研修医師とのマンツーマン体制で研修を行う。

救急科BSLの研修の目標は、以下のとおりである。

初期/後期研修医と常に行動を共にし 研修医とともに学習する

救急医療で求められる診療能力について学ぶ

- ・救急患者の初期対応(診断、治療)の基本的事項を初期研修医とともに修得する
- ・集中治療(ICU管理)の基本的事項を修得する
- ・プレホスピタルケアの基本的事項を修得する

研修内容と到達目標

- ・救急外来における患者の診断と処置の実施・参加
  - ・創傷処置、各種中毒に対する対応・実施・参加
  - ・各種X線、CT、MRIの読影、超音波検査法の実施と診断
  - ・ICUにおける集中治療の経験・参加
  - ・救急蘇生法、BSL、ACLS、JPTEC、JATECの概要を知る
  - ・一次救命処置を実施できるようになる
  - ・二次救命処置に参加する
  - ・救急車、ドクターカーの同乗実習
  - ・血管撮影、インターベンショナル・ラジオロジーの基本的事項の見学・参加
  - ・プレホスピタルケアのメディカル・コントロールについて知る
  - ・消防署からの搬入依頼に対して対応を看護師・研修医と共に経験・参加する
  - ・社会福祉的問題の基本的な対処法を知る
  - ・各専門診療科での治療への参加・見学
- (脳外科 循環器科 外科 消化器科 外傷再建外科など)

テキスト	
参考書	
評価方法	経験した1症例のCase reportを作成する
その他(メッセージ等)	

### 授業計画／担当教員等

#### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

月曜～金曜まで救命ER・ICUにて初期研修医・後期研修医と行動を共に、基本24時間体制で研修する

#### 【実習担当指導医】

救命科 佐竹秀一(県立医大臨床准教授)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース産婦人科研修プログラム(会津中央病院)			
(英語名称)	BSL Advanced Course .Obstetrics & Gynecology (Aizu central Hospital)			
担当責任者	武市和之			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

概要／方針等	
産科・婦人科の臨床実習(特に手術)がメインのプログラムです。	
学習目標	
<b>【一般目標】</b> 女性の生理的、形態的、精神的特徴あるいは特有の病態を把握し、プライマリケアにおける産婦人科の基本的な診療能力を習得する。	
<b>【行動目標】</b> 1、全科に通じる基本的な診療能力やカルテの書き方を身につける。 2、外科的手技(縫合、結紮)を習得する。開腹手術および腹腔鏡手術に第2助手として参加する。 3、術前・術後の周術期管理を学ぶ。 4、胎児超音波検査を体験する。 5、自然分娩・帝王切開に立ち会う。 6、産婦人科外来を見学し、診察時の考え方や産婦人科特有の診察技法を学ぶ。	
テキスト	病気が見える産科/婦人科
参考書	
評価方法	経験した1症例のcase reportを作成する
その他(メッセージ等)	

授業計画／担当教員等	
<b>【授業計画】</b>	
<月曜日>	<火曜日>
8:30~8:45 / 病棟処置	8:30~9:00 / 病棟処置
8:45~9:30 / 院長診察・回診	9:00~9:30 / 回診
9:30~12:00 / 病棟処置・手術・外来	9:30~12:00 / 病棟処置・手術・外来 (10:30~11:00 / 放射線カンファランス)
12:30~15:00 / 手術	12:30~15:00 / 手術
15:00~17:00 / 病棟処置・外来	15:00~17:00 / 病棟処置・外来
17:00~17:30 / 病棟カンファランス	(17:00~17:30 / ケモカンファ 毎月第1・3週)
<水・金曜日>	<木曜日>
8:30~9:00 / 病棟処置	7:30~8:00 / cancer bord
9:00~9:30 / 回診	8:30~8:45 / 病棟処置
9:30~12:00 / 病棟処置・手術・外来	8:45~9:30 / 院長診察・回診 9:30~12:00 / 病棟処置・手術・外来
12:30~15:00 / 手術	12:30~15:00 / 手術
15:00~17:00 / 病棟処置・外来	15:00~17:00 / 病棟処置・外来
※このほか不定期にDrug Informationが開催されます。 ※毎月第1・3火曜日の17:00~17:30にケモカンファを行います。	
<b>【実習担当指導医】</b>	
武市和之	

※ 行は自由に追加していただいて結構です。

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース手術実践体験研修プログラム(会津中央病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course Practice & Poiesis in Surgery (Aizu central Hospital)		
担当責任者	島貫公義(県立医大臨床教授・外科)		
開講年次	6年	開講学期	必修/選択 選択
			授業形態 実習

**概要/方針等**

座学より、手術を体験する研修です。当院で行われる消化器、呼吸器、心臓血管外科、泌尿器科など外科系手術に可能な限り参加・体験する。術前・術中・術後(周術期)のチーム医療・安全管理に参加し体験する。

**学習目標**

**【一般目標】**

大学では短期間に体験できない複数診療科の手術に参加し、術前・術中・術後(周術期)のチーム医療・安全管理についての基礎事項を理解する

**【行動目標】**

- 1手術症例を担当し case reportを作成する  
パワーポイントによる症例発表までの手順を体験する
- 可能なかぎり腹腔鏡 胸腔鏡手術、心臓血管外科手術、泌尿器科、その他興味ある手術へ積極的に参加する。
- 手術参加のための予習をおこなう  
参加手術ごとに
  - 1)診断法 2)手術適応、術前評価、術前管理 3)手術法 4)術後管理
  - 5)術後合併症について 予習し簡単なサマリーを提出する
  - 6)術後に 実際の手術所見、手術手技について簡単に発表する
- DaVinciのシミュレーター体験
- 腹腔鏡 胸腔鏡のドライラボでの体験 結紮 縫合の体験
- 手術室での安全管理ノンテクニカルスキルについて講義を受ける

テキスト

参考書

評価方法

その他(メッセージ等)

**授業計画/担当教員等**

**【授業計画】**

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

研修期間中の各診療科の手術より 興味ある症例を選択し、術前予習後に手術に参加し行動目標を達成する  
ドライラボでの実習は外科スタッフが指導する

**【実習担当指導医】**

渡辺洋平(福島県立医大 消化器外科)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース脳神経外科研修プログラム(会津中央病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Aizu central Hospital)		
担当責任者	前田 佳一郎		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

### 概要/方針等

入院患者の診察および処置、救急患者対応、手術などに参加する。脳神経外科疾患の基本的知識の理解とそれらの疾患の診断、治療方針、手術手技の基本を修得する。

### 学習目標

#### 【一般目標】

脳神経外科疾患の基本を理解し、診断、治療方針、手術手技の基本的知識を習得する。実践的な知識と手技習得を目指し積極的に学習する。また医師として患者への接し方や協調性を身につける。

#### 【行動目標】

##### a) 一般診療

問診および全身的診察ができる。神経所見を的確に把握する。  
日常の一般的投薬、術前後の処方に対する知識を身につける。  
患者、家族と良好なコミュニケーションがとれる。

##### b) 疾患に対する知識

脳神経外科疾患を中心に神経疾患全般にわたり、基本的知識を身につける。  
最新の知見の収集ができ、日常診療に役立てられる。

##### c) 検査

全身所見のみならず神経学的理学所見を確かにし、的確な思考過程をもとに必要な補助検査を知る。  
画像所見の異常を指摘でき、基本的な診断と治療方針を述べられる。  
患者のrisk factor、術前の十分な検査計画を理解する。  
術後の経過観察に必要な検査計画、術後合併症を理解する。

##### d) 治療

意識障害や急変時の患者に対応することができる。  
基本的脳神経外科手技の知識を身につける。  
手術での各助手の立場を理解し、充分遂行できるようにする。

テキスト 特に指定しない

参考書 特に指定しない

評価方法 積極性や遅刻・欠席の有無などの実習に対する姿勢、知識(神経所見、画像所見、診断)ならびに技能(病棟および手術室での手技)を総合的に判定する。

#### その他(メッセージ等)

当院では、脳神経外科医を24時間体制で院内に配置し、救命救急センターとの連携により、脳梗塞や脳出血などの、救急時の対応もスムーズに行われます。  
特に緊急時は、救急専門医や脳神経外科専門医、麻酔科専門医のチームワークによって支えられ、スムーズに検査・治療が出来る体制になっております。会津地区の地域的な特徴もあり、広大な地域から沢山の患者さんが集まってきます。緊急手術症例数も多く、全ての検査、処置が迅速に行われ、また最近では脳血管内治療にも力を入れており、一つの疾患に対し外科的アプローチ、内科的アプローチが可能な環境を整えています。

### 授業計画/担当教員等

#### 【実習計画】

脳神経外科医師と同様の日程で実習、見学を行う。日程は状況により変動あり。

○火曜 水曜 金曜

午前:手術 午後:病棟処置、患者診察等

○月曜 木曜

午前:カンファレンス、病棟処置、患者診察等 午後:回診、病棟処置、患者診察等

緊急手術、救急患者対応 など

#### 【実習担当指導医】

前田 佳一郎

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(外科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyoritsu General Hospital)		
担当責任者	吉田 寛		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
市民の健康を守る地域中核病院で、診療チームの一員として診療活動に参加することにより、医師として求められる態度・知識・思考能力・技能などを学習し、卒後研修を開始するのに必須の基本的診療能力を修得して頂きたい。	
この目標を達成するため、スチューデント・ドクターとして外科診療チームに加わり、クリニカル・クラークシップを実践してもらうとともに、週1回(計2回)の救命救急センターでの準夜帯当直実習を必須とする。	
学習目標	
【一般目標】 外科の基本的な知識・技能・態度を修得する。	
【行動目標】 1. 毎朝一番に受け持ち患者を診察し、バイタルサインや看護・診療記録を確認する。 2. 受け持ち患者の術前プレゼンテーションを行う。 3. 診療チームと患者・患者家族とで設定される治療計画の説明と同意取得に参加する。 4. 外来やベッドサイドで行われる静脈採血や末梢静脈の血管確保などの基本的手技を見学・実施する。 5. 手術に助手として参加する。 6. 真皮埋没縫合を見学・実施する。 7. 術後の輸液量を判断できる。 8. 診療チームの一員として、救命救急センターでの三次救急初期治療に参加する。	
テキスト	特に指定しません。
参考書	1. イラストレイテッド外科手術(医学書院) 2. ~外科の要点と盲点シリーズ(文光堂) 3. がん診療レジデントマニュアル(医学書院) 4. トップナイフ(医学書院) など(いずれも貸与します)
評価方法	workplace-based assessment(臨床現場での評価)とポートフォリオを用いた評価・フィードバックを行います。
その他(メッセージ等)	地域医療の最前線、かつ、最後の砦として地域住民の健康を守る当院での実習は、プライマリーケアから三次救急治療まで。また、common diseaseから稀少疾患までの幅広い経験を約束します。 医師として卒後臨床研修を開始する際に求められる基本的診療能力を身につけたい方は、是非、当院で実習してください。心から歓迎します。  なお、宿泊先や集合時間・場所などについては、後日、当院事務担当者からご連絡します。

授業計画/担当教員等
【授業計画】
【月曜日】 8:30 病棟回診 9:30 手術 16:30 病棟回診 18:00 研修医勉強会
【火曜日】 8:00 抄読会(偶数週のみ) 8:30 病棟回診 9:30 外来診察実習および入院患者検査 13:15 病理切り出し 13:30 病棟多職種カンファレンス 14:00 総回診 15:00 術前カンファレンス 16:30 消化器内科合同カンファレンス
【水曜日】 8:30 病棟回診 9:30 手術 16:30 病棟回診
【木曜日】 8:30 病棟回診 9:30 外来診察実習および入院患者検査 13:15 病理切り出し 13:30 術前カンファレンス 15:00 問題症例カンファレンス 16:30 病棟回診
【金曜日】 8:30 病棟回診 9:30 手術 16:30 病棟回診
また、当院では平均2日に1件の臨時手術を行っていますので、緊急症例の診察→手術適応の決定→手術→術後管理までの一連の外科診療も実習します。
この他、週1回は当院救命救急センターでの準夜帯当直実習を行います(希望者は、深夜帯実習も可能)。
【実習担当指導医】 外科: 吉田 寛(よしだ ひろし)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(形成外科コース)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyoritsu General Hospital)			
担当責任者	檜垣 仁志			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

**概要／方針等**

いわき地区唯一の入院可能な形成外科です。  
一部の特殊な分野を除き、形成外科全般を診療しています。

**学習目標**

**【一般目標】**

形成外科で取り扱う疾患、外傷を学ぶ。

**【行動目標】**

1. 外来診療で、患者の治療方針決定のプロセスを見る。
2. 手術に参加し、一部の助手を務める。
3. 形成外科的縫合法を見る。

テキスト 特になし。

参考書 その都度、形成医局内、図書室等の文献を指定。

評価方法 項目ごとに評価。

その他(メッセージ等) 2週間の実習では経験できない症例もあると思います。希望があれば、症例写真等でプレゼンテーションを行います。

**授業計画／担当教員等**

**【授業計画】**

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

- 月曜日の午前、水曜日の午前・午後、木曜日の午後は手術。  
他に、緊急・臨時手術、他診療科との合同手術もあり。
- 月曜日から金曜日の午後は外来診療。
- 火曜日と金曜日の午前は回診。

**【実習担当指導医】**

檜垣 仁志(専)、薄葉 千絵(専)、笠井 文博 他

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(産婦人科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyoritsu General Hospital)		
担当責任者	本多 つよし		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<p>市民の健康を守る地域中核病院で、県内有数の症例数を誇る当院の診療活動に参加することにより、医師として求められる態度・知識・思考能力・技術などを学習し、卒後研修を開始するのに必須の基本的診療能力を修得して頂きたい。</p> <p>この目標を達成するため、スチューデント・ドクターとして、産婦人科診療チームに加わり、クリニカル・クラークシップを実践して頂くとともに、将来を見据えて、積極的な態度で取り組むことを期待したい。</p>	
学習目標	
<b>【一般目標】</b>	
産婦人科の基本的な知識・技能・態度を修得する。	
<b>【行動目標】</b>	
1. 分娩に立ち合い、内診等を行い、その進行を理解する。	
2. 超音波を用いた各種疾患の診断に参加する。	
3. 尿を用いた妊娠反応検査を行う。	
4. コルポスコープにて病巣同定を試みる。	
5. 手術に助手として参加する。また、術前に尿道カテーテルの挿入を行う。	
6. 術後の観察、創処置、抜鉤等を行う。	
7. NICUとの合同カンファランスに参加する。	
8. 緩和ケア医療に参加する。	
テキスト	特に指定ありません。
参考書	1. 病気がみえる 産科・婦人科(メディカルレビュー社) 2. 標準産婦人科学(医学書院) 3. OGS NOWシリーズ(メディカルレビュー社) 4. 胎児心拍数モニタリング講座(メディカ社) など、いずれも貸与いたします。
評価方法	workplace-based assessment(臨床現場での評価)とポートフォリオを用いた評価・フィードバックを行います。
その他(メッセージ等)	産婦人科地域医療の最前線、かつ、最後の砦として地域住民の健康を守る当院での実習は、プライマリーケアから三次救急治療まで。また、common diseaseから稀少疾患までの幅広い経験を約束します。 将来、産婦人科医師を志望される方、基本的診療能力を身につけたい方は、是非、当院で実習してください。心から歓迎します。  なお、宿泊先や集合時間・場所などについては、後日、当院の事務担当者からご連絡します。

授業計画/担当教員等	
<b>【授業計画】</b>	
<b>【月曜日】</b>	
8:30より終日手術	
9:00 外来診察実習および入院患者検査、退院診察等	
夕方 病棟回診	
<b>【火曜日】</b>	
9:00 外来診察実習および入院患者検査、退院診察等 手術(午前中のみ)	
16:00 NICUとのカンファランス	
17:00 医局勉強会	
夕方 病棟回診	
<b>【水曜日】</b>	
9:00 外来診察実習および入院患者検査、退院診察等	
13:00 手術	
夕方 病棟回診	
<b>【木曜日】</b>	
9:00 外来診察実習および入院患者検査	
夕方 病棟回診	
<b>【金曜日】</b>	
9:00 外来診察実習および入院患者検査	
13:00 手術	
夕方 病棟回診	
<p>当院では、この地域での緊急手術をほぼ一手に行っております。従って、迅速な対応が求められる疾患の経験にはうってつけの病院と考えます。</p> <p>婦人科腫瘍の症例数は、北海道・東北地方で常に上位にランクされております。また、産科においても、合併症妊婦や重症例にも対応しております。貴重な症例も経験できることと思います。</p>	
<b>【実習担当指導医】</b>	
産婦人科:本多 つよし(ほんだ つよし)	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(耳鼻咽喉科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyoritsu General Hospital)		
担当責任者	牛来 茂樹		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
市民の健康を守る地域中核病院で、診療チームの一員として診療活動に参加することにより、医師として求められる態度・知識・思考能力・技能などを学習し、卒後研修を開始するのに必須の基本的診療能力を修得して頂きたい。	
この目標を達成するため、スチューデント・ドクターとして診療チームに加わり、クリニカル・クラークシップを實踐してもらうとともに、週1回(計2回)の救命救急センターでの準夜帯当直実習を必須とする。	
学習目標	
【一般目標】	
耳鼻咽喉科の基本的な知識・技能・態度を修得する。	
【行動目標】	
1. 毎朝最初に病棟回診を行い、入院患者全員を診察し、バイタルサインや看護・診療記録を確認する。	
2. 受け持ち患者の治療方針のプレゼンテーションを行う。	
3. 診療チームと患者・患者家族とで設定される治療計画の説明と同意取得に参加する。	
4. 外来やベッドサイドで行われる静脈採血や末梢静脈の血管確保などの基本的手技を見学・実施する。	
5. 手術に助手として参加する。	
6. 真皮埋没縫合を見学・実施する。	
7. 術後経過を判断できる。	
8. 診療チームの一員として、救命救急センターでの三次救急初期治療に参加する。	
テキスト	特に指定しません。
参考書	1. 新耳鼻咽喉科学(南山堂) 2. 外来耳鼻咽喉科疾患診療のコツ(全日本病院出版) 3. めまい薬物治療(全日本病院出版) 4. 中耳・側頭骨アトラス(医学書院) など(いずれも貸与します)
評価方法	workplace-based assessment(臨床現場での評価)とポートフォリオを用いた評価・フィードバックを行います。
その他(メッセージ等)	地域医療の最前線、かつ、最後の砦として地域住民の健康を守る当院での実習は、プライマリーケアから三次救急治療まで、また、common diseaseから稀少疾患までの幅広い経験を約束します。 医師として卒後臨床研修を開始する際に求められる基本的診療能力を身につけたい方は、是非当院で実習してください。心から歓迎します。  なお、宿泊先や集合時間・場所などについては、後日、当院事務担当者からご連絡します。

授業計画/担当教員等	
【授業計画】	
【月曜日】 8:15 病棟回診 9:00 一般外来診察実習 14:00 耳鼻咽喉・頭頸部腫瘍外来診察実習 17:00 病棟回診	
【火曜日】 8:15 病棟回診 9:00 一般外来診察実習 14:00 耳鼻咽喉・頭頸部超音波外来診察実習 17:00 病棟回診	
【水曜日】 8:15 病棟回診 9:00 手術 17:00 病棟回診 18:00 耳鼻咽喉科+放射線科治療カンファレンス	
【木曜日】 8:15 病棟回診 9:00 一般外来診察実習 14:00 耳鼻咽喉科病棟カンファレンス 14:30 耳鼻咽喉科小児外来診察実習 17:00 病棟回診	
【金曜日】 8:15 病棟回診 9:00 手術 17:00 病棟回診 18:00 耳鼻咽喉科入院患者カンファレンス	
また、当院では救急患者の受け入れもあり、緊急手術を行っていますので、緊急症例の診察→手術適応の決定→手術→術後管理までの一連の診療も実習します。	
この他、週1回は当院救命救急センターでの準夜帯当直実習を行います。	
【実習担当指導医】	
耳鼻咽喉科:牛来 茂樹(ごらい しげき)	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(循環器内科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyoritsu General Hospital)		
担当責任者	杉正文		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<p>市民の健康を守る地域中核病院で、診療チームの一員として診療活動に参加することにより、医師として求められる態度・知識・思考能力・技能などを学習し、卒後研修を開始するのに必須の基本的診療能力を修得して頂きたい。</p> <p>この目標を達成するため、スチューデント・ドクターとして診療チームに加わり、クリニカル・クラークシップを実践してもらうとともに、週1回(計2回)の救命救急センターでの準夜帯当直実習を行う。</p>	
学習目標	
【一般目標】	
循環器内科の診療における基本的な医療面接、身体診察法、検査法、診断法、治療法についての習熟度を高め、数多くの症例を通して主要な疾患についての理解を深める。	
【行動目標】	
1) 担当患者を毎日診察し、良好なコミュニケーションの下に、必要な情報を得て上級医と討論できる。	
2) 基本的身体診察、バイタルサインの測定を正確に行い評価できる。	
3) 病的心音・心雑音を正しく鑑別できる。	
4) 12誘導心電図を正しく記録し読影できる。	
5) 基本的な心エコー・核医学・心臓カテーテル検査所見を評価できる。	
6) 主要な循環器疾患の病態生理、診断法、治療計画を説明できる。	
7) 最新の診療に関するエビデンス(EBM)を検索し担当患者に適応できる。	
テキスト	特に指定はありません。
参考書	・ Braunwald's Heart Disease (9th Edition, Saunders) ・ Grossman & Baim's Cardiac Catheterization, Angiography, and Intervention
評価方法	実習態度や口頭試問等にて総合的に評価します。
その他(メッセージ等)	<p>地域医療の最前線として地域住民の健康を守る当院では、プライマリーケアから三次救急治療までの実習ができます。また、common diseaseから稀少疾患までの幅広い患者さんの経験もできます。</p> <p>医師として卒後臨床研修を開始する際に求められる基本的診療能力を身につけたい方は、是非当院で実習してください。心から歓迎します。</p> <p>なお、宿泊先や集合時間・場所などについては、後日、当院事務担当者からご連絡します。</p>

授業計画/担当教員等
【授業計画】
【月曜日】 8:30 カンファランス 9:00 心臓カテーテル検査・治療 13:30 病棟回診(総回診) 抄読会 18:00 研修医勉強会
【火曜日】 8:30 カンファランス 9:00 心臓カテーテル検査・治療 病棟回診 外来診療 19:00 心臓血管外科との合同カンファランス
【水曜日】 8:30 カンファランス 9:00 心臓カテーテル検査・治療 病棟回診 外来診療
【木曜日】 8:30 カンファランス 9:00 心臓カテーテル検査・治療 病棟回診 外来診療
【金曜日】 8:30 カンファランス 9:00 心臓カテーテル検査・治療 外来診療
<p>当院の循環器内科の症例数は、東北でも屈指であり、心臓カテーテル検査を中心に実習を行います。急性心筋梗塞などの緊急症例も必ず経験できます。胸痛患者が救急車で来院し、急性心筋梗塞と診断され、カテーテル治療を行い、集中治療室に入室するまでの一連の治療行為が経験できます。また、心臓血管外科と協力し、県内唯一の経皮的動脈弁置換術(TAVI)認定施設でもあります。循環器系に興味のある方は、是非、実習に来てください。</p>
【実習担当指導医】
循環器内科:杉 正文(すぎ まさふみ)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(小児内科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course(Iwaki-Kyoritsu General Hospital)		
担当責任者	鈴木 潤		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要／方針等

BSLプライマリーコースでの学習事項を基礎として、小児科の診断、検査、治療について、より専門的かつ実践的な知識と技能を習得する。診療チームの一員として診療活動に参加することにより、医師として求められる態度・知識・思考能力・技能などを学習し、卒後研修を開始するのに必須の基本的診療能力を実践の場で習得する。  
地域の中核病院における小児科医療を実際に体験し、小児科医の役割を学ぶ。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

これまで学んできた小児科学の医学的知識を使いこなす実践的臨床能力を養う。

##### 【行動目標】

1. 入院患者を診療チームの一員として受け持ち、指導医とともに回診して診療記録の記載や必要な処置を施行する。
2. 受け持ち患者の状態を主治医にプレゼンテーションし、診断・治療計画の作成に参加する。
3. 診療チームと患児、患児家族とで交わされる治療計画の説明と、同意取得に参加する。
4. 外来やベッドサイドで行われる静脈採血や、末梢静脈血管確保などの基本的手技を見学・実施する。
5. 当直医師について小児救急に関わり、その現状を知り、意義を考える。

テキスト 特指定しない。

参考書 小児科教科書

評価方法 指導医による総合評価。

その他(メッセージ等) いわき地区の小児の入院を必要とする患児は、ほとんど当小児科を受診しています。小児科のプライマリの疾患を、短い期間でもより多く経験することができます。

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

月曜日	8:30 新入院カンファランス 9:00 回診 指示出す 処置 11:00 外来実習 13:30 外来実習 (専門外来の見学など)
火曜日	8:30 新入院カンファランス 9:00 回診 指示出す 処置 11:00 外来実習 13:30 外来実習 (1ヶ月検診の見学など)
水曜日	8:30 新入院カンファランス 9:00 回診 指示出す 処置 11:00 外来実習 13:30 外来実習 (予防接種の見学など)
木曜日	8:30 新入院カンファランス 9:00 回診 指示出す 処置 11:00 外来実習 13:30 外来実習 (専門外来の見学など) 17:00 抄読会
金曜日	8:30 新入院カンファランス 9:00 回診 指示出す 処置 11:00 外来実習 13:30 外来実習 (乳児検診の見学など)

##### 【実習担当指導医】

小児科主任部長:鈴木 潤



科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(心臓血管外科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyoritsu General Hospital)		
担当責任者	入江 嘉仁		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

当院は、福島県浜通りにおける唯一の心臓血管外科施設として、地域医療に根ざした、最先端医療を提供しております。日中の診療活動のみではなく、夜間、休日の救急対応、緊急手術への対応も求められています。研修者には診療チームの一員として診療活動に参加してもらい、医師として求められる態度・知識・思考能力・技能などを学習し、卒後研修を開始するのに必須の基本的診療能力を修得して頂きたいです。

この目標を達成するため、スチューデント・ドクターとして心臓血管外科診療チームに加わり、クリニカル・クラックシップを実践してもらうことは必須であります。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

心臓血管外科の基本的な知識・技能・態度を修得する。

##### 【行動目標】

1. 毎朝の病棟回診で受け持ち患者を診察し、バイタルサインや診療・看護記録を確認する。
2. 受け持ち患者の手術適応、手術方法について勉強し、術前プレゼンテーションを行う。
3. 診療チームが患者および患者家族と設定した治療計画の説明と同意取得に参加する。
4. 外来やベッドサイドで行われる静脈採血や末梢静脈の血管確保などの基本的手技を見学・実施する。
5. 手術に関しては、可能な限り手洗いをして術野操作を習得する。
6. 真皮埋没縫合を見学し、実施する。
7. ICUでは心電図、各種カテーテルモニタ、人工呼吸器、ドレーン・各種ライン管理を学ぶ。
8. 心臓血管外科における末梢動静脈の露出や縫合結紮手技を学ぶ。

テキスト 特に指定しません

- 参考書
1. 心臓血管外科テクニクI~IV(MCメディカ出版)
  2. 心臓血管外科テキスト(中外医学社)
  3. Cardiavc Surgery in the Adult (MC Graw Hill Medical)
  4. Intensivist 心臓血管外科前編・後編(メディカル・サイエンス・インターナショナル)  
など(いずれも貸与します)

評価方法 workplace-based assessment(臨床現場での評価)とポートフォリオを用いた評価・フィードバックを行います。

その他(メッセージ等) チーム医療を意識した各個人が協調して診療行為を行う事を学ぶ。  
医師として卒後臨床研修を開始する際に求められる基本的診療能力を身につけることができる。

なお、宿泊先や集合時間・場所などについては、後日、当院事務担当者からご連絡します。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

##### 【月曜日】

- 8:30 病棟回診
- 9:30 外来見学
- 16:30 病棟回診
- 18:00 術前カンファレンス参加

##### 【火曜日】

- 8:30 病棟回診
- 9:00 手術(見学および参加)
- 16:30 クルズス

##### 【水曜日】

- 9:00 総回診
- 9:30 外来見学
- 16:30 術後カンファレンス

##### 【木曜日】

- 8:30 病棟回診
- 9:00 手術(見学および参加)
- 16:30 クルズス

##### 【金曜日】

- 8:30 病棟回診
- 9:30 手術
- 16:30 総括

##### 【実習担当指導医】

心臓血管外科:入江 嘉仁(いりえ よしひと)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(整形外科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyouritsu General Hospital)		
担当責任者	江尻 荘一		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<p>BSLプライマリーコースでの学習事項を基礎として、整形外科の診断、検査、治療について、より専門的かつ実践的な知識と技能を習得する。具体的には、診療チームの一員として患者を受け持ち、診療記録作成、創処置、各種検査、手術助手などの実施体験を行う。</p> <p>地域の中核病院における整形外科医の救急対応や、医療機関との連携について実際に体験し、地域医療における整形外科医の役割を学ぶ。</p>	
学習目標	
【一般目標】	
整形外科医に必要な基本的な知識、技能を習得するとともに、地域中核病院での整形外科医の役割を理解する	
【行動目標】	
1. 外来診療に立ち会い、整形外科患者の診察と処置(創処置、関節穿刺など)を実際に体験する。	
2. 入院患者を受け持ち、指導医とともに回診して診療記録の記載や処置を施行する。	
3. 救急外来で四肢外傷患者の初期治療(骨折・脱臼の整復、ギプス固定、創傷処理など)を体験する。	
4. 手術に助手として参加し、基本的な無菌操作、機器の使用、縫合法を体験する。	
5. 整形外科チームの一員として、検査技師、看護師、理学療法士などコメディカルとの積極的な交流を図り、チーム医療の実践を体験する。	
6. カンファランスで受け持ち患者の報告を行い、プレゼンテーションの方法を学習する。	
テキスト	特に指定しない。
参考書	<p>標準整形外科学 第12版/松野丈夫他総編/医学書院/2014</p> <p>図解四肢と脊椎の診かた/Hoppenfeld S(著)・首藤 貴(訳)/医歯薬出版/1984</p> <p>整形外科医のための神経学図説-脊髄・神経根障害レベルのみかた, おぼえかた/Hoppenfeld S(著)・津山直一(訳)/南江堂/2005</p> <p>整形外科プライマリケアハンドブック改訂第2版/片田重彦・石黒 隆著/南江堂/2004</p>
評価方法	指導医による総合的評価。
その他(メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院の整形外科年間手術数は、1,600件以上で東北トップクラスです。また、大学病院以外で四肢全関節の専門医が揃う病院は稀少で、プライマリ・ケアから三次救急まで、局麻手術から組織移植まで幅広く経験できます。</li> <li>・無料宿舎と駐車場完備。昼食用意あります。</li> </ul>

授業計画/担当教員等	
【授業計画】	
月曜日	8:00 術前・術後カンファランス 8:30 整形医局会(業務連絡) 9:00 手術実習、外来実習
火曜日	8:00 病棟回診 9:00 手術実習、外来実習
水曜日	8:00 病棟回診 9:00 病棟処置・検査実習 13:00 脊椎検査見学 18:00 抄読会 18:30 薬剤・医療機器説明会
木曜日	8:00 病棟回診 9:00 手術実習、外来実習
金曜日	8:20 リハビリテーションカンファランス 9:00 手術実習、外来実習
※第1週目の月曜日は、7時50分までに総合医局に集合して下さい。指導医が迎えに行きます。	
【実習担当指導医】	
江尻 荘一/福島県立医科大学地域整形外科支援講座/手外科・マイクロサージャリー・外傷	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(選択コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyoritsu General Hospital)		
担当責任者	吉田 寛		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

### 概要/方針等

市民の健康を守る地域中核病院で、診療チームの一員として診療活動に参加することにより、医師として求められる態度・知識・思考能力・技能などを学習し、卒後研修を開始するのに必須の基本的診療能力を修得して頂きたい。

この目標を達成するための具体的な方針として、1週間ずつ2つの診療科を選択しクリニカル・クラークシップを実践してもらうとともに、週1回(計2回)の救命救急センターでの準夜帯当直実習を必須とする。

### 学習目標

#### 【一般目標】

これまで学習してきた医学知識を使いこなす実践的臨床能力の涵養。

#### 【行動目標】

1. 毎朝一番に受け持ち患者を診察し、バイタルサインや看護・診療記録を確認する。
2. 受け持ち患者の状態を指導医にプレゼンテーションし、診断・治療計画の作成に参加する。
3. 診療チームと患者・患者家族とで設定される治療計画の説明と同意取得に参加する。
4. 外来やベッドサイドで行われる静脈採血や末梢静脈の血管確保などの基本的手技を見学・実施する。
5. 診療チームの一員として救命救急センターでの三次救急初期治療に参加する。

テキスト 特に指定しません。

参考書 選択した診療科毎に貸与します。

評価方法 workplace-based assessment(臨床現場での評価)とポートフォリオを用いた評価・フィードバックを行います。

その他(メッセージ等) 地域医療の最前線、かつ、最後の砦として地域住民の健康を守る当院での実習は、プライマリーケアから三次救急治療まで、また、common diseaseから稀少疾患までの幅広い経験を約束します。  
医師として卒後臨床研修を開始する際に求められる基本的診療能力を身につけたい方は、是非当院で実習してください。心から歓迎します。  
なお、宿泊先や集合時間・場所などについては、後日、当院事務担当者からご連絡します。

### 授業計画/担当教員等

#### 【授業計画】

- 1) 具体的な実習スケジュールは、各人の選択科により個別に対応します。  
アドバンスコースの選択が決まり次第、外科の吉田寛(kan-y@surg1.med.tohoku.ac.jp)まで連絡をください。実習計画を立てます。
- 2) 週1回は当院救命救急センターでの準夜帯当直実習を行います(希望者は、深夜帯実習も可能)。
- 3) 以下が選択可能な診療科です。  
循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌科、血液内科、心療内科、小児科、未熟児・新生児科、外科、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、麻酔科、精神科、放射線科

#### 【実習担当指導医】

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(麻酔科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyoritsu General Hospital)		
担当責任者	赤津 賢彦		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
市民の健康を守る地域中核病院で、プライマリーコースの基礎の上に、麻酔、集中治療の実習を行い、実践的な知識、技能、態度を身につける。この目標を達成するため、スチューデント・ドクターとしてクリニカル・クラークシップを実践してもらおう。	
学習目標	
<b>【一般目標】</b>	
手術侵襲や各種痛み疾患ならびに急性臓器機能不全に対応できる知識・技能を身につけるため、麻酔科診療・集中治療の現場を経験し、理解する。	
<b>【行動目標】</b>	
1.麻酔薬、循環作動薬の基本的な投与法を説明できる。	
2.気管挿管を見学・経験する。使用する器具の理解を含める。	
3.硬膜外・脊髄くも膜下麻酔法を見学し、利点・欠点を説明できる。	
4.麻酔におけるチーム医療に参加する。	
5.術後鎮痛における区域麻酔・硬膜外持続注入とオピオイドの持続静注法について説明できる。	
6.人工呼吸器の基本的な使用法を見学、説明できる。	
7.患者の状態に合わせた輸液を計画し、説明できる。	
8.症例検討会に参加する。	
9.ベッドサイドエコーの基本を理解する。	
テキスト	特に指定しません
参考書	1. Miller麻酔科学 2. Winnie腕神経叢ブロック 3. Basics of Anesthesia, 5th(2006)
評価方法	症例レポートの発表を行い、ポートフォリオ、出席・実習態度等を含め、総合に評価・フィードバックを行います。
その他(メッセージ等)	県内有数の症例数です。地域医療の最前線、かつ、最後の砦として地域住民の健康を守る当院での実習は、有意義な研修になると思います。 なお、宿泊先や集合時間・場所などについては、後日、当院事務担当者からご連絡します。

授業計画/担当教員等	
<b>【授業計画】</b>	
<b>【月曜日】</b> 8:15 症例カンファランス 8:45 麻酔:手術にて 16:30 病棟回診	
<b>【火曜日】</b> 8:00 抄読会 8:15 症例カンファランス 8:45 麻酔:手術にて 16:30 病棟回診	
<b>【水曜日】</b> 8:15 症例カンファランス 8:45 麻酔:手術にて 16:30 病棟回診	
<b>【木曜日】</b> 8:00 ミニレクチャー 8:15 症例カンファランス 8:45 麻酔:手術にて 16:30 病棟回診	
<b>【金曜日】</b> 8:15 症例カンファランス 8:45 麻酔:手術にて 16:30 病棟回診	
当院における麻酔科管理件数は、県内有数です。	
<b>【実習担当指導医】</b>	
麻酔科:赤津 賢彦(あかつ まさひこ)	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:福島労災病院循環器科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Fukushima Rosai Hospital)			
担当責任者	吉成和之			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択
				選択必修 授業形態 実習

### 概要／方針等

主として循環器内科患者の診療において、身体所見・諸検査等の所見から病態を正確に把握し、正しい診断・適切な治療方針を導き出せるようにする。  
指導医の下で実際に患者を受け持ち臨床の基本習得を目指す。

### 学習目標

#### 【一般目標】

循環器内科における基本的な身体所見の取り方、検査法、診断法、治療法についての理解を深める。

#### 【行動目標】

- 1 担当患者を毎日診察し、良好なコミュニケーションをとれる。
- 2 基本的な身体診察・バイタルサインの測定を行い評価できる。
- 3 患者の状態評価を適切に行い指導医と討論できる。
- 4 心音・心雑音を正しく鑑別できる。
- 5 12誘導心電図を正しく記録し読影できる。
- 6 基本的な心エコー、核医学、心臓カテーテル検査所見を評価できる。
- 7 主要な循環器科疾患の病態生理、診断法、治療計画を説明できる。

テキスト ハリソン内科学

参考書 適宜

評価方法 担当グループにおける診療態度の評価。患者カルテ記載の評価・口頭試問など。

その他(メッセージ等) 地域(地方)病院の実際の医療の実情も含めて経験していただきたい。

### 授業計画／担当教員等

#### 【授業計画】

#### 【第1週】

[月曜日] 午前 8:45オリエンテーション:医局図書室集合(渡邊) / 午後13:00病棟実習

[火曜日] 午前 8:30病棟実習

[水曜日] 午前 8:30病棟実習・回診 / 午後13:00 心臓カテーテル検査見学・病棟実習

[木曜日] 午前 8:30病棟実習 / 午後13:00 心臓カテーテル検査見学・病棟実習  
/ 18:00心カテカンファランス

[金曜日] 午前 8:30病棟実習

#### 【第2週】

[月曜日] 午前 8:30病棟実習

[火曜日]~[木曜日] 第1週と同じ

[金曜日] 午前 8:30病棟実習 / 午後15:00 まとめの反省会(鈴木、吉成、渡邊、三戸、大楽、山内)

#### 【実習担当指導医】

鈴木重文、吉成和之、渡邊康之、三戸征仁、大楽英明、山内宏之

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(福島労災病院 消化器科)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Fukushima Rosai Hospital)		
担当責任者	鈴木智浩		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

### 概要/方針等

消化器病疾患(上部・下部消化管疾患、肝胆膵疾患)を中心に、内科的な診断、検査、治療を実習してもらいます。  
患者さんの診察や、腹部エコー、上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査などの見学、非侵襲的な検査については体験してもらい、実際の臨床の現場で行われている消化器診療を学ぶことが目的です。

### 学習目標

#### 【一般目標】

- 1.腹部エコーの基本を学ぶ
- 2.消化器内視鏡検査の基本を学ぶ+A1

#### 【行動目標】

- 1.腹部エコーを体験し基本を学ぶ
- 2.簡易モデルを用い上部・下部内視鏡の基本を学ぶ
- 3.消化器内視鏡検査・治療の見学、介助を行い内視鏡診療の実際を体験する

テキスト 特にありません、当科にある蔵書を利用しても構いません

参考書 同上

#### 評価方法

#### その他(メッセージ等)

興味のある検査、処置があれば実習できるよう配慮しますので教えてください。  
患者さんには失礼の無いよう、思いやりをもって接してください。

### 授業計画/担当教員等

#### 【授業計画】

月曜から木曜日:午前8時から朝会があり当日の検査、治療の確認を行う

月・火・木・金曜日:午前9時から腹部US・上部内視鏡検査、午後1時以降下部内視鏡検査

火曜日:13時30分から腹部血管造影

水曜日:午前ESD/EMRなどの消化管治療、RFAなどの肝疾患治療、午後ERCP、PTCDなどの透視下検査・治

#### 【実習担当指導医】

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(公立相馬総合病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Soma General Hospital)		
担当責任者	八巻 英郎		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

当院は相馬市にある病床数230床の中規模病院で、相馬市と新地町で運営する衛生組合を母体とする公的病院です。当地域の唯一の総合病院であり、地域住民の健康を支える医療の中核として日夜診療に取り組んでいます。唯一の総合病院であるがゆえにその果たす役割は大きく、救急医療を中心とする急性期医療から慢性期医療まで多種多様な症例の診療にあたっています。当院での実習を通して、都会の大病院では経験できない地方の医療の実際を経験していただき、理解を深める機会を提供します。

#### 【一般目標】

地域中核病院での地域医療の実際を経験する。その体験を通し基本的、総合的診療能力や、医師としての社会性の向上を目指す。

#### 【行動目標】

- (1) 基本的身体診察を行え、その解釈ができる。
- (2) 診療録の記載を行い、指導医とのディスカッションができる。
- (3) 受け持ち患者と良好な関係を構築し、医師として適切な態度で接することができる。
- (4) 訪問診療を行い在宅患者の診察と家族からの情報収集が行える。
- (5) 各科手術に助手として参加し、術式とその意味を理解できる。
- (6) 検査科、放射線科の実習を通してco-medical staffの業務を経験し、チーム医療の理解を深める。

テキスト 特に指定はありません。

参考書 図書室、医局に各種書籍あります。

評価方法 実習態度、診療技術、医学知識量、ディスカッション内容などにより総合的に評価します。

その他(メッセージ等) 実習スケジュールに対し希望があれば可能なかぎり対応します。職員一丸となって地域医療を支えている私たちの姿から、医師としての今後に関わることや役に立つことを学んでいただけたらと思います。ぜひ実習にきてください。

#### 【授業計画】

##### 第1週(例)

月曜 午前:オリエンテーション、受け持ち患者紹介 午後:泌尿器科実習(手術、透析、各種検査等)

火曜 午前:内科新患外来 午後:循環器科実習(心カテ、CCU等)

水曜 午前:訪問診療 午後:外科実習(手術等)

木曜 午前:検査科、放射線科実習 午後:消化器カンファレンス、整形外科実習(手術、各種検査等)

金曜 午前:小児科新患外来 午後:小児科実習(NICU等)

##### 第2週

ローテーション実習or希望科での実習を予定しています。

その他:症例検討会、救急カンファレンス等に参加

実習に関して希望があれば可能なかぎり対応します。

#### 【実習担当指導医】

八巻英郎(責任者、外科)

高橋裕太(消化器科)

安藤勝也(循環器科)

高山純(外科)

力丸裕人(外科)

伊藤正樹(小児科)

武山彩(小児科)

馬目雅彦(泌尿器科)

大垣守(整形外科)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:南相馬市立総合病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Minamisoma municipal general Hospital)		
担当責任者	及川 友好		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

##### 【概要】

当院は浜通り北部の相双地域にあります。規模は230床と比較的小さいですが、地域のほぼ中央に位置する公立の中核病院であるため、様々な疾患を持つ患者が受診します。救急患者の受け入れは地域で最多となっています。平成23年に起きた東日本大震災と東京電力福島第一原発事故により、一時期多くの住民が避難し地域を離れました。その後人口は回復しつつあるものの、震災前と比べて若年者の減少が著しく、日本の20年後の状態まで高齢化が一気に進みました。震災による社会の変化により、慢性疾患やうつなどの精神疾患を持つ患者や在宅療養を要する患者が増えました。高齢化した社会や被災地で果たすべき医療の役割を、当院で経験できます。

##### 【方針等】

大学で学んだ知識や経験を生かし、外来および病棟で実際の患者を担当します。学生でも行ってよいとされている基本的医行為も、指導医の監督の下で行います。基本的には内科系患者を受け持ちますが、希望があれば外科系も考慮します。地域の理解を深めるため、往診の見学や院外の施設の見学もできます。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

患者や家族からの問診や診察を踏まえ、患者のニーズを適切に把握することができる。そのための基本的診療技術を身につける。

##### 【行動目標】

1. 入院患者を1名以上受け持ち、診療の記録を行い、指導医と振り返りを行う。
2. 一般外来や救急で診療の見学を行い、問診や診察を経験する。
3. 基本的医行為を、指導医の監督の下で行う。
4. 往診の見学、院外施設の見学を行い、被災地の理解を深める。
5. 実習終了時に2週間のまとめを発表する。

テキスト ありません

参考書 ありません。必要があれば指導医や研修医に申し出て下さい。

評価方法 日々の経験や診療態度から、総合的に判断します。

その他(メッセージ等) 浜通りや相双地区になじみのない方、ぜひ一度来てみませんか。もちろん地元の方も大歓迎です。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画(例)】

- 毎日 朝夕 指導医と回診
- 週に数回 外来診療見学、救急外来見学
- 週に数回 往診に随行
- 金曜日8時 救急症例報告会(初期研修医による)参加
- 2週間のうちで数カ所の院外施設見学(訪問リハビリなど)
- 内視鏡検査や手術の見学
- 放射線被ばくに関する講義
- 最終日に2週間の振り返りの発表(20~30分程度)

朝開始時刻 8時30分(金曜日のみ8時00分)

終了時刻 17時15分

##### 【実習担当指導医】

##### 【実習担当指導医】

及川友好/副院長、脳神経外科  
 神戸敏行/呼吸器科  
 根本剛/在宅診療科

科目・コース(ユニット)名	BSL アドバンスドコース 協力病院コース(福島第一病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Fukushima Daiichi Hospital)		
担当責任者	土屋敦雄		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要／方針等

本院は福島盆地北西部の医療を担う第1線医療機関として活動しています。救急医療にて社会医療法人を取得しています。救急搬入台数も年間1200台を超える病院です。  
また兄弟法人である社会福祉法人とも連携し地域医療に貢献しています。  
現在診療科目は内科(総合内科・消化器・循環器・腎臓)・外科(消化器・乳腺・甲状腺・心臓血管外科)・整形外科(リウマチ科・リハビリ科)・歯科を有し、さらに循環器センターを併設し内科系医師と外科系医師との連携のもと診療にあたっています。各々専門医を配し、日本における中小病院における役割をプライマリ医療から高度医療まで幅広く実践医療を学ぶことができます。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

大学ではなかなか経験できない医療を学んでもらう。基本的にはプライマリ・ケアの実際について、学んでもらう。

##### 【行動目標】

- 1.第1線病院における外来診療を見学・学習する。
- 2.救急現場での体験学習 希望者は当直業務を見学・体験する。
- 3.Co-medical スタッフとのチーム医療を経験・実習する。
- 4.手術室での振る舞いや作法を見学・実習する。
- 5.福祉法人を見学し日本の終末医療について考える。
- 6.指導医とのディスカッション・まとめを行う。

テキスト 図書室完備 各科指導医推薦図書

参考書

評価方法 当院における人物評価基準、及び、レポート作成、討論により評価

その他(メッセージ等) 本人のご希望による研修も可能

駐車場・食堂・有

コンビニ近接

将来の進路を決定する前に体験すべき施設とおもわれる

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

一般外来(各科)・救急外来(一次・二次)

検査(消化器・乳腺・甲状腺・循環器・放射線科)

手術見学・手洗いなど実習

透析

症例を経験しプレゼンテーション・ディスカッションをする

##### 【実習担当指導医】

統括責任者 土屋 敦雄 (外科 指導医)

各科責任者

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(二本松病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Nihonmatsu Hospital)		
担当責任者	副院長 柳沼 健之		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

外来及び病棟患者の診察に参加し臨床の実際を指導すると共に、老人介護施設や訪問看護についても経験する。

- ① 新患者の病歴聴取(問診)と診察
- ② 病棟患者の回診
- ③ 内視鏡検査見学
- ④ 手術見学・参加
- ⑤ 老健施設・訪問看護見学
- ⑥ 糖尿病教室見学
- ⑦ その他

#### 学習目標

##### 【一般目標】

基本的な病歴聴取と診察方法について身につける  
外科手術の基本を身につける

##### 【行動目標】

新患・急患に対する対応を適正に行う。言動にも注意する。  
指導医の指導の下、切開・縫合等の手技を行うことができる。  
他職種とコミュニケーションを図り、救急から終末医療まで総合的に実践を経験する。

テキスト 特になし

参考書 特になし

評価方法 「実習ノート」を提出し指導医がノートを参考に経験症例や手術症例を試問し評価する

その他(メッセージ等) 保健予防活動、介護、在宅支援、人工透析センター、事業所検診等当院の特色であるシームレスな連携を体験してください

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

月 8:30~ オリエンテーション

月・火・水・木・金 9:00~13:00 外来見学

月・火・水・木・金 13:00~17:00 病棟回診

火・水 13:00~ 手術見学

適宜 老健施設・訪問看護ステーション・訪問リハビリテーション見学

##### 【実習担当指導医】

院長 六角 裕一(外科) 副院長 柳沼 健之(内科)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(栞記念病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Masu Memorial Hospital)		
担当責任者	比佐 新一		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

当院は一般病床216床で「昼夜を問わずいかなる患者さんに対しても手を差し伸べる」という理念の下「患者さん本位の医療」を提供し、安達地域における基幹病院として福島県立医科大学との密接な連携の下に地域医療、救急医療に貢献しております。特に救急医療にも積極的に取り組み、敷地内にヘリポートを設置し遠方からの救急患者さんにも対応しております。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

実習においては実際の臨床の現場を身をもって体験し、基本的かつ総合的な診療能力を身につける。

##### 【行動目標】

1. 各診療科での日常の外来診療を見学しEBMに基づいた医療を学ぶ。
2. 各診療科での検査、手術を見学し、可能なら体験する。
3. 救急搬送症例を積極的に見学し、診断治療へのアプローチを学ぶ。
4. 医療に携わるコメディカルスタッフとの交流を図り、チーム医療の円滑な運営の実際を学ぶ。

テキスト 特に指定はありません。

参考書 特に指定はありません。

評価方法 実習態度、指導医とのディスカッションなどにより総合的に評価します。

その他(メッセージ等)

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

- 外来診察、救急医療の見学実習
- 病棟回診見学実習
- 各種検査(内視鏡、超音波、血管造影等)の見学
- 透析治療見学
- 手術見学
- 訪問診療に同行し見学

実習や見学は、可能な範囲で柔軟に対応します。

朝開始時刻 午前8時30分より 終了時刻 概ね午後5時まで。

##### 【実習担当指導医】

- 比佐 新一(センター長、循環器科)
- 森 倫夫(副院長、整形外科)
- 松岡 久光(泌尿器科部長)
- 小野 俊之(外科部長)
- 本間 真理(神経内科部長)
- 佐藤 直樹(脳神経外科部長)
- 尾形 隆(消化器内科部長)
- 森 建(呼吸器科医師)

※ 行は自由に追加していただいて結構です。

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(東北病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Tohoku Hospital)		
担当責任者	落合 紳一郎		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要／方針等

当院は、旧安達郡管内で唯一ベットをもった21床の単科の精神科病院として昭和35年に開設以来、「地域に根ざした病院経営」を心がけ、現在は、212床の病床を持つ単科の精神科病院として存続するに至っております。「入院中心の医療から社会復帰の促進」という大きな流れの中で、院内では病棟の機能分化を図り多職種で構成した社会生活支援室を組織し、退院支援を積極的に行っております。また、退院後の生活の場としてのグループホームや、在宅患者様の就労支援のための就労継続支援B型事業所も運営しております。このように、当院では基本理念として『信頼』を掲げ、患者様をはじめ地域の方々にも信頼される、より良い医療・福祉・保健活動を統合的に展開・実践しております。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

精神科病院の地域医療における役割の理解と医師としての知識、医療人としての心構え、態度の習得  
メディカルスタッフおよびその他スタッフとのコミュニケーション能力の習得

##### 【行動目標】

- (1)精神疾患の診察を見学し、診断と治療計画の立案・実施に参加できる
- (2)精神疾患をもつ患者の診療を行う上での、法と倫理の必須事項を列挙できる
- (3)精神症状・精神障害の初期症状とどのような場合に専門医へのコンサルテーションが必要か説明できる

テキスト 特に指定はありません

参考書 同上

評価方法 外来及び入院患者診療における実習を通じて、医学的知識、医療人としての心構え・態度、レポート等により、総合的に判定いたします。

その他(メッセージ等) 単科の精神科病院ですが、介護老人保健施設、居宅介護支援事業所を併設し、また地元自治体より委託を受け地域包括支援センターや認知症初期集中支援チームも組織しており、地域包括ケアシステム構築の中で大きな役割も果たしております。従って、単に院内での実習だけでなく、大きな社会現象である「高齢化社会」に対応した統合ケアの一部を体験することが可能です。

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

##### 【原則的な授業時間】

午前8時30分から午後5時まで(毎朝8時30分前には医局集合)

##### 【基本的な授業概要】

午前中…外来診療への同席  
午後…入院患者診察への同伴、入院診療計画策定の補助等  
授業終了時…指導医師とのディスカッション

##### 【不定期な授業概要】

- ・医療保護入院者退院支援委員会への出席
- ・併設している老健施設や就労継続支援B型事業所見学等

##### 【実習担当指導医】

落合紳一郎他

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(北福島医療センター)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Kita Fukushima Medical Center)		
担当責任者	木村秀夫		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要／方針等

当院は、ベット数226床の地域医療支援病院で伊達市および福島市北部の地域医療を担っています。地元に着したプライマリケアを提供する一方、血液疾患センター、消化器疾患センター、乳腺疾患センターにおいては高い専門性で地域医療を支えています。これらの科においてがん化学療法にも力を入れています。また切らないがん治療ともいえる放射線治療トモセラピーをはじめ高度な医療機器を整備し地域医療に貢献しています。また、急性期治療を終えた患者さんが在宅生活にスムーズに移行できるようリハビリを行う回復期リハビリ病棟と在宅復帰支援を目的とした地域包括ケア病棟も備えております。実習では、地域医療の実態をみて勉強して頂きたいと思っております。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

一般病院の地域医療における役割を理解し、医師としての知識、医療人としての心構え、態度を身に着ける。また、医療を行ってゆくにあたり必要不可欠なチーム医療を理解する。

##### 【行動目標】

救急あるいは入院患者について、問診、診察、バイタルサインをとり診察にあたる。診断へのアプローチを学病状の変化を把握できるようにする。治療方針を担当医と共にディスカッションして治療を進める。

テキスト 特に指定はありません。

参考書 各科に専門書等を所蔵(図書室あり)

評価方法 外来から入院患者診療における実習を通じて、医学的知識、医療人としての心構え・態度、レポート等により総合的に判定

その他(メッセージ等)

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

午前8時30分から原則的に午後5時まで

##### 【主な内容】

病棟実習が主ですが、検査、手術には見学として入ります。

外来は、救急外来および各科外来(血液疾患センター、消化器疾患センター、乳腺疾患センター、リハビリテーション科、麻酔科)

午前: 外来実習・検査・病棟

午後: 検査・病棟・手術見学・講義など

##### 【当院で可能な内容】

急患から紹介患者の基本的な診察

地域医療(一次救急、家庭医療科、当院附属の老健施設の見学等)

回復期病棟にてリハビリの実際を体験する

血液疾患患者の診断と治療、骨髄穿刺、骨髄生検などの検査、消化器疾患の診断と治療、内視鏡検査、乳腺(乳がん)の診断と治療、手術見学、がん化学療法室の実際を見学

##### 【実習担当指導医】

院長 木村秀夫(内科・血液内科)・各科責任医師

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(済生会川俣病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Saiseikai kawamata Hospital)		
担当責任者	佐々木 俊教		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

### 概要/方針等

当院は川俣町の中心部に川俣地域ケアセンターの核として位置し、「やさしさといたわりのある医療」を基本理念のもと、敷地内に訪問看護ステーションと地域包括支援センター、近隣に診療所、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、居宅介護支援事業所、養護老人ホーム、訪問介護事業所を管理し医療から介護、福祉まで切れ目のないサービスを提供しています。国が進めている、地域包括ケアシステムを実践している病院です。プライマリ・ケアを体験し学んでいただきたいと考えております。90床の小規模病院ですので、他職種とのコミュニケーションも取りやすく、指導医他職員と一緒に色々な経験をして頂きたいと思っております。

### 学習目標

#### 【一般目標】

地域医療に重点をおき、患者さんの心に寄り添う医療の実践、一緒に働く仲間作り楽しい職場作りを体験してもらう。

#### 【行動目標】

- 1.患者一人を受け持ち、入院時の入院治療計画書の作成、患者及び家族への説明、カルテへの的確な記入。
- 2.各種書類及び死亡診断書等の記載を実習する。
- 3.在宅訪問診療、施設入所者の回診等、院外医療の実践を通して患者及び家族とのかかわり方を実習する。
- 4.救急外来での初期対応を実習する。

テキスト 特に指定はありません。

参考書 特に指定はありません。

評価方法 実習中の医療人としての態度、レポート等により総合的に評価します。

その他(メッセージ等) 希望に合わせた実習を設定することができます。自家用車を利用するときは駐車場を確保します。昼食は病院で準備します。温かいご飯を召し上がってください。

### 授業計画/担当教員等

#### 【授業計画】

#### 1週間のスケジュール例

・月曜日	午前一病棟実習	午後一診療所診療、病棟実習
・火曜日	午前一病棟実習	午後一在宅訪問医療実習、病棟実習
・水曜日	午前一病棟実習、外来予診	午後一施設入所者回診(特養)
・木曜日	午前一病棟実習、外来予診	午後一在宅訪問医療実習、病棟実習
・金曜日	午前一病棟実習	午後一施設入所者回診(養護)

※第1日目の午前のみオリエンテーションあり

授業時間 8:45~17:00 休憩 60分

金曜日の12:30~医局連絡会

#### 【実習担当指導医】

佐々木 俊教/診療部長(内科)

佐久間 博史/院長(内科)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(あさかホスピタル)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Asaka Hospital)		
担当責任者	新国 茂		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

あさかホスピタルは、昭和38年に開設した許可病床495床の精神科病院で、精神科救急病棟(60床)を有しており、医療観察法による鑑定入院及び措置入院をはじめ多くの入院を受け入れている。就学前の子どもからお年寄りまで「心」の診療を幅広く総合的に行っている。難治性統合失調症に対する治療抵抗性統合失調症治療薬(クロザリル)の登録医療機関でありm-ECT(修正型電撃けいれん療法)も実施している。地域移行にも取り組んでおり、統合型精神科地域治療プログラム(OTP)に基づき地域移行を行い、診察やデイケア、訪問看護などの医療サービスと関連法人による生活支援や就労訓練をチームとして統合的に行っている。地域の精神科医療の現場を実習を通して体験して下さい。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

現場での精神科治療を体験し、必要なスキルを身につける。多職種と連携しチーム医療を体験する。

##### 【行動目標】

- (1) 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。
- (2) 患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活・職業歴等)の聴取と記録ができる。
- (3) 精神疾患に対する初期対応と治療の実践を体験する。
- (4) チーム医療の一員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなる他のメンバーと協働する。
- (5) 医療を行う際の安全確認の考え方を理解する。

テキスト 特に指定はありません。

参考書 特に指定はありません。

評価方法 実習態度、レポート提出、指導医とのディスカッションなどにより総合的に評価します。

その他(メッセージ等) 自家用車のための駐車場あります。昼食は職員食堂を利用できます。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

午前9時から午後5時まで

第1週目	月曜日、火曜日	オリエンテーション及び院内見学、関連施設見学
〃	水曜日	午前 ミーティング・外来実習、午後 入院実習・救急外来患者実習
〃	木曜日、金曜日	午前 外来実習、午後 入院実習・救急外来患者実習
第2週目	月曜日	午前 外来実習、午後 入院実習・救急外来患者実習
〃	火曜日、水曜日	午前 ミーティング・外来実習、午後 入院実習・救急外来患者実習
〃	木曜日、金曜日	午前 外来実習、午後 入院実習・救急外来患者実習

##### 【実習担当指導医】

実習内容に応じて、当院の臨床研修指導医が担当します。

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田熱海病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta-Atami Hospital)		
担当責任者	山根清美(脳神経センター長)		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

当院は郡山市熱海町に位置し499床を有する病院で、主として郡山市西部や猪苗代町などを中心とした地域の医療を担っています。地域の急性期医療を担うだけでなく、大きな特徴として脳卒中や整形外科手術後などの患者さんの回復期リハビリテーション病棟、神経難病などの患者さんの長期療養を行う特殊疾患療養病棟、急性期の加療を終えた後でも引き続き医療行為の必要な患者さんを担当する療養病床を有し、患者さんが入院してから自宅あるいは施設へ退院するまでの様々な段階の患者さんの医療を担っています。このような慢性期の患者さんに対する医療に触れる機会は大学病院では少ないと思われるので、学生の皆さんには是非一度経験して頂きたい領域であると考えます。また、当院神経内科は昭和58年に開設された県内で最も長い歴史を有する神経内科施設であり、神経内科として県内有数の症例数を誇ります。当院では神経疾患の急性期医療・慢性期医療、そして地域医療とシームレスな医療を学んで頂きたいと思っております。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

1. 地域における医師や病院の役割をよく学び、地域医療を考える契機とする。
2. 医学生として、医療倫理や法規をわかまえ、誠意ある実習をする。

##### 【行動目標】

1. 基本的な診察法、カルテ記載の仕方を学ぶ。
2. 数例の入院患者を受け持ち、実習期間中の経過を観察し、レポートで報告する。
3. 慢性期医療に触れ、急性期医療との違いについて学ぶ。
4. カンファレンスや抄読会に参加する。
5. 訪問診療に同行する機会がある場合は積極的に参加し、医療機関を受診しにくい地域住民の暮らしについて考える。

テキスト 特に指定はありません。

参考書 図書室に若干の準備があります。その他、適宜指導医から貸与します。

評価方法 実習態度、カルテ記載、症例レポートなどを総合的に判断します。

その他(メッセージ等) 地域病院のため、実習のための宿泊・昼食等をサポートいたします。担当者にご相談下さい。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業(学習)内容】

当院の特徴上、基本的には神経内科での実習となりますが、相談に応じます。

以下は神経内科での実習の一例です。

(月)午前:オリエンテーション 午後:病棟、外来部門紹介、受け持ち患者紹介

(火)午前:神経内科総回診(センター長回診、山根センター長) 午後:内科外科合同カンファレンス、神経内科抄読会・症例検討会など

(水)～(金)終日:病棟で受け持ち患者の診察や外来・救急外来見学など

(木)朝:神経疾患や症候、画像の見方などのレクチャー(センター長)

その他:訪問診療の機会がある場合は、積極的な見学を歓迎します。

実習時間:午前8時20分～午後5時頃 多少前後あり。

##### 【経験・学習できること】

●標準的な神経診察法:脳神経、筋力、反射、感覚、運動失調などの標準的な診察法とカルテ記載の方法について教えます。神経診察の技術を学ぶことは、将来の内科/救急外来業務などで非常に役立ちます。是非この機会に学んで下さい。

●頭部CT/MRIなどの読影:基本的な構造や、代表的な疾患の所見について講義します。将来臨床研修をする上で、頭部画像を撮影する機会が多いと思いますので、基本的な読影に慣れておくで大変役立ちます。

●脳梗塞の病型分類や治療法などについて:脳卒中は疾患頻度も多く、患者さんやご家族からの関心も高い領域です。是非脳梗塞患者を担当し、学んで下さい。

●慢性期医療の見学:回復期リハビリテーション病棟、特殊疾患療養病棟、療養病棟を見学し、慢性期医療の様子を学んで下さい。

●腰椎穿刺の見学

●種々の手技の見学など

その他、実習期間内で、希望に応じ検討いたします。

##### 【実習担当指導医】

山根清美/脳神経センター長

白田明子/神経内科部長

森松暁史/神経内科医長

飯國洋一郎/神経内科医長

門脇 傑/神経内科医長



科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(町立三春病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Miharu municipal Hospital)		
担当責任者	渡辺直彦		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<p>町立三春病院は郡山市に比較的近く、僻地と中間に位置することにより、地域のかかりつけ医と郡山市内の急性期病院との橋渡しの役割を担っている。また、単独でも地域住民の期待に応えられるように安全で質の高い医療の提供を目指している。具体的な医療内容は急性期医療、回復期リハビリテーション、在宅医療、終末期ケア支援、介護施設と在宅療養の後方支援を行っている。また、行政と連携した健康診断・保健指導も担当し、住民の総合的健康管理サービスの役割も担っている。医師臨床研修においては星総合病院(内科・地域医療)と福島医大(地域医療)の協力型病院として指定され、さらには、福島医大の地域・家庭医療部の後期研修病院に指定され、福島医大の医学教育研修プログラムと連携している。</p> <p>方針:地域を理解するため、当院にて地域医療について学習していただく。</p>	
学習目標	
【一般目標】	
将来の安定した地域医療を構築するために、町立三春病院の実習を通して地域医療の役割と問題点について理解し、地域医療への取り組み方を習得する。	
【行動目標】	
①外来にて身体所見をとることができる。	
②医療面接から地域に住む患者の健康上の不安や悩みを取得できる。	
③外来・病棟にて静脈採血ができる。	
④在宅医療(訪問診療)に参加することができる。	
⑤ケースカンファレンスに積極的に参加できる。	
⑥介護老人保健施設や養護老人ホームの概要を述べることができる。	
⑦大学付属病院と一般地方病院の入院患者の違いについて述べるができる。	
⑧地域医療の問題点を指摘できる。	
テキスト	特に指定しません。
参考書	「地域医療テキスト」監修・自治医科大学 医学書院 「スタンダード家庭医療マニュアルー理論から実践までー」葛西龍樹編 永井書店など
評価方法	OJTを中心とした観察記録による評価
その他(メッセージ等)	移動時の交通事故に注意してください。 自身の健康管理に留意してください。 当院の規則を遵守してください。

授業計画/担当教員等				
【授業計画】				
回数	曜日	時限	項目[内容(キーワード等)]	担当者
<b>第一週</b>				
	月	午前	オリエンテーション	渡辺直彦
		午後	在宅診療カンファレンス、病棟実習、	渡辺直彦他
	火	午前	外来・病棟実習	渡辺直彦他
		午後	病棟実習、病棟カンファレンス・訪問診療	渡辺直彦他
	水	午前	外来・病棟実習	渡辺直彦他
		午後	病棟実習・リハビリテーション見学、	渡辺直彦他
	木	午前	外来・病棟実習	渡辺直彦他
		午後	訪問診療(特別養護老人ホーム)	
	金	午前	福島医大地域・家庭医療部の外来指導	星吾朗他
		午後	訪問診療	渡辺直彦
	土	午前	自習	
<b>第二週</b>				
	月	午前	養護老人ホーム敬老園/往診実習	細谷英作
		午後	病棟実習	渡辺直彦他
	火	午前	外来・病棟実習	渡辺直彦他
		午後	病棟実習、病棟カンファレンス	渡辺直彦他
	水	午前	外来・病棟実習	渡辺直彦他
		午後	病棟実習、	渡辺直彦他
	木	午前	外来・病棟実習	渡辺直彦他
		午後	訪問診療(特別養護老人ホーム)	
	金	午前	福島医大地域・家庭医療部の外来指導	星吾朗他
		午後	まとめ	渡辺直彦他
【実習担当指導医】				
渡辺直彦(院長)、細谷英作(内科)、齋藤広信(内科)、星吾朗(地域・家庭医療)				

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:公立小野町地方総合病院病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Public ono General Hospital)		
担当責任者	尾澤 康彰		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

公立小野町地方総合病院は、小野町、田村市、平田村、川内村、いわき市が開設した地域唯一の総合病院です。  
 入院病床119床(うち一般60床、療養59床)、外来診療は内科をはじめ、近隣に不足する眼科、耳鼻科や人工透析など12科の診療を行っています。また、訪問診療や訪問看護による在宅診療についても対応するほか、老人福祉施設、介護サービス事業所の支援にも取り組んでいます。小規模な病院ですが、大学病院ではなかなか経験できない地域医療の現場を体験し、医療を学んでいただきたいと思います。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

地域医療における役割を理解し、医師としての基本的、総合的な診療能力を身につける。コメディカルスタッフとのチーム医療を学ぶ。

##### 【行動目標】

1. 医師として患者さんに対する正しい診療態度を身につける。
2. 多職種の職員との積極的なコミュニケーションを図る。
3. 毎日の記録をつけ振り返りをする。
4. あいさつ、時間厳守など社会人としての規範を守る。

テキスト 特に指定はありません。

参考書 特に指定はありません。

評価方法 レポート提出により総合的に判定す。

その他(メッセージ等) 病院で宿舎や食事の提供も可能です。希望する場合には事前にご連絡ください。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

初期患者の医療面接を中心とした外来診療  
 一般病棟・療養病棟管理  
 人工透析治療実習  
 内視鏡治療や検査  
 訪問診療・訪問看護実習  
 特別養護老人ホーム実習  
 救急医療(一次救急を中心に、現場での見学実習)

朝 開始時刻 8:30から (8:20分までには医局で待機)

終了時刻 17:00~18:00 頃

##### 【実習担当指導医】

尾澤 康彰/(内科・腎臓内科)、藤井文夫/ 院長(内科)、林 茂筆/(内科)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:福島県立矢吹病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Yabuki Prefectural Psychiatric Hospital)		
担当責任者	横山 昇		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

当院は、西白河郡矢吹町に位置する県立の精神科単科病院(病床数199)で、県南医療圏における精神科医療の中核病院とし地域医療・救急医療に貢献しています。昭和30年の開設以来、常に患者の早期社会復帰を念頭に医療を展開し、特に精神科リハビリテーションの分野において先駆的な活動を重ねてきました。作業療法・デイケア・訪問看護に加え、近年では児童思春期外来・内科外来・アウトリーチ医療・マッチング事業(県内外震災非難患者の帰還支援)を開始し、今後は訪問看護ステーション開設や認知症疾患医療センター指定等も予定されています。当院は医療観察法指定通院医療機関であり、救急入院・措置入院・処遇困難患者の受け入れも積極的に実施しているため、大学では困難な重症例の治療場面を経験することが可能です。多職種チーム医療に力を入れており、各種ケア会議・クリティカルパス・クロザピン投与等の場面で垣根を越えてディスカッションが行われています。また、地域の行政・福祉・保健機関との連携も強く、公的業務を見学することも可能です。施設の老朽化に伴い、当院では数年後の全面改築(医療観察法病棟・児童思春期病棟)と名称変更(センター化)を視野に入れ、ソフト面での改革に着手するとともに医師を含めた人材確保を推進しています。m-ECT導入等による医療の質向上に向けての検討も始まっていますので、病院全体が熱気に包まれています。そのエネルギーを是非吸収していただきたいと思います。お待ちしております。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

- ①最前線の精神科臨床現場を見学実習し、患者・家族の気持ちと地域の現状を理解する。
- ②多職種チーム医療に参加し、その在り方とチーム内での医師の役割および地域連携の意義を考える。
- ③当院でのBSLを総括し、人として医師としての姿勢・態度・生き方に関する将来の自己像を思索する。

##### 【行動目標】

- ①担当指導医と行動を共にし、日常の入院・外来診療全般を見学しつつ指導医とディスカッションを行う。
- ②可能な限り院内外の各種会議に同席し、メンバーとのコミュニケーションを図りながらディスカッションする。
- ③見学実習の最後に医局会で研修成果の発表(一般目標③)を行う。

テキスト 特に指定はありません

参考書 特に指定はありません

評価方法 実習全体を通じての医療人としての姿勢・態度、担当指導医による全般的評価、およびレポート発表の内容等により総合的に判定する。

その他(メッセージ等) 当院の医局の先生方は出身大学や経歴が多彩ですので、多様な知識・技術を身につけることが可能です。学生(看護・OT・PSW)や研修医の受け入れ実績も多く、指導・教育面で医学生にとって好ましい実習環境を提供できると自負しています。是非当院でのBSLにご参加下さい。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

- ・授業は月～金曜(完全週休二日制)の8時30分～17:15まで
- ・臨床実習初日のみ8時登庁(院長によるオリエンテーション)
- ・実習最終日(または前日)16時に研修成果発表会開催
- ・月曜16時からの医局会は参加必須
- ・2週間のスケジュールは担当指導医が個別に作成する(定型パターンなし)
- ・基本的に担当指導医と行動を共にする
- ・担当指導医不在日は他の医師が分担して指導を担当する
- ・可能なかぎり他の医師もクルズス等を実施する

##### 【主な内容】

- ・入院、外来(再来・新患)診療での陪席
- ・入院患者との問診
- ・多職種によるケア会議、ケース会議への参加とディスカッション
- ・デイケア、作業療法、心理教育、SST等の見学
- ・院外業務(訪問看護・アウトリーチ・相談会・講演会等)への同行
- ・希望に応じて実習内容や日時について可能な限り対応します

##### 【実習担当指導医】

責任者:院長 横山 昇(精神保健指定医・日本精神神経学会専門医・臨床指導医・精神保健判定医・産業医)  
指導医:副院長以下全員が交代で担当します(学生1名に1担当医)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(福島県立南会津病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Minamiaizu Hospital)		
担当責任者	佐竹 賢仰(院長)		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

概要／方針等	
<p>県立南会津病院は、南会津2次医療圏唯一の病院としてへき地医療の中核を担っています。病床数は98床で、常勤診療科は、内科・外科・整形外科・小児科・耳鼻咽喉科です。非常勤診療科としては、眼科・皮膚科・産婦人科・泌尿器科・神経内科・漢方内科・神経精神科を開設しています。</p> <p>当院の重要な役割は、急性期2次医療の地域内での完結と2次救急の受入れです。特に救急医療では、“断らない救急医療”をモットーに、地域の救急隊や後方3次病院との連携を図りながら、地域住民の安全・安心の確立に貢献しています。</p> <p>当院での実習では、限られた医療資源の中でへき地中核病院としての役割を担うためには、どのような医師が求められるかを感じて頂きたいと思います。</p>	
学習目標	
【一般目標】	
2次医療圏唯一の病院としての役割と、そこで働く医師に必要な知識や技術、心構えを理解します。また、患者さんやその家族、救急隊との接し方について学習します。	
【行動目標】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 外来新患や救急患者について問診や予診を行い、診断のためのプロセスを考える。</li> <li>2 救急患者を搬送してきた救急隊から情報収集を行う。</li> <li>3 担当入院患者の回診を行い、患者や家族との接し方を学ぶ。</li> <li>4 担当入院患者の診断・治療方針を主治医とともに立案し、可能な範囲で実施する。</li> <li>5 検査や手術の助手を行い、地域に必要な手技の範囲を理解する。</li> <li>6 夜間当直をとおし、全科当直に必要な知識や技術を学ぶ。</li> <li>7 地域見学をとおし、病院と他の医療資源との連携の重要性を学ぶ。</li> </ol>	
テキスト	特に指定なし
参考書	特に指定なし
評価方法	実習態度、指導医・担当医とのディスカッションにより総合的に評価します。
その他(メッセージ等)	

授業計画／担当教員等	
【授業計画】	
午前:内科または外科外来(新患の問診及び予診、診断計画の立案等)	
午後:入院患者回診	
救急車対応(適宜)	
手術見学または助手(1~2回/週)	
検査見学または助手(2~3回/週)	
地域見学(1回/1クール)	
※その他、希望により適宜実習項目追加可能	
【実習担当指導医】	
院長 佐竹 賢仰	各科担当医師

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:米沢市立病院)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Yonezawa city Hospital)			
担当責任者	佐藤 佳宏			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修/選択 選択必修 授業形態 実習

概要/方針等	
1. 代表的外科疾患の手術経験 2. 基本的外科手技の習得 3. 最新の医学知識の習得 4. 患者を支えるチーム医療について理解を深める	
学習目標	
【一般目標】	
基本的な外科関連疾患に関する診断および治療、特に、外科治療の実際を理解する。	
【行動目標】	
1. 手術を見学し、基本的な手順を説明できる。	
2. シミュレーション実習で縫合・結紮ができる。	
3. シミュレーション実習で中心静脈穿刺を行うことができる。	
4. 手術において、皮膚縫合、体腔内結紮を行うことができる。	
5. 外科関連疾患の標準的な治療法について理解し、個々の症例についてなぜその治療が必要なのか説明できる。	
テキスト	特に指定しない
参考書	経験症例に応じて適宜詳記する。
評価方法	出席日数、実習レポート
その他(メッセージ等)	当院は協力病院で唯一の県外病院です。当院ならではのこだわりの手術・患者管理を勉強していきましょう。実習をやり遂げた時のお酒はおいしいですよ。米沢牛もあなたを待っています。

授業計画/担当教員等	
○外科:消化器外科及び乳腺外科の症例につき手術の助手と参加することを中心とし、その他術前診断や術後管理につき実習する。	
○内視鏡外科:消化管・肝胆膵・呼吸器・小児・その他の外科的疾患を扱っている。週5回の手術に参加し、外科的治療法に対する識見を深める。内視鏡手術・外科的緊急症例・抗がん剤治療・終末期の緩和医療などへの理解も深める。	
○乳腺外科:乳癌の診断から手術療法、術後補助抗癌剤療法まで行っている。発症のピークが40代と60代にあるため、心のケアも大切にする。)	
【授業計画】	
月曜日	
8:00~8:15 ICUカンファランス	
8:30~9:00 術前カンファランス(放射線科・外科)	
9:30~ 手術	
火曜日	
8:00~8:15 ICUカンファランス	
8:30~9:00 術前術後カンファランス(消化器科、外科、病理科)	
9:15~ 感染対策・リハビリ・NST合同ラウンド	
10:30~ 手術	
水曜日	
8:00~8:15 ICUカンファランス	
8:30~9:00 乳腺読影	
9:30~ 手術	
木曜日	
8:00~8:15 ICUカンファランス	
8:30~9:00 手術所見検討	
9:30~ 手術	
金曜日	
8:00~8:15 ICUカンファランス	
9:30~ 手術	
【実習担当指導医】	
菅野 博隆 外科長	
佐藤 佳宏 外科長兼内視鏡外科長	
橋本 敏夫 乳腺外科長	
芳賀 淳一郎 外科医長	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース (大原総合病院コース) 【医学6】			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohara General Hospital)			
担当責任者	石橋 敏幸			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修 / 選択
			選択必修	授業形態
				実習

#### 概要／方針等

大原総合病院は創立125年の歴史をもち福島県東北地区の基幹病院として地域医療に貢献しています。学術的には、1925年に大原八郎先生が野兎病を発見しそのことは世界的にも知られ、現在の病院理念“人を愛し、病を究める”にその精神は一貫して反映されています。そして、臨床研修病院として充実した研修内容に定評があり、県内外の地域医療を担っている多くの若手医療人を輩出している実績があります。特に強調したいことは、地域医療の将来を見据えて教育・人材育成を病院の中心軸におき、若いメディカルスタッフを大切にする環境を備えています。実際の各科の診療内容は熱い指導医が皆さんを待っており、さらに最新の医療機器を駆使したチーム医療が展開されています。当院研修医がNHK番組ドクターGには3年連続で出演しました。6年生の皆さんの要望に充分応えることのできる臨床直結の実習・教育を提供します。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

本コースにおける目標を3点とする。1点目は、救急医療の診察に救急専門医、総合診療医、各科専門医、研修医とともにあたり、地域救急医療の現場を学ぶことである。2点目は外来・入院患者さんの診療に担当医、研修医とともにあたり、チーム医療の実験を経験し、地域医療の主役者として臨床の実験を学ぶことである。3点目は救急蘇生の実験を確実に習得し、救急蘇生医療の主体者になることである。

##### 【行動目標】

1. しっかりあいさつをする。
2. 医療人としての行動をとる。
3. 救急患者さんのバイタルサインをとり診察にあたり、診断へのアプローチを学ぶ。
4. 救急蘇生（一次救命処置 BLS および ICLS）を確実に習得する。
5. 外来の診療にあたり、問診、診察の実験を経験し、診断に至る診察および検査等のアプローチを学ぶ。
6. 入院患者さんの診療にあたり病態と治療について担当医とともにディスカッションし、他職種とのチーム医療の実験を経験
7. 院内カンファランスに参加しEBMに基づいた診断、治療さらに予防について学ぶ。
8. 2週間のまとめを発表する。

テキスト 特に指定はありません。

参考書

評価方法 外来・救急外来の診察や入院患者診療におけるディスカッションや発表を評価する。

その他(メッセージ等) ★希望に合わせて実習内容を設定します。  
★できるだけ公共交通機関をご利用ください。自家用車を希望する場合はご相談ください。  
★院内用上履きを持参する。昼食券は準備します。

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

月曜日：【朝】 研修医とともにカンファランス 【午前】 救急外来・外来診察 【午後】 病棟実習・休憩 【夕】 救急外来診療  
火曜日：【午前】 救急・外来診察 【午後】 病棟実習 ターカンファランス  
水曜日：【午前】 救急・外来診察 【午後】 病棟実習・カンファランス 症例検討 【夕】 画像診断カンファランス  
木曜日：【午前】 救急・外来診察 【午後】 病棟実習・症例検討 【夕】 レクチャー ※1週目：救急蘇生実習  
金曜日：【午前】 救急・外来診察 【午後】 病棟実習・カンファランス  
\* 希望により、実習内容や日程などフレキシブルに対応します。

- ・ 初日は午前8時に旧研修医室に集合してください。
- ・ 翌日からの集合時間：午前8時30分 旧研修医室
- ・ 月曜日は夕方から午後10時まで救急外来実習があるため午後に休憩をとることとし、火曜日の実習開始時刻を午前9時からとする。
- ・ 実習終了時刻：指導教官との振り返りが終了次第（おおよそ午後5時30分～6時頃）

##### 【実習担当指導医】

・ 石橋敏幸 / 大原総合病院 副院長 (循環器科) ・ 川井 巧 / 総合診療科 部長

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(医療生協わたり病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (medical-coop Watari Hospital)		
担当責任者	渡部 朋幸		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

### 概要/方針等

福島医療生活協同組合員と地域の皆様の「安心して誰でもがかけられる病院」をつくる運動により、1975年10月に42床で開設しました。1977年には2病棟88床。1981年に3病棟168床となり、現在の4病棟196床、内科・消化器科・循環器科・外科・小児科・リハビリテーション科などを備える病院となりました。  
地域の第一線医療機関として、救急の患者様の積極的な受入れとともに、開放型病院として、開業医の先生との共同診療の実施、在宅療養患者様の支援にも取り組んでいます。  
「一人は万人のために、万人は一人のために」の医療生協の精神をもとに、組合員・地域住民のすべてのいのちを大切に、支え合う医療の実現をめざしております。

### 学習目標

#### 【一般目標】

- (1)患者様の問題点を的確に捉えられる基本的、総合的な診療能力を身につける
- (2)患者さんの立場に立ったチーム医療を実践する能力を身につける
- (3)医療の社会性と医師の社会的な役割を自覚し、健康や暮らしを守る立場からよりよい医療を追求する視点を身につける

#### 【行動目標】

- 1、毎日の記録(ポートフォリオ)をつけ、指導医と共にチェックと振り返りを行うことができる。
- 2、内科疾患の患者さんを受け持ち、毎日の病歴聴取、基本的身体診察を行い情報を収集できる。
- 3、基本的なバイタルサインの測定とその解釈ができる。
- 4、評価と治療計画(検査・治療など)を立案、文献考察し、診療録記載を行うことができる。
- 5、カンファレンスに参加をし、受け持ち患者さんのプレゼンテーションを指導医および他職種向けに行うことができる。
- 6、往診に同行し、見学したケースについて感想をまとめることができる。
- 7、2週間の最後に学習したことをまとめ、スライドを用いて発表し、振り返ることができる。

(テーマや方法などについては指導教官と相談し決定する)

テキスト 特に指定はありません

参考書 「内科学」(朝倉書店) year note(メディックメディア)等

評価方法 ポートフォリオ、態度評価、研修まとめの発表をもとに、形式的・総合的評価を行う。

その他(メッセージ等) この福島で地域住民の健康を守るため、最前線で共に診療をしたいという思いを持ったみなさん、実際にその目でしっかりと見て、体感してください。スタッフ一同お待ちしております！

### 授業計画/担当教員等

#### 【授業計画】

##### 1週間のスケジュール例

- (月) 午前:オリエンテーション(スケジュール説明、院内案内、電カルオリエン等)、病棟  
午後:病棟・受け持ち患者紹介
- (火) 午前:新入院カンファレンス・病棟・救急車対応  
午後:病棟・救急車対応・心電図カンファレンス
- (水) 午前:新入院カンファレンス・病棟・救急車対応・他職種カンファレンス  
午後:病棟・研修医カンファレンス見学・全科メディカルカンファレンス
- (木) 午前:在宅往診  
午後:病棟・救急車対応・臨床倫理カンファレンス
- (金) 午前:英文抄読会※・新入院カンファレンス・病棟・救急車対応  
※The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 等  
午後:病棟・腹部エコーレクチャー

※希望により、実習内容や日程などフレキシブルに対応します

朝開始時刻 朝礼は8:30~

終了時刻 指導教官との振り返りが終了し次第 (おおよそ16時30分~17時頃)

#### 【実習担当指導医】※各診療科の代表者のみ記載

渡部朋幸/副院長(内科・循環器内科)

遠藤剛/院長(緩和ケア内科)

佐藤武/副院長(内科・リハビリテーション科・循環器科)

渡辺秀紀(消化器内科)

科目・コース(ユニット)	BSLアドバンスコース(福島赤十字病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Fukushima Red Cross Hospital)		
担当責任者	鈴木恭一		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<p>福島赤十字病院は、福島県北医療機関の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。救急患者数・救急車取扱件数はいずれも県北地区最多であり、多種多様な疾患に対応しています。こうしたプライマリ・ケアの研修に恵まれた環境を持つ当院において、臨床研修教育は果たすべき重要な責務と考えています。平成28年は13名(1年次6名、2年次7名)の初期臨床研修医が学んでおり、学生の臨床実習や病院見学も数多く受け入れております。</p> <p>当院の実習では、多種多様な症例を実際に担当・見学し、これまで学び習得した知識を確認し深めてください。また、医学士の臨床実習において許容される基本的医療行為は、指導医が安全と判断し得る範囲で積極的に経験して頂きます。幸い当院には多くの初期研修医もいますので、彼ら彼女らの後ろに張り付いて、少しでも有意義な実習になるよう努力してください。</p>	
学習目標	
【一般目標】	
プライマリ・ケアの基本的な能力(医療面接、診察技能、診断・推論知識等)の獲得を目指す。 他職種とのかかわりを通してチーム医療の必要性を体感し、医療人として必要な人格形成を目指す。	
【行動目標】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当院初期研修医または指導医とともに行動し、日常診療を見学し吸収する。</li> <li>2. 救急症例を積極的に見学する。</li> <li>3. 他科医師のみならず、看護師・検査技師等他の職種とのコミュニケーションを通してチーム医療を学ぶ。</li> <li>4. 許容される基本医療行為を安全に遂行する。</li> <li>5. 経験した症例について、研修医・指導医とディスカッションを行う。</li> </ol>	
テキスト	特に指定はありません。
参考書	特に指定はありません。
評価方法	実習に取り組む態度や、症例についてのディスカッションや検査・治療を通しての疾患に対する理解度などにより総合的に評価いたします。
その他(メッセージ等)	研修する診療科は希望に配慮しますが、事情により希望と異なる診療科での研修となる可能性があります。 実習の目標は指導医が個別に立てますが、希望する研修目標があれば考慮します。 積極的に柔軟性のある研修姿勢を期待しています。

授業計画/担当教員等	
【授業計画】	
回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]	
実習前に、希望する診療科の有無などを確認します。	
* 以下の診療科が実習可能です	
内科・消化器内科、糖尿病代謝内科、循環器内科、神経内科、麻酔科、産婦人科、	
外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、精神科	
* 基本的には1診療科1週間で2診療科を予定していますが、希望があれば可能な範囲で対応します。	
* 1診療科に学生1名を基本としますが、福島医大診療科からの学生派遣依頼を受ける場合があります。	
第一週月曜の午前中にオリエンテーションを行います。	
病棟実習・急患室実習が主体ですが、各科の検査・手術等には見学で入ります。	
以下のカンファランスや研修会は研修時間外ですが、希望があれば参加が可能です(義務ではありません)。	
* 内科カンファランス(毎週月曜17時~)	
* 神経内科・脳外科カンファランス(第2・4月曜18時~)	
* 研修医系統講義研修会(第1・3土曜日8時~9時30分)	
【実習担当指導医】	
【内科・消化器内科 主担当指導医:黒田聖仁】	
* (am)内視鏡検査・腹部エコー検査の見学 (pm)治療内視鏡、腹部アンギオ検査見学、ベッドサイド研修	
【糖尿病代謝内科 担当指導医:佐藤義憲】	
* 病棟回診研修、病歴聴取	
【循環器内科 主担当指導医:大和田尊之】	
* (am)入院患者・救急患者診察・見学、心エコー検査の見学 (pm)心臓カテーテル検査・治療の見学・参加	
* 心臓外科手術のある時は、心臓外科医師の協力のもと手術見学も可	
【神経内科 主担当指導医:中村耕一郎】	
* 外来・病棟実習、電気生理検査等	
【麻酔科 主担当指導医:安達守】	
* 麻酔の見学等	
【産婦人科 主担当指導医:矢澤浩之】	
* 手術見学・手術参加(第2助手)、分娩見学、外来見学、腹腔鏡ドラクボックストレーニング体験	
【外科 主担当指導医:遠藤豪一】	
* 外科一般・消化器外科手術見学、基本の縫合処置・切開の指導	
【呼吸器外科 主担当指導医:菅野隆三】	
* 呼吸器外科手術への参加、種々の呼吸器疾患の学習と臨床経験(画像診断、検査、処置等)	
【脳神経外科 主担当指導医:鈴木恭一】	
* 検査・治療・手術の見学と知識の確認	
初期臨床研修医とペアで研修し、初期臨床研修につながるよう指導します	
【整形外科 主担当指導医:村上和也】	
* 整形外科病棟の回診に帯同し、基本的な処置を見学、手術見学(手洗い)	
【耳鼻咽喉科 主担当指導医:大河内幸男】	
* 外来新患問診、検査結果の解釈、手術見学等	
【皮膚科 主担当指導医:元木良和】	
* 外来診療・外来小手術見学	
【精神科 主担当指導医:後藤大介】	
* 精神科一般臨床見学	
臨床研修プログラム責任者:鈴木恭一 副責任者:渡部研一	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(公立藤田総合病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Fujita General Hospital)		
担当責任者			
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

福島県北地域の中核病院として311床を有し、地域医療・救急医療の充実に貢献しています。国保直診の公立病院として「患者さん中心の医療」を病院の理念とし、初期診療から救急医療、訪問診療や介護・福祉施設での診療、住民検診など地域の医療を担っています。

さらには「地域包括医療・ケア認定病院」として地域住民の生活に視点を置いた医療を提供していますので、地域での医療の実態を肌で感じることができる実習環境を提供いたします。

また、初期臨床研修病院として若手医療人への教育に力を注いでいますので、電子カルテやオーダーリング、画像電子ファイリングなどIT環境の整った良い環境の中で、チーム医療の一員として臨床の現場で実践的な能力(知識・技能・態度)やプライマリ・ケアを学ぶことができます。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

1. 地域の病院での外来・入院・救急・地域医療の診療において、現場での実践をとおして「実践的診断能力」(知識・技能・態度)を身につける。
2. チーム医療の実践を経験して病院における医師の役割を十分に理解し、医師として求められる基本的な資質と能力を身につける。

##### 【行動目標】

1. 外来患者の診療にあたり、病歴聴取、身体診察、診断推論ができる。
2. 入院患者の診療にあたり、病歴、身体診察、検査所見、病態の変化などをアセスメントできる。
3. 救急搬送症例を経験し、診断へのアプローチができる。
4. 院内カンファランスに参加し、他職種とのチーム医療を経験し、EBMを実践する。
5. 訪問診療や介護・福祉施設診療を経験し、地域医療の実態を知る。
6. 多職種の業務を知る。(薬剤師、放射線技師、検査技師、リハビリテーション等)
7. 医師として患者さんに対する正しい診療態度を身につける。

テキスト 特にありません。

参考書 図書室に準備してあります。

評価方法 形成的評価と実習態度、指導医とのディスカッションなどによる総合的評価

その他(メッセージ等) 希望に合わせて実習内容や目標設定を行います。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

- (月) 午前-外来実習・救急実習、午後-入院実習、介護・福祉施設診療  
(火) 午前-外来実習・救急実習、午後-内視鏡治療・検査、入院実習、消化器・外科合同カンファランス  
(水) 午前-外来実習・救急実習、午後-入院実習、訪問診療  
(木) 午前-外来実習・救急実習、午後-入院実習、介護・福祉施設診療  
(金) 午前-外来実習・救急実習、午後-入院実習、放射線画像カンファランス

※各曜日の実習の中に、多職種の業務を知るための見学・参加型の実習が加わります。

※見学希望等があれば、フレキシブルに対応します。

##### 【主な内容】

内科の基本的な診療(一般内科、消化器内科、腎臓内科)、予診～指導医と議論～診察～フィードバック  
腎臓病や糖尿病の診察、検査、身体所見の取り方

common疾患で入院中の患者の病歴聴取、身体診察、検査所見等でアセスメントし診療計画を立てる

救急医療(一次～二次救急を中心に現場で診療。指導医とディスカッションしながら、診断・治療計画を立案)

内視鏡治療や検査の手技に関する実習

訪問診療、介護・福祉施設診療をとおして地域医療(特に地域包括ケア)の現場を経験する

※朝開始時刻 8時30分(8時20分までには医局で待機)

※終了時刻 17時15分～18時頃

##### 【実習担当指導医】

近藤 祐一郎/公立藤田総合病院 副院長  
鈴木 修三/公立藤田総合病院 教育研修センター長兼内科部長  
各科指導医

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	井上 実			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

### 概要／方針等

太田西ノ内病院は、郡山市にあり37診療科をもち、県中・県南の中核病院としてプライマリーケアから三次救急まで対応している病院です。各診療科の連携もスムーズで、熱心な指導医のもと、多くの研修医がコメディカルスタッフと協力し合いさまざまな病態の患者さんの診療にあたっています。  
当院のBSLアドバンスコースでは、できるだけ学生さんの希望に沿った診療科での実習を通して、実際の医療を学んでいただきたいと思います。

### 学習目標

#### 【一般目標】

多職種との協力のもと、患者さんとのかかわりを通して医師として必要な心構え、知識、技術を習得する

#### 【行動目標】

- ① 病院内の多職種と円滑なコミュニケーションをとる
- ② 的確な診断に至るための医療面接、身体診察、各種検査の選択について学ぶ
- ③ 患者さんに関し得られた情報をもとに、指導医と鑑別診断、治療方針等に関しディスカッションを行う
- ④ 患者さんの精神面への配慮について学ぶ

テキスト 診療科により指定あり

参考書 診療科により指定あり

評価方法 実習態度、カンファレンス、指導医とのディスカッション、レポート等

その他(メッセージ等) ご希望にあわせて、実習内容を設定いたしますが、事情により異なる診療科でも実習となる場合があります。

### 授業計画／担当教員等

#### 【授業計画】

学生さんの希望を取り入れ、実習内容を決定します。

#### ◎ 主な内容

- 外来・病棟診療
- 検査・手術見学
- 救急医療

#### 【実習担当指導医】

各診療科指導医



科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 外科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	石井芳正			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択
				選択必修 授業形態 実習

概要／方針等

関連病院における外科医療を、チームの一員として体験して、大学病院で学んだ知識や技術を再確認することを目標とする。また、地域に密着した医療の必要性を理解する。

学習目標

【一般目標】

外科チームの一員として外科医療に積極的に参加する。

テキスト

参考書

評価方法

その他(メッセージ等)

授業計画／担当教員等

【授業計画】

月～木	8:00 病棟回診
	終日 全麻手術、概ね2件、(手術助手)
	17:00 病棟回診
	※ 随時、DDL・GTF等検査
金	8:00 病棟回診
	AM 腰麻手術、局麻手術、(手術助手)
	PM 全麻手術、(手術助手)
	17:00 病棟回診
土	DDL・GTF等検査、局麻手術
	※ 火 18:30 勉強会(軽食あり)

【実習担当指導医】

石井芳正      山田睦夫      伊藤泰輔

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 眼科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	齋藤 国治			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

概要／方針等

プライマリーコースで学んだ基礎知識をもって、眼科的臨床医学の基本を学習することを目的とする。

学習目標

【一般目標】

実習を通して基本的眼科手技を理解する。

【行動目標】

細隙灯顕微鏡を用いて角膜、前房、水晶体の異常の有無を指摘できる。

倒像鏡を用いた眼底検査で、視神経乳頭と位置と眼底の色調が確認できる。

光干渉断層計(OCT)で黄斑浮腫、黄斑円孔、黄斑前膜の有無を指摘できる。

指導医とともに手術に参加し、顕微鏡下手術の術野の状態を確認できる。

テキスト 現代の眼科学(金原出版) 第12版

参考書 現代の眼科学(金原出版) 第12版

評価方法 実習態度により評価する。

その他(メッセージ等) どのような疾患の患者が一般臨床で多く存在しているかを学んで欲しい。

授業計画／担当教員等

【授業計画】

第1日目

午前 9:00 オリエンテーション(医局)・外来患者診察実習(外来)

午後14:00 手術実習(手術室)

第2日目

午前 9:00 外来患者診察実習(外来)

午後14:00 手術実習(手術室)

【実習担当指導医】

齋藤 国治

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 救急麻酔科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ootanishinouchi Hospital)			
担当責任者	篠原一彰、熊田芳文			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

概要／方針等

5年次におけるプライマリーコースの基礎を元にして、当院の特色である救急、麻酔、集中治療を一連の流れとして救急外来から手術室、集中治療室の現場に接し臨床実習を行う。救急外来では、救急患者への対応、緊急度の高い疾患の診断および治療を学び、手術室では定時手術における適切な鎮静、鎮痛コントロールを理解する。集中治療室では術後、外傷、内科系など多岐にわたる重症患者の集中治療管理を学ぶ。当院での臨床実習を通して、救急、麻酔、集中治療が個々の異なる分野ではなく同一の全身管理であることを理解する。

学習目標

【一般目標】

全身管理という一つの分野における救急、麻酔、集中治療の現場を経験し理解する。

【行動目標】

1. 患者の初期病態を判断できる。
2. 患者の初期治療を介助できる。
3. 患者の緊急度および重症度を説明できる。
4. 緊急手術の必要性を判断できる。
5. 集中治療の必要性を理解できる。
6. 心肺停止患者に対し、リーダーとしてACLSを実施できる。
7. 外傷患者に対し、リーダーとしてJATECを実施できる。

テキスト 特に指定しない。

参考書

BLS、ACLSプロバイダーマニュアル  
外傷初期診療ガイドライン  
麻酔科研修チェックシート

評価方法

出席、実習態度。

その他(メッセージ等)

学習上の留意事項

1. 常にABCDに立ち返る。
2. 迅速、適切な判断ができるように。

授業計画／担当教員等

【授業計画】

休日明け 8時～  
平日 8時15分～

【実習担当指導医】

篠原一彰、熊田芳文、横山秀之、石田時也

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 形成・美容外科)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital :plastic esthetic surgery)		
担当責任者	福屋安彦		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要／方針等

- ・形成外科の診療対象は頭部から足先までの全体表部であり、また先天異常から後天的疾患や美容にいたるまで広く深い診療知識の習得が必要ではあるが、実際の診療を体験することが最良の知識獲得になる。
- ・大学病院の特殊な環境とは違う市中総合病院での形成外科診療内容の見学や実習を体験し、形成外科、再建外科、美容外科の治療概念を理解する。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

(救急外来を通して)熱傷を含む外傷に対する形成外科的対応、(外来診療を通して)形成外科の治療方法や計画設定の流れ、(入院診療を通して)手術前、手術中、手術後の各時期での管理上の重要な点、(熱傷、褥瘡、下腿足潰瘍の治療を通して)創傷管理の概念を理解する。

##### 【行動目標】

- 1 熱傷を含む体表外傷の治療の流れを説明できる。
- 2 手術デザインの重要性を理解し、顔面皮膚腫瘍切除術の切開デザインができる。
- 3 皮膚潰瘍の状態に応じた治療薬の選択ができる。
- 4 他診療科とは異なる形成外科独特の診療ポイントを10項目以上説明できる。

テキスト 標準形成外科(医学書院)

参考書 形成外科手術書(鬼塚卓也著 南江堂)

評価方法 実習態度、適時の口頭試問による総合的に評価する。

その他(メッセージ等) 県内最多の形成外科患者数および手術件数を有する当科での診療の体験により、形成外科の概念が理解でき、将来の専門分野の選択基準にも役立ちます。

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

月曜日～金曜日

8時30分～

入院患者カンファレンス※、  
手術(入院全身麻酔手術、入院局所麻酔手術、外来手術の3班に分かれる)。  
病棟患者診療。

9時～

13時30分～

手術(入院全身麻酔手術、入院局所麻酔手術の2班に分かれる)。  
外来診療(予約外来2診、予約外外来1診の3班に分かれる)。

月曜日

18時～

手術患者カンファレンス※。

火曜日

8時40分～

病棟カンファレンス※。

11時～

褥瘡回診※。

・上記が当科の診療予定である。

・※のついた入院患者カンファレンス、手術患者カンファレンス、病棟カンファレンス、褥瘡カンファレンスは必修である。

・その日の診療内容と今までの実習内容を考慮して、その日の最良の実習予定を8時30分からのカンファレンス内で提案する。

・救急外来診療依頼があった場合には、その実習を優先とする。

##### 【実習担当指導医】

福屋安彦

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 血液内科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	神林裕行			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

**概要／方針等**

第一線の血液内科病棟における診療に触れる

**学習目標**

**【一般目標】**

内科医の心得を知る

**【行動目標】**

自ら課題を考える

テキスト 指定なし

参考書 指定なし

評価方法 実習態度

その他(メッセージ等) 清潔、感染予防に気を付ける

**授業計画／担当教員等**

**【授業計画】**

主治医の1日の業務に従う

**【実習担当指導医】**

松田 信      神林裕行      齋藤由理恵      高橋裕志      木村 悟



科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 呼吸器内科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	松浦圭文 (呼吸器センター内科センター長)			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

#### 概要／方針等

呼吸器患者との人間味のある医者患者関係の構築、臨床診断の組み立て方、鑑別診断、治療の実際を経験習得して頂きたい。時間があれば現在の呼吸器内科のトピックを交え国家試験対策のショートレクチャー、試験問題演習なども組み込みたい。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

患者医師間相互関係の人間愛にあふれた構築、医師としての責任感をもち、大学での教えをもとに実際の臨床修練を経験させる。

##### 【行動目標】

呼吸器疾患の診断、治療の実際を学ぶ。患者、患者家族に対する医師の対応の観察、呼吸器領域に必要な検査、基本手技の観察。

テキスト 大学の臨床講義で使用したものでよい、特に指定はなし

参考書

評価方法

その他(メッセージ等) スマートフォン、アイパッド、インターネット利用でも内容は十分 見るだけでなく自分だけの便利ノートも作成してほしい

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

2週間受け入れ 月曜から金曜日まで 希望有れば週2回ほど当直実習も可能 その際宿泊に関しては病院施設利用も可能(無料) 土曜午前中も可能

週1回水曜日午前カンファレンス 気管支鏡 火曜、木曜午後 勉強会 週2回 (レントゲンの読影法、肺がん治療

感染症、COPD/ぜんそく治療、肺線維症などのコモン疾患の診断治療) 金曜日1週間のまとめ、口頭試問、悩み相談

##### 【実習担当指導医】

呼吸器内科 松浦圭文 原 靖果 呼吸器外科 箕輪宗生



科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 小児科)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)		
担当責任者	今村 孝		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
福島県立医科大学小児科学概要に準ずる。 (ただし、当直帯の実習受け入れは、多忙のため不可である)	
学習目標	
福島県立医科大学小児科学概要に準ずる。ただし、本コースは、周産期医学(特に新生児学)により重点を置いた内容である。	
テキスト	新生児学入門 第4版 医学書院
参考書	当院NICU医局書庫の本
評価方法	福島県立医科大学小児科学概要に準ずる
その他(メッセージ等)	NICU 9床、GCU 12床 NICU入院;5-6名/週、転院搬送;0-2名/週、帝王切開;4-6件/週、健常新生児出生;約10名/週

授業計画/担当教員等	
<b>【授業計画】</b>	
・月曜日	
7:45 - 8:15	小児科朝カンファランス
8:20 - 8:40	NICU朝カンファランス
8:40 - 10:00	NICU回診・処置(診察、血液検査、超音波検査、MRI・脳波等) 臨時帝王切開等
10:00 - 11:00	新生児室回診 NICU病棟業務(診療録記載、保護者への病状説明等)
11:30 -	部長回診
13:30 - 16:30	新生児フォロー外来・早期フォローアップ外来 臨時帝王切開 NICU病棟業務(診療録記載、検査、保護者への病状説明等)
16:30 -	夕回診
※ 入院受入れ、転院搬送(その都度)	
・火曜日	
7:45 - 8:15	小児科朝カンファランス
8:20 - 8:40	NICU朝カンファランス
8:40 - 10:00	NICU回診・処置(診察、血液検査、超音波検査、MRI・脳波等) 臨時帝王切開等
10:00 - 11:00	新生児室回診
11:00 -	NICU病棟業務(診療録記載、保護者への病状説明等)
13:30 - 15:30	NICU病棟業務(診療録記載、検査、保護者への病状説明等) 病棟多職種カンファランス 定時帝王切開
15:30 - 16:30	退院カンファランス
16:30 -	夕回診
※ 入院受入れ、転院搬送(その都度)	
・水曜日	
7:45 - 8:15	小児科朝カンファランス
8:20 - 8:40	NICU朝カンファランス
8:40 - 10:00	NICU回診・処置(診察、血液検査、超音波検査、MRI・脳波等) 臨時帝王切開等 エコチル調査
10:00 - 11:00	新生児室回診
11:00 -	NICU病棟業務(診療録記載、保護者への病状説明等)
13:30 - 17:00	臨時帝王切開、新生児・発達外来 NICU病棟業務(診療録記載、検査、保護者への病状説明等)
17:00 - 17:30	周産期カンファランス
17:30 -	夕回診
※ 入院受入れ、転院搬送(その都度)	
・木曜日	
7:45 - 8:15	小児科朝カンファランス
8:20 - 8:40	NICU朝カンファランス
8:40 - 10:00	NICU回診・処置(診察、血液検査、超音波検査、MRI・脳波等) 定時帝王切開等
10:00 - 11:00	新生児室回診
11:00 -	NICU病棟業務(診療録記載、保護者への病状説明等)
13:30 - 17:00	1か月健診、乳児健診、新生児早期フォローアップ外来 新生児・発達外来 臨時帝王切開 NICU病棟業務等(診療録記載、検査、保護者への病状説明等)
17:00 -	夕回診
※ 入院受入れ、転院搬送(その都度)	
・金曜日	
7:45 - 8:15	小児科朝カンファランス
8:20 - 8:40	NICU朝カンファランス
8:40 - 10:00	NICU回診・処置(診察、血液検査、超音波検査、MRI・脳波等) 臨時帝王切開等
10:00 - 11:00	新生児室回診
11:00 -	NICU病棟業務(診療録記載、保護者への病状説明等)
13:30 - 16:30	NICU病棟業務(診療録記載、検査、保護者への病状説明等) 病棟多職種カンファランス、臨時帝王切開
16:30 -	夕回診
※ 入院受入れ、転院搬送(その都度)	
<b>【実習担当指導医】</b>	
今村 孝	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 消化器内科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	迎 慎二			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

### 概要／方針等

消化器内科では、病棟医グループの一員として、グループの担当するすべての患者について、検査および治療計画の立案について参加し、指導医のもとで診療録の作成をする。消化器内科外来新患の問診、診察をしてもらい、今後の検査、治療方針の作成についてディスカッションする。  
当科で行われている検査、治療に参加してもらい、実診療を体験する。

### 学習目標

#### 【一般目標】

文献検索、専門書などで得られる最新の知見をもとに、消化器病領域の疾患病態を理解し、検査・診断・治療計画を立案する方法を修得する。

【行動目標】①検査技師の行う腹部エコー検査を見学。指導医と一緒に診断する。

②消化器内視鏡検査に指導医とともに立ち会い、消化管疾患の診断を経験する。

③治療内視鏡を見学し、方法・介助者の役割を理解する。

④肝・胆・膵疾患入院患者さんの画像診断(CT,MRIなど)や治療(TACE,RFA,ERCP etc)に立ち会い理解を深める。

テキスト 特に指定しない

参考書 ハリソン内科学など

評価方法 カンファレンスや指導医とのディスカッション、レポートなどにより総合評価

その他(メッセージ等) 初期研修医や後期研修医などの先輩を、うまく利用してください。(当院の特徴の屋根瓦方式)

### 授業計画／担当教員等

#### 【授業計画】

月曜日	8時30分～9時	入院患者のお変わり報告、グループ内	小ディスカッション
	9時～12時	内視鏡検査	
	13時30分～17時	治療内視鏡	
	18時～	外科との合同カンファレンス	
火曜日	8時30分～9時	入院患者のお変わり報告	
	9時～12時	内視鏡検査、病棟回診、RFA.肝生検見学など	
	14時～17時	下部内視鏡検査、治療	
水曜日	9時～12時	外来新患診察	
	13時30分～17時	入院患者回診、治療内視鏡、TACE見学など	
木曜日	9時～12時	腹部エコー実習	
	14時～17時	治療内視鏡見学、介助	
金曜日	9時～12時	内視鏡検査、病棟回診など	
	14時～17時	治療内視鏡、TACE見学など	

※ERから救急患者要請があれば当番医に同行

#### 【実習担当指導医】

迎 慎二      今村秀道      橋本健明

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 心臓血管外科)						
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)						
担当責任者	高橋皇基						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修/選択	選択必修	授業形態	実習

概要/方針等

心臓血管外科医師(スタッフ)とともに患者を担当し、周術期管理を行う。

学習目標

【一般目標】

診察、手術助手を経験し、教科書から学んだ知識を深め、今後役立つものとする。

【行動目標】

- ①手術前の検査結果を確認し考察する
- ②手術助手として手術に参加する
- ③手術後の経過、各種検査結果を確認し考察する

テキスト なし

参考書 心臓血管外科 テキスト(中外医学社)

評価方法 出席日数、口頭試問

その他(メッセージ等) 実際の現場を体験することが重要と考え、指導します。

授業計画/担当教員等

【授業計画】

月曜日	8:00 ~	病棟回診
	15:00 ~	手術症例検討
火曜日	8:00 ~	病棟回診
	9:00 ~	手術見学(助手)
水曜日	8:00 ~	病棟回診
	15:00 ~	手術症例検討
木曜日	8:00 ~	病棟回診
	9:00 ~	手術見学(助手)
金曜日	8:00 ~	病棟回診
	15:00 ~	手術見学(助手)

【実習担当指導医】

丹治雅博(副院長) 高橋皇基(部長)



科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 内科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	井上 実			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

**概要／方針等**

内科は、多くの疾患を併せ持つ患者さん、診療科の特定できない患者さんなど、幅広い領域をカバーしています。さまざまな症状の患者さんについて、病歴、身体所見、検査結果から、必要な場合は他科にもコンサルトしながら鑑別診断を進めていきます  
 外来、病棟での診療を体験していただき、内科の醍醐味を味わっていただきたいと思います

**【一般目標】**

患者さんとの接触を通して、総合的な診療能力を身に付ける

**【行動目標】**

患者さんの立場に立った医療面接を行う  
 的確な検査の進め方を考える  
 指導医と鑑別診断についてディスカッションする

テキスト 特に指定しない

参考書 特に指定しない

評価方法 実習態度、カンファレンス、指導医とのディスカッション、レポート等

その他(メッセージ等)

**授業計画／担当教員等**

**【授業計画】**

朝のカンファレンスに参加  
 外来、病棟での診療を経験する

**【実習担当指導医】**

新保卓郎／病院長      井上 実／副院長

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 脳神経外科)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)		
担当責任者	川上雅久		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県立医科大学脳神経外科学講座のBSLアドバンスコース概要に準じた実習を行う。</li> <li>・当院でもクリニカルクラークシップに基づき主治医の一人として脳神経外科臨床を実習する。</li> <li>・当院は救命救急センター設置施設であり二次・三次救急が非常に多い為、主として救急患者の初期治療から退院までを担当する。</li> <li>・病歴聴取、神経所見チェック、画像診断、治療計画作成を行い、助手として手術に参加する。また術後管理や検討会でのプレゼンテーションにも参加する。</li> <li>・当院の関連施設である太田熱海病院での回復期リハビリテーションも見学する。</li> <li>・実習指導医には積極的に疑問を投げかけること。</li> </ul>	
学習目標	
【一般目標】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳神経外科で扱う診断・治療の基本を理解し、より実践的な知識と手技の習得を目指す。</li> <li>・医師として大切な人を思いやる気持ちやチームとしての協調性を身につける。</li> </ul>	
【行動目標】	
1. 脳神経疾患を有する患者とコミュニケーションを取れる。	
2. 意識障害、神経脱落症状、高次脳機能障害を的確に診断できる。	
3. 画像所見を正確に読み取ることができ、基本的な診断と治療方針を立てることができる。	
4. 代表的な脳神経外科手術手技について説明することができる。	
5. 手術の助手をすることができる。	
6. 終末期医療について理解できる。	
7. チーム医療(特にTeam STEPPS)を理解し、他の医療スタッフと強調できる。	
テキスト	特に指定しない
参考書	標準脳神経外科(医学書院)
	ベッドサイドの神経の診かた(南山堂)
	脳神経外科学(金芳堂)
	脳卒中治療ガイドライン2015(協和企画)
	外傷初期診療ガイドライン(へるす出版)
	重症頭部外傷ガイドライン(医学書院)
評価方法	2週間の実習に対する姿勢(特に積極性・協調性)を重視して総合的に評価する。
その他(メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命センターでは大学では診られないようなcommon diseaseから三次救急まで実に様々な症例を経験する可能性が高いので、積極的に診療に参加してほしい。</li> <li>・診療が夜になることも多いので体調管理に気を付け、交通事故には十分気を付けてほしい。</li> </ul>

授業計画/担当教員等	
【授業計画】	
回数・月日(曜日)時限	--- 項目[内容(キーワード等)]
月曜日:08:30~09:00	症例検討会(6A病棟カンファレンスルーム2)
	09:00~臨床実習
火曜日:08:30~09:00	症例検討会(6A病棟カンファレンスルーム2)
	09:00~臨床実習
	14:00~脳血管撮影
水曜日:08:30~09:00	症例検討会(6A病棟カンファレンスルーム2)
	09:00~手術助手
	※希望者は水曜日の救急指定日当直
木曜日:08:30~09:00	症例検討会(6A病棟カンファレンスルーム2)
	09:00~臨床実習
	15:00~術前・術後症例検討会
金曜日:08:30~09:00	症例検討会(6A病棟カンファレンスルーム2)
	09:00~臨床実習
土曜日:08:30~09:00	症例検討会(6A病棟カンファレンスルーム2)
	09:00~臨床実習(午前中で終了)
【実習担当指導医】	
川上雅久(副院長、脳神経センター長)	
藤田隆史(脳神経外科部長)	
前田卓哉(脳神経外科副医長)	
松本由香(脳神経外科副医長)	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 泌尿器科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	村上房夫			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択
				選択必修 授業形態 実習

概要／方針等

泌尿器疾患について、診断治療の実察について学ぶこと

学習目標

【一般目標】

一般外来において、泌尿器的手技を修得すること

【行動目標】

- ・泌尿器科レントゲン検査の介助(尿道造影・膀胱造影)
- ・カテーテル(尿道)の挿入、抜糸
- ・創部の縫合、抜糸、創の消毒
- ・泌尿器科手術の見学、経験をする

テキスト

参考書

評価方法

その他(メッセージ等)

授業計画／担当教員等

【授業計画】

月・水・木 外来見学、泌尿器検査の介助(内視鏡)

月・火・金 手術の見学

水 17:00 レントゲンカンファ

【実習担当指導医】

村上 房夫

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田西ノ内病院 病理診断科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta Nishinouchi Hospital)			
担当責任者	小田島 肇			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択
				選択必修 授業形態 実習

概要／方針等

通常の診療で提出される生検、手術材料の診断過程の体験、迅速診断、剖検等に関わり一般病院における病理の業務を理解する

学習目標

【一般目標】

剖検例を含む多くの症例の病理学的検討を行い、最終的な病理診断や剖検の実際を理解する

【行動目標】

- ①手術材料等の簡単な切り出し、肉眼所見、組織学的所見をもとに、癌取り扱い規約に即した記載ができる
- ②剖検所見の把握ならびに病態や死因についての考察ができる

テキスト

参考書

評価方法

出席日数、学習態度等で総合評価する

その他(メッセージ等)

- ①患者個人情報を守秘する義務がある
- ②問題解決型学習を目標としているので、主体的な思考と積極的な学習態度が求められる

授業計画／担当教員等

【授業計画】

月～金 午前 切り出しの見学・参加

月～金 午後 日替わりで、手術材料、剖検材料等の観察、所見をまとめ病理医の検閲を受ける

※ 迅速・剖検があるときには、随時見学・参加する

【実習担当指導医】

小田島 肇

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(公益財団法人 星総合病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Hoshi General Hospital)		
担当責任者	野水 整		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要／方針等

星総合病院は「おらが病院」(私の病院)を合言葉に、「醫靈」を理念に掲げ、各施設において保健・医療・福祉サービスの提供を行っております。病床数430床の地域中核となる急性期疾病を対象とした総合病院で、地域のクリニックの先生方との連携を密に、紹介・逆紹介が活発に行われ、また郡山市の二次救急病院輪番制に参加し、救急医療の提供も行っております。

また星ヶ丘病院は、精神科急性期治療・認知症治療病棟を有し精神科急性期治療を行うほか、心療内科領域のメンタルヘルスケアも実施しております。

急性期病院として、地域に根ざした医療機関であるため、コモディージェズから専門的な症例まで幅広いことが特徴です。専門知識や技術の修得は勿論ですが、患者さんの「全身」を診る実習ができるよう体制を整えています。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

1. 「地域の中核である総合病院」の役割を学ぶ。
2. 地域医療・チーム医療の現場を体験し、出来るだけ多くの経験を積む。
3. 多くの症例と関わる事で、知識・技術の習熟度を高める。

##### 【行動目標】

1. 患者さんを中心としたチーム医療を学ぶため、医師のみならず多職種とコミュニケーションを図る。
2. 許容される基本的医療行為を安全に遂行する。
3. 自ら積極的に行動し、主体性・協力性など社会人として必要なスキルを身に付ける。

テキスト 特にありません。

参考書 特にありません。

評価方法 実習態度や指導医とのディスカッションなどにより、総合的に評価します。

##### その他(メッセージ等)

1. 研修する診療科は希望に配慮します。諸事情により実習をお受けできない診療科もございますのでご了承ください。
2. 実習の目標・スケジュールは指導医が判断して個別に立案しますが、希望する目標や経験したい内容がある場合はご相談下さい。
3. 昼食は当院の食堂をご利用ください。
4. 院内用上履きを持参して下さい。

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

実習する診療科や実習内容は、本人の希望により可能な範囲で対応します。

##### 1. 主な内容

基本的な診察見学

手術見学

検査見学 等

##### 2. 実習時間

8時45分から17時15分(木曜日は12:30まで)

ただし、診療科によっては時間外にカンファレンス等がある為、開始時間・終了時間は上記の限りではありません。

##### 【実習担当指導医】

実習する診療科・内容に応じて、当院の臨床研修指導医が担当します。

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(総合南東北病院(消化器内科・外科コース))		
(英語名称)	Southern TOHOKU General Hospital(Gastroenterology and Surgery)		
担当責任者	佐久間 秀夫		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<p>総合南東北病院は「すべては患者さんのために」の理念のもと、福島県中地区の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。最新機器・設備を駆使した高度先進医療を提供しており、外来患者・救急患者・検査・手術症例数は県内トップクラスの実績を誇っています。さらに、熱心な指導医が多数在籍し、各科の垣根が低く相談しやすい雰囲気があるのも当院の特徴のひとつです。</p> <p>当院の消化器内科では、消化器癌の診断・治療という専門的な分野はもちろん、内科全般を総合診療として両立させることを目標として診療にあたっています。また外科では、悪性腫瘍など多数の症例を経験することができます。さまざまな現場での経験を通し、臨床力のつく実習を提供します。</p>	
学習目標	
【一般目標】	
市中病院で行われている地域医療・チーム医療の現場を、各科の指導医や研修医、コ・メディカルとともに体験する。	
【行動目標】	
＜消化器内科＞	
1. 医療全般の中で消化器内科が果たすべき役割を理解する。	
2. 消化器疾患の診断・治療体系を理解する。	
3. 内科治療の基本を理解する。	
4. 入院患者さんとのコミュニケーションのとり方を理解する。	
＜外科＞	
1. 腹部症状の診察・診断ができるようにする。	
2. 緊急手術が必要な急性腹症の患者を診療し、その病態を理解する。	
3. 手術患者の術前・術後管理に参加し、患者の病状把握ができるようにする。	
4. 手術(消化管・肝胆膵の悪性腫瘍)に参加し、その手順を理解する。	
5. 病棟他職種カンファレンスに実際に参加し、チーム医療について学ぶ。	
6. 末期癌患者にかかわり、疼痛コントロールや心のケアなどの終末期医療について学ぶ。	
テキスト	特にありません。
参考書	特にありません。
評価方法	実習態度・レポート提出・指導医や研修医とのディスカッション等により総合的に評価する。
その他(メッセージ等)	原則、各科1週ずつの実習となります。 無料宿舎・実習期間中の食事の無料提供あり。実習前に希望されるか確認します。

授業計画/担当教員等	
【授業計画】	
朝開始時刻 8:30(希望があれば、下記にある早朝からの病棟回診・カンファレンス等から参加可能)	
※月-8:30~全体朝礼、水・金-7:55~全体カンファレンスに参加していただきます。	
終了時刻 おおよそ17:30~18:00	
＜消化器内科＞	
(月)・(水)・(金)午前一回診・外来、午後一検査	
(火)・(木)午前一回診・内視鏡、午後一検査	
* 夕方に、人体モデルを用いた内視鏡のトレーニングを行います。	
＜外科＞	
(月)7:30~回診、外来・手術・病棟処置回診・救急外来対応、ター回診	
(火)7:30~回診、8:00~カンファレンス、外来・手術・病棟処置回診・救急外来対応、ター回診	
(水)7:30~回診、外来・手術・病棟処置回診・救急外来対応、ター回診、17:30~外科内科症例カンファレンス	
(木)7:30~回診、7:55~病棟多職種カンファレンス、外来・手術・病棟処置回診・救急外来対応、ター回診	
(金)7:30~回診、外来・手術・病棟処置回診・救急外来対応、ター回診	
* 消化器疾患(主に悪性腫瘍)患者の術前・術後の管理を含めて、病棟回診・手術が主な実習となりますが、外来や救急外来対応にも積極的に参加していただくことができます。	
* 自身で患者を診ることで外科的救急疾患の具体的な流れがわかり、臨床力がつきます。	
【実習担当指導医】	
西野 徳之/消化器センター センター長	
高野 祥直/外科 科長	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(総合南東北病院(循環器科・心臓血管外科コース))		
(英語名称)	Southern TOHOKU General Hospital(Circulatory medicine and Cardiovascular Surgery)		
担当責任者	佐久間 秀夫		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

総合南東北病院は「すべては患者さんのために」の理念のもと、福島県中地区の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。最新機器・設備を駆使した高度先進医療を提供しており、外来患者・救急患者・検査・手術症例数は県内トップクラスの実績を誇っています。さらに、熱心な指導医が多数在籍し、各科の垣根が低く相談しやすい雰囲気があるのも当院の特徴のひとつです。

当院の循環器科では、循環器全般、特に不整脈関連に力を入れています。また、心臓血管外科については手術症例数が毎年350例以上あり、東北トップクラスといえます。先天性心疾患を含むほぼ全ての心臓血管疾患をカバーし、大動脈瘤ステントグラフト治療では東北初の植え込みを行いました。さまざまな現場での経験を通し、臨床力のつく実習を提供します。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

市中病院で行われている地域医療・チーム医療の現場を、各科の指導医や研修医、コ・メディカルとともに体験する。

##### 【行動目標】

###### <循環器科>

1. 循環器診察の技術を身につけることができる。
2. 循環器疾患の診断と治療ができる。
3. 内科一般の診断と治療ができる。
4. 患者の社会的背景を把握し、適した社会福祉サービスを提供することができる。

###### <心臓血管外科>

1. 病棟回診・手術などすべての業務を体験する。
2. カンファレンスに参加し、疾患や治療の考え方を学ぶ。
3. 意欲があれば症例報告も実施する。

テキスト 特になし。

参考書 特になし。

評価方法 実習態度・レポート提出・指導医や研修医とのディスカッション等により総合的に評価する。

その他(メッセージ等) 原則、各科1週ずつの実習となります。  
無料宿舎・実習期間中の食事の無料提供あり。実習前に希望されるか確認します。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

朝開始時刻 8:30(希望があれば、下記にある早朝からの病棟回診・カンファレンス等から参加可能)

※月-8:30~全体朝礼、水・金-7:55~全体カンファレンスに参加していただきます。

終了時刻 おおよそ17:30~18:00

###### <循環器科>

(月)午前-病棟、午後-心臓カテーテル検査・治療

(火)8:00~合同カンファレンス、カンファ終了後~心臓カテーテル検査・治療

(水)病棟(心エコー)

(木)午前-病棟、午後-心臓カテーテル検査・治療

(金)病棟(心臓リハビリテーション)

###### <心臓血管外科>

(月)午前-病棟回診、午後-関連病院の手術見学

(火)8:30~循環器合同カンファレンス、9:00~手術

(水)午前-病棟回診、11:30~手術

(木)9:00~手術

(金)9:00~手術、16:00~翌週の手術カンファレンス・抄読会

\* 希望があれば、7:30~の病棟回診から参加を歓迎します。

##### 【実習担当指導医】

小野 正博/心臓・循環器センター 副センター長

緑川 博文/心臓血管外科 成人部門 科長

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(総合南東北病院(神経内科・脳神経外科コース))		
(英語名称)	Southern TOHOKU General Hospital(Neurology and Neurosurgery)		
担当責任者	佐久間 秀夫		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<p>総合南東北病院は「すべては患者さんのために」の理念のもと、福島県中地区の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。最新機器・設備を駆使した高度先進医療を提供しており、外来患者・救急患者・検査・手術症例数は県内トップクラスの実績を誇っています。さらに、熱心な指導医が多数在籍し、各科の垣根が低く相談しやすい雰囲気があるのも当院の特徴のひとつです。</p> <p>当院の神経内科では、脳血管障害・髄膜炎の重症例・神経難病の急性増悪など神経救急疾患をすべて経験できます。脳神経外科については、地域の脳神経疾患の70%を当院で治療しています。日本全国でも有数の脳神経外科手術症例がありますので、脳神経系に興味のある学生には貴重な実習になることを確約します。さまざまな現場での経験を通し、臨床力のつく実習を提供します。</p>	
学習目標	
【一般目標】	
市中病院で行われている地域医療・チーム医療の現場を、各科の指導医や研修医、コ・メディカルとともに体験する。	
【行動目標】	
＜神経内科＞	
1. 神経診察の技術を身につけることができる。	
2. 神経疾患の診断と治療ができる。	
3. 内科一般の診断と治療ができる。	
4. 患者の社会的背景を把握し、適した社会福祉サービスを提供することができる。	
5. 神経難病以外の疾患にも対応でき、終末期医療を体得することができる。	
＜脳神経外科＞	
1. 脳卒中鑑別診断・治療選択ができるようになる。	
2. 神経学的所見・画像所見から病態が把握できるようになる。	
3. どのような場合に脳神経外科的治療が必要になるのかを考えられるようになる。	
テキスト	特にありません。
参考書	特にありません。
評価方法	実習態度・レポート提出・指導医や研修医とのディスカッション等により総合的に評価する。
その他(メッセージ等)	原則、各科1週ずつの実習となります。 無料宿舎・実習期間中の食事の無料提供あり。実習前に希望されるか確認します。

授業計画/担当教員等	
【授業計画】	
朝開始時刻 8:30(希望があれば、下記にある早朝からの病棟回診・カンファレンス等から参加可能)	
※月-8:30~全体朝礼、水・金-7:55~全体カンファレンスに参加していただきます。	
終了時刻 おおよそ17:30~18:00	
＜神経内科＞	
(月)8:00~抄読会、外来(午前)・病棟・救急対応	
(火)8:00~リハビリテーション回診、外来(午前)・病棟・救急対応、16:30~回診	
(水)外来(午前)・病棟・救急対応、16:00~脳卒中画像カンファレンス(脳神経外科・神経内科・放射線科合同)	
(木)外来(午前)・病棟・救急対応	
(金)外来(午前)・病棟・救急対応、16:30~週末ミーティング	
* 自分の興味のある分野について、特化した勉強をすることを認めています。	
例:てんかん、認知症、脳血管内治療	
* 必要時は他病院や大学で、週1回程度の外部研修を行っています。	
＜脳神経外科＞	
(月)脳神経救急…救急外来・病棟での脳卒中患者診察、脳動脈瘤手術の実際	
(火)脳腫瘍手術…脳腫瘍の多様性、治療目的と手術手技	
(水)脳血管内治療…救急外来・病棟での患者診察、脳血管撮影の実際	
(木)脳神経疾患リハビリテーション…脳神経疾患リハビリの実際、健康保険診療・介護保険の仕組みと社会保障制度	
(金)脳神経外科実習レポート発表・評価指導	
【実習担当指導医】	
金子 知香子/神経内科 科長	
後藤 博美/総合南東北病院 副院長	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(総合南東北病院(放射線診断科・放射線治療科コース))		
(英語名称)	Southern TOHOKU General Hospital(Radiology)		
担当責任者	佐久間 秀夫		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要／方針等

総合南東北病院は「すべては患者さんのために」の理念のもと、福島県中地区の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。最新機器・設備を駆使した高度先進医療を提供しており、外来患者・救急患者・検査・手術症例数は県内トップクラスの実績を誇っています。さらに、熱心な指導医が多数在籍し、各科の垣根が低く相談しやすい雰囲気があるのも当院の特徴のひとつです。  
当院の放射線科は、東北地方で唯一の後期研修基幹病院です。PET-CT4台・MRI6台・CT4台・血管造影3台など、日本有数の充実した画像診断機器を備えています。さまざまな現場での経験を通し、臨床力のつく実習を提供します。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

市中病院で行われている地域医療・チーム医療の現場を、各科の指導医や研修医、コ・メディカルとともに体験する。

##### 【行動目標】

###### <放射線診断科>

1. 放射線被ばくの基礎的事項が習得できる。
2. 胸腹部単純エックス線写真で典型的疾患の診断ができる。
3. CTとMRIの特長が理解できる(希望があれば実際に超音波検査やMRI検査を体験する)。
4. PET-CTの特長を理解し、典型的疾患の供覧を受ける。
5. 低侵襲性治療を理解し、模型を用いてカテーテル操作を経験する。

###### <放射線治療科>

がん患者を診察・治療するにあたり、どのような治療法が適しているか多方面から考えることができる。

テキスト 特にありません。

参考書 特にありません。

##### 評価方法

実習態度・レポート提出・指導医や研修医とのディスカッション等により総合的に評価する。

##### その他(メッセージ等)

原則、各科1週ずつの実習となります。  
無料宿舎・実習期間中の食事の無料提供あり。実習前に希望されるか確認します。

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

朝開始時刻 8:30(希望があれば、下記にある早朝からの病棟回診・カンファレンス等から参加可能)

※月-8:30~全体朝礼、水・金-7:55~全体カンファレンスに参加していただきます。

終了時刻 おおよそ17:30~18:00

###### <放射線診断科>

(月)オリエンテーション、神経放射線診断(CT・MRI)

(火)低侵襲性治療実習(IVR)、カテーテル実習

(水)外来実習、画像カンファレンス

(木)紹介画像診断実習(地域画像連携)

(金)実習生によるMRI・超音波画像実習

\* 放射線被ばくの実習は、オリエンテーション時に行います。

###### <放射線治療科>

(月)~(木)外来・病棟実習

(金)手術(血管内治療など)

##### 【実習担当指導医】

今井 茂樹／血管内治療研究所 所長

菊池 泰裕／南東北がん陽子線治療センター センター長

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(総合南東北病院(整形外科・外傷センターコース))		
(英語名称)	Southern TOHOKU General Hospital(Orthopaedics and Trauma Center)		
担当責任者	佐久間 秀夫		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

**概要/方針等**

総合南東北病院は「すべては患者さんのために」の理念のもと、福島県中地区の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。最新機器・設備を駆使した高度先進医療を提供しており、外来患者・救急患者・検査・手術症例数は県内トップクラスの実績を誇っています。さらに、熱心な指導医が多数在籍し、各科の垣根が低く相談しやすい雰囲気があるのも当院の特徴のひとつです。

当院の整形外科では、主に脊椎と四肢関節の変性疾患、スポーツによる障害や疾患、四肢の炎症性疾患などの治療と診断を行っています。外傷センターは平成27年4月に福島県内初として開設され、骨折の診断・手術から術後のリハビリまで一貫した骨折治療を行っています。当センターならではの技術・手法を駆使し、世界にその情報を発信しています。さまざまな現場での経験を通し、臨床力のつく実習を提供します。

**学習目標**

**【一般目標】**

市中病院で行われている地域医療・チーム医療の現場を、各科の指導医や研修医、コ・メディカルとともに体験する。

**【行動目標】**

**<整形外科>**

1. 患者さんから病歴を聴取し、身体診察を行う。
2. 鑑別診断を考え、補助検査の必要性を理解し、実際に検査をオーダーする。
3. 臨床症状・理学所見・画像診断を含む補助診断をもとに疾患を診断する。
4. 入院患者さんの治療法の適応を検討し、治療法を理解する。
5. 手術などの治療に参加する。
6. 周術期を含めた全身管理の方法を理解する。
7. リハビリテーションを含め、入院患者さんの社会復帰への過程を学ぶ。

**<外傷センター>**

1. 骨折の診断・治療の流れを把握できるようにする。
2. 骨折の正常な治癒過程を知る。
3. 骨折の合併症に対する理解を深める。
4. 難治骨折の病態・治療について知る。

テキスト 特にありません。

参考書 特にありません。

評価方法 実習態度・レポート提出・指導医や研修医とのディスカッション等により総合的に評価する。

その他(メッセージ等) 原則、各科1週ずつの実習となります。  
無料宿舎・実習期間中の食事の無料提供あり。実習前に希望されるか確認します。

**授業計画/担当教員等**

**【授業計画】**

朝開始時刻 8:30(希望があれば、下記にある早朝からの病棟回診・カンファレンス等から参加可能)

※月-8:30~全体朝礼、水・金-7:55~全体カンファレンスに参加していただきます。

終了時刻 おおよそ17:30~18:00

**<整形外科>**

(月)~(金)病棟・手術・外来

\* スケジュールは、参加したい手術の希望により調整します。

\* 7:30~の病棟回診(水曜日はリハビリ・看護師・ソーシャルワーカーとの合同カンファレンスあり)からの参加も歓迎します。

**<外傷センター>**

(月)午前-レントゲンカンファレンス・病棟回診、午後-クルズ

(火)午前-外来、午後-クルズ

(水)~(木)手術

(金)午前-手術、午後-総括

**【実習担当指導医】**

鹿山 悟/南東北医療クリニック 副院長

竹中 信之/外傷センター 科長

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:寿泉堂総合病院 外科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Jusendo Hospital)		
担当責任者	浦住 幸治郎		
開講年次	6年	開講学期	前期 必修/選択 選択必修 授業形態 実習

#### 概要/方針等

5年次のプライマリーコースに準じ、また医大コア・カリキュラムに従い、外科医療の実際を学び今後の自己研鑽の基礎となりうるように、多種多様な外科的疾患に継続的に関わり、その理解を深めていただくとともに外科手技の基本を身につける。また、週2回の救急指定があり、その実際を見学し、救急医療の知識を学ぶ。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

外科患者を継続的に関わり、外科手技の基本および実践し、さらにはチーム医療、周術期管理の重要性を理解する。

##### 【行動目標】

1. チームの一員として担当患者に接し、情報収集・情報の解釈・問題の解決を行うことができる。
2. 手術症例カンファレンスにおいて、担当症例について説明ができる。
3. 手術に参加し皮膚切開、縫合、結紮法などの基本手技を行うことができる。
4. 自動縫合器など外科的医療機器の操作ができる。
5. シミュレーターにて気管内挿管、心臓マッサージ、中心静脈穿刺など行う。さらには鏡視下手術で結紮、縫合の練習をする。
6. エコー検査の理解(解剖)と実践する。

テキスト 図書室に常備しており特にはありません。

参考書 図書室に常備しており特にはありません。

評価方法 上記行動目標等により総合的に判定します。

- その他(メッセージ等)
1. 患者には思いやりを持って接し、服装、態度、言葉遣いに気をつけること。
  2. 病状等に関する患者からの質問には原則として回答しないこと。
  3. 個人情報の取扱いには十分配慮すること。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

(月)午前-オリエンテーション、病棟回診、手術/午後-病棟回診、検査など
(火)午前-病棟回診、手術 / 午後-手術、病棟回診、検査など
(水)午前-病棟回診、手術 / 午後-手術、病棟回診
(木)午前-病棟回診、手術 / 午後-手術、病棟回診、手術症例カンファレンス、救急医療の見学
(金)午前-病棟回診、手術 / 午後-手術、病棟回診、救急医療の見学

なお、病棟回診には、担当患者の電子カルテ記載を含みます。救急医療の見学は、夜間となるため希望者のみです。

##### 【実習担当指導医】

中山浩一、菅野英和、星信大、今泉英子、研修医

※ 行は自由に追加していただいて結構です。

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:寿泉堂総合病院 循環器内科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Jusendo Hospital)		
担当責任者	鈴木 智人		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

当院は郡山市の中心部に位置するベッド数305床の中規模病院です。地域の二次救急を担っており、心不全・虚血性心疾患などの循環器系疾患を含む内科系の症例数は豊富です。大学病院とは違った背景を持つ症例が多数経験できます。循環器疾患の急性期治療からリハビリを含む慢性期までの、基本的な考え方や知識、手技について理解を深めていただきます。医学生の実習では、大学から提示されている範囲内の医行為を積極的に経験していただきます。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

指導医さらにローテート中の研修医とともに患者を受け持ち、急性期から退院時まで継続的に診療する。

##### 【行動目標】

- ・担当患者からの病歴聴取や理学所見の取り方を体験する。
- ・症例を通じて循環器疾患への理解を深め、必要な文献などを収集することができる。
- ・心臓カテーテル検査を見学し、所見を評価できる。
- ・心臓リハビリテーションの重要性を理解し、患者へ指導できる。
- ・コメディカルとのコミュニケーションをとり、チーム医療を体験する。

テキスト 特にありません。

参考書 特にありません。

評価方法 実習態度、上記行動目標などから総合的に評価します。

その他(メッセージ等)  
 ・積極的に関わり、疑問に思うことはいつでも質問してください。  
 ・社会人としての基本的な挨拶・服装・言動を心がけてください。  
 ・個人情報の取扱いに気を付けてください。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

回数・ 月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

(月)午前	病棟回診		/午後	指導医とカンファ	病棟回診	リハビリカンファランス
(火)午前	病棟回診	心臓カテーテル検査・治療	/午後	指導医とカンファ	病棟回診	循環器カンファランス
(水)午前	病棟回診	心臓カテーテル検査・治療	/午後	指導医とカンファ	病棟回診	
(木)午前	病棟回診	心臓カテーテル検査・治療	/午後	指導医とカンファ	病棟回診	* 救急外来見学
(金)午前	病棟回診		/午後	指導医とカンファ	病棟回診	* 救急外来見学

\* 救急外来見学は夜間のため希望者のみ。ただし、日中は随時救急搬送患者を診察します。

実習内容は希望に応じて可能な範囲で対応します。

##### 【実習担当指導医】

鈴木 智人  
 谷川 俊了  
 水上 浩行

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:寿泉堂総合病院 小児科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Jusendo Hospital)		
担当責任者	金子真利		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

- ・関連病院実習により、一般的な小児疾患への理解を深めるとともに地域医療の実際を学ぶ。
- ・健全な母子関係に努めるための小児科医としての役割とチーム医療の必要性を理解する。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

- ・小児診療の基本的な病歴聴取や理学所見の取得を経験し学ぶ。
- ・小児疾患の病態や治療方針等における最新の知見を文献検索により求め、プレゼンテーションできるようにする。

##### 【行動目標】

- ・指導医の下で、日常的な小児疾患の患児を受け持ち、診療に参加する。
- ・予防接種外来を実習し、小児の予防医学への理解を深める。
- ・乳幼児健診を実習し、小児の発達における理解を深める。
- ・産科と協働して周産期医学の実際を体験し、新生児の生理と病態を学ぶ。

テキスト 特に指定しません。

参考書 小児医学および周産期医学の成書(和文で可)。

評価方法 受け持ち患者のプレゼンテーション、実習態度、遅刻欠席の有無等を総合的に評価しま

その他(メッセージ等)

- ・主な実習場所は、病棟・NICU(10階)、新生児室(6階)、小児科外来(3階)です。
- ・実習初日は白衣着用の上、8:30までに10階病棟にお越しください。
- ・社会人としての基本的な挨拶、服装、言動を心がけること望みます。
- ・遅刻や欠席の際は必ず事前に連絡してください。
- ・実習中不明な点や、疑問がありましたら、どんどん質問してください。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

##### 第1週目

午前

月～金 8:30～ 病棟回診、カンファランス、病棟処置 / 9:00～12:00 新患外来

午後

月曜日 14:00～予防接種、専門外来 / 16:00～病棟回診、カンファランス

火曜日 13:30～乳幼児健診、専門外来 / 16:00～病棟回診、カンファランス

水曜日 14:00～予防接種、専門外来 / 16:00～病棟回診、カンファランス

木曜日 14:00～予防接種 / 16:00～夕回診、カンファランス

金曜日 13:30～乳幼児健診、専門外来 / 16:00～ 1週目総括(担当患児プレゼンテーションと講評)

##### 第2週目

午前

月～金 8:30～病棟回診、カンファランス、病棟処置 / 9:00～12:00 新患外来

午後

月曜日 14:00～予防接種、専門外来 / 16:00～病棟回診、カンファランス

火曜日 13:30～乳幼児健診、専門外来 / 16:00～病棟回診、カンファランス

水曜日 14:00～予防接種、専門外来 / 16:00～病棟回診、カンファランス

木曜日 14:00～予防接種 / 16:00～夕回診、カンファランス

金曜日 13:30～乳幼児健診、専門外来 / 16:00～ 2週目総括(担当患児プレゼンテーションと講評)

##### 備考

- ・産科からの分娩立ち合い要請、他科からの診察依頼等があった場合は適宜随行する。
- ・各週、金曜日は救急輪番当直であり、希望があれば見学に応じます。

##### 【実習担当指導医】

小児科部長 金子 真利

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:寿泉堂総合病院 形成外科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Jusendo Hospital)		
担当責任者	阪野一世		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等

一般的な外科処置において、形成外科的観点での留意点を学習し、実技を経験する。  
 形成外科領域の代表的な疾患を経験する。  
 手術において、プライマリーコースと比してより積極的に関与する。

学習目標

【一般目標】

練習用の機材を用いて形成外科的手技を習得する。  
 外来における診療に参加し、治療の流れを理解する。  
 手術での手技を観察し、要点を理解する。

【行動目標】

形成外科的な創の洗浄、止血、縫合等の基本処置ができる。  
 疾患の診断、手術適応、手術方法を説明できる。  
 手術開始から終了までの大まかな手順を説明できる。  
 手術で使う器具について、基本的なものの名称と使い方を説明できる。

テキスト 標準形成外科(医学書院)

参考書 図説形成外科学講座(メディカルビュー)  
 形成外科手術書(南江堂)

評価方法 出席日数、実習態度、実技試験により総合的に評価。

その他(メッセージ等)

授業計画/担当教員等

【授業計画】

月曜日	午前:外来実習	午後:手術参加
火曜日	午前:外来実習	午後:関連病院への往診
水曜日	午前・午後:手術参加	
木曜日	午前:外来実習	午後:レーザー専門外来実習
金曜日	午前:外来実習	午後:手術参加

適宜時間を調整し、手技練習、講義をおこなう。

【実習担当指導医】

阪野一世

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:寿泉堂総合病院 血液内科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Jusendo Hospital)		
担当責任者	岡本正俊		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

福島県における血液診療は福島県立医科大学血液内科を中心として北福島医療センター、太田西ノ内病院、白河厚生総合病院、磐城共立病院、会津医療センターで急性期診療を行う事で県内全体をカバーしている。寿泉堂総合病院は福島県の交通の要所である郡山市に130年前から開設し地域医療に貢献している。当院は福島医大病院血液内科と連携し主にリンパ腫や骨髄腫、高齢者の造血不全という骨髄移植を中心とした血液学的高度診療が行えない症例の診療を行っている。現在は高齢化社会を迎え、高齢者のがん診療という医療のみでは解決できない分野が広がっている。当院での研修では、症例ごとに長期的な観点から他職種連携の下で診療を組み立てるといふ事に参加するとともに、緩和ケアおよび終末期医療への医療者としての取り組みや振る舞いなどを学ぶ機会を提供したい。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

地域中核病院としての血液学的初期診断および症例ごとの臨床経過をエビデンスに基づいた推測を行い、適切な診療を展開できるようになる。

##### 【行動目標】

- (1) 紹介や二次健診での血液異常を適切に診断できるようになる。
- (2) 症例の全身状態を評価し最適な治療方針を決定できるようになる。
- (3) 適切な緩和ケアを立案できるようになる。

テキスト 特にありません。

参考書 特にありません。

評価方法 カンファレンスでの発言や立案、実習態度などから総合的に評価します。

その他(メッセージ等) 夜間の内科系救急当直参加も希望があれば対応します。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

病棟実習:担当患者の回診とカルテへの記録を行います。

検査科実習:担当症例の血液像確認や輸血適合試験を検査技師とともに行います。

外来実習:新患を中心に病歴聴取、カルテ作成を指導医とともに行います。

医局症例検討会、抄読会への参加をお願いします。

##### 【実習担当指導医】

岡本正俊/血液内科部長

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:寿泉堂総合病院 産婦人科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Jusendo Hospital)		
担当責任者	鈴木 博志		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要／方針等

当院は郡山駅より歩いて5分の立地条件にある地域医療支援病院です。県中地区医療圏での女性生殖系シェアは高く、患者さんを愛し、患者さんから愛される病院です。患者さんの視点に立った医療を提供しています。

周産期医療協力施設として、ハイリスク妊婦、母体搬送を受ける一方で、診療所の先生方とのセミオープンシステムのもと、ローリスク妊婦の受け入れにも対応し、幅広い周産期管理を行っています。

婦人科内視鏡学会認定研修施設として、子宮筋腫や子宮内膜症、卵巣嚢腫といった良性疾患から骨盤臓器脱手術においても低侵襲的で整容性に優れた内視鏡手術を主として施行しています。

『温(オン)・デマンド』(個々の患者さんの要求に合わせ心のこもった最適な相互対応)な診療を心がけています。

地域で求められる産婦人科医療を通して、幅広い女性診療の側面を体現、心のベクトルを変えてみてください。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

【産科】正常分娩を体験するとともに異常妊娠・分娩、内科合併症妊娠管理(診察、検査、治療)の知識と実践

【婦人科】診察 手術を通して履修した知識の確認と内視鏡拡大視野での女性骨盤手術・解剖の知識を深め

##### 【行動目標】

【産科】①正常分娩(助産システムのもと、自然経過での経膈分娩)を通して、分娩メカニズムを履修する

②妊娠高血圧症や妊娠糖尿病などの診断、治療を通して、病態、治療を学ぶ

③帝王切開術の第1または第2助手

【婦人科】①開腹手術、内視鏡(腹腔鏡・子宮鏡)下手術の第2助手、第1助手(カメラ持ち)

②過多月経治療などにおけるホルモン治療、手術治療選択の多様性を学ぶ

③腹腔鏡下手術における縫合手技トレーニング(ドライボックス使用)

テキスト 大学病院に準ずる

参考書 解剖学的視点で解き明かす 女性骨盤手術 (金尾祐之著 南江堂)8,000円

評価方法 患者さんへの姿勢、実習態度などにて総合的に評価

その他(メッセージ等)

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

毎日 8時30分より、朝会ミーティング

基本、分娩(お産)を優先的に実習します。入院患者を通して、胎児モニタリング、胎児超音波診断検査履修。手術内容予定は以下の通りです。

【月曜日】 午前 予定帝王切開術 午後 開腹手術、子宮鏡下手術

【火曜日】 午前 腹腔鏡下手術(卵巣、子宮) 午後 腹腔鏡下手術(卵巣、子宮)

【水曜日】 午前 腹腔鏡下手術(卵巣、子宮) 午後 腹腔鏡下手術(骨盤臓器脱)

【木曜日】 午前 腹腔鏡下手術(卵巣、子宮) 午後 腹腔鏡下手術(卵巣、子宮)

【金曜日】 午前 予定帝王切開術 午後 開腹手術、子宮鏡下手術

##### 【実習担当指導医】

鈴木 博志(産婦人科臨床教授)、大和田 真人、鈴木 和夫、田中 昌代(産婦人科専門医)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(公立岩瀬病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwase Public Hospital)		
担当責任者	大谷 弘		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<p>当院は、明治5年に当時の先覚者たちにより近代医学の導入のために創設され、140年を超える歴史があり、福島県立医科大学の原点でもあります。安心して安全に良質の医療サービスを患者さんに提供できることをモットーに病院を挙げて全力で取り組んでいます。外科では、日本内視鏡外科学会の技術認定医が多数在籍しており、院内に「内視鏡外科センター」、「ヘルニアセンター」を開設、高い診療レベルでの実習が可能です。内科では研修医とともにコメディカル研修等も経験し、チーム医療について学ぶことができます。また、院長との医療面接ビデオレビューを実施し、医療面接におけるコミュニケーション向上を目指します。</p> <p>実習環境としても電子カルテ・オーダーリングシステムを完備しており、特に電子カルテは平成28年1月より新たなシステムを導入し、ハード面の診療環境をより充実させました。</p>	
学習目標	
【一般目標】	
(1)この地域の特性を理解し、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療態度を身に付ける。(2)チーム医療の実際を経験し、理解する。	
【行動目標】	
(1)基本的診療知識に基づき、症例に関する情報を収集・分析できる。	
(2)患者のプライバシー、羞恥心、苦痛に配慮し、個人情報を守秘できる。	
(3)医療面接における基本的コミュニケーション技法を用いることができる。	
(4)他職種連携のチーム医療を体験する。	
(5)安全に配慮しながら許容される基本的医行為を行うことができる。	
テキスト	特に指定はありません。
参考書	特に指定はありません。
評価方法	実習態度・指導医とのディスカッションなどにより総合的に評価します。
その他(メッセージ等)	できる限り希望に合わせて実習内容を設定します。 実習の際は、白衣、学生証、動きやすい靴を持参してください。

授業計画/担当教員等	
【授業計画】	
回数・月日(曜日)時限	--- 項目[内容(キーワード等)]
スケジュール例	※内科コースと外科コースから選択
<内科コース>	
(月) 午前:オリエンテーション・救急車対応	午後:救急車対応・病棟実習
(火) 午前:朝回診・救急車対応・コメディカル実習(腹部エコー)	午後:救急車対応・病棟実習
(水) 午前:朝回診・内視鏡検査見学	午後:病棟実習・コメディカル研修
(木) 午前:朝回診・コメディカル実習(心エコー)	午後:病棟実習
(金) 午前:朝回診・病棟実習	午後:病棟実習・医療面接ビデオレビュー実習
<外科コース>	
(月) 午前:オリエンテーション・朝回診・抄読会・勉強会・外来実習	午後:手術見学・病棟実習・回診
(火) 午前:朝回診・合同カンファレンス・外来実習	午後:手術見学・病棟実習・回診
(水) 午前:朝回診・外来実習	午後:手術見学・病棟実習・回診
(木) 午前:朝回診・外科術前カンファレンス・外来実習	午後:手術見学・病棟実習・回診・外科勉強会
(金) 午前:朝回診・合同カンファレンス・外来実習	午後:手術見学・病棟実習・回診・医療面接ビデオレ
開始時間	初日:8時30分総合案内集合
終了時間	17時~18時頃
【実習担当指導医】	
※代表者のみ掲載	
三浦 純一/院長(外科・消化器外科)	
大谷 弘/副院長(内科・循環器内科)	
土屋貴男/副院長(外科・消化器外科)	

※ 行は自由に追加していただいて結構です。

## 内科実習について

参考：医学教育モデル・コア・カリキュラム

### 【一般目標】

基本的内科疾患を受け持ち、症状・病態、診断、治療と予後を学ぶ。

### 【到達目標】

- 1) 主要な内科疾患を診察し、診断と治療計画の立案・実施に参加できる。
- 2) 他科へのコンサルテーションの必要性について説明できる。
- 3) 複数の疾患をかかえる患者を診察し、診断と治療計画を立案・実施に参加できる。

### 【診察法・基本的臨床手技到達目標】

- 1) 胸部の視診、触診、打診ができる。
- 2) 体位交換、おむつ交換、移送ができる。
- 3) 気道内吸引、ネブライザーを実施できる。
- 4) 静脈採血を実施できる。
- 5) 尿検査を実施できる。
- 6) 微生物学検査（グラム染色を含む）を実施できる。
- 7) 心臓、腹部の超音波検査を介助できる。
- 8) エックス線撮影、CT 撮影、核医学検査、内視鏡検査を見学・介助できる。

参考：医学生の臨床実習において、一定条件下で許容される基本的医行為

### 【具体的に経験できる診察法・手技】

#### 1. 病棟実習にて経験できるもの

- ・[診察]全身の視診、打診、触診、簡単な器具（聴診器、打腱器、血圧計など）を用いる  
全身の診察
- ・[生理学的検査]心電図
- ・[画像診断]単純 X 線撮影（介助）、MRI（介助）
- ・[看護的業務]体位交換、おむつ交換、移送
- ・[処置]気道内吸引、ネブライザー

#### 2. コメディカル実習にて経験できるもの

- ・[画像診断]超音波
- ・[採血]静脈（末梢）

#### 3. 救急車対応にて経験できるもの

- ・[救急]バイタルサインチェック

#### 4. 内視鏡検査見学にて経験できるもの

- ・[消化管検査]内視鏡検査（見学）

### 【実習スケジュール】

(月)	午前:オリエンテーション・救急車対応	午後:救急車対応・病棟実習
(火)	午前:朝回診・救急車対応・コメディカル実習(腹部エコー)	午後:救急車対応・病棟実習
(水)	午前:朝回診・内視鏡検査見学	午後:病棟実習・コメディカル実習
(木)	午前:朝回診・コメディカル実習(心エコー)	午後:病棟実習
(金)	午前:朝回診・病棟実習	午後:病棟実習・医療面接実習

※医療面接実習は最終日に実施予定です。

## 外科実習について

参考：医学教育モデル・コア・カリキュラム

### 【一般目標】

基本的な外科疾患を受け持ち外科的治療を学ぶ。

### 【到達目標】

- 1) 外科的処置の適応を判断し、リスク評価を説明できる。
- 2) 基本的な術前術後管理に参加できる。

### 【診察法・基本的臨床手技到達目標】

#### 1.手術見学での到達目標

- 1) 清掃操作を実施できる。
- 2) 手術や手技のための手洗いができる。
- 3) 手術室におけるガウンテクニックができる。
- 4) 基本的な縫合ができる。
- 5) 創の消毒やガーゼ交換ができる。
- 6) 手術に参加し、介助ができる。
- 7) ドレーンの挿入と抜去を見学し、介助ができる。
- 8) 注射（静脈内）を実施できる。
- 9) 心臓、腹部の超音波検査を介助できる。
- 10) エックス線撮影、CT、MRI、核医学検査、内視鏡検査を見学・介助できる。
- 11) 胃管の挿入と抜去ができる。

#### 2.手術見学以外（病棟実習等）での到達目標

- 1) 腹部の視診、聴診ができる。
- 2) 直腸（前立腺を含む）視診を実施できる。
- 3) 体位交換、おむつ交換、移送ができる
- 4) 皮膚消毒、包帯交換ができる。
- 5) 外用薬の貼付・塗布ができる。
- 6) 気道内吸引、ネブライザーを実施できる。
- 7) 静脈採血を実施できる。
- 8) エックス線撮影、CT、MRI、核医学検査、内視鏡検査を見学・介助できる。
- 9) 救急病態の救急治療に参加できる。
- 10) 外傷の処置に参加できる。

参考：医学生の臨床実習において、一定条件下で許容される基本的医行為

**【具体的に経験できる診察・手技】**

1.手術見学にて経験できるもの

- ・[外科的処置]手術助手、縫合
- ・[注射]静脈（末梢）
- ・[画像診断]超音波、単純X線撮影（介助）
- ・[処置]胃管
- ・[その他]鼠径ヘルニア用手還納

2.手術見学以外（病棟実習等）にて経験できるもの

- ・[診察]全身の視診、打診、触診、簡単な器具（聴診器、打腱器、血圧計など）を用いる全身の診察
- ・[消化管検査]直腸鏡、肛門鏡
- ・[看護的業務]体位交換、おむつ交換、移送
- ・[処置]皮膚消毒、包帯交換、外用薬貼付・塗布、気道内吸引、ネブライザー、導尿、浣腸創傷処置、
- ・[採血]耳朶・指先など毛細血管、静脈（末梢）、動脈（末梢）
- ・[画像診断]MRI（介助）
- ・[救急]バイタルサインチェック、気道確保、人工呼吸、酸素投与、気管内挿管、心マッサージ、電氣的除細動
- ・[外科的処置]抜糸、止血、膿瘍切開、排膿
- ・[生理学的検査]心電図、筋電図
- ・[穿刺]嚢胞（体表）、膿瘍（体表）、胸、腹腔、骨髄

**【実習スケジュール】**

(月)	午前:朝回診・抄読会・勉強会・外来実習	午後:手術見学・病棟実習・回診
(火)	午前:朝回診・合同カンファレンス・外来実習	午後:手術見学・病棟実習・回診
(水)	午前:朝回診・外来実習	午後:手術見学・病棟実習・回診
(木)	午前:朝回診・外科術前カンファレンス・外来実習	午後:手術見学・病棟実習・回診・外科勉強会
(金)	午前:朝回診・合同カンファレンス・外来実習	午後:手術見学・回診・医療面接実習

※医療面接実習は最終日に実施予定です。

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(白河厚生総合病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Shirakawa Kosei General Hospital)		
担当責任者	東 光久		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

主治医として医療チームの一員として、患者診療に携わることを通じて、講義やこれまでのBSLで学んだ知識をより深めるとともに、病歴聴取、身体診察、診断推論、EBM、コミュニケーションスキル、意思決定支援、プレゼンテーションスキルなどを包括的かつ体系的に学ぶことができる。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

これからの医師としての必須の主治医力、チーム医療におけるリーダーシップを理解し実践する。

##### 【行動目標】

一歩進んだ病歴聴取、身体診察、診断推論ができる。

医療スタッフと協力して、真のEBMを実践する。

患者・家族との暖かな交流を通じて、患者に『寄り添う』姿勢を身に付ける。

テキスト なし

参考書 なし

評価方法 第1週目で形成的評価を行い、第2週目最終日に主治医として担当した患者のプレゼンテーションを通じて総括的評価を行う。

その他(メッセージ等) H27年4月に白河厚生総合病院に新設された総合診療科フタッフを中心に、職員全体で総力を挙げて指導します。体力的にきついかもかもしれませんが、患者さんや医療スタッフと主体的に関わって、ぜひ臨床のやりがいを体感して下さい！

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

毎日:カンファレンス、回診(7:30-9:00、16:00-17:00)

火曜日:臨床研究カンファレンス/文献抄読会(朝カンファレンス内)、

リハビリテーションカンファレンス(夕カンファレンス内)

水曜日:放射線科合同画像カンファレンス(隔週、朝カンファレンス内)、救急症例検討会(17:15-18:15)

木曜日:病棟他職種カンファレンス(13:30-14:00)

金曜日:病棟他職種カンファレンス(13:30-14:00)

土曜日:外部講師による勉強会(隔週)

※ 指導医の監督下で医師記録を記載し、検査オーダーできるようにします。(実習生には当院の電子カルテにアクセスするためのID/パスワードを発行します。)

※ 週1日以上、総合診療科外来で初診患者の診療をします。指導医とディスカッションしながら、診断・治療計立案を立案します。

※ 週1日以上、救急搬送患者を最初から診療します。指導医とディスカッションしながら診断・治療計画を立案初期治療を行いながら入院適応の判断をします。(内科外科を問わず、日中のすべての救急搬送患者は総合診療科が初期治療を行います。)

※ 入院患者の侵襲的検査・処置に立ち会います。

※ 実習生は研修医同様、回診前に担当患者のラウンドを済ませ、その日1日の診療計画を立案していくこと。

※ 初日午前中はオリエンテーションを行います。

##### 【実習担当指導医】

東 光久、宮下 淳、高田俊彦、林 理生、後期研修医8名

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(竹田総合病院)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Takeda General Hospital)			
担当責任者	神本 昌宗			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

#### 概要／方針等

当院は医科・歯科合わせて30の標榜科を有し、1年間に延べ318,664件の外来診療、13,829件の入院(延べ234,658人の入院診療:平成27年度実績)を行っています。当院は、地域医療支援病院として会津地方の医療機関と連携しており、地域の医療機関より紹介された患者を診療、当院で急性期の治療が終了した患者さんは地域の医療機関へ紹介することを基本としています。一方、救急室は年間45,000名を超える初期診療を扱っており、救急車の搬送台数も6,126件(平成27年度実績)あり、2年間の初期臨床研修においては軽症から重症例まで幅広い疾患・症例を経験できます。BSLアドバンスコース(竹田総合病院)では、2週間の間に臨床の現場を見学し病棟で患者に対する介助を実地に経験します。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

診療における基本的な医療面接、基本的検査、診断、治療について実際の現場を見学し、介助の手技を体験することで、診療に際してはどのような態度・知識・技術が必要かを学ぶ。

##### 【行動目標】

日常の診療を見学し診療の現場を体験する。  
多職種(外来及び病棟の看護・介護、薬剤、検査、画像診断、リハビリ、栄養科)の現場を体験する。  
毎日の記録により振り返りを行う。

テキスト 特に指定はありません。

参考書 特に指定はありません。

評価方法 研修態度、記録の内容、指導担当者との話し合いなどにより総合的に判定する。

その他(メッセージ等) 移動中の事故、実習中の健康管理に注意してください。  
個人情報保護・時間厳守など社会規範を守って実習を行ってください。

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

##### 第1週

実習初日 実習オリエンテーション、院内感染(標準予防策)・医療安全について

実習2～5日 病棟実習、病棟回診見学、各種検査の見学、外来見学、救急医療、手術見学

##### 第2週

実習6～9日 学生の希望に応じて診療科を選択しての実習・見学が可能です  
(希望が無ければ、標準パターンでの実習になります)

実習最終日 午前:病棟実習、午後:実習のまとめ、振り返り

診療科カンファランス、臨床研修勉強会、朝礼、医局会、講演会等には随時参加  
回復期リハビリ病棟、緩和ケア病棟、老健施設での実習が可能です。

##### 【実習担当指導医】

福島県立医科大学 臨床教授・臨床助教授の医師及び臨床研修指導医が担当します。

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(会津外傷再建外科センター 会津中央病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (aiTRSC)		
担当責任者	伊藤雅之		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択
		授業形態	実習

### 概要/方針等

外傷再建センターは日本に2カ所しか設置してません。そのうち、軟部組織再建、関節機能再建ともに加療をしているのは当科のみとなります。外傷という疾患は、医療が発展してもなくなることはありませんし、多発外傷の多くは若者に発生し、その方々が社会復帰することは国にとっても非常に大切です。一方、高齢化が進み、転倒などの軽微な外傷も増えています。なるべく廃用性萎縮などを起こさないように、早期に適切な治療が必要となります。現在、データを積み重ね、この分野の日本での発展に貢献するべく治療をしています。

### 学習目標

#### 【一般目標】

外傷に特有な診断と治療を経験し、患者の退院までの経過を経験することと、外傷後遺症に対する治療方針の検討、手術に参加し理解を深めることを柱にします。

#### 【行動目標】

- 1 多くの医療関係者とともに治療する疾患であり、挨拶から始まるコミュニケーションをとる
- 2 救急科と共に多発外傷診断と治療に初期から参加し、理解する。外傷カンファレンスでの症例検討に参加する
- 3 一般外傷の診断と治療に参加し、理解をする。病棟・リハビリテーションカンファレンスに参加する。

テキスト 標準 整形外科 希望者のみ購入でよいです

参考書 勧められる本として 整形外科 研修ノート 診断と治療社 希望者のみ購入でよいです

評価方法 実習態度、指導医とのディスカッションなどにより、総合的に評価する。

その他(メッセージ等) 当院は外科系に興味のある学生一般に参考になる病院です。メスを握って治療をしたいと思っている方から麻酔、集中治療に興味のある方まで、対応可能と思います。

### 授業計画/担当教員等

#### 【授業計画】

月曜日から金曜日

- ・モーニングカンファレンス 毎日の新入院患者の治療方針検討、および手術患者の術前検討
- ・外来助手 あるいは 手術助手
- ・病棟患者の回診 術後管理

月曜日 病棟患者カンファレンス、リハビリテーションカンファレンスで術後治療方針の検討

水曜日 外傷カンファレンス 救急科、整形外科とともに救急患者の症例検討

時間外

希望により、緊急手術のマネージメントから手術まで見学・実習

実際の主治医と共に行動し、治療方針など検討、実践しましょう

#### 【実習担当指導医】

福島県立医科大学 外傷再建学講座 伊藤雅之 畑下智 水野洋佑 高橋洋二郎 新田夢鷹 他非常勤医師

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(会津外傷再建外科センター 会津中央病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (aiTRSC)		
担当責任者	伊藤雅之		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択
		授業形態	実習

### 概要/方針等

外傷再建センターは日本に2カ所しか設置してません。そのうち、軟部組織再建、関節機能再建ともに加療をしているのは当科のみとなります。外傷という疾患は、医療が発展してもなくなることはありませんし、多発外傷の多くは若者に発生し、その方々が社会復帰することは国にとっても非常に大切です。一方、高齢化が進み、転倒などの軽微な外傷も増えています。なるべく廃用性萎縮などを起こさないように、早期に適切な治療が必要となります。現在、データを積み重ね、この分野の日本での発展に貢献するべく治療をしています。

### 学習目標

#### 【一般目標】

外傷に特有な診断と治療を経験し、患者の退院までの経過を経験することと、外傷後遺症に対する治療方針の検討、手術に参加し理解を深めることを柱にします。

#### 【行動目標】

- 1 多くの医療関係者とともに治療する疾患であり、挨拶から始まるコミュニケーションをとる
- 2 救急科と共に多発外傷診断と治療に初期から参加し、理解する。外傷カンファレンスでの症例検討に参加する
- 3 一般外傷の診断と治療に参加し、理解をする。病棟・リハビリテーションカンファレンスに参加する。

テキスト 標準 整形外科 希望者のみ購入でよいです

参考書 勧められる本として 整形外科 研修ノート 診断と治療社 希望者のみ購入でよいです

評価方法 実習態度、指導医とのディスカッションなどにより、総合的に評価する。

その他(メッセージ等) 当院は外科系に興味のある学生一般に参考になる病院です。メスを握って治療をしたいと思っている方から麻酔、集中治療に興味のある方まで、対応可能と思います。

### 授業計画/担当教員等

#### 【授業計画】

月曜日から金曜日

・モーニングカンファレンス 毎日の新入院患者の治療方針検討、および手術患者の術前検討

・外来助手 あるいは 手術助手

・病棟患者の回診 術後管理

月曜日 病棟患者カンファレンス、リハビリテーションカンファレンスで術後治療方針の検討

水曜日 外傷カンファレンス 救急科、整形外科とともに救急患者の症例検討

時間外

希望により、緊急手術のマネージメントから手術まで見学・実習

実際の主治医と共に行動し、治療方針など検討、実践しましょう

#### 【実習担当指導医】

福島県立医科大学 外傷再建学講座 伊藤雅之 畑下智 水野洋佑 高橋洋二郎 新田夢鷹 他非常勤医師

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース会津救命救急科合宿研修プログラム(会津中央病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course ER・ICU training camp (Aizu central Hospital)		
担当責任者	島貴公義(県立医大臨床教授・外科)		
開講年次	6年	開講学期	必修／選択 選択 授業形態 実習

### 概要／方針等

当院の救急医は、「救急外来(ER)」と「集中治療(ICU)」を診療の主な柱としている。本プログラムはERとICUにおける診療を体験し、対応できる基礎的能力の修得をめざす。救急医療の現場では多種多様な患者が訪れ、一人の患者が様々な問題点を抱えていることも決して稀ではない。そうした状況で、限られた時間の中で適切な診断と治療を行わなければならない。医療が専門分化するなかで、救急医には様々な診療領域・臓器にまたがる幅広い知識が求められる。また、急性臓器不全、多発外傷、急性中毒、プレホスピタルケアとの連携、災害医療などは、救急医が特に精通すべき事項であることを認識する。

### 学習目標

#### 【一般目標】

重症患者さんの初期診療がどのように行われ、その患者さんを集中治療室がどのように引き継いでいるかを実感し、重症患者さんの診療が病院前から救急外来、集中治療室まで、急性期専門治療後から慢性期、そして在宅まで、シームレスにつながっていることを医学生の時から意識づける。スタッフと共に学生としてできることを考え、救急医療のできる医師になるために何を学習しなければならないかを学ぶ。

#### 【行動目標】

指導医および上級、初期救命科研修医師とのマンツーマン体制で研修を行う。

救急科BSLの研修の目標は、以下のとおりである。

初期/後期研修医と常に行動を共にし 研修医とともに学習する

救急医療で求められる診療能力について学ぶ

- ・救急患者の初期対応(診断、治療)の基本的事項を初期研修医とともに修得する
- ・集中治療(ICU管理)の基本的事項を修得する
- ・プレホスピタルケアの基本的事項を修得する

研修内容と到達目標

- ・救急外来における患者の診断と処置の実施・参加
  - ・創傷処置、各種中毒に対する対応・実施・参加
  - ・各種X線、CT、MRIの読影、超音波検査法の実施と診断
  - ・ICUにおける集中治療の経験・参加
  - ・救急蘇生法、BSL、ACLS、JPTEC、JATECの概要を知る
  - ・一次救命処置を実施できるようになる
  - ・二次救命処置に参加する
  - ・救急車、ドクターカーの同乗実習
  - ・血管撮影、インターベンショナル・ラジオロジーの基本的事項の見学・参加
  - ・プレホスピタルケアのメディカル・コントロールについて知る
  - ・消防署からの搬入依頼に対して対応を看護師・研修医と共に経験・参加する
  - ・社会福祉的問題の基本的な対処法を知る
  - ・各専門診療科での治療への参加・見学
- (脳外科 循環器科 外科 消化器科 外傷再建外科など)

テキスト	
参考書	
評価方法	経験した1症例のCase reportを作成する
その他(メッセージ等)	

### 授業計画／担当教員等

#### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

月曜～金曜まで救命ER・ICUにて初期研修医・後期研修医と行動を共に、基本24時間体制で研修する

#### 【実習担当指導医】

救命科 佐竹秀一(県立医大臨床准教授)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース産婦人科研修プログラム(会津中央病院)			
(英語名称)	BSL Advanced Course .Obstetrics & Gynecology (Aizu central Hospital)			
担当責任者	武市和之			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

概要／方針等	
産科・婦人科の臨床実習(特に手術)がメインのプログラムです。	
学習目標	
<b>【一般目標】</b>	
女性の生理的、形態的、精神的特徴あるいは特有の病態を把握し、プライマリケアにおける産婦人科の基本的な診療能力を習得する。	
<b>【行動目標】</b>	
1、全科に通じる基本的な診療能力やカルテの書き方を身につける。	
2、外科的手技(縫合、結紮)を習得する。開腹手術および腹腔鏡手術に第2助手として参加する。	
3、術前・術後の周術期管理を学ぶ。	
4、胎児超音波検査を体験する。	
5、自然分娩・帝王切開に立ち会う。	
6、産婦人科外来を見学し、診察時の考え方や産婦人科特有の診察技法を学ぶ。	
テキスト	病が見える産科/婦人科
参考書	
評価方法	経験した1症例のcase reportを作成する
その他(メッセージ等)	

授業計画／担当教員等	
<b>【授業計画】</b>	
<月曜日>	<火曜日>
8:30~8:45 / 病棟処置	8:30~9:00 / 病棟処置
8:45~9:30 / 院長診察・回診	9:00~9:30 / 回診
9:30~12:00 / 病棟処置・手術・外来	9:30~12:00 / 病棟処置・手術・外来
	(10:30~11:00 / 放射線カンファランス)
12:30~15:00 / 手術	12:30~15:00 / 手術
15:00~17:00 / 病棟処置・外来	15:00~17:00 / 病棟処置・外来
17:00~17:30 / 病棟カンファランス	(17:00~17:30 / ケモカンファ 毎月第1・3週)
<水・金曜日>	<木曜日>
8:30~9:00 / 病棟処置	7:30~8:00 / cancer bord
9:00~9:30 / 回診	8:30~8:45 / 病棟処置
9:30~12:00 / 病棟処置・手術・外来	8:45~9:30 / 院長診察・回診
	9:30~12:00 / 病棟処置・手術・外来
12:30~15:00 / 手術	12:30~15:00 / 手術
15:00~17:00 / 病棟処置・外来	15:00~17:00 / 病棟処置・外来
※このほか不定期にDrug Informationが開催されます。	
※毎月第1・3火曜日の17:00~17:30にケモカンファを行います。	
<b>【実習担当指導医】</b>	
武市和之	

※ 行は自由に追加していただいて結構です。

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース手術実践体験研修プログラム(会津中央病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course Practice & Poiesis in Surgery (Aizu central Hospital)		
担当責任者	島貫公義(県立医大臨床教授・外科)		
開講年次	6年	開講学期	必修/選択 選択
			授業形態 実習

**概要/方針等**

座学より、手術を体験する研修です。当院で行われる消化器、呼吸器、心臓血管外科、泌尿器科など外科系手術に可能な限り参加・体験する。術前・術中・術後(周術期)のチーム医療・安全管理に参加し体験する。

**学習目標**

**【一般目標】**

大学では短期間に体験できない複数診療科の手術に参加し、術前・術中・術後(周術期)のチーム医療・安全管理についての基礎事項を理解する

**【行動目標】**

- 1手術症例を担当し case reportを作成する  
パワーポイントによる症例発表までの手順を体験する
- 可能なかぎり腹腔鏡 胸腔鏡手術、心臓血管外科手術、泌尿器科、その他興味ある手術へ積極的に参加する。
- 手術参加のための予習をおこなう  
参加手術ごとに
  - 1)診断法 2)手術適応、術前評価、術前管理 3)手術法 4)術後管理
  - 5)術後合併症について 予習し簡単なサマリーを提出する
  - 6)術後に 実際の手術所見、手術手技について簡単に発表する
- DaVinciのシミュレーター体験
- 腹腔鏡 胸腔鏡のドライラボでの体験 結紮 縫合の体験
- 手術室での安全管理ノンテクニカルスキルについて講義を受ける

テキスト

参考書

評価方法

その他(メッセージ等)

**授業計画/担当教員等**

**【授業計画】**

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

研修期間中の各診療科の手術より 興味ある症例を選択し、術前予習後に手術に参加し行動目標を達成する  
ドライラボでの実習は外科スタッフが指導する

**【実習担当指導医】**

渡辺洋平(福島県立医大 消化器外科)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース脳神経外科研修プログラム(会津中央病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Aizu central Hospital)		
担当責任者	前田 佳一郎		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

### 概要/方針等

入院患者の診察および処置、救急患者対応、手術などに参加する。脳神経外科疾患の基本的知識の理解とそれらの疾患の診断、治療方針、手術手技の基本を修得する。

### 学習目標

#### 【一般目標】

脳神経外科疾患の基本を理解し、診断、治療方針、手術手技の基本的知識を習得する。実践的な知識と手技習得を目指し積極的に学習する。また医師として患者への接し方や協調性を身につける。

#### 【行動目標】

##### a) 一般診療

問診および全身的診察ができる。神経所見を的確に把握する。  
日常の一般的投薬、術前後の処方に対する知識を身につける。  
患者、家族と良好なコミュニケーションがとれる。

##### b) 疾患に対する知識

脳神経外科疾患を中心に神経疾患全般にわたり、基本的知識を身につける。  
最新の知見の収集ができ、日常診療に役立てられる。

##### c) 検査

全身所見のみならず神経学的理学所見を確かにし、的確な思考過程をもとに必要な補助検査を知る。  
画像所見の異常を指摘でき、基本的な診断と治療方針を述べられる。  
患者のrisk factor、術前の十分な検査計画を理解する。  
術後の経過観察に必要な検査計画、術後合併症を理解する。

##### d) 治療

意識障害や急変時の患者に対応することができる。  
基本的脳神経外科手技の知識を身につける。  
手術での各助手の立場を理解し、充分遂行できるようにする。

テキスト 特に指定しない

参考書 特に指定しない

評価方法 積極性や遅刻・欠席の有無などの実習に対する姿勢、知識(神経所見、画像所見、診断)ならびに技能(病棟および手術室での手技)を総合的に判定する。

#### その他(メッセージ等)

当院では、脳神経外科医を24時間体制で院内に配置し、救命救急センターとの連携により、脳梗塞や脳出血などの、救急時の対応もスムーズに行われます。  
特に緊急時は、救急専門医や脳神経外科専門医、麻酔科専門医のチームワークによって支えられ、スムーズに検査・治療が出来る体制になっております。会津地区の地域的な特徴もあり、広大な地域から沢山の患者さんが集まってきます。緊急手術症例数も多く、全ての検査、処置が迅速に行われ、また最近では脳血管内治療にも力を入れており、一つの疾患に対し外科的アプローチ、内科的アプローチが可能な環境を整えています。

### 授業計画/担当教員等

#### 【実習計画】

脳神経外科医師と同様の日程で実習、見学を行う。日程は状況により変動あり。

○火曜 水曜 金曜

午前:手術 午後:病棟処置、患者診察等

○月曜 木曜

午前:カンファレンス、病棟処置、患者診察等 午後:回診、病棟処置、患者診察等

緊急手術、救急患者対応 など

#### 【実習担当指導医】

前田 佳一郎

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(外科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyoritsu General Hospital)		
担当責任者	吉田 寛		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
市民の健康を守る地域中核病院で、診療チームの一員として診療活動に参加することにより、医師として求められる態度・知識・思考能力・技能などを学習し、卒後研修を開始するのに必須の基本的診療能力を修得して頂きたい。	
この目標を達成するため、スチューデント・ドクターとして外科診療チームに加わり、クリニカル・クラークシップを実践してもらうとともに、週1回(計2回)の救命救急センターでの準夜帯当直実習を必須とする。	
学習目標	
【一般目標】 外科の基本的な知識・技能・態度を修得する。	
【行動目標】 1. 毎朝一番に受け持ち患者を診察し、バイタルサインや看護・診療記録を確認する。 2. 受け持ち患者の術前プレゼンテーションを行う。 3. 診療チームと患者・患者家族とで設定される治療計画の説明と同意取得に参加する。 4. 外来やベッドサイドで行われる静脈採血や末梢静脈の血管確保などの基本的手技を見学・実施する。 5. 手術に助手として参加する。 6. 真皮埋没縫合を見学・実施する。 7. 術後の輸液量を判断できる。 8. 診療チームの一員として、救命救急センターでの三次救急初期治療に参加する。	
テキスト	特に指定しません。
参考書	1. イラストレイテッド外科手術(医学書院) 2. ~外科の要点と盲点シリーズ(文光堂) 3. がん診療レジデントマニュアル(医学書院) 4. トップナイフ(医学書院) など(いずれも貸与します)
評価方法	workplace-based assessment(臨床現場での評価)とポートフォリオを用いた評価・フィードバックを行います。
その他(メッセージ等)	地域医療の最前線、かつ、最後の砦として地域住民の健康を守る当院での実習は、プライマリーケアから三次救急治療まで。また、common diseaseから稀少疾患までの幅広い経験を約束します。 医師として卒後臨床研修を開始する際に求められる基本的診療能力を身につけたい方は、是非、当院で実習してください。心から歓迎します。  なお、宿泊先や集合時間・場所などについては、後日、当院事務担当者からご連絡します。

授業計画/担当教員等
【授業計画】
【月曜日】 8:30 病棟回診 9:30 手術 16:30 病棟回診 18:00 研修医勉強会
【火曜日】 8:00 抄読会(偶数週のみ) 8:30 病棟回診 9:30 外来診察実習および入院患者検査 13:15 病理切り出し 13:30 病棟多職種カンファレンス 14:00 総回診 15:00 術前カンファレンス 16:30 消化器内科合同カンファレンス
【水曜日】 8:30 病棟回診 9:30 手術 16:30 病棟回診
【木曜日】 8:30 病棟回診 9:30 外来診察実習および入院患者検査 13:15 病理切り出し 13:30 術前カンファレンス 15:00 問題症例カンファレンス 16:30 病棟回診
【金曜日】 8:30 病棟回診 9:30 手術 16:30 病棟回診
また、当院では平均2日に1件の臨時手術を行っていますので、緊急症例の診察→手術適応の決定→手術→術後管理までの一連の外科診療も実習します。
この他、週1回は当院救命救急センターでの準夜帯当直実習を行います(希望者は、深夜帯実習も可能)。
【実習担当指導医】 外科: 吉田 寛(よしだ ひろし)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(形成外科コース)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyoritsu General Hospital)			
担当責任者	檜垣 仁志			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

**概要／方針等**

いわき地区唯一の入院可能な形成外科です。  
一部の特殊な分野を除き、形成外科全般を診療しています。

**学習目標**

**【一般目標】**

形成外科で取り扱う疾患、外傷を学ぶ。

**【行動目標】**

1. 外来診療で、患者の治療方針決定のプロセスを見る。
2. 手術に参加し、一部の助手を務める。
3. 形成外科的縫合法を見る。

テキスト 特になし。

参考書 その都度、形成医局内、図書室等の文献を指定。

評価方法 項目ごとに評価。

その他(メッセージ等) 2週間の実習では経験できない症例もあると思います。希望があれば、症例写真等でプレゼンテーションを行います。

**授業計画／担当教員等**

**【授業計画】**

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

- 月曜日の午前、水曜日の午前・午後、木曜日の午後は手術。  
他に、緊急・臨時手術、他診療科との合同手術もあり。
- 月曜日から金曜日の午後は外来診療。
- 火曜日と金曜日の午前は回診。

**【実習担当指導医】**

檜垣 仁志(専)、薄葉 千絵(専)、笠井 文博 他

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(産婦人科コース)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyoritsu General Hospital)			
担当責任者	本多 つよし			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修/選択
				選択必修 授業形態 実習

概要/方針等	
<p>市民の健康を守る地域中核病院で、県内有数の症例数を誇る当院の診療活動に参加することにより、医師として求められる態度・知識・思考能力・技術などを学習し、卒後研修を開始するのに必須の基本的診療能力を修得して頂きたい。</p> <p>この目標を達成するため、スチューデント・ドクターとして、産婦人科診療チームに加わり、クリニカル・クラークシップを実践して頂くとともに、将来を見据えて、積極的な態度で取り組むことを期待したい。</p>	
学習目標	
【一般目標】	
産婦人科の基本的な知識・技能・態度を修得する。	
【行動目標】	
1. 分娩に立ち合い、内診等を行い、その進行を理解する。	
2. 超音波を用いた各種疾患の診断に参加する。	
3. 尿を用いた妊娠反応検査を行う。	
4. コルポスコープにて病巣同定を試みる。	
5. 手術に助手として参加する。また、術前に尿道カテーテルの挿入を行う。	
6. 術後の観察、創処置、抜鉤等を行う。	
7. NICUとの合同カンファランスに参加する。	
8. 緩和ケア医療に参加する。	
テキスト	特に指定ありません。
参考書	1. 病気がみえる 産科・婦人科(メディカルレビュー社) 2. 標準産婦人科学(医学書院) 3. OGS NOWシリーズ(メディカルレビュー社) 4. 胎児心拍数モニタリング講座(メディカ社) など、いずれも貸与いたします。
評価方法	workplace-based assessment(臨床現場での評価)とポートフォリオを用いた評価・フィードバックを行います。
その他(メッセージ等)	産婦人科地域医療の最前線、かつ、最後の砦として地域住民の健康を守る当院での実習は、プライマリーケアから三次救急治療まで。また、common diseaseから稀少疾患までの幅広い経験を約束します。 将来、産婦人科医師を志望される方、基本的診療能力を身につけたい方は、是非、当院で実習してください。心から歓迎します。  なお、宿泊先や集合時間・場所などについては、後日、当院の事務担当者からご連絡します。

授業計画/担当教員等	
【授業計画】	
【月曜日】	
8:30より終日手術	
9:00 外来診察実習および入院患者検査、退院診察等	
夕方 病棟回診	
【火曜日】	
9:00 外来診察実習および入院患者検査、退院診察等 手術(午前中のみ)	
16:00 NICUとのカンファランス	
17:00 医局勉強会	
夕方 病棟回診	
【水曜日】	
9:00 外来診察実習および入院患者検査、退院診察等	
13:00 手術	
夕方 病棟回診	
【木曜日】	
9:00 外来診察実習および入院患者検査	
夕方 病棟回診	
【金曜日】	
9:00 外来診察実習および入院患者検査	
13:00 手術	
夕方 病棟回診	
<p>当院では、この地域での緊急手術をほぼ一手に行っております。従って、迅速な対応が求められる疾患の経験にはうってつけの病院と考えます。</p> <p>婦人科腫瘍の症例数は、北海道・東北地方で常に上位にランクされております。また、産科においても、合併症妊婦や重症例にも対応しております。貴重な症例も経験できることと思います。</p>	
【実習担当指導医】	
産婦人科:本多 つよし(ほんだ つよし)	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(耳鼻咽喉科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyoritsu General Hospital)		
担当責任者	牛来 茂樹		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
市民の健康を守る地域中核病院で、診療チームの一員として診療活動に参加することにより、医師として求められる態度・知識・思考能力・技能などを学習し、卒後研修を開始するのに必須の基本的診療能力を修得して頂きたい。	
この目標を達成するため、スチューデント・ドクターとして診療チームに加わり、クリニカル・クラークシップを實踐してもらうとともに、週1回(計2回)の救命救急センターでの準夜帯当直実習を必須とする。	
学習目標	
【一般目標】	
耳鼻咽喉科の基本的な知識・技能・態度を修得する。	
【行動目標】	
1. 毎朝最初に病棟回診を行い、入院患者全員を診察し、バイタルサインや看護・診療記録を確認する。	
2. 受け持ち患者の治療方針のプレゼンテーションを行う。	
3. 診療チームと患者・患者家族とで設定される治療計画の説明と同意取得に参加する。	
4. 外来やベッドサイドで行われる静脈採血や末梢静脈の血管確保などの基本的手技を見学・実施する。	
5. 手術に助手として参加する。	
6. 真皮埋没縫合を見学・実施する。	
7. 術後経過を判断できる。	
8. 診療チームの一員として、救命救急センターでの三次救急初期治療に参加する。	
テキスト	特に指定しません。
参考書	1. 新耳鼻咽喉科学(南山堂) 2. 外来耳鼻咽喉科疾患診療のコツ(全日本病院出版) 3. めまい薬物治療(全日本病院出版) 4. 中耳・側頭骨アトラス(医学書院) など(いずれも貸与します)
評価方法	workplace-based assessment(臨床現場での評価)とポートフォリオを用いた評価・フィードバックを行います。
その他(メッセージ等)	地域医療の最前線、かつ、最後の砦として地域住民の健康を守る当院での実習は、プライマリーケアから三次救急治療まで、また、common diseaseから稀少疾患までの幅広い経験を約束します。 医師として卒後臨床研修を開始する際に求められる基本的診療能力を身につけたい方は、是非当院で実習してください。心から歓迎します。  なお、宿泊先や集合時間・場所などについては、後日、当院事務担当者からご連絡します。

授業計画/担当教員等	
【授業計画】	
【月曜日】 8:15 病棟回診 9:00 一般外来診察実習 14:00 耳鼻咽喉・頭頸部腫瘍外来診察実習 17:00 病棟回診	
【火曜日】 8:15 病棟回診 9:00 一般外来診察実習 14:00 耳鼻咽喉・頭頸部超音波外来診察実習 17:00 病棟回診	
【水曜日】 8:15 病棟回診 9:00 手術 17:00 病棟回診 18:00 耳鼻咽喉科+放射線科治療カンファレンス	
【木曜日】 8:15 病棟回診 9:00 一般外来診察実習 14:00 耳鼻咽喉科病棟カンファレンス 14:30 耳鼻咽喉科小児外来診察実習 17:00 病棟回診	
【金曜日】 8:15 病棟回診 9:00 手術 17:00 病棟回診 18:00 耳鼻咽喉科入院患者カンファレンス	
また、当院では救急患者の受け入れもあり、緊急手術を行っていますので、緊急症例の診察→手術適応の決定→手術→術後管理までの一連の診療も実習します。	
この他、週1回は当院救命救急センターでの準夜帯当直実習を行います。	
【実習担当指導医】	
耳鼻咽喉科:牛来 茂樹(ごらい しげき)	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(循環器内科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyoritsu General Hospital)		
担当責任者	杉正文		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<p>市民の健康を守る地域中核病院で、診療チームの一員として診療活動に参加することにより、医師として求められる態度・知識・思考能力・技能などを学習し、卒後研修を開始するのに必須の基本的診療能力を修得して頂きたい。</p> <p>この目標を達成するため、スチューデント・ドクターとして診療チームに加わり、クリニカル・クラークシップを実践してもらうとともに、週1回(計2回)の救命救急センターでの準夜帯当直実習を行う。</p>	
学習目標	
<b>【一般目標】</b>	
循環器内科の診療における基本的な医療面接、身体診察法、検査法、診断法、治療法についての習熟度を高め、数多くの症例を通して主要な疾患についての理解を深める。	
<b>【行動目標】</b>	
1) 担当患者を毎日診察し、良好なコミュニケーションの下に、必要な情報を得て上級医と討論できる。	
2) 基本的身体診察、バイタルサインの測定を正確に行い評価できる。	
3) 病的心音・心雑音を正しく鑑別できる。	
4) 12誘導心電図を正しく記録し読影できる。	
5) 基本的な心エコー・核医学・心臓カテーテル検査所見を評価できる。	
6) 主要な循環器疾患の病態生理、診断法、治療計画を説明できる。	
7) 最新の診療に関するエビデンス(EBM)を検索し担当患者に適応できる。	
テキスト	特に指定はありません。
参考書	・ Braunwald's Heart Disease (9th Edition, Saunders) ・ Grossman & Baim's Cardiac Catheterization, Angiography, and Intervention
評価方法	実習態度や口頭試問等にて総合的に評価します。
その他(メッセージ等)	<p>地域医療の最前線として地域住民の健康を守る当院では、プライマリーケアから三次救急治療までの実習ができます。また、common diseaseから稀少疾患までの幅広い患者さんの経験もできます。</p> <p>医師として卒後臨床研修を開始する際に求められる基本的診療能力を身につけたい方は、是非当院で実習してください。心から歓迎します。</p> <p>なお、宿泊先や集合時間・場所などについては、後日、当院事務担当者からご連絡します。</p>

授業計画/担当教員等	
<b>【授業計画】</b>	
<b>【月曜日】</b>	
8:30 カンファランス	
9:00 心臓カテーテル検査・治療	
13:30 病棟回診(総回診) 抄読会	
18:00 研修医勉強会	
<b>【火曜日】</b>	
8:30 カンファランス	
9:00 心臓カテーテル検査・治療 病棟回診 外来診療	
19:00 心臓血管外科との合同カンファランス	
<b>【水曜日】</b>	
8:30 カンファランス	
9:00 心臓カテーテル検査・治療 病棟回診 外来診療	
<b>【木曜日】</b>	
8:30 カンファランス	
9:00 心臓カテーテル検査・治療 病棟回診 外来診療	
<b>【金曜日】</b>	
8:30 カンファランス	
9:00 心臓カテーテル検査・治療 外来診療	
<p>当院の循環器内科の症例数は、東北でも屈指であり、心臓カテーテル検査を中心に実習を行います。急性心筋梗塞などの緊急症例も必ず経験できます。胸痛患者が救急車で来院し、急性心筋梗塞と診断され、カテーテル治療を行い、集中治療室に入室するまでの一連の治療行為が経験できます。また、心臓血管外科と協力し、県内唯一の経皮的動脈弁置換術(TAVI)認定施設でもあります。循環器系に興味のある方は、是非、実習に来てください。</p>	
<b>【実習担当指導医】</b>	
循環器内科:杉 正文(すぎ まさふみ)	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(小児内科コース)			
(英語名称)	BSL Advanced Course(Iwaki-Kyoritsu General Hospital)			
担当責任者	鈴木 潤			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択 選択必修 授業形態 実習

### 概要／方針等

BSLプライマリーコースでの学習事項を基礎として、小児科の診断、検査、治療について、より専門的かつ実践的な知識と技能を習得する。診療チームの一員として診療活動に参加することにより、医師として求められる態度・知識・思考能力・技能などを学習し、卒後研修を開始するのに必須の基本的診療能力を実践の場で習得する。  
地域の中核病院における小児科医療を実際に体験し、小児科医の役割を学ぶ。

### 学習目標

#### 【一般目標】

これまで学んできた小児科学の医学的知識を使いこなす実践的臨床能力を養う。

#### 【行動目標】

1. 入院患者を診療チームの一員として受け持ち、指導医とともに回診して診療記録の記載や必要な処置を施行する。
2. 受け持ち患者の状態を主治医にプレゼンテーションし、診断・治療計画の作成に参加する。
3. 診療チームと患児、患児家族とで交わされる治療計画の説明と、同意取得に参加する。
4. 外来やベッドサイドで行われる静脈採血や、末梢静脈血管確保などの基本的手技を見学・実施する。
5. 当直医師について小児救急に関わり、その現状を知り、意義を考える。

テキスト 特指定しない。

参考書 小児科教科書

評価方法 指導医による総合評価。

その他(メッセージ等) いわき地区の小児の入院を必要とする患児は、ほとんど当小児科を受診しています。小児科のプライマリの疾患を、短い期間でもより多く経験することができます。

### 授業計画／担当教員等

#### 【授業計画】

月曜日 8:30 新入院カンファランス  
9:00 回診 指示出す 処置  
11:00 外来実習  
13:30 外来実習 (専門外来の見学など)

火曜日 8:30 新入院カンファランス  
9:00 回診 指示出す 処置  
11:00 外来実習  
13:30 外来実習 (1ヶ月検診の見学など)

水曜日 8:30 新入院カンファランス  
9:00 回診 指示出す 処置  
11:00 外来実習  
13:30 外来実習 (予防接種の見学など)

木曜日 8:30 新入院カンファランス  
9:00 回診 指示出す 処置  
11:00 外来実習  
13:30 外来実習 (専門外来の見学など)  
17:00 抄読会

金曜日 8:30 新入院カンファランス  
9:00 回診 指示出す 処置  
11:00 外来実習  
13:30 外来実習 (乳児検診の見学など)

#### 【実習担当指導医】

小児科主任部長:鈴木 潤

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(消化器内科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-kyoritsu General Hospital)		
担当責任者	池谷 伸一		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

### 概要/方針等

浜通り唯一の救急救命センターを持つ地域中核病院として、大学では学べない実践的臨床能力を習得して頂きたい。当院の消化器の特徴は、上部消化管、下部消化管、肝疾患、胆膵疾患と各パートに指導医を配置しており、その指示のもとに紹介急患症例を通して自分で考え、最新の知識と技能と診療態度を学習し現場体験して頂く。

### 学習目標

#### 【一般目標】

内科医師として鑑別診断能力の向上と、消化器内科として各種検査手技を数多く体験し、検査意義を理解してもらう。

#### 【行動目標】

1. 外来紹介/急患患者の診察、検査計画立案、各種検査の評価。
2. 各種消化器系検査の体験実習。
3. 新入院/外科消化器カンファランスの参加。担当患者のプレゼンテーション。

テキスト 特に指定しません。

参考書 特に指定しません。

評価方法 日々の記録(ポートフォリオ)をもとにした評価フィードバック。

その他(メッセージ等) 当院の基本理念である「慈心妙手」のもと大学から距離の離れた雰囲気、地域医療を体験してもらいたい。悩まなければ人は成長しない。指導医の監督下に問題対応能力を身につけてもらい、医師となる自覚と学習意欲の動機付けにつながればと思います。

### 授業計画/担当教員等

#### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

月	午前：外来患者診療/消化器検査 午後：消化器治療 新入院カンファ
火	午前：外来患者診療/消化器検査 午後：消化器治療 17時内科外科カンファ
水	午前：外来患者診療/消化器検査 午後：消化器治療
木	午前：外来患者診療/消化器検査 午後：消化器治療
金	午前：外来患者診療/消化器検査 午後：消化器治療

#### 【実習担当指導医】

実習内容に応じて臨床研修担当医が対応。消化器内科主任部長：池谷伸一

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(心臓血管外科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyoritsu General Hospital)		
担当責任者	入江 嘉仁		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

当院は、福島県浜通りにおける唯一の心臓血管外科施設として、地域医療に根ざした、最先端医療を提供しております。日中の診療活動のみではなく、夜間、休日の救急対応、緊急手術への対応も求められています。研修者には診療チームの一員として診療活動に参加してもらい、医師として求められる態度・知識・思考能力・技能などを学習し、卒後研修を開始するのに必須の基本的診療能力を修得して頂きたいです。

この目標を達成するため、スチューデント・ドクターとして心臓血管外科診療チームに加わり、クリニカル・クラックシップを実践してもらうことは必須であります。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

心臓血管外科の基本的な知識・技能・態度を修得する。

##### 【行動目標】

1. 毎朝の病棟回診で受け持ち患者を診察し、バイタルサインや診療・看護記録を確認する。
2. 受け持ち患者の手術適応、手術方法について勉強し、術前プレゼンテーションを行う。
3. 診療チームが患者および患者家族と設定した治療計画の説明と同意取得に参加する。
4. 外来やベッドサイドで行われる静脈採血や末梢静脈の血管確保などの基本的手技を見学・実施する。
5. 手術に関しては、可能な限り手洗いをして術野操作を習得する。
6. 真皮埋没縫合を見学し、実施する。
7. ICUでは心電図、各種カテーテルモニタ、人工呼吸器、ドレーン・各種ライン管理を学ぶ。
8. 心臓血管外科における末梢動静脈の露出や縫合結紮手技を学ぶ。

テキスト 特に指定しません

- 参考書
1. 心臓血管外科テクニクI~IV(MCメディカ出版)
  2. 心臓血管外科テキスト(中外医学社)
  3. Cardiavc Surgery in the Adult (MC Graw Hill Medical)
  4. Intensivist 心臓血管外科前編・後編(メディカル・サイエンス・インターナショナル)  
など(いずれも貸与します)

評価方法 workplace-based assessment(臨床現場での評価)とポートフォリオを用いた評価・フィードバックを行います。

その他(メッセージ等) チーム医療を意識した各個人が協調して診療行為を行う事を学ぶ。  
医師として卒後臨床研修を開始する際に求められる基本的診療能力を身につけることができる。

なお、宿泊先や集合時間・場所などについては、後日、当院事務担当者からご連絡します。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

##### 【月曜日】

- 8:30 病棟回診
- 9:30 外来見学
- 16:30 病棟回診
- 18:00 術前カンファレンス参加

##### 【火曜日】

- 8:30 病棟回診
- 9:00 手術(見学および参加)
- 16:30 クルズス

##### 【水曜日】

- 9:00 総回診
- 9:30 外来見学
- 16:30 術後カンファレンス

##### 【木曜日】

- 8:30 病棟回診
- 9:00 手術(見学および参加)
- 16:30 クルズス

##### 【金曜日】

- 8:30 病棟回診
- 9:30 手術
- 16:30 総括

##### 【実習担当指導医】

心臓血管外科:入江 嘉仁(いりえ よしひと)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(整形外科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyouritsu General Hospital)		
担当責任者	江尻 荘一		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<p>BSLプライマリーコースでの学習事項を基礎として、整形外科の診断、検査、治療について、より専門的かつ実践的な知識と技能を習得する。具体的には、診療チームの一員として患者を受け持ち、診療記録作成、創処置、各種検査、手術助手などの実施体験を行う。</p> <p>地域の中核病院における整形外科医の救急対応や、医療機関との連携について実際に体験し、地域医療における整形外科医の役割を学ぶ。</p>	
学習目標	
【一般目標】	
整形外科医に必要な基本的な知識、技能を習得するとともに、地域中核病院での整形外科医の役割を理解する	
【行動目標】	
1. 外来診療に立ち会い、整形外科患者の診察と処置(創処置、関節穿刺など)を実際に体験する。	
2. 入院患者を受け持ち、指導医とともに回診して診療記録の記載や処置を施行する。	
3. 救急外来で四肢外傷患者の初期治療(骨折・脱臼の整復、ギプス固定、創傷処理など)を体験する。	
4. 手術に助手として参加し、基本的な無菌操作、機器の使用、縫合法を体験する。	
5. 整形外科チームの一員として、検査技師、看護師、理学療法士などコメディカルとの積極的な交流を図り、チーム医療の実践を体験する。	
6. カンファランスで受け持ち患者の報告を行い、プレゼンテーションの方法を学習する。	
テキスト	特に指定しない。
参考書	標準整形外科学 第12版/松野丈夫他総編/医学書院/2014 図解四肢と脊椎の診かた/Hoppenfeld S(著)・首藤 貴(訳)/医歯薬出版/1984 整形外科医のための神経学図説-脊髄・神経根障害レベルのみかた, おぼえかた/ Hoppenfeld S(著)・津山直一(訳)/南江堂/2005 整形外科プライマリケアハンドブック改訂第2版/片田重彦・石黒 隆著/南江堂/2004
評価方法	指導医による総合的評価。
その他(メッセージ等)	・当院の整形外科年間手術数は、1,600件以上で東北トップクラスです。また、大学病院以外で四肢全関節の専門医が揃う病院は稀少で、プライマリ・ケアから三次救急まで、局麻手術から組織移植まで幅広く経験できます。 ・無料宿舎と駐車場完備。昼食用意あります。

授業計画/担当教員等	
【授業計画】	
月曜日	8:00 術前・術後カンファランス 8:30 整形医局会(業務連絡) 9:00 手術実習、外来実習
火曜日	8:00 病棟回診 9:00 手術実習、外来実習
水曜日	8:00 病棟回診 9:00 病棟処置・検査実習 13:00 脊椎検査見学 18:00 抄読会 18:30 薬剤・医療機器説明会
木曜日	8:00 病棟回診 9:00 手術実習、外来実習
金曜日	8:20 リハビリテーションカンファランス 9:00 手術実習、外来実習
※第1週目の月曜日は、7時50分までに総合医局に集合して下さい。指導医が迎えに行きます。	
【実習担当指導医】	
江尻 荘一/福島県立医科大学地域整形外科支援講座/手外科・マイクロサージャリー・外傷	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(選択コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyoritsu General Hospital)		
担当責任者	吉田 寛		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

### 概要/方針等

市民の健康を守る地域中核病院で、診療チームの一員として診療活動に参加することにより、医師として求められる態度・知識・思考能力・技能などを学習し、卒後研修を開始するのに必須の基本的診療能力を修得して頂きたい。

この目標を達成するための具体的な方針として、1週間ずつ2つの診療科を選択しクリニカル・クラークシップを実践してもらうとともに、週1回(計2回)の救命救急センターでの準夜帯当直実習を必須とする。

### 学習目標

#### 【一般目標】

これまで学習してきた医学知識を使いこなす実践的臨床能力の涵養。

#### 【行動目標】

1. 毎朝一番に受け持ち患者を診察し、バイタルサインや看護・診療記録を確認する。
2. 受け持ち患者の状態を指導医にプレゼンテーションし、診断・治療計画の作成に参加する。
3. 診療チームと患者・患者家族とで設定される治療計画の説明と同意取得に参加する。
4. 外来やベッドサイドで行われる静脈採血や末梢静脈の血管確保などの基本的手技を見学・実施する。
5. 診療チームの一員として救命救急センターでの三次救急初期治療に参加する。

テキスト 特に指定しません。

参考書 選択した診療科毎に貸与します。

評価方法 workplace-based assessment(臨床現場での評価)とポートフォリオを用いた評価・フィードバックを行います。

その他(メッセージ等) 地域医療の最前線、かつ、最後の砦として地域住民の健康を守る当院での実習は、プライマリーケアから三次救急治療まで、また、common diseaseから稀少疾患までの幅広い経験を約束します。  
医師として卒後臨床研修を開始する際に求められる基本的診療能力を身につけたい方は、是非当院で実習してください。心から歓迎します。  
なお、宿泊先や集合時間・場所などについては、後日、当院事務担当者からご連絡します。

### 授業計画/担当教員等

#### 【授業計画】

- 1) 具体的な実習スケジュールは、各人の選択科により個別に対応します。  
アドバンスコースの選択が決まり次第、外科の吉田寛(kan-y@surg1.med.tohoku.ac.jp)まで連絡をください。実習計画を立てます。
- 2) 週1回は当院救命救急センターでの準夜帯当直実習を行います(希望者は、深夜帯実習も可能)。
- 3) 以下が選択可能な診療科です。  
循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌科、血液内科、心療内科、小児科、未熟児・新生児科、外科、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、麻酔科、精神科、放射線科

#### 【実習担当指導医】

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース・いわき市立総合磐城共立病院(麻酔科コース)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Iwaki-Kyoritsu General Hospital)		
担当責任者	赤津 賢彦		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
市民の健康を守る地域中核病院で、プライマリーコースの基礎の上に、麻酔、集中治療の実習を行い、実践的な知識、技能、態度を身につける。この目標を達成するため、スチューデント・ドクターとしてクリニカル・クラークシップを実践してもらおう。	
学習目標	
<b>【一般目標】</b>	
手術侵襲や各種痛み疾患ならびに急性臓器機能不全に対応できる知識・技能を身につけるため、麻酔科診療・集中治療の現場を経験し、理解する。	
<b>【行動目標】</b>	
1.麻酔薬、循環作動薬の基本的な投与法を説明できる。	
2.気管挿管を見学・経験する。使用する器具の理解を含める。	
3.硬膜外・脊髄くも膜下麻酔法を見学し、利点・欠点を説明できる。	
4.麻酔におけるチーム医療に参加する。	
5.術後鎮痛における区域麻酔・硬膜外持続注入とオピオイドの持続静注法について説明できる。	
6.人工呼吸器の基本的な使用法を見学、説明できる。	
7.患者の状態に合わせた輸液を計画し、説明できる。	
8.症例検討会に参加する。	
9.ベッドサイドエコーの基本を理解する。	
テキスト	特に指定しません
参考書	1. Miller麻酔科学 2. Winnie腕神経叢ブロック 3. Basics of Anesthesia, 5th(2006)
評価方法	症例レポートの発表を行い、ポートフォリオ、出席・実習態度等を含め、総合に評価・フィードバックを行います。
その他(メッセージ等)	県内有数の症例数です。地域医療の最前線、かつ、最後の砦として地域住民の健康を守る当院での実習は、有意義な研修になると思います。 なお、宿泊先や集合時間・場所などについては、後日、当院事務担当者からご連絡します。

授業計画/担当教員等	
<b>【授業計画】</b>	
<b>【月曜日】</b> 8:15 症例カンファランス 8:45 麻酔:手術にて 16:30 病棟回診	
<b>【火曜日】</b> 8:00 抄読会 8:15 症例カンファランス 8:45 麻酔:手術にて 16:30 病棟回診	
<b>【水曜日】</b> 8:15 症例カンファランス 8:45 麻酔:手術にて 16:30 病棟回診	
<b>【木曜日】</b> 8:00 ミニレクチャー 8:15 症例カンファランス 8:45 麻酔:手術にて 16:30 病棟回診	
<b>【金曜日】</b> 8:15 症例カンファランス 8:45 麻酔:手術にて 16:30 病棟回診	
当院における麻酔科管理件数は、県内有数です。	
<b>【実習担当指導医】</b>	
麻酔科:赤津 賢彦(あかつ まさひこ)	

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:福島労災病院循環器科)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Fukushima Rosai Hospital)			
担当責任者	吉成和之			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修/選択 選択必修 授業形態 実習

### 概要/方針等

主として循環器内科患者の診療において、身体所見・諸検査等の所見から病態を正確に把握し、正しい診断・適切な治療方針を導き出せるようにする。  
指導医の下で実際に患者を受け持ち臨床の基本習得を目指す。

### 学習目標

#### 【一般目標】

循環器内科における基本的な身体所見の取り方、検査法、診断法、治療法についての理解を深める。

#### 【行動目標】

- 1 担当患者を毎日診察し、良好なコミュニケーションをとれる。
- 2 基本的な身体診察・バイタルサインの測定を行い評価できる。
- 3 患者の状態評価を適切に行い指導医と討論できる。
- 4 心音・心雑音を正しく鑑別できる。
- 5 12誘導心電図を正しく記録し読影できる。
- 6 基本的な心エコー、核医学、心臓カテーテル検査所見を評価できる。
- 7 主要な循環器科疾患の病態生理、診断法、治療計画を説明できる。

テキスト ハリソン内科学

参考書 適宜

評価方法 担当グループにおける診療態度の評価。患者カルテ記載の評価・口頭試問など。

その他(メッセージ等) 地域(地方)病院の実際の医療の実情も含めて経験していただきたい。

### 授業計画/担当教員等

#### 【授業計画】

#### 【第1週】

[月曜日] 午前 8:45オリエンテーション:医局図書室集合(渡邊) / 午後13:00病棟実習

[火曜日] 午前 8:30病棟実習

[水曜日] 午前 8:30病棟実習・回診 / 午後13:00 心臓カテーテル検査見学・病棟実習

[木曜日] 午前 8:30病棟実習 / 午後13:00 心臓カテーテル検査見学・病棟実習  
/ 18:00心カテカンファランス

[金曜日] 午前 8:30病棟実習

#### 【第2週】

[月曜日] 午前 8:30病棟実習

[火曜日]~[木曜日] 第1週と同じ

[金曜日] 午前 8:30病棟実習 / 午後15:00 まとめの反省会(鈴木、吉成、渡邊、三戸、大楽、山内)

#### 【実習担当指導医】

鈴木重文、吉成和之、渡邊康之、三戸征仁、大楽英明、山内宏之

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(福島労災病院 消化器科)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Fukushima Rosai Hospital)		
担当責任者	鈴木智浩		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

### 概要/方針等

消化器病疾患(上部・下部消化管疾患、肝胆膵疾患)を中心に、内科的な診断、検査、治療を実習してもらいます。  
患者さんの診察や、腹部エコー、上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査などの見学、非侵襲的な検査については体験してもらい、実際の臨床の現場で行われている消化器診療を学ぶことが目的です。

### 学習目標

#### 【一般目標】

- 1.腹部エコーの基本を学ぶ
- 2.消化器内視鏡検査の基本を学ぶ+A1

#### 【行動目標】

- 1.腹部エコーを体験し基本を学ぶ
- 2.簡易モデルを用い上部・下部内視鏡の基本を学ぶ
- 3.消化器内視鏡検査・治療の見学、介助を行い内視鏡診療の実際を体験する

テキスト 特にありません、当科にある蔵書を利用しても構いません

参考書 同上

#### 評価方法

#### その他(メッセージ等)

興味のある検査、処置があれば実習できるよう配慮しますので教えてください。  
患者さんには失礼の無いよう、思いやりをもって接してください。

### 授業計画/担当教員等

#### 【授業計画】

月曜から木曜日:午前8時から朝会があり当日の検査、治療の確認を行う

月・火・木・金曜日:午前9時から腹部US・上部内視鏡検査、午後1時以降下部内視鏡検査

火曜日:13時30分から腹部血管造影

水曜日:午前ESD/EMRなどの消化管治療、RFAなどの肝疾患治療、午後ERCP、PTCDなどの透視下検査・治

#### 【実習担当指導医】

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(公立相馬総合病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Soma General Hospital)		
担当責任者	八巻 英郎		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

当院は相馬市にある病床数230床の中規模病院で、相馬市と新地町で運営する衛生組合を母体とする公的病院です。当地域の唯一の総合病院であり、地域住民の健康を支える医療の中核として日夜診療に取り組んでいます。唯一の総合病院であるがゆえにその果たす役割は大きく、救急医療を中心とする急性期医療から慢性期医療まで多種多様な症例の診療にあたっています。当院での実習を通して、都会の大病院では経験できない地方の医療の実際を経験していただき、理解を深める機会を提供します。

#### 【一般目標】

地域中核病院での地域医療の実際を経験する。その体験を通し基本的、総合的診療能力や、医師としての社会性の向上を目指す。

#### 【行動目標】

- (1) 基本的身体診察を行え、その解釈ができる。
- (2) 診療録の記載を行い、指導医とのディスカッションができる。
- (3) 受け持ち患者と良好な関係を構築し、医師として適切な態度で接することができる。
- (4) 訪問診療を行い在宅患者の診察と家族からの情報収集が行える。
- (5) 各科手術に助手として参加し、術式とその意味を理解できる。
- (6) 検査科、放射線科の実習を通してco-medical staffの業務を経験し、チーム医療の理解を深める。

テキスト 特に指定はありません。

参考書 図書室、医局に各種書籍あります。

評価方法 実習態度、診療技術、医学知識量、ディスカッション内容などにより総合的に評価します。

その他(メッセージ等) 実習スケジュールに対し希望があれば可能なかぎり対応します。職員一丸となって地域医療を支えている私たちの姿から、医師としての今後に関わることや役に立つことを学んでいただけたらと思います。ぜひ実習にきてください。

#### 【授業計画】

##### 第1週(例)

月曜 午前:オリエンテーション、受け持ち患者紹介 午後:泌尿器科実習(手術、透析、各種検査等)

火曜 午前:内科新患外来 午後:循環器科実習(心カテ、CCU等)

水曜 午前:訪問診療 午後:外科実習(手術等)

木曜 午前:検査科、放射線科実習 午後:消化器カンファレンス、整形外科実習(手術、各種検査等)

金曜 午前:小児科新患外来 午後:小児科実習(NICU等)

##### 第2週

ローテーション実習or希望科での実習を予定しています。

その他:症例検討会、救急カンファレンス等に参加

実習に関して希望があれば可能なかぎり対応します。

#### 【実習担当指導医】

八巻英郎(責任者、外科)

高橋裕太(消化器科)

安藤勝也(循環器科)

高山純(外科)

力丸裕人(外科)

伊藤正樹(小児科)

武山彩(小児科)

馬目雅彦(泌尿器科)

大垣守(整形外科)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:南相馬市立総合病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Minamisoma municipal general Hospital)		
担当責任者	及川 友好		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

##### 【概要】

当院は浜通り北部の相双地域にあります。規模は230床と比較的小さいですが、地域のほぼ中央に位置する公立の中核病院であるため、様々な疾患を持つ患者が受診します。救急患者の受け入れは地域で最多となっています。平成23年に起きた東日本大震災と東京電力福島第一原発事故により、一時期多くの住民が避難し地域を離れました。その後人口は回復しつつあるものの、震災前と比べて若年者の減少が著しく、日本の20年後の状態まで高齢化が一気に進みました。震災による社会の変化により、慢性疾患やうつなどの精神疾患を持つ患者や在宅療養を要する患者が増えました。高齢化した社会や被災地で果たすべき医療の役割を、当院で経験できます。

##### 【方針等】

大学で学んだ知識や経験を生かし、外来および病棟で実際の患者を担当します。学生でも行ってよいとされている基本的医行為も、指導医の監督の下で行います。基本的には内科系患者を受け持ちますが、希望があれば外科系も考慮します。地域の理解を深めるため、往診の見学や院外の施設の見学もできます。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

患者や家族からの問診や診察を踏まえ、患者のニーズを適切に把握することができる。そのための基本的診療技術を身につける。

##### 【行動目標】

1. 入院患者を1名以上受け持ち、診療の記録を行い、指導医と振り返りを行う。
2. 一般外来や救急で診療の見学を行い、問診や診察を経験する。
3. 基本的医行為を、指導医の監督の下で行う。
4. 往診の見学、院外施設の見学を行い、被災地の理解を深める。
5. 実習終了時に2週間のまとめを発表する。

テキスト ありません

参考書 ありません。必要があれば指導医や研修医に申し出て下さい。

評価方法 日々の経験や診療態度から、総合的に判断します。

その他(メッセージ等) 浜通りや相双地区になじみのない方、ぜひ一度来てみませんか。もちろん地元の方も大歓迎です。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画(例)】

- 毎日 朝夕 指導医と回診
- 週に数回 外来診療見学、救急外来見学
- 週に数回 往診に随行
- 金曜日8時 救急症例報告会(初期研修医による)参加
- 2週間のうちで数カ所の院外施設見学(訪問リハビリなど)
- 内視鏡検査や手術の見学
- 放射線被ばくに関する講義
- 最終日に2週間の振り返りの発表(20~30分程度)

朝開始時刻 8時30分(金曜日のみ8時00分)

終了時刻 17時15分

##### 【実習担当指導医】

##### 【実習担当指導医】

及川友好/副院長、脳神経外科  
 神戸敏行/呼吸器科  
 根本剛/在宅診療科

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース: 済生会福島総合病院)						
(英語名称)	BSL Advanced Course (Saiseikai General Hospital)						
担当責任者	三瓶 光夫						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修/選択	選択必修	授業形態	実習

#### 概要/方針等

当院は、秋篠宮殿下を総裁とする済生会グループの一員で、恵まれない人々の手助けをするという「済生の心」を理念として、窮状を抱える目の前の方々の手をさしのべ続けています。診療科13、病床数216床で小規模な病院ですが、公的医療機関として、福島県立医科大学と密接な連携の下に包括的医療(保健・医療・福祉)の提供を目指して日々研鑽を積んでいます。平成25年12月より電子カルテ・オーダーリング・画像ファイリングを完備し診療体制を充実させています。臨床実習も数多く受け入れています。実際の現場でプライマリ・ケアを体験し学んでいただきたいと考えています。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

診療における基本的な医療面接、基本的検査、診断、治療について考えていただきながら、実際の現場で患者さんをとおして疾患に対しての知識や技術をつかんでいただく。

##### 【行動目標】

日常の診療を見学し体験する。多職種の職員と積極的にコミュニケーションを図る。毎日記録を付け振り返りをする。地域の方々と積極的に関わり合い理解するよう努める。あいさつや言葉づかいなど社会人としての規範を守る。

テキスト	特に指定はありません。
参考書	特に指定はありません。
評価方法	診療の様子、記録の内容、指導医とのコミュニケーションなどにより総合的に判定する。
その他(メッセージ等)	移動中の事故に気を付ける。 健康管理に注意する。 時間厳守など社会規範を守る。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

外来診察見学、救急医療の見学実習  
病棟実習  
病棟回診見学  
手術見学  
各種検査の見学  
振り返り

実習内容や見学など、希望があれば可能な範囲で柔軟に対応します。

##### 【実習担当指導医】

三瓶光夫/済生会福島総合病院 副院長兼統括診療部長  
各科指導医

科目・コース(ユニット)名	BSL アドバンスコース 協力病院コース(福島第一病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Fukushima Daiichi Hospital)		
担当責任者	土屋敦雄		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要／方針等

本院は福島盆地北西部の医療を担う第1線医療機関として活動しています。救急医療にて社会医療法人を取得しています。救急搬入台数も年間1200台を超える病院です。  
また兄弟法人である社会福祉法人とも連携し地域医療に貢献しています。  
現在診療科目は内科(総合内科・消化器・循環器・腎臓)・外科(消化器・乳腺・甲状腺・心臓血管外科)・整形外科(リウマチ科・リハビリ科)・歯科を有し、さらに循環器センターを併設し内科系医師と外科系医師との連携のもと診療にあたっています。各々専門医を配し、日本における中小病院における役割をプライマリ医療から高度医療まで幅広く実践医療を学ぶことができます。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

大学ではなかなか経験できない医療を学んでもらう。基本的にはプライマリ・ケアの実際について、学んでもらう。

##### 【行動目標】

- 1.第1線病院における外来診療を見学・学習する。
- 2.救急現場での体験学習 希望者は当直業務を見学・体験する。
- 3.Co-medical スタッフとのチーム医療を経験・実習する。
- 4.手術室での振る舞いや作法を見学・実習する。
- 5.福祉法人を見学し日本の終末医療について考える。
- 6.指導医とのディスカッション・まとめを行う。

テキスト 図書室完備 各科指導医推薦図書

参考書

評価方法 当院における人物評価基準、及び、レポート作成、討論により評価

その他(メッセージ等) 本人のご希望による研修も可能

駐車場・食堂・有

コンビニ近接

将来の進路を決定する前に体験すべき施設とおもわれる

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

一般外来(各科)・救急外来(一次・二次)

検査(消化器・乳腺・甲状腺・循環器・放射線科)

手術見学・手洗いなど実習

透析

症例を経験しプレゼンテーション・ディスカッションをする

##### 【実習担当指導医】

統括責任者 土屋 敦雄 (外科 指導医)

各科責任者

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(二本松病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Nihonmatsu Hospital)		
担当責任者	副院長 柳沼 健之		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

外来及び病棟患者の診察に参加し臨床の実際を指導すると共に、老人介護施設や訪問看護についても経験する。

- ① 新患者の病歴聴取(問診)と診察
- ② 病棟患者の回診
- ③ 内視鏡検査見学
- ④ 手術見学・参加
- ⑤ 老健施設・訪問看護見学
- ⑥ 糖尿病教室見学
- ⑦ その他

#### 学習目標

##### 【一般目標】

基本的な病歴聴取と診察方法について身につける  
外科手術の基本を身につける

##### 【行動目標】

新患・急患に対する対応を適正に行う。言動にも注意する。  
指導医の指導の下、切開・縫合等の手技を行うことができる。  
他職種とコミュニケーションを図り、救急から終末医療まで総合的に実践を経験する。

テキスト 特になし

参考書 特になし

評価方法 「実習ノート」を提出し指導医がノートを参考に経験症例や手術症例を試問し評価する

その他(メッセージ等) 保健予防活動、介護、在宅支援、人工透析センター、事業所検診等当院の特色であるシームレスな連携を体験してください

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

月 8:30~ オリエンテーション

月・火・水・木・金 9:00~13:00 外来見学

月・火・水・木・金 13:00~17:00 病棟回診

火・水 13:00~ 手術見学

適宜 老健施設・訪問看護ステーション・訪問リハビリテーション見学

##### 【実習担当指導医】

院長 六角 裕一(外科) 副院長 柳沼 健之(内科)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(栞記念病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Masu Memorial Hospital)		
担当責任者	比佐 新一		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<p>当院は一般病床216床で「昼夜を問わずいかなる患者さんに対しても手を差し伸べる」という理念の下「患者さん本位の医療」を提供し、安達地域における基幹病院として福島県立医科大学との密接な連携の下に地域医療、救急医療に貢献しております。特に救急医療にも積極的に取り組み、敷地内にヘリポートを設置し遠方からの救急患者さんにも対応しております。</p>	
学習目標	
【一般目標】	
実習においては実際の臨床の現場を身をもって体験し、基本的かつ総合的な診療能力を身につける。	
【行動目標】	
1. 各診療科での日常の外来診療を見学しEBMに基づいた医療を学ぶ。	
2. 各診療科での検査、手術を見学し、可能なら体験する。	
3. 救急搬送症例を積極的に見学し、診断治療へのアプローチを学ぶ。	
4. 医療に携わるコメディカルスタッフとの交流を図り、チーム医療の円滑な運営の実際を学ぶ。	
テキスト	特に指定はありません。
参考書	特に指定はありません。
評価方法	実習態度、指導医とのディスカッションなどにより総合的に評価します。
その他(メッセージ等)	

授業計画/担当教員等	
【授業計画】	
外来診察、救急医療の見学実習	
病棟回診見学実習	
各種検査(内視鏡、超音波、血管造影等)の見学	
透析治療見学	
手術見学	
訪問診療に同行し見学	
実習や見学は、可能な範囲で柔軟に対応します。	
朝開始時刻 午前8時30分より 終了時刻 概ね午後5時まで。	
【実習担当指導医】	
比佐 新一(センター長、循環器科)	
森 倫夫(副院長、整形外科)	
松岡 久光(泌尿器科部長)	
小野 俊之(外科部長)	
本間 真理(神経内科部長)	
佐藤 直樹(脳神経外科部長)	
尾形 隆(消化器内科部長)	
森 建(呼吸器科医師)	

※ 行は自由に追加していただいて結構です。

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(東北病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Tohoku Hospital)		
担当責任者	落合 紳一郎		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要／方針等

当院は、旧安達郡管内で唯一ベットをもった21床の単科の精神科病院として昭和35年に開設以来、「地域に根ざした病院経営」を心がけ、現在は、212床の病床を持つ単科の精神科病院として存続するに至っております。「入院中心の医療から社会復帰の促進」という大きな流れの中で、院内では病棟の機能分化を図り多職種で構成した社会生活支援室を組織し、退院支援を積極的に行っております。また、退院後の生活の場としてのグループホームや、在宅患者様の就労支援のための就労継続支援B型事業所も運営しております。このように、当院では基本理念として『信頼』を掲げ、患者様をはじめ地域の方々にも信頼される、より良い医療・福祉・保健活動を統合的に展開・実践しております。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

精神科病院の地域医療における役割の理解と医師としての知識、医療人としての心構え、態度の習得  
メディカルスタッフおよびその他スタッフとのコミュニケーション能力の習得

##### 【行動目標】

- (1)精神疾患の診察を見学し、診断と治療計画の立案・実施に参加できる
- (2)精神疾患をもつ患者の診療を行う上での、法と倫理の必須事項を列挙できる
- (3)精神症状・精神障害の初期症状とどのような場合に専門医へのコンサルテーションが必要か説明できる

テキスト 特に指定はありません

参考書 同上

評価方法 外来及び入院患者診療における実習を通じて、医学的知識、医療人としての心構え・態度、レポート等により、総合的に判定いたします。

その他(メッセージ等) 単科の精神科病院ですが、介護老人保健施設、居宅介護支援事業所を併設し、また地元自治体より委託を受け地域包括支援センターや認知症初期集中支援チームも組織しており、地域包括ケアシステム構築の中で大きな役割も果たしております。従って、単に院内での実習だけでなく、大きな社会現象である「高齢化社会」に対応した統合ケアの一部を体験することが可能です。

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

##### 【原則的な授業時間】

午前8時30分から午後5時まで(毎朝8時30分前には医局集合)

##### 【基本的な授業概要】

午前中…外来診療への同席  
午後…入院患者診察への同伴、入院診療計画策定の補助等  
授業終了時…指導医師とのディスカッション

##### 【不定期な授業概要】

- ・医療保護入院者退院支援委員会への出席
- ・併設している老健施設や就労継続支援B型事業所見学等

##### 【実習担当指導医】

落合紳一郎他

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(北福島医療センター)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Kita Fukushima Medical Center)		
担当責任者	木村秀夫		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要／方針等

当院は、ベット数226床の地域医療支援病院で伊達市および福島市北部の地域医療を担っています。地元に着したプライマリケアを提供する一方、血液疾患センター、消化器疾患センター、乳腺疾患センターにおいては高い専門性で地域医療を支えています。これらの科においてがん化学療法にも力を入れています。また切らないがん治療ともいえる放射線治療トモセラピーをはじめ高度な医療機器を整備し地域医療に貢献しています。また、急性期治療を終えた患者さんが在宅生活にスムーズに移行できるようリハビリを行う回復期リハビリ病棟と在宅復帰支援を目的とした地域包括ケア病棟も備えております。実習では、地域医療の実態をみて勉強して頂きたいと思っております。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

一般病院の地域医療における役割を理解し、医師としての知識、医療人としての心構え、態度を身に着ける。また、医療を行ってゆくにあたり必要不可欠なチーム医療を理解する。

##### 【行動目標】

救急あるいは入院患者について、問診、診察、バイタルサインをとり診察にあたる。診断へのアプローチを学病状の変化を把握できるようにする。治療方針を担当医と共にディスカッションして治療を進める。

テキスト 特に指定はありません。

参考書 各科に専門書等を所蔵(図書室あり)

評価方法 外来から入院患者診療における実習を通じて、医学的知識、医療人としての心構え・態度、レポート等により総合的に判定

その他(メッセージ等)

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

午前8時30分から原則的に午後5時まで

##### 【主な内容】

病棟実習が主ですが、検査、手術には見学として入ります。

外来は、救急外来および各科外来(血液疾患センター、消化器疾患センター、乳腺疾患センター、リハビリテーション科、麻酔科)

午前: 外来実習・検査・病棟

午後: 検査・病棟・手術見学・講義など

##### 【当院で可能な内容】

急患から紹介患者の基本的な診察

地域医療(一次救急、家庭医療科、当院附属の老健施設の見学等)

回復期病棟にてリハビリの実際を体験する

血液疾患患者の診断と治療、骨髄穿刺、骨髄生検などの検査、消化器疾患の診断と治療、内視鏡検査、乳腺(乳がん)の診断と治療、手術見学、がん化学療法室の実際を見学

##### 【実習担当指導医】

院長 木村秀夫(内科・血液内科)・各科責任医師

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(済生会川俣病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Saiseikai kawamata Hospital)		
担当責任者	佐々木 俊教		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

### 概要/方針等

当院は川俣町の中心部に川俣地域ケアセンターの核として位置し、「やさしさといたわりのある医療」を基本理念のもと、敷地内に訪問看護ステーションと地域包括支援センター、近隣に診療所、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、居宅介護支援事業所、養護老人ホーム、訪問介護事業所を管理し医療から介護、福祉まで切れ目のないサービスを提供しています。国が進めている、地域包括ケアシステムを実践している病院です。プライマリ・ケアを体験し学んでいただきたいと考えております。90床の小規模病院ですので、他職種とのコミュニケーションも取りやすく、指導医他職員と一緒に色々な経験をして頂きたいと思っております。

### 学習目標

#### 【一般目標】

地域医療に重点をおき、患者さんの心に寄り添う医療の実践、一緒に働く仲間作り楽しい職場作りを体験してもらう。

#### 【行動目標】

- 1.患者一人を受け持ち、入院時の入院治療計画書の作成、患者及び家族への説明、カルテへの的確な記入。
- 2.各種書類及び死亡診断書等の記載を実習する。
- 3.在宅訪問診療、施設入所者の回診等、院外医療の実践を通して患者及び家族とのかかわり方を実習する。
- 4.救急外来での初期対応を実習する。

テキスト 特に指定はありません。

参考書 特に指定はありません。

評価方法 実習中の医療人としての態度、レポート等により総合的に評価します。

その他(メッセージ等) 希望に合わせた実習を設定することができます。自家用車を利用するときは駐車場を確保します。昼食は病院で準備します。温かいご飯を召し上がってください。

### 授業計画/担当教員等

#### 【授業計画】

#### 1週間のスケジュール例

・月曜日	午前一病棟実習	午後一診療所診療、病棟実習
・火曜日	午前一病棟実習	午後一在宅訪問医療実習、病棟実習
・水曜日	午前一病棟実習、外来予診	午後一施設入所者回診(特養)
・木曜日	午前一病棟実習、外来予診	午後一在宅訪問医療実習、病棟実習
・金曜日	午前一病棟実習	午後一施設入所者回診(養護)

※第1日目の午前のみオリエンテーションあり

授業時間 8:45~17:00 休憩 60分

金曜日の12:30~医局連絡会

#### 【実習担当指導医】

佐々木 俊教/診療部長(内科)

佐久間 博史/院長(内科)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(あさかホスピタル)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Asaka Hospital)		
担当責任者	新国 茂		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

あさかホスピタルは、昭和38年に開設した許可病床495床の精神科病院で、精神科救急病棟(60床)を有しており、医療観察法による鑑定入院及び措置入院をはじめ多くの入院を受け入れている。就学前の子どもからお年寄りまで「心」の診療を幅広く総合的に行っている。難治性統合失調症に対する治療抵抗性統合失調症治療薬(クロザリル)の登録医療機関でありm-ECT(修正型電撃けいれん療法)も実施している。地域移行にも取り組んでおり、統合型精神科地域治療プログラム(OTP)に基づき地域移行を行い、診察やデイケア、訪問看護などの医療サービスと関連法人による生活支援や就労訓練をチームとして統合的に行っている。地域の精神科医療の現場を実習を通して体験して下さい。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

現場での精神科治療を体験し、必要なスキルを身につける。多職種と連携しチーム医療を体験する。

##### 【行動目標】

- (1) 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。
- (2) 患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活・職業歴等)の聴取と記録ができる。
- (3) 精神疾患に対する初期対応と治療の実践を体験する。
- (4) チーム医療の一員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなる他のメンバーと協働する。
- (5) 医療を行う際の安全確認の考え方を理解する。

テキスト 特に指定はありません。

参考書 特に指定はありません。

評価方法 実習態度、レポート提出、指導医とのディスカッションなどにより総合的に評価します。

その他(メッセージ等) 自家用車のための駐車場あります。昼食は職員食堂を利用できます。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

午前9時から午後5時まで

第1週目	月曜日、火曜日	オリエンテーション及び院内見学、関連施設見学
〃	水曜日	午前 ミーティング・外来実習、午後 入院実習・救急外来患者実習
〃	木曜日、金曜日	午前 外来実習、午後 入院実習・救急外来患者実習
第2週目	月曜日	午前 外来実習、午後 入院実習・救急外来患者実習
〃	火曜日、水曜日	午前 ミーティング・外来実習、午後 入院実習・救急外来患者実習
〃	木曜日、金曜日	午前 外来実習、午後 入院実習・救急外来患者実習

##### 【実習担当指導医】

実習内容に応じて、当院の臨床研修指導医が担当します。

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(太田熱海病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Ohta-Atami Hospital)		
担当責任者	山根清美(脳神経センター長)		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

当院は郡山市熱海町に位置し499床を有する病院で、主として郡山市西部や猪苗代町などを中心とした地域の医療を担っています。地域の急性期医療を担うだけでなく、大きな特徴として脳卒中や整形外科手術後などの患者さんの回復期リハビリテーション病棟、神経難病などの患者さんの長期療養を行う特殊疾患療養病棟、急性期の加療を終えた後でも引き続き医療行為の必要な患者さんを担当する療養病床を有し、患者さんが入院してから自宅あるいは施設へ退院するまでの様々な段階の患者さんの医療を担っています。このような慢性期の患者さんに対する医療に触れる機会は大学病院では少ないと思われまので、学生の皆さんには是非一度経験して頂きたい領域であると考えます。また、当院神経内科は昭和58年に開設された県内で最も長い歴史を有する神経内科施設であり、神経内科として県内有数の症例数を誇ります。当院では神経疾患の急性期医療・慢性期医療、そして地域医療とシームレスな医療を学んで頂きたいと思ひます。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

1. 地域における医師や病院の役割をよく学び、地域医療を考える契機とする。
2. 医学生として、医療倫理や法規をわかまえ、誠意ある実習をする。

##### 【行動目標】

1. 基本的な診察法、カルテ記載の仕方を学ぶ。
2. 数例の入院患者を受け持ち、実習期間中の経過を観察し、レポートで報告する。
3. 慢性期医療に触れ、急性期医療との違いについて学ぶ。
4. カンファレンスや抄読会に参加する。
5. 訪問診療に同行する機会がある場合は積極的に参加し、医療機関を受診しにくい地域住民の暮らしについて考える。

テキスト 特に指定はありません。

参考書 図書室に若干の準備があります。その他、適宜指導医から貸与します。

評価方法 実習態度、カルテ記載、症例レポートなどを総合的に判断します。

その他(メッセージ等) 地域病院のため、実習のための宿泊・昼食等をサポートいたします。担当者にご相談下さい。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業(学習)内容】

当院の特徴上、基本的には神経内科での実習となりますが、相談に応じます。

以下は神経内科での実習の一例です。

(月)午前:オリエンテーション 午後:病棟、外来部門紹介、受け持ち患者紹介

(火)午前:神経内科総回診(センター長回診、山根センター長) 午後:内科外科合同カンファレンス、神経内科抄読会・症例検討会など

(水)~(金)終日:病棟で受け持ち患者の診察や外来・救急外来見学など

(木)朝:神経疾患や症候、画像の見方などのレクチャー(センター長)

その他:訪問診療の機会がある場合は、積極的な見学を歓迎します。

実習時間:午前8時20分~午後5時頃 多少前後あり。

##### 【経験・学習できること】

●標準的な神経診察法:脳神経、筋力、反射、感覚、運動失調などの標準的な診察法とカルテ記載の方法について教えます。神経診察の技術を学ぶことは、将来の内科/救急外来業務などで非常に役立ちます。是非この機会に学んで下さい。

●頭部CT/MRIなどの読影:基本的な構造や、代表的な疾患の所見について講義します。将来臨床研修をする上で、頭部画像を撮影する機会が多いと思ひますので、基本的な読影に慣れておくで大変役立ちます。

●脳梗塞の病型分類や治療法などについて:脳卒中は疾患頻度も多く、患者さんやご家族からの関心も高い領域です。是非脳梗塞患者を担当し、学んで下さい。

●慢性期医療の見学:回復期リハビリテーション病棟、特殊疾患療養病棟、療養病棟を見学し、慢性期医療の様子を学んで下さい。

●腰椎穿刺の見学

●種々の手技の見学など

その他、実習期間内で、希望に応じ検討いたします。

##### 【実習担当指導医】

山根清美/脳神経センター長

白田明子/神経内科部長

森松暁史/神経内科医長

飯國洋一郎/神経内科医長

門脇 傑/神経内科医長



科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(町立三春病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Miharu municipal Hospital)		
担当責任者	渡辺直彦		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

概要/方針等	
<p>町立三春病院は郡山市に比較的近く、僻地と中間に位置することにより、地域のかかりつけ医と郡山市内の急性期病院との橋渡しの役割を担っている。また、単独でも地域住民の期待に応えられるように安全で質の高い医療の提供を目指している。具体的な医療内容は急性期医療、回復期リハビリテーション、在宅医療、終末期ケア支援、介護施設と在宅療養の後方支援を行っている。また、行政と連携した健康診断・保健指導も担当し、住民の総合的健康管理サービスの役目も担っている。医師臨床研修においては星総合病院(内科・地域医療)と福島医大(地域医療)の協力型病院として指定され、さらには、福島医大の地域・家庭医療部の後期研修病院に指定され、福島医大の医学教育研修プログラムと連携している。</p> <p>方針:地域を理解するため、当院にて地域医療について学習していただく。</p>	
学習目標	
【一般目標】	
将来の安定した地域医療を構築するために、町立三春病院の実習を通して地域医療の役割と問題点について理解し、地域医療への取り組み方を習得する。	
【行動目標】	
①外来にて身体所見をとることができる。	
②医療面接から地域に住む患者の健康上の不安や悩みを取得できる。	
③外来・病棟にて静脈採血ができる。	
④在宅医療(訪問診療)に参加することができる。	
⑤ケースカンファランスに積極的に参加できる。	
⑥介護老人保健施設や養護老人ホームの概要を述べることができる。	
⑦大学付属病院と一般地方病院の入院患者の違いについて述べるができる。	
⑧地域医療の問題点を指摘できる。	
テキスト	特に指定しません。
参考書	「地域医療テキスト」監修・自治医科大学 医学書院 「スタンダード家庭医療マニュアルー理論から実践までー」葛西龍樹編 永井書店など
評価方法	OJTを中心とした観察記録による評価
その他(メッセージ等)	移動時の交通事故に注意してください。 自身の健康管理に留意してください。 当院の規則を遵守してください。

授業計画/担当教員等				
【授業計画】				
回数	曜日	時限	項目[内容(キーワード等)]	担当者
<b>第一週</b>				
	月	午前	オリエンテーション	渡辺直彦
		午後	在宅診療カンファランス、病棟実習、	渡辺直彦他
	火	午前	外来・病棟実習	渡辺直彦他
		午後	病棟実習、病棟カンファランス・訪問診療	渡辺直彦他
	水	午前	外来・病棟実習	渡辺直彦他
		午後	病棟実習・リハビリテーション見学、	渡辺直彦他
	木	午前	外来・病棟実習	渡辺直彦他
		午後	訪問診療(特別養護老人ホーム)	
	金	午前	福島医大地域・家庭医療部の外来指導	星吾朗他
		午後	訪問診療	渡辺直彦
	土	午前	自習	
<b>第二週</b>				
	月	午前	養護老人ホーム敬老園/往診実習	細谷英作
		午後	病棟実習	渡辺直彦他
	火	午前	外来・病棟実習	渡辺直彦他
		午後	病棟実習、病棟カンファランス	渡辺直彦他
	水	午前	外来・病棟実習	渡辺直彦他
		午後	病棟実習、	渡辺直彦他
	木	午前	外来・病棟実習	渡辺直彦他
		午後	訪問診療(特別養護老人ホーム)	
	金	午前	福島医大地域・家庭医療部の外来指導	星吾朗他
		午後	まとめ	渡辺直彦他
【実習担当指導医】				
渡辺直彦(院長)、細谷英作(内科)、齋藤広信(内科)、星吾朗(地域・家庭医療)				

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:公立小野町地方総合病院病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Public ono General Hospital)		
担当責任者	尾澤 康彰		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

公立小野町地方総合病院は、小野町、田村市、平田村、川内村、いわき市が開設した地域唯一の総合病院です。  
 入院病床119床(うち一般60床、療養59床)、外来診療は内科をはじめ、近隣に不足する眼科、耳鼻科や人工透析など12科の診療を行っています。また、訪問診療や訪問看護による在宅診療についても対応するほか、老人福祉施設、介護サービス事業所の支援にも取り組んでいます。小規模な病院ですが、大学病院ではなかなか経験できない地域医療の現場を体験し、医療を学んでいただきたいと思います。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

地域医療における役割を理解し、医師としての基本的、総合的な診療能力を身につける。コメディカルスタッフとのチーム医療を学ぶ。

##### 【行動目標】

1. 医師として患者さんに対する正しい診療態度を身につける。
2. 多職種の職員との積極的なコミュニケーションを図る。
3. 毎日の記録をつけ振り返りをする。
4. あいさつ、時間厳守など社会人としての規範を守る。

テキスト 特に指定はありません。

参考書 特に指定はありません。

評価方法 レポート提出により総合的に判定す。

その他(メッセージ等) 病院で宿舎や食事の提供も可能です。希望する場合には事前にご連絡ください。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

初期患者の医療面接を中心とした外来診療  
 一般病棟・療養病棟管理  
 人工透析治療実習  
 内視鏡治療や検査  
 訪問診療・訪問看護実習  
 特別養護老人ホーム実習  
 救急医療(一次救急を中心に、現場での見学実習)

朝 開始時刻 8:30から (8:20分までには医局で待機)

終了時刻 17:00~18:00 頃

##### 【実習担当指導医】

尾澤 康彰/(内科・腎臓内科)、藤井文夫/ 院長(内科)、林 茂筆/(内科)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:福島県立矢吹病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Yabuki Prefectural Psychiatric Hospital)		
担当責任者	横山 昇		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修/選択	選択必修
		授業形態	実習

#### 概要/方針等

当院は、西白河郡矢吹町に位置する県立の精神科単科病院(病床数199)で、県南医療圏における精神科医療の中核病院とし地域医療・救急医療に貢献しています。昭和30年の開設以来、常に患者の早期社会復帰を念頭に医療を展開し、特に精神科リハビリテーションの分野において先駆的な活動を重ねてきました。作業療法・デイケア・訪問看護に加え、近年では児童思春期外来・内科外来・アウトリーチ医療・マッチング事業(県内外震災非難患者の帰還支援)を開始し、今後は訪問看護ステーション開設や認知症疾患医療センター指定等も予定されています。当院は医療観察法指定通院医療機関であり、救急入院・措置入院・処遇困難患者の受け入れも積極的に実施しているため、大学では困難な重症例の治療場面を経験することが可能です。多職種チーム医療に力を入れており、各種ケア会議・クリティカルパス・クロザピン投与等の場面で垣根を越えてディスカッションが行われています。また、地域の行政・福祉・保健機関との連携も強く、公的業務を見学することも可能です。施設の老朽化に伴い、当院では数年後の全面改築(医療観察法病棟・児童思春期病棟)と名称変更(センター化)を視野に入れ、ソフト面での改革に着手するとともに医師を含めた人材確保を推進しています。m-ECT導入等による医療の質向上に向けての検討も始まっていますので、病院全体が熱気に包まれています。そのエネルギーを是非吸収していただきたいと思います。お待ちしております。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

- ①最前線の精神科臨床現場を見学実習し、患者・家族の気持ちと地域の現状を理解する。
- ②多職種チーム医療に参加し、その在り方とチーム内での医師の役割および地域連携の意義を考える。
- ③当院でのBSLを総括し、人として医師としての姿勢・態度・生き方に関する将来の自己像を思索する。

##### 【行動目標】

- ①担当指導医と行動を共にし、日常の入院・外来診療全般を見学しつつ指導医とディスカッションを行う。
- ②可能な限り院内外の各種会議に同席し、メンバーとのコミュニケーションを図りながらディスカッションする。
- ③見学実習の最後に医局会で研修成果の発表(一般目標③)を行う。

テキスト 特に指定はありません

参考書 特に指定はありません

評価方法 実習全体を通じての医療人としての姿勢・態度、担当指導医による全般的評価、およびレポート発表の内容等により総合的に判定する。

その他(メッセージ等) 当院の医局の先生方は出身大学や経歴が多彩ですので、多様な知識・技術を身につけることが可能です。学生(看護・OT・PSW)や研修医の受け入れ実績も多く、指導・教育面で医学生にとって好ましい実習環境を提供できると自負しています。是非当院でのBSLにご参加下さい。

#### 授業計画/担当教員等

##### 【授業計画】

- ・授業は月～金曜(完全週休二日制)の8時30分～17:15まで
- ・臨床実習初日のみ8時登庁(院長によるオリエンテーション)
- ・実習最終日(または前日)16時に研修成果発表会開催
- ・月曜16時からの医局会は参加必須
- ・2週間のスケジュールは担当指導医が個別に作成する(定型パターンなし)
- ・基本的に担当指導医と行動を共にする
- ・担当指導医不在日は他の医師が分担して指導を担当する
- ・可能なかぎり他の医師もクルズス等を実施する

##### 【主な内容】

- ・入院、外来(再来・新患)診療での陪席
- ・入院患者との問診
- ・多職種によるケア会議、ケース会議への参加とディスカッション
- ・デイケア、作業療法、心理教育、SST等の見学
- ・院外業務(訪問看護・アウトリーチ・相談会・講演会等)への同行
- ・希望に応じて実習内容や日時について可能な限り対応します

##### 【実習担当指導医】

責任者:院長 横山 昇(精神保健指定医・日本精神神経学会専門医・臨床指導医・精神保健判定医・産業医)  
指導医:副院長以下全員が交代で担当します(学生1名に1担当医)

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(埴厚生病院)						
(英語名称)	BSL Advanced Course (Hanawa Hospital)						
担当責任者	院長 佐川 恵一						
開講年次	6年	開講学期	前期	必修／選択	選択必修	授業形態	実習

#### 概要／方針等

埴厚生病院は、東白川郡唯一の基幹病院として救急・地域医療等に積極的に取り組んでおります。現在、内科、小児科、精神科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、泌尿器科等の診療科目があり、当地域に不可欠な医療を目指しております。当院の救急・地域医療等を体験することによって、医師として大切なものを学んでいただきたいと思いますと考えております。

#### 学習目標

##### 【一般目標】

救急・地域医療を学んでいただく。

診療における基本的な医療面接、基本的検査、診断、治療について考えていただきながら、疾患の知識や患者さん・職員とのコミュニケーション能力を向上させる。

##### 【行動目標】

- ・あいさつや言葉づかいなど社会人としての規範を守る。
- ・日常の診療を見学・体験し、多職種の職員と積極的にコミュニケーションを図る。
- ・毎日記録を付け振り返りをする。

##### (詳細内容)

1. 一般外来診療に立ち会い、日常診療を見学・実習する。
2. 救急搬送症例を積極的に見学・実習(治療に参加)する。
3. 医療に携わる検査技師、看護師等のスタッフとの交流を図り、チーム医療の円滑な運営の実際を学ぶ。
4. 実際に手術(症例)に立ち会う。
5. 当直業務を体験していただき、救急医療の現場に立ち会う。
6. 訪問看護、老健施設等の見学をする。
7. 最後に指導医とのディスカッションをする。

テキスト 特にありません。

参考書 特にありません。

評価方法 レポート、実習態度、指導医とのディスカッションなどにより、総合的に評価する。

その他(メッセージ等) 希望に合わせて、診療科や目標を設定しますが、重複した場合には異なる診療科での実習となることもあります。  
やる気のある方、お待ちしております

#### 授業計画／担当教員等

##### 【授業計画】

##### 【授業計画】

午前8時30分から原則的に午後5時まで  
第一日の午前中にオリエンテーションを行う。  
基本的には午前・・・外来実習、検査・手術見学等  
午後・・・病棟実習、検査・手術見学、訪問診療、講義等

##### 主な内容

- ・救急外来診療
- ・内視鏡検査
- ・内科の基本的な診療
- ・外科・整形外科等の外来診療
- ・手術見学
- ・救急医療(2次救急を中心に、現場での見学)
- ・透析患者の見学
- ・訪問診療、老健施設等の見学・・・等

##### 【実習担当指導医】

院長 佐川 恵一(内科) 他  
各科責任医師

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(福島県立南会津病院)		
(英語名称)	BSL Advanced Course (Minamiaizu Hospital)		
担当責任者	佐竹 賢仰(院長)		
開講年次	6年	開講学期	前期
		必修／選択	選択必修
		授業形態	実習

概要／方針等	
<p>県立南会津病院は、南会津2次医療圏唯一の病院としてへき地医療の中核を担っています。病床数は98床で、常勤診療科は、内科・外科・整形外科・小児科・耳鼻咽喉科です。非常勤診療科としては、眼科・皮膚科・産婦人科・泌尿器科・神経内科・漢方内科・神経精神科を開設しています。</p> <p>当院の重要な役割は、急性期2次医療の地域内での完結と2次救急の受入れです。特に救急医療では、“断らない救急医療”をモットーに、地域の救急隊や後方3次病院との連携を図りながら、地域住民の安全・安心の確立に貢献しています。</p> <p>当院での実習では、限られた医療資源の中でへき地中核病院としての役割を担うためには、どのような医師が求められるかを感じて頂きたいと思います。</p>	
学習目標	
【一般目標】	
2次医療圏唯一の病院としての役割と、そこで働く医師に必要な知識や技術、心構えを理解します。また、患者さんやその家族、救急隊との接し方について学習します。	
【行動目標】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 外来新患や救急患者について問診や予診を行い、診断のためのプロセスを考える。</li> <li>2 救急患者を搬送してきた救急隊から情報収集を行う。</li> <li>3 担当入院患者の回診を行い、患者や家族との接し方を学ぶ。</li> <li>4 担当入院患者の診断・治療方針を主治医とともに立案し、可能な範囲で実施する。</li> <li>5 検査や手術の助手を行い、地域に必要な手技の範囲を理解する。</li> <li>6 夜間当直をとおし、全科当直に必要な知識や技術を学ぶ。</li> <li>7 地域見学をとおし、病院と他の医療資源との連携の重要性を学ぶ。</li> </ol>	
テキスト	特に指定なし
参考書	特に指定なし
評価方法	実習態度、指導医・担当医とのディスカッションにより総合的に評価します。
その他(メッセージ等)	

授業計画／担当教員等	
【授業計画】	
午前:内科または外科外来(新患の問診及び予診、診断計画の立案等)	
午後:入院患者回診	
救急車対応(適宜)	
手術見学または助手(1~2回/週)	
検査見学または助手(2~3回/週)	
地域見学(1回/1クール)	
※その他、希望により適宜実習項目追加可能	
【実習担当指導医】	
院長 佐竹 賢仰	各科担当医師

科目・コース(ユニット)名	BSLアドバンスコース(協力病院コース:米沢市立病院)			
(英語名称)	BSL Advanced Course (Yonezawa city Hospital)			
担当責任者	佐藤 佳宏			
開講年次	6年	開講学期	前期	必修/選択 選択必修 授業形態 実習

概要/方針等	
1. 代表的外科疾患の手術経験 2. 基本的外科手技の習得 3. 最新の医学知識の習得 4. 患者を支えるチーム医療について理解を深める	
学習目標	
【一般目標】	
基本的な外科関連疾患に関する診断および治療、特に、外科治療の実際を理解する。	
【行動目標】	
1. 手術を見学し、基本的な手順を説明できる。	
2. シミュレーション実習で縫合・結紮ができる。	
3. シミュレーション実習で中心静脈穿刺を行うことができる。	
4. 手術において、皮膚縫合、体腔内結紮を行うことができる。	
5. 外科関連疾患の標準的な治療法について理解し、個々の症例についてなぜその治療が必要なのか説明できる。	
テキスト	特に指定しない
参考書	経験症例に応じて適宜詳記する。
評価方法	出席日数、実習レポート
その他(メッセージ等)	当院は協力病院で唯一の県外病院です。当院ならではのこだわりの手術・患者管理を勉強していきましょう。実習をやり遂げた時のお酒はおいしいですよ。米沢牛もあなたを待っています。

授業計画/担当教員等	
○外科:消化器外科及び乳腺外科の症例につき手術の助手と参加することを中心とし、その他術前診断や術後管理につき実習する。	
○内視鏡外科:消化管・肝胆膵・呼吸器・小児・その他の外科的疾患を扱っている。週5回の手術に参加し、外科的治療法に対する識見を深める。内視鏡手術・外科的緊急症例・抗がん剤治療・終末期の緩和医療などへの理解も深める。	
○乳腺外科:乳癌の診断から手術療法、術後補助抗癌剤療法まで行っている。発症のピークが40代と60代にあるため、心のケアも大切にする。)	
【授業計画】	
月曜日	
8:00~8:15 ICUカンファランス	
8:30~9:00 術前カンファランス(放射線科・外科)	
9:30~ 手術	
火曜日	
8:00~8:15 ICUカンファランス	
8:30~9:00 術前術後カンファランス(消化器科、外科、病理科)	
9:15~ 感染対策・リハビリ・NST合同ラウンド	
10:30~ 手術	
水曜日	
8:00~8:15 ICUカンファランス	
8:30~9:00 乳腺読影	
9:30~ 手術	
木曜日	
8:00~8:15 ICUカンファランス	
8:30~9:00 手術所見検討	
9:30~ 手術	
金曜日	
8:00~8:15 ICUカンファランス	
9:30~ 手術	
【実習担当指導医】	
菅野 博隆 外科長	
佐藤 佳宏 外科長兼内視鏡外科長	
橋本 敏夫 乳腺外科長	
芳賀 淳一郎 外科医長	